

茨城県教育財団文化財調査報告第27集

竜ヶ崎ニュータウン内埋蔵文化財調査報告書10

南三島遺跡1・2区(下)

昭和59年8月

住宅・都市整備公団 茨城開発局  
財団法人 茨城県教育財団

南三島遺跡 I・2 区(下) 正誤表

ヘ・ジ	柄・図	誤	正
405	11	大津式期、國分式期の	大津式期、平安時代の國分式期の
406	20	233号住居跡	216号住居跡
420	S1132	302-1~7	307-1~7
423	S1172	312-18~22	316-18~22
	S1173	312-23~28	316-23~28
	S1179	312-3~6	316-3~6
	S1180	312-7~14	318-7~14
447	第240図	4 5 6	5 6 4
484	第284図18	E面	加D11
625	25	(第366図-16・17)	(第367図-16・17)
634	第364図7	条徴文	条徴文
651	第377図1	表面2単位。裏面1単位に	表面1単位。裏面3単位に
682	22	光沢	光沢
690	21	較高	較長
696	16	1043号土壤	1117号土壤
	17	混貝層	貝貝土層
705	4	477個	447個
	12	24-26mm	34-36mm
	13	32-34mm	42-44mm
	18	46-48mm	36-38mm
722	8	円形が34軒	円形が30軒
746	21	利根町の	鹿児島市の
756	21	(第417図)	(第418図)
757	4	両者から	両面から

茨城県教育財団文化財調査報告第27集

竜ヶ崎ニュータウン内埋蔵文化財調査報告書10

みなみみしま  
南三島遺跡 1・2 区 (下)

昭和 59 年 8 月

住宅・都市整備公団 茨城開発局  
財團法人 茨城県教育財団

# 目 次

## — 上 卷 —

序

例 言

第1章 調査経緯.....	1
第1節 調査に至る経過.....	1
第2節 調査方法.....	2
1 地区設定.....	2
2 層序の検討.....	2
3 遺構確認.....	5
4 遺構調査.....	5
第3節 調査経過.....	5
第2章 位置と環境.....	10
第1節 地理的環境.....	10
第2節 歴史的環境.....	11
第3章 遺構.....	15
第1節 遺構の概要と遺構の記載方法.....	15
1 遺構の概要.....	16
2 遺構の記載方法.....	16
第2節 坑穴住居跡及び窓穴遺構.....	21
第3節 土壙.....	241
第4節 墳墓.....	378
第5節 炉穴.....	381
第6節 溝.....	392
第7節 井戸.....	404
第4章 遺物 .....	405

## — 下 卷 —

第4章 遺物 .....

第1節 遺物の概要と記載方法 .....	405
1 遺物の概要 .....	405
2 遺物の記載方法 .....	406
第2節 人工遺物 .....	412
1 上器 .....	412
2 土製品 .....	598
3 石器 .....	640
4 石製品 .....	668
5 遺構出土遺物一覧表 .....	671
第3節 自然遺物 .....	681
1 貝遺体 .....	681
2 獣骨 .....	710
3 種子 .....	711
4 地質 .....	712
第5章 まとめ .....	717
第1節 遺構 .....	717
1 壺穴住居跡及び竪穴遺構について .....	717
2 土壌について .....	727
3 埋甕について .....	730
4 炉穴について .....	731
5 溝について .....	734
第2節 遺物 .....	735
1 人工遺物 .....	735
(1) 土器について .....	735
(2) 上製品について .....	746
(3) 石器について .....	760
2 自然遺物 .....	761
(1) 貝遺体について .....	761
終章 むすび .....	765
写真図版 .....	

# 第4章 遺物

## 第1節 遺物の概要と記載方法

### 1 遺物の概要

南三島遺跡1・2区から出土した遺物は、人工遺物と自然遺物に分類でき、量的には人工遺物が大半を占めている。

人工遺物の出土量は、収納ケースで270ケースあり、種別は、土器、土製品、石器、石製品である。

自然遺物は、10ケースの出土量で、貝遺体、獸骨、種子である。

人工遺物の中で、土器は、縄文時代の野島式期、加曾利E式期及び称名寺式期のものが主体で、その外に古墳時代の五領式期の土師器、8世紀中頃と9世紀頃の須恵器が少量、縄文時代の十二菩提式期、壠之内式期、加曾利B式期、安行式期、大洞式期、国分式期のものが微量であるが出土した。野島式期のものは2類に分類することが可能で、当遺跡の北側G7区とH7区を中心に点在するが穴の形成時期決定の資料となった。加曾利E式期のものでは、主に中期後葉のE III、E IV式が出土し、各式とも施文技法の細分が可能であった。出土地点は、特に当遺跡の中央I6区、J6区と東側K5区が中心で、数期にわたって集落を形成したとみられる住居跡及び円筒形土壙からその多くが出土した。称名寺式期のものは、大きく2類に分類でき、更に細分も試みたが、遺構形成時期との関連性は当遺跡南側のJ5区を中心とした以外は少なく、資料となり得るもののが希薄だったため単なる文様構成の類別にとどめた。これらの縄文土器の器種は、深鉢形土器、菱形土器、壺形土器や器台形土器である。完存品、若しくは残存度の高いものは、埋甕や土器埋設炉に使用されたものが多く、接合により復元されたものについては、遺構内覆土に遺存したものが多かった。なお、遺構の床面や壙底面から出土した遺物は、そのほとんどが破片で、極少量であった。五領式期のものは、4軒の住居跡からの出土で、その内、63・84号住居跡出土のものが器種を推定できた。土師式土器の器種は、壺形土器、坏形土器、器台形土器、壺形土器、小形広口壺形土器、菱形土器、台付菱形土器に限られた。8世紀中頃に比定できる須恵器は、84号住居跡を切って構築した3号溝の覆土内から出土したもので、3号溝の時期決定の資料となった。出土した須恵器の器種は、壺と坏である。

土製品は、土鍤、有孔円板、無孔円板、穿孔途中の円板、穿孔土器片と耳栓が出土し、特筆すべきものとして、土鍤、円板類の出土数が顕著であった。土鍤は、土器片鍤、手捏土鍤、球状土鍤、管状土鍤の4種が出土し、その数量は遺構から874点、グリッドからは267点で総計1,141点

にもなり、形態、重量等に、わずかな差異が認められた。円板類は、無孔円板、穿孔途中の円板、有孔円板の3種が出上し、統計では170点であった。無孔円板は、遺構からの出土数85点、グリッドからの採集数11点で、それらは大きさ、縁部研磨痕の有無等に相違があった。穿孔途中の円板は、有孔円板と用途を同じくしたものと思われるが、遺構からの出土数は22点のみで、有孔円板の、遺構からの出土数56点、グリッドからの採集数4点、計57点に比較して少なかった。穿孔途中の円板や有孔円板は、すべて單一の盲孔、又は貫通孔で、全体の法量の外、孔径に大差があった。穿孔土器片は、土器片に穿孔を加えたもので、特異な形状を呈していることから独自の土製品として取り上げた。これらの穿孔土器片は、遺構から6点出上した。耳栓は、810号土壙から出土した1点のみで、土製飾品としては唯一のものである。

石器は、石鎌、石斧、敲石、磨石、凹石、石皿、砥石、礫器、削器、彫器、搔器、尖頭器が出土した。特筆すべきものとして、磨石の出土数が著しく、遺構から76点出土した。敲石や凹石の内にもその範囲ちゅうに加えられるべき様相を呈するものがあり、一次利用、あるいは併用も数えると相当数になる。石斧は、打製石斧と磨製石斧に分類できるが、いずれも完存品は少なく、欠損品が多かった。石鎌は、遺構から30点、グリッドから8点出上し、統計が38点であり、これは、出土数を捕獲目的を異にする前述の土鎌と比較するとわずかであった。

石製品は、石棒、浮子、石錘、块状耳飾、垂飾及び研磨調整された不明の石製品が出土した。<sup>ハツビヨウ</sup>45号住居跡の上器埋設炉付近から深鉢形土器とセットで出土した石棒は、この時期の宗教的、呪術的文化を考察するうえでのよい資料である。浮子や石錘の出土量は、土錘に比較すると少なく、漁撈活動における用途や方法を考察するうえでの検討資料となった。

自然遺物の中で、貝遺体は、233号住居跡、564・1011号土壙からその多くが出土し、その他の遺構からは少量の出土量であった。貝遺体の種別は、シオフキとハマグリが主体を占めたが、同定結果からは24種目に分類できた。これらの貝遺体は、遺構への投棄により形成された遺存体であった。各遺存体は、出土数が少なく時期的にも拡散しており、出土地点の位置的な相関関係等は認められなかった。

獸骨は、468号土壙から馬骨の一部と1号溝から馬頸骨3体分が出土した。

種子は、44号住居跡と694・711号土壙から出土したもので、同定結果はオニグルミ一種類であった。

## 2 遺物の記載方法

本報告書では、原則として遺構出土の遺物だけを取り扱った。各遺構からの出土遺物は、出土遺物一覧表で明記したが、遺物を人工遺物と自然遺物とに分類し、各節を設けて記載する方法を

とった。各節の項目については、概略を記述してから各々の遺物の解説に努めた。各遺物についての記載内容と記載方法は、次のような方法をとつて記述した。

完存土器、完存率の高い上器、部分的にでも形態が推定可能な土器等については、上器解説表に図表示し、実測図を掲載した。土器解説表の記載方法は、文章表記は要点だけとし、その他は記号を使用して簡略化した。

底部については、形態別に類別し、解説を加え実測図を掲載した。

土器片については、各遺構出土ごとにまとめて拓影図を掲載し、文章表記と記号表記を併用して解説に努めた。解説の中で焼成については、良好、普通、不良に分け、良好は焼き締って硬いもの、不良は焼成があまく指でこすると器面が剝落するものとし、その中間的なもので、縄文式土器の一般的な焼成についてを普通とした。

把手については、作出方法を類別し、解説を加え、実測図を掲載した。

上製品で、上鍤、円板の完存品については各解説表で表示し、実測図を掲載した。

石器については、各遺構出土の完存品、あるいは完存率の高いものについては、解説表に表示し、実測図を掲載した。

石製品については、各遺構出土のものを一括して解説表に表示し、実測図を掲載した。

貝遺体については、同定資料を提示し、各地点貝層を解説した。各貝層の層位、同定種、数量等については地点貝層解説表で表示した。

その他の自然遺物については、文章表記した。

また、各項目ごとに、総合的な統計資料を掲載して解説に努めた。

なお、本報告書に提示する資料は、南三島1・2区の遺構出土遺物を主に取り扱った。

### (1) 使用記号と解説表の見方

遺構の使用記号については、上巻遺構の記載方法と同じとした。

#### ア 出土遺物一覧表（土器）

遺構	出土	土器片	図版番号	時期
----	----	-----	------	----

○出土土器片の口は、口は口縁部片、底は底部片の出土地点数である。同一個体の破片と思われるものは総数から除いた。

#### イ 土器解説表

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
----	----	----	----	-------	----------	----

○法量は、口径、器高、底径の順で示し、単位はcm、( )は現存測定値である。

○形態と文様の欄は、次のように表記した。

- ・形態と文様の中段最初の記号は、形態の類形である。
- ・口は口縁部、胴は胴部、底は底部である。
- ・施文は、地文か充填かを表記したが、不明の場合と縄文のみ施文の場合については、単に施文と表記した。
- ・外領する器形について、一般的な外傾度のものは特に記載しなかった。

○焼成、胎土、色調の欄の、Fは長石 (Feldspar), Mは黒母 (Mica), Qは石英 (Quartz) を表し、色調は、「新版標準土色帖」(山下正忠・竹原秀雄著 財団法人日本色研事業株式会社)を使用した。

○備考の欄は、次のように表記した。

- ・上段が完存率で、完存は100%，一部欠は50%以上、一部残は50%以下のものとした。
- ・中段は遺存体で、Xは覆土中、Yは床面である。
- ・下段は遺物の形式で、野島は野島式、Eは加曾利E式、大は大木式、称は称名寺式、堀は堀之内式、安は安行式、五領は五領式、国は国分式土器である。

#### ウ 壱器折影図解説表

岡坂番号	遺構	文様	作出方法	出土位置	時期	備考
------	----	----	------	------	----	----

○作出方法の欄は、文様を構成する施文の順位を表したもので、ーは左から右への順位を表し、。は順位不明のものと、並行するものを表す。

○施文の順位は、最終段階の調整も加味して順位づけた。いわゆる沈線区画内に縄文を充填したものでも、調整によってその後沈線がなぞられていれば、縄文ー沈線とした。

#### エ 土器片錐、土鍤、円板、土製品、石器、石製品解説表

##### 土器片錐

番号	遺構	長さ	幅	ノッチ間	重さ	形態
----	----	----	---	------	----	----

##### 土鍤

番号	名称	遺構	幅	径	孔径	重さ	出土位置	備考
----	----	----	---	---	----	----	------	----

##### 円板

番号	遺構	長さ	幅	厚さ	孔径	重さ	形態の特徴と文様	出土位置
----	----	----	---	----	----	----	----------	------

土製品

番号	名 称	遺 構	長さ	幅	孔性	重 き	形 態 と 特 徴	出上位置
----	-----	-----	----	---	----	-----	-----------	------

石器、石製品

番号	遺 構	長さ	幅	厚さ	重 き	形 態 と 特 徴	材 質	出上位置
----	-----	----	---	----	-----	-----------	-----	------

○法量の欄で、長さ、幅、厚さ、ノッチ間の単位はcm、浮力、重きの単位はgである。

○石器の形態の記号は、形態の類形を表す。

オ 土器の形態別グラフ

○図に表示した形状で、□は不整正方形、◆は不整長方形、▲は不整台形、○は不整円形、●は不整梢円形を表す。

カ 住居跡覆土内地点貝層、土壤内貝層、土壤覆土内地点貝層

○ハマグリ、シオフキの占有比率とは、その地点貝層の同定種全体を100%とした各占有比率である。

○貝層遺存の覆土は、上層、中層、下層と三段階の大概的表現をとった。

○貝層の小区設定は、遺構編に記載した。分割層の呼称は、指定レベルを0として5cmごとに区切った番号である。

○純貝層は貝の含有率を70%以上とし、混土貝層は貝の含有率を69%~40%とした。それ以下の貝含有率のものは混貝土層と定義した。

キ 第1011号土壤 ハマグリ、シオフキの殻高・殻長相關図

○Hは殻高、Wは殻長である。

○●はハマグリ、○はシオフキを示す。

○文章表記中の大きさの採集範囲とは、採取できた平均的な大きさの範囲の意で、各小区画の分割層内で採集したシオフキの、殻高、殻長の平均的大きさの上限から下限までを表したものである。その範囲の基準は、同法量のものが5点以上採取できたところからをその範囲とした。分割層内での採集が疎なものについては、同法量のものが3点以上採取できたところまでをその範囲とした。

7 貝遺体集計結果表

○個体数は、貝合わせによる個体数に、貝合わせできなかったものを1/2にして加えた数量である。

○重量の単位は、gである。

○□は、<sup>なんど</sup>緯度の低い水域及び汽水域を表す。

## (2) 遺物実測図の作成方法と掲載方法

遺物実測の方法は次のようにした。

### ア 土器

○実測方法は4分割法を用い、中心線を挟んで左側1/2に外面、右側1/2に内面及び断面を実測した。

○拓影図の断面は、正面の右側縁を軸に反転したものを実測した。

### イ 土製品

○土器片錐の断面は、土器を基本として、刻み目を上下にした正面の右側縁を軸に反転したものを実測した。

○球状土錐と管状土錐については、使用方法が孔を横位にしたものと考えて、横位を正面とし、三角図法を基本として、正面の左側面を軸に反転したものを断面として右側に、上面を軸に反転したものを平面として下側に実測した。

○その他の土製品について、土器片再利用のものについては拓影図の実測法を基本とし、利用目的のために作成されたものについては球状土錐と管状土錐の実測法を基本とした。

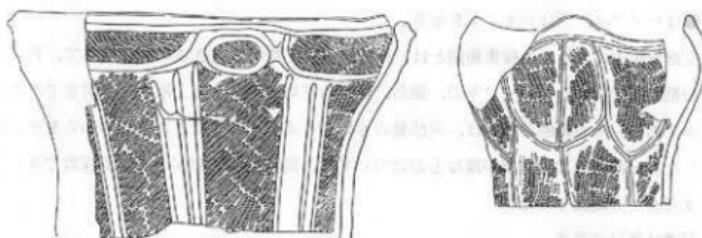
### ウ 石器、石製品

○石器、石製品は、三角図法を基本とし、正面の左側面を軸に反転したものを断面として右側に、上側面を軸に反転したものを平面として下側に実測した。また、遺物によって効果的と思えたものについては、反転軸と各図の置き方を逆転させて実測したものもある。

## (3) 遺物実測図の掲載方法

遺物実測図の掲載方法は、次のようにした。

### ア 土器



○隆帯は≡≡で表し、微隆起線は≡≡で表した。

○沈線は—■—で表し、縄文は■■■で表した。

○土器で、内面黒色処理のものは■■■■で表し、赤彩されたものは■■■■■で表した。

○纖維混入の土器については、断面に点を落とした。

#### イ 石器

○敲きの範囲は、で表した。

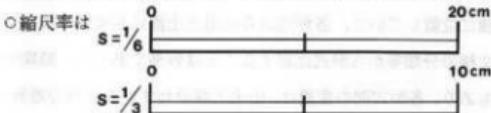
○磨りの範囲は、で表し、磨りの方向は→で表した。

#### ウ 縮尺の表示

○土器の実測図については、1/6を基本とした。

○土器片、土製品、石器、石製品の実測図は、1/3を基本とした。

○縮尺の異なる実測図については、各々に別表示した。



で表した。

## 第2節 人工遺物

### 1 土器

当遺跡から出土した土器の概要は、前述したとおりである。

遺構内から出土した土器は、野島式、加曾利EIII式、EIV式、称名寺I式が主なものであるが、大木系譜の土器も加曾利EIII式やEIV式と共に伴う。あるいは単独で出土している。

野島式期の遺構は、当遺跡の北側H7区のFP16、G7区のFP32～35、H6区のFP41～44に所在する。炉穴からの出土を除いて、単独に位置していて、各炉穴からの出土土器にも文様構成に偏りが認められた。そのため、器形、文様の分類等から形式比定することは容易であった。時期的には同一時期に集約されていることもあり、各炉穴間の変遷は、出土土器のわずかな文様の差異と、炉穴の位置的考察から想定せざるを得なかったが、野島式期において炉穴を媒体として、2期以上にわたる生活の営みが当遺跡に存在していたことがうかがえた。

加曾利EIII式、EIV式は、形態や文様構成、作出方法に変遷があり、分析の結果からある程度変遷過程を系統づけることができた。大木系譜の土器については、加曾利E式と共に伴うものに限り、加曾利E式土器を基に形態や文様構成、作出方法についての時期的な位置づけをしてみた。しかし、当遺跡の出土土器の収納方法は、層位的収納法と原位置的収納法を、出土遺物の遺存状態によって区別して実施した。従って、重複するすべての遺構についての新旧関係や、覆土内から出土した各期にまたがる土器すべての新旧関係を、短期間で分析することは困難であった。また、グリッド出土の土器については、大部分の表七を重複で除去したため、原位置的に各遺構と関連づけて分析することは不可能であった。そのため、変遷過程の系統づけも部分的に空白となることは免れないため、一般的に唱えられている区分を基に、独立した遺構からの出土で時期的に一括できる土器群と、重複した遺構からの出土で新旧関係が明らかな土器群とから、器形や文様構成、作出方法の特徴をとらえ、土器の変遷過程をまず系統づけてみた。その後に土器相互の新旧関係が不明なものと、グリッド出土のものについて、前述の変遷過程を基本として、他の類例を加味し、器形や文様構成、作出方法の特徴から同時期に比定できるもの、空白部分に比定できるものを抽出し、推定しながら系統づけを試みた。

称名寺I式は、151・157・188号住居跡、68・548・1038号土壙等の覆土内から出土したが、加曾利EIV式の流れからのものと、本来称名寺I式と唱えられているものの他に、近畿地方に見られる文様構成および作出方法のものもあり、この期における広域的な文化の流通をうかがうことことができた。

その他の各式に比定できる土器片は、地山上か覆土内に遺存していたもので、遺構に伴うもの

とは考えられないが、文様構成や作出方法を部分的に知ることはできた。

このようなことから、当遺跡出土の土器を解説するうえで、まず、住居跡出土の土器について、各遺構ごとに概略を表記した。次に、各々の住居跡、土壤、炉穴等の出土土器の実測図と拓影図についての文様構成と作出方法に主体をおいて述べた。本項では、文様構成と作出方法の差異からその推移を考察できるように表記し、形態や文様構成の変遷過程は、第4章まとめ、土器についての項で述べることにした。

当遺跡出土の土器を解説するうえで、形態をI～Xに種別し、文様構成の作出方法について、表記上の区分基準を設けた。以下はその基準である。

(ア) 形態の区分 (第237図)

I - A ……底部から口縁部にかけて、直線的に立ち上がるもの。



I - B ……底部から口縁部にかけて、若干外反して立ち上がるもの。



II - A ……底部から胸部にかけて緩やかに内彎し、口縁部が若干内彎するもの。



II - B ……底部から胸部下位が緩やかに内彎し、上位から口縁部にかけて直線的に立ち上がるるもの。



III ……胸部中位で括れて、上位から口縁部にかけて直線的に外傾するもの。



IV - A ……胸部中位で大きく括れて、上位から口縁部にかけて直線的に外傾するもの。



IV - B ……胸部中位で括れて、上位から口縁部にかけて大きく内彎するもの。



V ……胸部中位で括れて、上位から口縁部にかけて大きく内彎するが、胸部径が口径より大きいもの。



VI ……胸部中位で小さく緩やかに括れて、上位から口縁部にかけて小さく内彎するもの。



VII ……底部から胸部上位にかけて直線的に外傾して、上位から口縁部にかけて内彎するもの。



VIII ……底部から肩部にかけて大きく内彎して、頸部が括れて口縁部が外傾するもの。



IX ……底部から口縁部にかけて、胸部が球状に膨らむもの。

第237図 形態の区分図

## X .....その他

## (イ) 作出方法の区分 (第238図)

区分 作成方法	A	B	C
沈 線			
微降起線			
隆 带			
隆 沈文			

第238図 作出方法の区分図

なお、住居跡出土土器片解説表中の解説では、本文及び実測図や拓本等で掲載できなかった各遺構出土土器片についても付記した。

## (1) 住居跡出土土器片 (表6)

当遺跡の住居跡から出土した土器片は、次の表のとおりである。

表6 住居跡出土土器片解説表

遺構	出 上 七 器 片	國 古 考 号	時期
SI 1 □54 底20	沈線A 沈線B 円判点文	240 1 269 1~10	E III
SI 4 □24 底6	沈線C 楕円文 条線文 沈線C 慢垂区画内縫消文 円判点文 柄状把手 微降起線「U」字状文	240 2 269 11~16 270-1~3	E III
SI 5 □27 底8	微降起線B 慢降起線C 円文 沈線A 柄状把手 条線文 sond A	270 4~16	E IV
SI 6 □1 底1	微降起線A 沈線B, 円文, 逆「U」字状文 微降起線A, 「U」字状文, 「H」字状文	240 3 271 1	E IV
SI 7 □3 底1	条線文 沈線C	240 4 271 2~6	E III
SI 8 □7 底1	条線文 沈線A 沈線B, 円文, 逆「U」字状文	240-5 271-7~13	
SI 9 □123 底19	沈線C 微降起線B 楕文 降切B 「U」字状文 慢沈A 楕文	240 6~10 271 14~18 272-1~3	E IV
SI 11 □25 底3	沈線B 楕文 微降起線B 柄状把手 条線文 微降起線A 沈線A 区画内縫充填	272-4~13	

遺構	出 土 土 器 片	回 反 號 号	時期
SI 12 底1	口3 沈線B 懿垂区面内磨消文 条線文	273-1~6	E N
SI 13 底1	口18 沈線A均円文 微隆起線A 降沈文A	273-7~16	E III
SI 15 底0	口22 微隆起線A, 纹文充填 沈線B 楔円文	240 11 273-17~19	E N
SI 16 底2	口13 激隆起線A, 沈線B 逆「U」字状文 羽状攝文 丹婆口線 沈線B区面逆「U」字状文 条線文	273-20~24	
SI 18 底15	口100 降状A尚文 丹列点文 条線文 竹管制突文 条線文 B满文 微隆起線A变形消文 沈線B, 纹文充填	241-1 273-25~30 274-1~8	E III
SI 19 底2	口15 沈線A羽状攝文 微隆起線B, 沈線B 微隆起線A, 纹文充填 条線文	274-9~11	E III
SI 20 底3	口26 微隆起線B, 沈線B 微隆起線B满文 条線文	274-12~16 275-1~6	E III
SI 21 底6	口56 沈線B「U」字状文 微隆起線B	241-2 275 7~18	
SI 22 底20	口112 沈線B 懿垂区面内磨消文 沈線B变形消文 微隆起線A「U」字 状文 沈線B, 纹文充填 微隆起線A「Y」字状文	275-19~21 276-1~6	
SI 23 底11	口173 沈線C, 円文, 楊円文 沈線C尚文 条線文 竹管制突文, 沈線 B 沈線B 楔円文	276-7~18	E III
SI 24 底3	口18 条線文, 纹文 微隆起線A 微隆起線A, 纹文充填	277 1~4	E N
SI 25 底4	口50 微隆起線A「Y」字状文	277-5~10	E N
SI 26 底5	口34 降带C 微隆起線B满文 微隆起線A「Y」字状文 槌状把手 条線文	241-3-4 277 11~16	E III
SI 27 底5	口20 沈線B 楊円文 降沈文B 微隆起線B满文	277-17~20	E III
SI 28 底34	口1143 沈線A 円文, 楊円文 沈線B, 楊円文, 纹文 降沈文A 满文	241-5~6 277-21~24 278 1~8	E III
SI 29 底4	口18 降带C 沈線B变形消文 微隆起線A「H」字状文 槌状把手 微隆起線A「Y」字状文	241-7 278-9~13	E N
SI 30 底1	口6 微隆起線B满文 降沈文A 满文 沈線B, 円列点文	279-1~6	
SI 31 底1	口7 微隆起線B满文 沈線B 槌状把手	279 7~9	E III

遺構	出 土 土 葵 片	図 版番 号	時期
SI 32	□ <sup>1</sup> 底 <sup>1</sup> 沈線B		
SI 33	LJ <sup>9</sup> 底 <sup>3</sup> 沈線B 楕円文 羽状繩文	279-10-11	E III
SI 34	LJ <sup>12</sup> 底 <sup>2</sup> 沈線B 楕円文 沈線B	279-12~14	E III
SI 35	□ <sup>3</sup> 底 <sup>1</sup> 条線文 陸沈文A		
SI 36	□ <sup>3</sup> 底 <sup>1</sup> 沈線B 逆「U」字状文 微隆起線A「Y」字状文	279-15~17	E IV
SI 37	□ <sup>58</sup> 底 <sup>8</sup> 沈線B, 円文, 蔓手文 沈線B 楕円文 条線文	241-8 279-18~24 280-1~6	E III
SI 38	LJ <sup>10</sup> 底 <sup>1</sup> 沈線C 陸帶A, 竹管文 沈線B 微隆起線A「Y」字状文	280-7~10	
SI 39	LJ <sup>5</sup> 底 <sup>1</sup> 微隆起線A「U」字状文		
SI 40	LJ <sup>363</sup> 底 <sup>57</sup> 微隆起線B 滴文 陸沈文A 微隆起線A, B, 逆「U」字状文 輪状把手 円列点文	241-9 242-1~9 243-1 280-11~18 281-1~16 282-1~13	E III
SI 41	□ <sup>35</sup> 底 <sup>9</sup> 沈線B 条線文 微隆起線A	282-14~20	
SI 42	LJ <sup>20</sup> 底 <sup>1</sup> 微隆起線A	282-21~22	E IV
SI 43	LJ <sup>14</sup> 底 <sup>2</sup> 沈線B, 繩文充填 条線文 微隆起線A	243-2 283-1~8	
SI 44	LJ <sup>106</sup> 底 <sup>31</sup> 沈線B, 条線文, 竹管文 沈線A 楕円文, 蔓手文 沈線B 逆「U」字状文 条線文	243-3~6 283-9~22 284-1~7	E III
SI 45	□ <sup>26</sup> 底 <sup>5</sup> 沈線C 蔓手文 沈線B 逆「J」字状文 微隆起線A 細粒繩文	243-7-8 284-8~14	E IV
SI 46	LJ <sup>4</sup> 底 <sup>1</sup> 沈線B, 細粒繩文 陸沈文A		
SI 47	LJ <sup>11</sup> 底 <sup>1</sup> 沈線A「Y」字状文 微隆起線A「Y」字状文	284-15~20	
SI 48	□ <sup>3</sup> 底 <sup>1</sup> 微隆起線A 陸帶A	284-21	
SI 50	□ <sup>35</sup> 底 <sup>2</sup> 沈線B, 羽状繩文 円列点文 微隆起線A 陸沈文B 槌状把手 条線文	284-22~25 285-1~4	
SI 51	LJ <sup>2</sup> 底 <sup>1</sup> 微隆起線A「II」字状文 槌状把手	285-5~7	E IV
SI 52	□ <sup>9</sup> 底 <sup>2</sup> 陸沈文A 微隆起線A「H」字状文	285-8~14	E IV

遺構	出 土 土 器 片	図 版 番 号	時期
SI 53	口 <sup>8</sup> 底 <sub>1</sub> 微隆起線A	285-15~17	E IV
SI 54	口 <sup>44</sup> 底 <sub>11</sub> 沈線C 楕円文 沈線B, 楕円文, 繩手文 薄帶B 微隆起線A, 条線文	285-18~24	E III
SI 55	口 <sup>8</sup> 底 <sub>1</sub> 沈線B「U」字状文 微隆起線A, 繩文充填	286-1~4	
SI 56	口 <sup>50</sup> 底 <sub>15</sub> 沈線B, 羽状捲文 沈線C 微隆起線A 沈線B 繩文充填 繩文, 条線文	243-9 286-5~14	E III
SI 57	口 <sup>11</sup> 底 <sub>2</sub> 沈線B逆「U」字状文 沈線B椭円文 微隆起線A, 繩文充填 条線文 微隆起線B逆「U」字状文	286-15~21	
SI 58	口 <sup>135</sup> 底 <sub>37</sub> 沈線C, 繩手文, 变形椭円文 沈線A連結逆「U」字状文 薄枕C溝文	244-1 286-22~24 287-1~15 288-1~3	
SI 59	口 <sup>18</sup> 底 <sub>2</sub> 微隆起線A「H」字状文	288-4~10	E IV
SI 60	口 <sup>18</sup> 底 <sub>6</sub> 沈線B, 細粒周文 沈線B区面「J」字状文	288-11~19	E I
SI 61	口 <sup>15</sup> 底 <sub>1</sub> 沈線B椭円文 沈線B懸垂区面内磨消に沈線B付加 微隆起線A	244-2~3 288-20 289-1~3	
SI 62	口 <sup>36</sup> 底 <sub>3</sub> 沈線C椭手文 沈線B椭円文 微隆起線B溝文 沈線B逆「U」 字状文 沈線B, 繩文充填	289-4~19	
SI 63	上部		五個I
SI 65	口 <sup>43</sup> 底 <sub>1</sub> 微隆起線A 沈線A「Y」字状文 条線文 沈線A, 繩文充填	289-20~23 290-1~4	E IV
SI 66	口 <sup>73</sup> 底 <sub>15</sub> 沈線A椭円文 沈線B, 細粒周文 沈線B区面文 沈線B連結「U」字状文	290-5~15	E III
SI 67	口 <sup>21</sup> 底 <sub>4</sub> 沈線B变形椭円文 沈線B, 繩文充填 微隆起線B連結「U」字 状文	290-16~25	
SI 68	口 <sup>92</sup> 底 <sub>12</sub> 沈線C円文 沈線B变形椭円文 条線文 沈線B溝文 微隆起線A溝文 沈線B, 繩文充填	244-4 290-26 291-1~19	
SI 69	口 <sup>6</sup> 底 <sub>2</sub>		
SI 70	LJ <sup>21</sup> 底 <sub>12</sub> 沈線B椭円文, 懸垂区面内磨消文 微隆起線A, 繩文充填	244-5~6 292-1~9	

遺構	出 土 土 器 片	図 版 番 号	時期
SI 72	□12 底3 沈線B、縹文充填 橫扶把手	244-7 292-10~14	EN
SI 73	□16 底2 沈線B「U」字状文 沈線B變形橫円文 陳雷C	292 15~20 293-1~3	E III
SI 74	□12 底1 沈線B、縹文充填	293-4~7	
SI 75	□43 底8 微隆起線A、横円文、「Y」字状文 微隆起線B「Y」字状文 沈線B「Y」字状文	244-8 293-8~23	
SI 77	□22 底4 微隆起線B變形漫文 沈線B「J」字状文	294 1~5	
SI 78	□60 底14 沈線B懸垂文 沈線B逆「U」字状文 沈線B「Y」字状文	294-6~10	
SI 79	□39 底10 微隆起線A、円列点文 沈線B渦文	244-9 294-11~22	
SI 80	□10 底1 沈線A、B、逆「U」字状文 沈線B横円文	294-23~29	
SI 81	□14 底1 沈線B 沈線B逆「U」字状文、刺突文 条線文	294-30 295-1~6	
SI 82	土師		五領I
SI 84	土師	244-10	五領I
SI 85	□1 底1 沈線B「U」字状文 微隆起線B、円列点文、沈線B	295-7~10	
SI 86	□4 底1		
SI 87	□4 底3 沈線B「U」字状文 微隆起線A	295 11~15	
SI 88	□5 底1 沈線B、縹文		
SI 89	□3 底1 沈線B 沈線A渦文、縹文充填	295-16~17	EN
SI 90	□11 底4 沈線A「Y」字状文 微隆起線A「Y」字状文	295-18~23	EN
SI 91	□123 底2 沈線B、円列点文 沈線B、縹文充填 沈線B、細粒繩文	244 11 295-24~32	
SI 92	□2 底2 沈線B、縹文充填 沈線B逆「U」字状文	296 1~4	
SI 93	□20 底2 微隆起線B 微隆起線A	245-1 296-5~8	EN
SI 94	□19 底2 微隆起線A、沈線B、「Y」字状文、条線文 沈線B、變形渦文	296-9~16	

遺構	出 土  上  滿 片	圖 版 卷 号	時期
SI 95 □19 底2	沈線B变形滿文 微隆起線A「Y」字狀文 条線文	296-17~23 297 1	
SI 97 □50 底5	沈線B, 円文, 懸垂区画内廢消文 沈線B变形滿文 微隆起線C变形滿文 微隆起線A「H」字狀文	297-2~11	
SI 98 □4 底1	沈線B, 逆「U」字狀文, 扇手文 条線文	297-12~15	E III
SI 99 □31 底3	沈線B区画連結「U」字狀文 微隆起線A「Y」字狀文 「S」字狀把手 橋狀把手	245-2~4 297-16 298 1~11	E IV
SI 100 L16 底2	L16 沈線B, 續文充填 微隆起線A「H」字狀文		
SI 101 □11 底4	沈線B「U」字狀文 微隆起線A 条線文 沈線B, 續文充填	299 1~6	E III
SI 102 □24 底1	沈線B「J」字狀文 沈線B「C」字狀文 沈線B变形滿文	299-7~13	孫 I
SI 103 L151 底11	沈線B变形滿文, 續文充填	299 14~19	E IV
SI 104 □7 底2	羽狀隸文 沈線B, 續文充填	299-20~23	
SI 105 L17 底2	沈線B滿文 沈線B变形滿文, 續文充填	300-1~5	
SI 106 □4 底1	沈線B	300 6	
SI 107 L12 底1			
SI 108 □17 底6	微隆起線A 沈線B	300-7~10	
SI 109 □25 底7	微隆起線, 「8」字狀貼付文 微隆起線A变形滿文	300 11~13	E IV
SI 110 □43 底9	微隆起線A, 沈線B 微隆起線A「H」字狀文	245-5 300-14~21	E IV
SI 111 □23 底2	沈線B 沈線B滿文 微隆起線A, 条線文	301-1~5	
SI 112 L133 底10	沈線B 円列点文 舌状突起, 条線文 沈線B变形滿文, 隆帶A, 円列次文 条線文	301-6~13	E IV
SI 113 L129 底6	沈線B横円文 沈線B变形円文 沈線B变形滿文 円列点文	245-6 301-14~20	E III
SI 114 L143 底27	沈線B連結「U」字狀文 微隆起線A「H」字狀文 沈線B「J」字狀文	245-7 301-21~27	

遺構	出土土器片	図版番号	時期
SI 115	U43 底27 沈線B 傷隆起線B 微隆起線A, 沈線B「H」字状文 条線文 沈線B変形溝文	245-8 301 28~33 302-1	
SI 116	I19 底3 沈線C区面内溝消文 沈線B整垂区面内溝消		
SI 117	□17 底9 沈線B変形溝文 沈線B区面内溝消文 沈線B, 調文充填	302-2~4	
SI 118	□55 底19 沈線B区面内溝文充填 舌状突起, 条線文 微隆起線A, 円列点 文 条線文	302-5~9	E IV
SI 119	I11 底1 沈線B, 調文充填 沈線B変形溝文	302 10~14	
SI 120	□37 底10 沈線B円文 沈線B, 変形横円文, 懸垂文 傷隆起線A, 円列点 文 傷隆起線A	302-15~21	
SI 121	I80 底9 沈線C 沈線B 微隆起線A「Y」字状文 傷隆起線B 沈線B懸垂区面内溝消文	246-1~4 302-22~26 303-1~10	E IV
SI 122	□33 底12 沈線B, 円文, 横円文 条線文 陳沈文C	303-11~16	E III
SI 123	□22 底8 沈線B藏手文 沈線B変形横円文 沈線B溝文	304-1~5	
SI 124	I153 底19 沈線C, 調文充填 微隆起線B「U」字状文 微隆起線A	304-6~14	E IV
SI 125	I124 底3 滑隆起線A 沈線A「Y」字状文 沈線B区面内溝文充填	304-15~22	E IV
SI 126	I131 底7 微隆起線A「Y」字状文	304-23~26 305-1~2	E IV
SI 127	□29 底7 滑隆起線A, 円列点文 沈線A, 「U」字状文, 逆「U」字状文	305-3~8	E IV
SI 128	□140 底17 沈線B藏手文 沈線B懸垂文, 調文充填, 円列点文 微隆起線B連結「U」字状文 条線文	246-5 305-9~20 306-1~5	E III
SI 129	I122 底5 沈線C横円文 傷隆起線B溝文 条線文 微隆起線B横円文	246-6 306 6~11	E III
SI 130	□13 底4 滑隆起線B溝文 傷隆起線A「H」字状文 微隆起線B「U」字状文	246-7 306-12~15	E III
SI 131	I31 底10 降沈文A 沈線B懸垂区面内溝消文 微隆起線A「H」字状文	306-16~23	
SI 132	□25 底13 沈線B 沈線B溝文 微隆起線A	246-8 302-1~7	

遺構	出土土器片	圓板番号	時期
SI 133 L196 底17	微隆起線A「H」字狀文 微隆起線A「Y」字狀文 微隆起線A 橫狀把手 微隆起線A變形渦文	247-1~4 307-8~17 308-1	E IV
SI 134 L13 底1	微隆起線A 条線文 微隆起線A「Y」字狀文	308-2~8	E IV
SI 135 L145 底14	微隆起線A，羽狀網文 微隆起線A	308-9~14	E IV
SI 136 L152 底11	微隆起線A，円列点文 微隆起線A，沈線B「Y」字狀文 微隆起線B，条線文	308-15~18 309-1~2	E IV
SI 137 L26 底5	微隆起線A「Y」字狀文 沈線B 微隆起線A「H」字狀文	309-3~11	E IV
SI 138 L49 底10	沈線B橫円文 沈線B變形渦文，硬文光肩 沙線B懸垂文	309-12~14	
SI 139 L126 底18	沈線B懸垂文 条線文 微隆起線A「H」字狀文	309-15~21	E III
SI 140 L9 底1	沈線C橫円文	309-22~23	E III
SI 141 L118 底9	沈線C，變形橫円文，薰手文 沈線B逆「U」字狀文 殘帶B橫円文 微隆起線B渦文	247-5~10 309-24 310-1~13	E III
SI 142 L6 底2	沈線C橫円文 沈線B		
SI 143 L28 底3	隆帶B橫円文 沈線B懸垂區曲内渦消文 沈線B逆「U」字狀文		
SI 144 L3 底1	沈線B 沈線A 微隆起線B連結「U」字狀文 繩文，条線文	310-14~17	E III
SI 145 L5 底4	微隆起線A硬質「H」字狀文	311-1~3	
SI 146 L7 底1	微隆起線A 円列点文 微隆起線A	311-4~6	E IV
SI 147 L75 底13	沈線B渦文 沈線B懸垂文 円列点文 条線文 隆帶A 微隆起線A	311-7~14	E IV
SI 148 L17 底1	微隆起線A，円列点文		
SI 149 L60 底13	微隆起線A 沈線B	247-11 311-15~18	
SI 150 L96 底23	微隆起線A，輪狀突起 条線文 微隆起線A「Y」字狀文	311-19~23	E IV
SI 151 L62 底26	沈線B「J」字狀文 沈線B斜狀文	248-1~2 312-1~5	新 I

述構	出上右器片	闡版番号	時期
SI 152 LJ 3 底3	沈線A 沈線B 条線文 微隆起線A 沈線B 楚文区西内腔消文	312-6~8	
SI 153 LJ 3 底1	沈線B 降垂C, 条線文 沈線B 懸垂X西内腔消文	312-9~12	E III
SI 154 口29 底7	微隆起線A「H」字狀文	312-13~16 313-1~2	E IV
SI 155 口55 底29	条線文 沈線B 沔文 沈線A, 圖文充填	313-3~5	E IV
SI 156 口48 底8	沈線C 条線文 沈線A, 圖文充填	313-6~11	
SI 157 LJ 42 底12	微隆起線B 圖形範文	248-3 313-12~15	
SI 158 LJ 23 底6	沈線B 支形淡文 沈線B, 圖文充填	314-1~5	
SI 159 LJ 12	沈線B 区面内腔消文 条線文	314-6~8	
SI 160 LJ 35 底3	沈線C 楚門文 沈線B 楚門文 沈線B 淚文 条線文	314-9~13	E III
SI 161 LJ 41 底4	微隆起線B 沈線B, 矢隆起線A, 門列点文 微隆起線B, 沈線B 懸垂文 微隆起線A	314-14~20	E IV
SI 162 口24 底6	沈線B, 淚文充填 沈線B 楚門文 沈線B 变形消文 条線文 微隆起線A	314-21~25 315-1	
SI 163 口14 底1	沈線B 逆「U」字狀文 微隆起線B 淚文	315-2~5	E III
SI 164 口19 底8	微隆起線B 淚文 沈線B 逆「U」字狀文 降沈文C 淚文 微隆起線B	315-6~14	E III
SI 165 口26 底3	微隆起線A「H」字狀文 条線文 沈線C, 内列点文	315-15~20	E IV
SI 166 口19 底3	条線文 微隆起線A 沈線B	315-21~25	E IV
SI 167 口44 底9	沈線A 楚門文 降沈文C 淚文	315-26~29 316-1~3	E III
SI 168 LJ 37 底41	沈線A 沈線B 降沈文C 淚文	316-4~8	E III
SI 170 口33 底1	条線文 微隆起線A	316-9~13	
SI 171 LJ 33 底8	沈線B 淚文	316-14~17	

遺構	出土上器片	回版番号	時期
SI 172 底9	1134 沈線A「U」字狀文 沈線A瘤巴文 沈線A「H」字狀文	317-18~22	
SI 173 底14	口13 底14 条線文 沈線B凹文 微隆起線B逆「U」字狀文 沈線B、撇手文	317-23~28	E III
SI 174 底6	1139 底6 沈線B逆「U」字狀文 微隆起線A渦文 微隆起線A「H」字狀文	317-1~5	
SI 175 底2	口13 底2 微隆起線A渦文 微隆起線A「H」字狀文	317-6~12	E IV
SI 176 底3	口40 底3 沈線B變形凹文 沈線B「U」字狀文 障帶A渦文	317-13~16	E III
SI 177 底4	口42 底4 凹列点文，沈線B逆「U」字狀文 微隆起線A 条線文 微隆起線A「H」字狀文	317-17~22	E IV
SI 178 底6	口28 底6 沈線C 沈線B逆「U」字狀文 条線文	317-23~25 318-1~2	E III
SI 179 底7	1118 底7 沈線B逆「U」字狀文 亂沈文C	317-3~6	E III
SI 180 底19	11141 底19 沈線C 亂沈文A渦文 微隆起線A 微隆起線A，条線文，微隆 起線A「H」字狀文	317-7~14	
SI 181 底14	口42 底14 微隆起線B 沈線B逆「U」字狀文 沈線B	318-15~18 319-1	E III
SI 182 底0	1115 底0 微隆起線A 条線文 沈線B，瘤文充填 沈線B渦文	319-2~9	E IV
SI 183 底6	1122 底6 沈線B變形渦文 微隆起線A「H」字狀文 沈線B，瘤文充填	319-10~14	E IV
SI 184 底0	1114 底0 微隆起線A，凹列点文 亂沈文C	319-15~19	E IV
SI 185 底33	口6 底33 微隆起線A 微隆起線A「H」字狀文	320-1	E IV
SI 186 底3	口10 底3 沈線B，瘤文充填	320-2~3	E IV
SI 187 底8	1121 底8 沈線B變形渦文 微隆起線A，沈線A，「H」字狀文 士師	320-4~6	
SI 188 底6	口27 底6 沈線B變形渦文 沈線B，瘤文充填	248-4 320-7~11	E IV
SI 189 底19	口68 底19 沈線B 微隆起線A「H」字狀文 微隆起線B渦文	248-5 320-12~14	
SI 191 底76	口12 底76 微隆起線A，凹列点文 微隆起線A 知隆起線A「H」字狀文	321-1~3	E IV

通 檢	出 土 土 西 片	國 版 番 号	時 期
SI 192	口6 底4 沈線B滿文 朱線文	321-4~8	E IV
SI 193	口113 底3 滅隆起線A 沈線B 微隆起線A，橫狀把手 微隆起線A變形滿文	321-9~13	E IV
SI 194	口118 底1 滅隆起線A「Y」字狀文 微隆起線A滿文	321-14~17	E IV
SI 195	口4 底1 隰沈文A滿文 沈線B 朱線文	321-18~19	E IV
SI 196	口17 底5 沈線C 微隆起線A	321-20~22 322-1	
SI 197	口3 底5 羽狀繩文	322 2	
SI 198	口140 底21 繩文、朱線文 微隆起線A	248-6~10 322-3~7	E IV
SI 199	口32 底4 滅塔起線A「Y」字狀文 畏隆起線A「H」字狀文	249 1·2 323-1~4	
SI 200	口1 底1		
SI 201	口3 底1 滅隆起線A		
SI 202	口12 底1 隰沈文A 朱線文 滅隆起線A	323-5~8	E IV
SI 203	口1 底1 隰帶A 朱線文 隰沈文A		
SI 206	口15 底4 沈線B橫狀文 沈線B「J」字狀文	323-9~14	
SI 207	口12 底1 畏隆起線A 滅隆起線A、圓列點文	323-15~17	E IV
SI 208	口0 底0 繩次文A滿文		
SI 209	口16 底1 畏沈文A滿文 畏隆起線B，滿文，「U」字狀文 羽狀繩文	249-3·4 323-18~19 324-1	E III
SI 210	口170 底7 沈線C滿文 畏沈文B滿文	324-2~7	E III
SI 211	口11 底2 沈線A橫凹文 沈線B「L」字狀文	324-8~10	E III
SI 212	口30 底8 沈線C，變形橫凹文 畏隆起線B滿文 沈線B，繩文充填	249-5 324-11~14 325-1	E III
SI 213	口59 底5 畏隆起線A「H」字狀文 畏隆起線A「Y」字狀文	249-6 325-2~8	E IV
SI 214	口135 底6 滅塔起線A「H」字狀文	325-9~13	E IV

遺構	出土上九器片	図版番号	時期
SI 216 或32	口149 沈線B、条線文 沈線B精円文 沈線B逆「U」字状文 沈線B 横丁文	250-1-2 325-14~16 326 1~13	E III
SI 218 底1	「」4 做隆起線A 沈線B		
SI 219 底0	口17 沈線B精円文 降沈文A「U」字状文 条線文 沈線A精巧文	326-14~21	E III
SI 220 底3	口116 做隆起線A「H」字状文	327-1~3	E IV
SI 223 底7	口134 陰帶A尖形精円文 沈線B 降沈文A波文	327-4~9	E III
SI 225 底1	口1		
SI 226 底1	口1 条線文 做降起線A		
SI 227 底1	口1 波降起線A「H」字状文	250-3	E IV

(2) 出土土器 (表7 第239~258・260図)

当遺跡から出土した土器は、次の表のとおりである。

表7 出土土器解説表

番号	遺構	器種	法証	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第239区 1	FP 4	深鉢 形土器	— (26.8)	脚-直線的に外傾 口-波状 スリット I-A 做隆起線A区西内沈線 貝殻条痕文	普通 砂粒 褐 F Q 硫酸 5 YR 7/6	脚部残 — 野島
2	FP 17	深鉢 形土器	— (26.8) (30.7)	底-尖底 脚-口-直線的に外傾 I-A 外-斜行する貝殻条痕文 内-貝殻条痕文	普通 砂粒 褐 F Q 硫酸 7.5 YR 5/4	一部欠 — 野島
3	〃	深鉢 形土器	26.2 (39.6) 4.0	底-尖底さみ 脚-直線的に外傾 口-直立 I-A 外-斜行する貝殻条痕文 内-貝殻条痕文 口唇に 指頭押圧痕	普通 砂粒 F 多 M 硫酸 7.5 YR 6/4	一部欠 — 野島
4	FP 34	深鉢 形土器	— (3.7)	底-尖底 I-A 外-貝殻条痕文 内-格子条の貝殻条痕文	普通 砂粒 F M Q 硫酸 5 YR 6/6	底部残 — 野島

番号	遺構	基種	法並	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第239回 5	FP 55	深鉢 形土器	(3.3) (1.8)	一 直一輪小径の平底 I-A	普通 砂粒 F 硬透 10YR 7/4	底部残 — 野島
6	FP 58	深鉢 形土器	(39.5) (36.6) —	胸・口直線的に外傾 I-A 外・貝殻条痕文 内・貝殻条痕文	良好 砂粒 F 硬透 5YR 5/6	一部残 — 野島
第240回 1	SI 1	深鉢 形土器	(29.1) —	胸・中位緩やかな括れ 上位わずかに外傾 III 沈無Bによる連続「U」字状文内にLR施文	普通 砂粒 F M 2.5YR 4/4	一部残 Y E III
2	SI 4	深鉢 形土器	(39.2) (28.9) —	胸・直線的に大きく外傾 口邊一級やかに内彎 VII 沈線C口縁周囲 RL施文 一部磨溝	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	一部欠 X E III
3	SI 6	深鉢 形土器	(8.4) —	胸・外傾 III 口縁部、底部作為の欠落 微隆起線A区面内無文帯による「U」字状文 RL 充填	普通 砂粒 F M	一部残 が埋設 E IV
4	SI 7	深鉢 形土器	(15.7) —	胸・外傾、直線に近い外反 I-B 口縁部、底部作為の欠落 RL施文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	胸部残 が埋設 E III
5	SI 8	深鉢 形土器	(20.5) (21.0)	弱 緩やかな括れ 口一大きく内彎 IV-B 微隆起線A区面内無文帯による硬質「H」字状文と 逆「U」字状文 RL施文	普通 砂粒 F M 2.5YR 4/6	一部残 X E IV
6	SI 9	深鉢 形土器	(19.0) (9.6) —	胸・外傾 口一級やかに内彎 2点波状 II-A RL細粒施文	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 4/2	一部残 Y E IV
7	#	深鉢 形土器	(20.1) (13.4) —	胸・外傾、外反 口一内傾 I-B 微隆起線A口縁周囲逆「U」字状文 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部残 X E IV
8	#	小形 深鉢 形土器	(12.1) (10.5) —	胸 緩やかな括れ 口若干内彎 VI 底部作為の欠落 LR施文 斜位と横位の横状把手が対置	やや不良 砂粒 F M 5YR 6/4	底形欠 X E IV

番 号	遺 構	器 種	法 尺	形 態 と 文 標	焼成・胎土・色調	備 考
第240回 9	S I 9	深 鉢 形土器	( 8.2) ( 6.0)	底一平底 壁一外傾度小さく直線的 X R施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	底部残 X 不明
10	"	深 鉢	(13.8)	底一平底 壁一緩やかに内窪 X 櫛齒状条捺文	普通 砂粒 F M 10R 5/6	底部残 X 不明
11	S I 15	深 鉢 形土器	33.8 (36.7)	底一大きく括れて外傾 口一小さく内窪 4点波状 IV-A 微隆起線A区间内無文帯による連続「U」字状文 R L施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 4/6	一部欠 X EIV
第241回 1	S I 18	深 鉢 形土器	(28.7)	底一緩やかに括れて外傾 IV-B 口縁部、底部作為的欠落 微隆起線C区间内無文帯による連続変形渦文 R L 施文	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 7/6	底部残 炉埋設 EIII
2	S I 21	小 形 深 鉢 形土器	( 6.0) ( 8.5) -	底一薄厚く緩やかに内窪 口一辺薄く括れ底立 2点波状 II-B L施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/3	一部残 X 不明
3	S I 26	深 鉢 形土器	43.6 (43.0)	底一直立ぎみで緩やかに括れ外傾 口一大きく内窪 IV-B 底部作為的欠落 陳沈文Cによる渦文 沈線Cによる逆「U」字状文 R L施文	普通 砂粒 F 7.5YR 5/3	底部欠 X EIV
4	"	深 鉢 形土器	( 3.0) ( 7.8)	底一厚い平底 X 底部平底面鏡ナマ	普通 細砂 粘 F M 5YR 6/8	底部残 X 不明
5	S I 28	深 鉢 形土器	(18.4) (27.9)	底一上部で緩やかな括れ 口一大きく内窪 V 陳沈文Bによる連続「U」字状文 同文側部周回 R L施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/4	一部残 X EIII
6	"	深 鉢 形土器	( 1.4) (10.0)	底一平底 X 木製模	普通 砂粒 F M 7.5YR 4/3	底部残 X 不明

番号	遺構	沿標	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第241回						
7	SI 29	深鉢 形土器	(13.5) — —	胸 直立するものが中位で極端に外反 II-B 微隆起線A区间内無文帯による「H」字状文 LR 充填	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 7/6	一部残 X EIV
8	SI 37	深鉢 形土器	(16.5) X 6.0	底一半底 緩やかに内彎、外傾 沈縫B懸垂区画内無文 R L地文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	底部残 X EIII
9	SI 40	盤 形土器	(52.0) (50.5) —	胸一下位直線的に大きく外傾 上位緩やかに大きく 内彎 II-一極端に直立 III 陸縫Cによる横円文 懸垂文区画内無文 沈縫A条 縦文 LR地文 4点縦位構状把手	普通 砂粒 F 5 YR 5/8	一部残 X EIII
第242回						
1	#	深鉢 形土器	20.0 (17.5) —	胸・口一全体に緩やかに内彎 上位でわずかな括れ II-A 底部作為的欠落 沈縫C口縫周延痕 条縞文 胸部わずかに縦文痕	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	底部欠 X 不明
2	#	小形 深鉢 形土器	12.0 (12.3) —	胸-若干内彎、外傾 口-緩やかに内彎 II-A L施文	普通 砂粒 F M 5 YR 3/1	底部欠 X EIII
3	#	深鉢 形土器	27.0 (18.6) —	胸 大きく括れて外傾 口 小さく内彎 IV-A 沈縫C口縫周回 多方向からのL施文	普通 砂粒 F M 5 YR 6/6	底部欠 X EIII
4	#	深鉢 形土器	(17.8) (15.9) —	胸-括れて外傾 口-小さく内彎 4点波状 IV-A 底部作為的欠落 微隆起線半配状文と「Y」字状文の連続 R L地文	普通 砂粒 F M 10 YR 7/3	底部欠 X EIII
5	#	深鉢 形土器	18.4 24.8 5.0	底一半底 胸-大きくなじみ外傾 口-小さく内彎 1点波状 IV-A 沈縫C内凹列点文口縫周回 L R縦文 2点縦位構 状把手	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/4	完形 X EIV
6	#	深鉢 形土器	(24.0) (21.0) —	胸-大きくなじみ外傾 口-大きくなじみ内彎 IV-B 沈縫C口縫周回 R L施文 4点縦位構状把手	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/3	一部残 X EIV

番号	遺構	器種	法並	形態と文様	施成・胎土・色調	備考
第242回 7	SI 40	小形 深鉢 形土器	(12.4) (14.1) —	胴一継やかな折れ、若干外傾 口一大きく内側 IV-B 微隆起線A口縁周回 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 4/3	一部残 X EIV
8	〃	深鉢 形土器	(32.7) (19.8) —	胴一上位内側、外傾 口一小さく内側 4点波状 IV A 隕沈文A口縁周回 RL施文	普通 砂粒 F M 5YR 5/6	一部残 X EIV
9	〃	小形 深鉢 形土器	(14.0) (9.8) —	胴一継やかな折れ 口一外傾ぎみに若干内側 4点 波状 VI 微隆起線A口縁周回 LR施文	普通 細砂 F M 7.5YR 4/1	底部欠 X EIV
第243回 1	〃	深鉢 形土器	(7.3) 5.4	底 平底 胴 縮やかに内側 若干外傾 X LR施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/2	底部残 X 不明
2	SI 43	深鉢 形土器	(28.5) (22.1)	胴一括れて大きく外傾 口一大きく内側 口唇内傾 IV-B 沈線Bによる「V」字状文 逆U字状文 矢形溝 文 区画内LR充填	普通 砂粒 F M 7.5YR 4/2	一部残 X EIV
3	SI 44	深鉢 形土器	(25.9) (21.0) —	胴一継やかに内側、外傾 口 内側 口唇若干内傾 II A 沈線B口縁周回 条線文	普通 砂粒 F M 5YR 6/4	底部欠 X 不明
4	〃	深鉢 形土器	(23.4) (8.0) —	胴・口一外傾しつつ口邊で内側 VII 沈線C口縁周回 同文による円文 RL地文	普通 砂粒 F M 10YR 3/1	一部残 X EIII
5	〃	深鉢 形土器	(20.8) (11.3) —	胴一上位膨らみ内側 口一大きく内側 波状 IV-B 沈線B口縁周回 円列点文 沈線A膨脹区西内腹消 文 RL地文 簡状把手	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/4	一部残 X EIII
6	〃	深鉢 形土器	(8.5) 7.0	底一平底 胴一直線的に若干外傾 X 沈線C膨脹区西内腹消文 RL地文	普通 砂粒 F M 5YR 6/4	底部残 X EIII
7	SI 45	深鉢 形土器	32.8 40.7 8.0	底一平底 胴一下位膨らみ中位で縮やかな折れ 上 位外傾 口一直立ぎみ III 微隆起線A口縁周回 底部辺までRL施文	良好 砂粒 F M 2.5YR 4/6	完形 埋處 EIV

番号	遺構	器種	法蓋	形 述	文 様	焼成・胎土・色調	備考
第243回 8	SI 45	盃 形土器	9.5 16.9 7.4	底-平底 脚-一脉状 下位擴大張り出し IX 微隆起線A区面内無文帶による漢文 X状橢状把手	口-内傾 普通 砂粒 F M Q 7.5YR 7/6	一部欠 X EIV	
9	SI 56	深鉢 形土器	(35.2) (38.6) —	脚-緩やかな折れ、大きくなびく外傾 口-若干内彎 VI 微隆起線A口縁周囲 RL施文 小山状突起	普通 砂粒 F M 2.5YR 4/6	一部残 X EIII	
第244回 1	SI 58	深鉢 形土器	(11.6) 6.0	底-平底 脚-直線的に外傾 X RLR施文	普通 砂粒 F M 5YR 5/4	底部残 X EIII	
2	SI 61	深鉢 形土器	(18.0) (9.3) —	脚-若干内彎 口-内傾 口唇直立 IV A 微隆起線A口縁周囲 L施文	普通 砂粒 F M Q 5YR 7/6	底沿残 X EIV	
3	#	深鉢 形土器	(9.3) 6.4	底-平底 脚-下位膨らむように外傾 X 単節繩文施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	底沿残 X EIII	
4	SI 68	深鉢 形土器	25.6 35.9 6.2	底-平底 脚-口-若干内彎、上位折れて外傾 III 無文 2点小山状突起	普通 砂粒 F M 10YR 6/1	完形 X 称1	
5	SI 70	深鉢 形土器	(8.3) (6.0)	底-平底 脚-直線的に外傾 X RL施文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	底沿残 X EIII	
6	#	深鉢 形土器	(8.2) (6.2)	底-平底 張り出し 脚-緩やかに内彎 X RL施文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	底沿残 X 不明	
7	SI 72	深鉢 形土器	(22.6) (16.8) —	脚 大きく緩やかに内彎 口-若千内傾 II-A 底部作為的欠落 隆起C口縁周囲 同文区面内無文部 RL不加条+ RL施文 2点單位橢状把手	普通 砂粒 F 7.5YR 7/3	底部欠 理廢 EIV	
8	SI 75	小形 深鉢 形土器	9.2 11.8 (3.2)	底-平底、張り出し 脚-口-括れて大きく内彎 IV-B 沈線A口縁周囲 同文区面内彎消による連結漢文と 足「U」字状文 LR地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/3	一部欠 X EIII	

番号	遺構	器種	法基	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第24組回 9	SI 78	深鉢 形土器	— (20.0) (9.8)	底一半底 脚一直線的に外傾 X 沈線B R L施文	普通 砂粒 F M 10YR 6/3	底部残 X 不明
10	SI 84	深鉢 形土器	— (4.2) (1.8)	底一半底 囲み物压痕 簋様式 線条に間隔があり。横条は両脇 左1本送り 2本組み1本巻き 1本送り 不規則な部分もあり。1本割りも見られる。巾0.5~2mm	普通 砂粒 F M 2.5YR 3/6	底部残 X 不明
11	SI 91	深鉢 形土器	— (18.7) —	脚一中位から上位にかけ緩やかに内窪。外傾 II A 無文	普通 砂粒 磨 F 多 2.5YR 5/6	脚部残 埋没 不明
第245組回 1	SI 93	深鉢 形土器	— (41.0) (33.2)	脚 焼れて大きく外傾 口一大きく内窪して内傾 IV-B 微隆起線A口縁周囲 同文による変形捺円文と連絡 硬質送「U」字状文 区画内R R L充填	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部残 X EIV
2	SI 99	小形 深鉢 形土器	— (10.8) (8.8) —	脚一上位極端な折れ 口一強度に内窪 V 微隆起線A区画変形溝文 円筒状把手	普通 砂粒 F M 10YR 7/4	一部残 X EV
3	#	深鉢 形土器	— (16.3) (9.0)	底一半底 脚一緩やかに内窪。外傾 X R L施文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	底形残 X 不明
4	#	深鉢 形土器	— (10.3) (8.5)	底一半底。若干張り出し 脚一直線的に外傾 X R L施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	底部残 X 不明
5	SI 110	深鉢 形土器	— (25.4) (18.8)	脚一大きく焼れ大きく外傾 口一般やかに若干内窪 4点波状 IV-A 隣沈文A口縁周囲 微隆起線Aと沈線B区画内無文帯による連絡「H」字状文 LR施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部残 X EIV
6	SI 113	深鉢 形土器	— (43.0) (32.0)	脚一緩やかに折れ外傾 口一大きく内窪。内傾 IV-B 沈線B区画内無文帯による連絡溝文 R L地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部残 X EIII
7	SI 114	深鉢 形土器	— (11.0)	脚 焼れて大きく外傾。大きくな窪 IV-B 沈線A区画内無文帯による曲線モチーフ R L充填	普通 砂粒 F M 5YR 4/3	一部残 X EIV

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第245回 8	SI 115	深鉢 形土器	(2.9) (12.5)	底一上げ底 織み物圧痕 網代様式 2本超え 2本滑り 1本送り 不規則な部分もあり。1本滑りも見られる。巾2~5mm	普通 砂粒 F M Q 5YR 4/3	底部残 X 不明
第246回 1	SI 121	深鉢 形土器	(22.8) 26.9 6.0	底一平底 洞一縫やかな括れ 口一外傾 2点波状 III 跡沈文A口縁周回 微隆起線A口内無文帶による「U」字状文 R施文 有孔継位横状把手	普通 砂粒 F M 10YR 7/3	一部欠 南東壁 EIV
2	#	小形 深鉢 形土器	(8.2) (9.3) —	洞一下位より直線的に外傾 I 無文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	一部残 X 不明
3	#	夢 形土器	(24.7) (11.6) —	洞 球状に膨らむ 上位極端な強い括れ 口一外傾 VII L R施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部残 X 不明
4	#	深鉢 形土器	(11.8) (5.3)	底一平底 洞一下位内窓、外傾 X R L施文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/4	底部残 X 不明
5	SI 128	深鉢 形土器	(45.3) (37.5) —	洞一外反、外傾 LI一若干内窓して直立 4点波状 I-B 底部作為的欠落 沈線Bによる横円文、円文 同文による懸垂文と圓文区画内磨消 R L地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	底部欠 か埋設 E III
6	SI 129	深鉢 形土器	(14.1)	洞一縫やかな括れ IV-B	普通 砂粒 F	脚部残 埋設 E III
7	SI 130	深鉢 形土器	(8.5)	洞一縫やかな括れ IV-B —	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/8	脚部残 埋設 E III
8	SI 132	深鉢 形土器	(24.1) (8.6)	底一底、丸味 洞一縫やかに括れて外傾 III 沈線B懸垂区画内無文帶 R L R充填	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	口縁欠 X E III
第247回 1	SI 133	深鉢 形土器	(20.1) (18.6)	洞一縫やかな括れ 口一若干内窓 VI 微隆起線A口縁周回 L R施文	普通 砂粒 F M 10YR 4/2	一部残 X E IV

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第247回 2	SI 133	深鉢 形土器	(17.5) (11.8) —	胴一若干摺れて外傾 口一若干内凹 4点波状 VI 沈線A口縁周回 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 4/1	一部残 X EIV
3	#	深鉢 形土器	(19.2) (25.8) 5.2	胴一摺れて外傾 口一緩やかに内凹 4点波状 IV-A 做隆起線A口縁周回 同文区画内無文帯による退化 「U」字状文 LR地文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	一部欠 X EIV
4	#	小形 壺	— (12.8) (4.1)	底一半底 胴一球状に膨らむ IX 做隆起線A口縁周回による消文 2点横波曲状 把手	普通 砂粒 F 多 5YR 6/4	一部残 X EIV
5	SI 141	深鉢 形土器	(32.0) (18.9) —	胴一中位直立 上位外反 口一口軸内傾 I-B 沈線Bによる区画内消文 横円文 嵌沈文Cによる 円文 RL地文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	一部残 X EIII
6	#	深鉢 形土器	(30.0) (11.8) —	胴一外傾 I-I-内傾 内傾 I-B 降沈文Bによる横円文 沈線B懸垂区画内消文 RL地文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	一部残 X EIII
7	#	深鉢 形土器	— (16.7)	胴一緩やかなせね 器壁厚い VI 沈線C懸垂区画内消文 RL地文	普通 砂粒 F 多 M 5YR 5/8	一部残 X EIII
8	#	深鉢 形土器	— (20.0) 5.8	底一半底 胴一緩やかな折れ IV-B 嵌沈文Cによる消文 逆「U」字状文 RL施文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	一部欠 X EIII
9	#	壺 形土器	(40.4) (12.3) —	口一摺れて外傾 VII 嵌沈文Cによる横円文 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部残 X 不明
10	#	深鉢 形土器	— (9.1) 8.4	底一半底 胴一下位緩やかに内凹、外傾 X 沈線B懸垂区画内消文 RL地文	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 7/4	底部残 X EIII
11	SI 149	深鉢 形土器	— (3.6) (8.8)	底一半底 縞み物出現 脇代様式 2本超え 2本 滑り 1本送り ±0.8~2mm 脇ナゲ調整	普通 砂粒 線 F M 5YR 5/6	底部残 X 不明

番号	遺構	器種	法身	形態と文様	施成・胎土・色調	備考
第248回 1	SI 151	深鉢 形土器	(37.2) (52.7) (7.0)	底一平底 刷一ほとんど直線に近い形で外傾 口 一直立 I A RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/3	一部残 X 不明
2	#	深鉢 形土器	(8.2)	刷一中位大きく膨らむ IV-B 沈縫B区画内LR充填による「I」字状文	普通 砂粒 F M 5YR 2/2	一部残 X 称1
3	SI 157	深鉢 形土器	(16.7) (17.0)	刷一上位膨らむ、ふくよか 口一内傾、若干外傾 4点波状 突起部押圧痕 IV-A 沈縫B区画内RL充填による「J」字状文 「I」 字状文	普通 砂粒 薄 2.5YR 4/4	一部残 X 称1
4	SI 188	深鉢 形土器	(39.8) 10.5	— 底 マ底、張り出し 刷一下位紙やかに内傾、外傾 II-B 沈縫B区画による「J」字状文 区画内LR充填	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	口極欠 埋葬 EIV
5	SI 189	深鉢 形土器	(14.0) 6.6	底一平底 刷一直線的に若干外傾 I-A 沈縫B懸垂区画内磨消文 LR地文	普通 砂粒 薄 F M 5YR 5/6	一部残 X EIII
6	SI 198	深鉢 形土器	20.3 (12.0)	刷一細やかな筋 沈縫A区画内 IV-B 沈縫B口縫周回 LR施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/3	一部残 X EIV
7	#	深鉢 形土器	17.6 (18.0)	刷 細やかに内傾、若干外傾 口 直立 II-A 底部作為的欠落 L施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	底部欠 X EIV
8	#	深鉢 形土器	(11.7)	刷一直線的に大きく外傾 L施文	普通 砂粒 F M 5YR 6/8	一部残 X 不明
9	#	深鉢 形土器	(27.0) (26.0)	刷一細やかに若干括れ外傾 口—若干内傾、内傾 VI 微隆起縫A口縫周回 LR施文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	底部欠 X EIV
10	#	深鉢 形土器	(9.6) (5.4)	底一若干上げ底 刷 球状に大きく膨らむ IX 微隆起縫Aによる「U」字状文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	底部残 Y EIV

番号	遺構	器種	法値	形態と文様	焼成・釉上・色調	備考
第249回 1	SI 199	深鉢 形土器	36.7 (15.9) -	胴一上位小さい括れ 口一外傾 III 沈線B区画による「J」字状文、話状文、錐文の連続文 区画内RL充填	普通 砂粒 F多 Q M 7.5YR 6/6	口修復 X 称I
2	#	深鉢 形土器	(25.4) (10.3) -	胴一緩やかな括れ 口一大きく外傾 III 沈線A区画内LR充填による「J」字状文	普通 砂粒 F M 5YR 5/8	-部残 X 称I
3	SI 209	深鉢 形土器	19.9 (16.1) -	胴一緩やかな括れ、口一外傾 4点波状 III 降帯Cによる横円文 LR地文	普通 砂粒 F M 10YR 6/4	底部欠 X E III
4	#	深鉢 形土器	- (28.0) 9.4	底 平底 胴一若干外反、外傾 X 櫛目状条線文 LR地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	底部残 X E III
5	SI 212	深鉢 形土器	(28.8) (17.8) -	胴一緩やかな括れ、大きめ外傾 口一若干内傾 IV-A 沈線CLと縦周回 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/6	-部残 X 不明
6	SI 213	深鉢 形土器	- (13.0) 5.9	底 平底 胴 内傾、外傾 X 沈線Aによる「U」字状文 LRとRLのR撲り施文	やや不良 砂粒 F M Q 5YR 6/6	底部残 X E IV
第250回 1	SI 216	壺 形土器	(47.6) (44.0) -	胴 横槽に外傾 上位内傾、強い括れ 口一外傾 III 降帯Bによる横円文内RLとLR充填 条線文	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 7/6	-部残 修理設 E III
2	#	器台 形土器	10.6 12.2 18.0	胴一若干内傾、内傾 8単位の貫通孔 台一平坦 -- 圓ナギ擦形	普通 砂粒 F M 10YR 7/3	一部欠 X E III
3	SI 227	深鉢 形土器	41.0 32.0 -	胴 緩やかな括れ、外傾 口一緩やかに若干内傾 VI 微隆起線A口縦周回 同文区画内無文帶による「H」字状文 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/6	底部欠 X E IV
4	SK 10	深鉢 形土器	(18.6) -	胴 緩やかに若干内傾。外傾がみに口縫へ続く II B 微隆起線A区画内無文による溝文 LR細粒地文	普通 砂粒 壁 F M 5YR 6/6	一部残 X E III未

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・新土・色調	備考
第250回 5	SK 19	深鉢 形土器	(3.3) (6.8)	底一平底 脊一大きく膨らむ X RL施文	普通 砂粒 F M 10YR 6/3	底部残 X 不明
6	SK 22	深鉢 形土器	(22.7) (23.5) —	脣一括れ 口一小さく内彎 IV-A 条線文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	一部欠 X EIII
第251回 1	SK 39	深鉢 形土器	(30.6) (16.7) —	脣一大きく外傾 口一大きく内彎 口唇若干内傾 IV-B 陸沈文Cによる円文、横円文、沈線C懸垂文区画内 無文 RL充填	普通 砂粒 F M 7.5YR 4/3	底部残 X EIII
2	"	深鉢 形土器	(37.5) (15.0)	口一大きく内彎 IV-B 沈線Cによる横円文、变形渦文、懸垂区画内陸沈文 RL地文	普通 砂粒 F M 10YR 6/4	一部残 X EIII
3	"	深鉢 形土器	— (17.5) —	脣 大きく外反 I-B 沈線C区画内RL充填	普通 砂粒 F M 10YR 6/4	脣部残 X EIII
4	"	小形 壺 形土器	7.4 16.6 5.6	底一平底 脊一球状に膨らむ 口一内傾 IX 側溝起線A口縁周囲 同文「U」字状文 4点吊手	良好 砂粒 F M 10YR 7/3	光形 X EIV
5	SK 228	深鉢 形土器	(6.0) (6.8)	底一平底 X LR施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 3/3	底部残 X 不明
6	SK 250	深鉢 形土器	(25.0) (16.1) ...	脣一緩やかに内彎、外傾 上位括れ 口一外傾 VII 横画状条線文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/6	一部残 X 不明
7	SK 278	深鉢 形土器	34.3 (23.8) —	脣一大きく外反、外傾 口一若干内彎 直立 I-B 脣帯Aによる横円文 沈線Bによる变形渦文 懸垂 区画内陸沈文 RL地文	良好 砂粒 F Q 5YR 6/4	底部欠 X EIII
8	SK 286	深鉢 形土器	(22.0) (13.7) ...	脣一上位球状に膨らみ外傾 口一極端に直立 V 多方向からのLR施文	普通 砂粒 F M 5YR 6/6	一部欠 X EIV

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第251回 9	SK 374	深鉢 形土器	— (9.7) —	胴一若干折れを示すが直線的 I-B 口縁部、底部作為的欠落 L R施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 3/2	一部残 X 不明
10	SK 375	深鉢 形土器	— (11.4) —	胴一樣やかに若干内凹 II-A 継位範ナダ調整	普通 砂粒 F M 5 YR 6/6	胴部残 不明
第252回 1	SK 409	深鉢 形土器	— (5.9) 4.8	底一平底、強い張り出し 脇一内壁、上位直立 II-B 無節繩文施文	普通 砂粒 F M 5 YR 5/4	底部残 X 不明
2	SK 454	深鉢 形土器	30.5 48.9 8.7	底一平底 脇一下位緩やかに内凹、外傾 中位直立 口一若干外反 4点舌状突起 II-B 腰帯A口縁周回 L R施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	一部欠 埋葬 EIV
3	SK 482	深鉢 形土器	— (6.5) 6.4	底一平底 直線的に外傾 X 沈線B平行懸垂文 列点文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	底部残 X EIII
4	SK 526	深鉢 形土器	— (18.1) 7.2	底一平底 脇一ふくよかな括れ III 沈線B区画による「J」字状文 区画内 R L充填	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	一部欠 X 称I
5	SK 548	深鉢 形土器	(33.2) (36.8) —	胴一内壁、上位強い括れ 口一外傾。小さく内壁 4点小山状突起 IV-A 沈線B区画による「J」字状文 曲線モチーフ 区 画内 L R充填 突起部「J」字状突起文	普通 砂粒 F 7.5YR 8/6	一部残 X 称I
6	SK 566	深鉢 形土器	(41.2) (37.7) —	胴一上位大きく内壁 極端な括れ 口一直立 III 腰沈文Cによる連続横円文 円文 R L地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/3	一部残 X EIII
7	SK 585	柱口 土器	— — —	表面摩滅 — 赤彩処理	普通 砂粒 7.5YR 6/4	一部残 X 不明
8	SK 696	深鉢 形土器	— (22.1) —	胴一下位球状に膨らむ 中位緩やかな括れ III L施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/6	一部残 X EIV

番号	遺構	器種	法延	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第252(4)		小形	—	底一平底 桶内縁直立	普通	一部欠
9	SK 696	深鉢	(8.5)	X	砂粒 F M	X
		形土器	5.4	L施文	10YR 7/4	不明
第253(4)			(24.6)	桶一底縁的に外傾 L1-L2若干外傾	普通	一部残
1	SK 711	深鉢	(13.8)	I-A	砂粒 F M	X
		形土器	—	L R施文	5YR 3/3	不明
2	SK 804	深鉢	10.2	底一平底 岩石張り出し 桶外傾、上位縁やかに内凹 I-II-柱端内縁	良好	光形
		形土器	15.4	II-A	砂粒 F	X
			5.0	L R施文 1点線状柄状把手	2.5YR 5/2	EIV
3	SK 815	深鉢	(26.4)	I-B 桶 大きく外傾 口-L1柱内縁	普通	部残
		形土器	(10.4)	沈縫C区画内L R充填	砂粒 F 多 M	X
			—	沈縫C区画による「X」字状文 区画内L R充填	5YR 6/6	称I
4	SK 817	深鉢	(14.6)	IV-A 桶 中位大きくなれ 上位大きくなれ	良好	胴部残
		形土器	—	口縁部、底部作為的欠落	砂粒 F 多 Q	X
			—	沈縫B区画による「X」字状文 区画内L R充填	2.5YR 6/6	称I
5	SK 902	深鉢	(13.5)	底一平底 桶一外反、外傾 器壁厚い	普通	底部残
		形土器	(10.8)	X	砂粒 硬 F M	X
			—	R L施文	5YR 6/5	EIII
6	SK 911	深鉢	(27.8)	III 桶一縁やかに入きなれ 口一外傾 口肩内縁	普通	武部欠
		形土器	(25.3)	底部作為的欠落	砂粒 F 多 M	埋蔵
			—	沈縫C口縁内縁 L R柄状施文	7.5YR 5/6	EIV
7	SK 915	深鉢	(8.6)	底一平底 純文施文 桶一若干外反、外傾	普通	底部残
		形土器	10.2	X	砂粒 F 多 M	X
			—	L R側粒施文	2.5YR 5/6	不明
8	?	深鉢	(3.4)	底一平底 縦み物状痕 網代様式 2本超え 2本	普通	底部残
		形土器	(8.3)	潜り 1本送り ±2~3mm RL網粒施文	砂粒 F M	X
			—	7.5YR 6/4	不明	
9	SK 921	深鉢	(50.0)	底一平底 桶一下位縁的に外傾、上位直立	普通	I 残欠
		形土器	9.1	I A	砂粒 F M	埋蔵
			—	L R柄状施文	7.5YR 6/6	EIII

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第254回 1	SK 954	深鉢 形土器	— (34.0) (7.6)	底一小径平底 脚一緩やかに若干内彎 大きく外傾 X 沈線C懸垂区画内磨消文 RL地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 6/4	口縁欠 埋要 E III
2	SK 976	深鉢 形土器	— (10.2) (7.4)	底一平底 脚一緩やかに内彎 大きく外傾 X RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 3/3	底部残 X 不明
3	SK 981	手捏 土器	3.7 4.7 2.0	底一半底 右干張り出し 脚一下位内彎 外傾 上位直立 II-B 沈線A口縁周回 竹管によるナゲ調整痕	やや不良 砂粒 F M 5 YR 4/3	完形 X 不明
4	SK 983	深鉢 形土器	— (25.0) (8.0)	底一平底 脚一下位緩やかに内彎 上位若干外反 II-B RL施文	普通 砂粒 10YR 7/3	口縁欠 埋要 E IV
5	SK 986	深鉢 形土器	(23.4) (16.3) —	脚一直線的なものが上位で外反 口一直立 I-B 沈線A区画内 RL充填 曲線モチーフ	普通 砂粒 F M 7.5YR 3/3	一部残 X 称I
6	SK 992	深鉢 形土器	— (31.4) (8.8)	底一平底 脚一下位外傾 中位若干弱れ小さく外傾 III L粗略施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	口縁欠 埋要 不明
7	SK 996	深鉢 形土器	30.5 42.2 9.6	底一平底 脚一上位まで緩やかに内彎 口一外傾 III RL施文	やや軟弱 砂粒 F M 10YR 7/3	完形 埋要 E IV
8	SK 998	深鉢 形土器	33.0 (18.5) —	脚一上位緩やかに外反 口一口唇急変し内傾 I-B 沈線Bで口縁4区画 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	口縁残 埋要 E IV
第255回 1	SK1002	深鉢 形土器	— (28.9) —	脚一ふくよかに括れ外傾 III 口縁部、底部作為的欠落 微隆起線A区画内無文帯による「H」字状文 RL 充填	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/3	脚部残 X E IV
2	SK1007	深鉢 形土器	(54.6) (70.7) —	脚一ふくよかに小さな括れ 口一緩やかに内彎 4 点波状 IV-A 沈線Cによる溝文、懸垂区画内磨消文 隆沈文Cに による横円文 RL地文	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	一部残 X E III

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・形状・色調	備考
第256回 3	SK1007	深鉢 形土器	(17.2) (11.0) —	胴一大きい括れ 口一大きく緩やかに内傾 IV-B 沈線BによるU字縁周回と「U」字状文 RL施文	普通 砂粒 F M 7.5YR 5/6	一部残 X EIV
4	SK1018	浅鉢 形土器	(20.9) (8.5) —	胴一大きく外傾 上位内凹 口 口唇内傾 VII 微隆起線A U字縁周回 同文区画波文	やや良好 砂粒 F M 5YR 7/6	一部残 X EIV
第256回 1	SK1024	深鉢 形土器	(39.7) (25.1) —	胴一中位大きい括れ 上位大きく内傾 口一内傾 4点波状 IV-B 微隆起線区画内無文帯による「H」字状文 RL施文 波状部横位横状把手	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 6/3	一部残 X EIV
2	SK1038	深鉢 形土器	(32.0) (25.2) —	胴一緩やかな括れ 口一緩やかに内傾 VI LR施文	普通 砂粒 F 多 Q 7.5YR 7/6	底部欠 X EIV
3	#	深鉢 形土器	(23.0) 26.0 7.5	底一人径半底 植一下位球状 中位横溝に括れ外傾 口 外傾 波状船小さく内傾 4点波状 IV-A 沈線B区画内RL充填による「J」字状文 曲線モチーフ 球形輪状把手	普通 砂粒 F M 2.5YR 4/4	一部欠 X 称I
4	SK1041	深鉢 形土器	(8.4) X 4.6	底一平底 脇一若干内窪 外傾 懸垂磨文 横地文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/6	底部残 X EIV
5	SK1065	深鉢 形土器	(6.0) (7.8)	底一平底 脇一若干内窪 外傾 III 微隆起線A区画内RL充填	普通 砂粒 F M 5YR 5/4	底部残 X EIV
6	SK1096	深鉢 形土器	(9.4) —	胴一大きい括れ、大きく外傾 口一外傾 器内厚い III 沈線A区画内無文帯による曲線モチーフ RL充填	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 6/4	一部残 X EIV
7	SK1123	深鉢 形土器	(22.0) (20.9) —	胴・口一緩やかに内傾 IV-B 列点文口縁周回 沈線Bによる連続「U」字状文 RL地文	やや良好 砂粒 F M 7.5YR 3/4	一部残 X EIV

番号	造構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第256回 8	SK1123	深鉢 形土器	(25.6) (17.5) —	網-汚れ 口-側上位から口縁にかけ大きくなだ IV-B LR施文	普通 砂粒 F M 5YR 4/8	一部残 X EIII未
9	〃	小形 壺 形土器	(3.9) 9.7 (4.4)	底-平底 网-球状に膨らむ 口-内傾 VII 微隆起線A口縁周囲 同文区画変形溝文 4点吊手	普通 砂粒 硬 2.5YR 4/6	一部残 X EIV
第257回 1	SK1172	深鉢 形土器	(29.8) 32.7 (7.6)	底-半底 网-ひずみ、若干内窪 口-大きくなだ II-A 全体に網目状条線文 内-丁寧な段位跳ナデ調帶模	やや良好 砂粒 F 多 M 5YR 6/6	一部残 X EIII
2	SK1205	深鉢 形土器	23.0 29.9 —	網-大きい汚れ 口-大きくなだ 痘部径に近い V 底部作為的欠落 沈線Bによる梅円文、U字状文 区画内RL充填	普通 砂粒 F M 2.5YR 4/6	底部欠 X EIV
3	SK1279	深鉢 形土器	— (35.1) X 7.2	底-一小径平底 网-一下位直線的に外傾 中位置立 隆沈文Cによる連続溝文 RL地文	普通 砂粒 F M 2.5YR 5/4	一部残 X △9a
4	SK1280	深鉢 形土器	(11.5) 5.2	底-平底 网-一下位大きく外傾 中位緩やかに内傾 II-B RL施文 全体に摩滅	普通 砂粒 F M 2.5YR 4/4	口縁欠 X 不明
5	SK1285	深鉢 形土器	36.5 48.4 8.5	底-平底 网-口-直線的に外傾 I-A 沈線B口縁周囲 R施文	良好 砂粒 F M 2.5YR 4/6	完形 埋蔵 初I
6	表採	小形 深鉢 形土器	— (5.1) X 5.0	底-半底 張り出し無し 网-一下位直線的に外傾 沈線B口縁内RL施文 曲線モチーフ	普通 砂粒 F M 2.5YR 6/6	底部残 — 初I
第260回 1	SI 63	土師壺 形土器	— (1.3) 6.4	底-外面に起伏切り 内面水焼き痕	普通 細砂 M多 7.5YR 4/3	底部残 X 五箇I
2	〃	土師壺 形土器	(14.5) (4.8) —	外-荒磨き、一部黒色処理が外面にわたる 内-乾 磨き 黒色処理	普通 細砂 F M 7.5YR 1.7/1	一部残 X 五箇I

番号	造構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第258回 1	SI	上部器 堆 形土器	(16.3) (7.3) —	腹部下位膨らみ、腹部で棱をなし強く丸める。上位 腰やかに内側、大きめ外傾 外一複合ハケ目整形内 一複位深磨き整形 内外面共赤彩処理 器壁薄い	やや良好 細砂 F多 10YR 5/6	体部残 X 五鉢I
2	#	上部器 堆 形土器	(15.0) (15.2) —	最大径体部中位 外一全体ハケ目整形 内一頭部 「く」の字状凹れ 体部上位粘土粗底 口縁横位ハ ケ目整形 体沿全体更ナゲ整形	普通 細砂 F M 7.5YR 6/2	底部欠 X 五鉢I
3	#	土師器 壺 形土器	(15.2) (5.0) —	複合口縁 若干外反、外傾 複合部更に大きく外傾 外一複合部横位ハケ目整形 頭部底位ハケ目整形 内一複合部ハケ目整形後、覽ナゲ調整 頭部底位是 ナゲ整形	普通 砂粒 F M 7.5YR 7/4	口縁残 X 五鉢I
4	#	上部器 壺 形土器	(13.4) (4.5)	口縁若干外反、大きめ外傾 外一口荷刃横ナゲ 彫 位ハケ目整形後、底位窓磨き 内一部分的に斜位ハ ケ目整	普通 砂粒 F M 5YR 6/4	口縁残 窓磨穴 五鉢I
5	#	土師器 壺 形土器	(18.4) (3.8) —	外一粘土襷上げ痕 口縁スリット 内一口縁大きく 外傾 横位ハケ目整形	普通 細砂 F M 7.5YR 5/3	口縁残 X 五鉢I
6	#	土師器 壺 形土器	(19.2) (3.5) —	外一横位ハケ目整形後、斜位窓ナゲ調整 内一複合 口縁 頭部から口縁にかけ腰やかに外反、直立 全 体にハケ目整形 窓ナゲ調整	良好 細砂 F多 2.5YR 5/6	口縁残 X 五鉢I
7	#	上部器 壺 形土器	— (2.5) 6.6	底一平底 — 木蓋痕	普通 砂粒 F M Q 7.5YR 4/3	底部残 X 不明
8	#	土師器 台付壺 形土器	— (7.7) 10.0	接合部から直線的に開き、腹部で若干内弯 外一主 にハケ目底位整形 内一底部窓ナゲ整形 器部横位 ハケ目整形	普通 細砂 F多 M 7.5YR 5/4	底部残 Y 五鉢I
9	#	上部器 台付壺 形土器	(7.0) 10.6	接合部から弧く直線的に開く 外一主に底位ハケ目 整形 内一底部横位窓ナゲ痕 接合部窓ナゲ整形	やや良好 細砂 F多 5YR 7/6	台部残 X 五鉢I
10	#	土師器 器台 形土器	6.4 (2.0) —	器受部若干内弯。大きめ外傾 中央孔径1.5cm 外 窓磨き整形 口縁凹窓ナゲ整形 全体に剥落激し い 内一窓磨き痕	普通 砂粒 F M 10YR 5/6	器受残 Y 五鉢I

番号	遺構	器種	法量	形態と文様	焼成・胎土・色調	備考
第258回 11	SI 84	七頭器 形土器	(3.3) 9.7	直線的に大きく開く 推定孔数3 外一端若干向かい泡ナゲ形 内一外方向からのハケ日格形	普通 砂粒 F M 10YR 5/6	脚部残 X 五箇
12	SI 187	上部器 环 形土器	(16.1) (5.7) —	緩やかな腰をなし、内彎ぎみに外上方に延びる水滴形 成形 外一軽い鋸歯き 内一尾端 黒色処理 口縁端部丸くおさまる 全体に薄手	普通 細砂 F 7.5YR 6/6	底部欠 X 同
13	SD 3	須恵器 壺	(36.8) (15.8) —	肩一大きく張る 口一垂直 上部で外彎、肩部やや尖りぎみにおさまる 外一口に櫛状工具による波状文 体部平行叩き目調整 内一同心円文 頭部削記 弓	良好 細砂 F M 7.5YR 6/1	口縁部 X 8世紀
14	#	須恵器 壺	— — —	外 格子口状のき目調整 内 同心円文 — 13と同一片	— — —	体部残 X 8世紀
15	K8es	須恵器 壺	14.1 4.2 6.3	底一平底 体部、底部の境界に明瞭な稜を持つ 体一外彎 外上方に延びる 口一端部丸くおさまる 体部下端部手持見取り調整 底部西軸盤切り後、方向の軽い静止座ナゲ調整	ややあまい 細砂 F M Q 5YR 7/2	完形 地山 9世紀

### (3) 底部 (第259・260図)

当遺跡の遺構及びグリッド出土の底部片で、形態が復元可能なものは総数391点になった。これらの底部片は無文が多く、文様構成から型式に区別することには無理があったが、形態を幾つかに類別することはできた。器形全体が同類に属するものでも法量の相違により、底部からの立ち上がりの形状は、底部の張り方や傾斜角等に微妙な差異を示すため、類別基準を可能な限り細分してみた。

#### A類

A-1, 2は、平底部から直立して1~2cmほど立ち上がり、外傾して直線ぎみに胴部に至っており、平底端部は張り出さず直角に近くなっているものである。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに加えられる底部片数は11点あり、すべて無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、雲母を少量と長石を微量に含み、焼成は普通である。

#### B類

B-1~3は、平底部から直接直線ぎみに外傾して立ち上がり胴部に至っており、平底端部はA類より鈍角であるが張り出しが無いものである。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに加えら

れる底部片数は57点あり、RL縄文施文のもの2点、RL縄文を施文に沈線Bによる懸垂区画内磨消文のもの4点のほかは無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、石英、雲母を少量と長石を微量に含み、焼成は普通である。

#### C類

C-1~3は、平底部から緩やかに立ち上がり、若干外傾して直線ぎみに胴部に至っており、平底端部は張り出しを有さず彎曲しているものである。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに加えられる底部片数は16点あり、LR縄文施文のもの1点、RL縄文を地文に沈線Bによる懸垂区画内磨消文のもの(C-1)2点、沈線Bによる懸垂区画内に不明の縄文を疎に充填したもの(C-2)2点、沈線Aによる平行する曲線区画内に不明の縄文を施文のもの1点のほかは無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、石英、砂礫、雲母を少量含み、長石粒の混入を認めるものもある。焼成は普通である。

#### D類

D-1, 2は、平底部から緩やかに立ち上がり、極わずかに内彎しながら外傾して胴部に至っているものである。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに加えられる底部片数は22点あり、沈線Bによる懸垂区画内にRL縄文を疎に充填したもの(D-2)2点、LR縄文を疎に充填したもの1点、LRの細粒縄文が懸垂区画内に施文したもの1点、同懸垂区画の無文部が狭くLR縄文の充填部に更に1本懸垂文を付加したもの1点、3本の沈線Bによる懸垂文を有したほかにRL縄文を施文したもの1点、縦位の条線文のもの2点のほかは無文である。総じて、砂粒を多く、長石、雲母を少量含み、焼成は普通である。

#### E類

E-1~3は、胴部径に比して底部径が極めて小さく、底部から立ち上がって直ぐ外反し、しなうように大きく外傾して胴部に至っているものである。胴部は下位で膨らむものと思われる。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに数えられる底部片は44点あり、底部辺文様は、沈線Bによる曲線モチーフ(E-2)1点、RL縄文施文のもの2点、LR細粒縄文施文のもの1点のほかは無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、雲母を少量、長石粒、長石、石英を微量に含み、焼成は普通である。

#### F類

F-1~3は、E類、G類の中間的位置付けのもので、底部はG類ほど張り出さず立ち上がり、底部辺はE類ほど外反しないで緩やかに胴部に外傾しながら至っているものである。胴部は下位から中位ほどで膨らむものと思われる。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに数えられる底部片は48点あり、底部辺文様はRL縄文施文のもの1点のほかは無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、雲母を少量、長石を微量に含み、焼成は普通である。

#### G類

G-1～3は、平底端部がF類よりはきつく張り、若干外傾して立ち上がったものが更に外傾の角度を増して極わずかに内傾しながら胴部に至っているものである。胴部径に比して肩部径が極めて小さい。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに数えられる底部片は73点あり、底部片文様は、ヘラ磨き調整のもの（G-2）3点、RL繩文施文のもの（G-3）1点、LR繩文施文のもの1点、沈線Bによる3本の懸垂沈線文外に繩文施文のもの1点、沈線Bによる懸垂文とRL繩文施文のもの1点のほかは無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、長石、雲母を少量含み、焼成は普通である。

#### H類

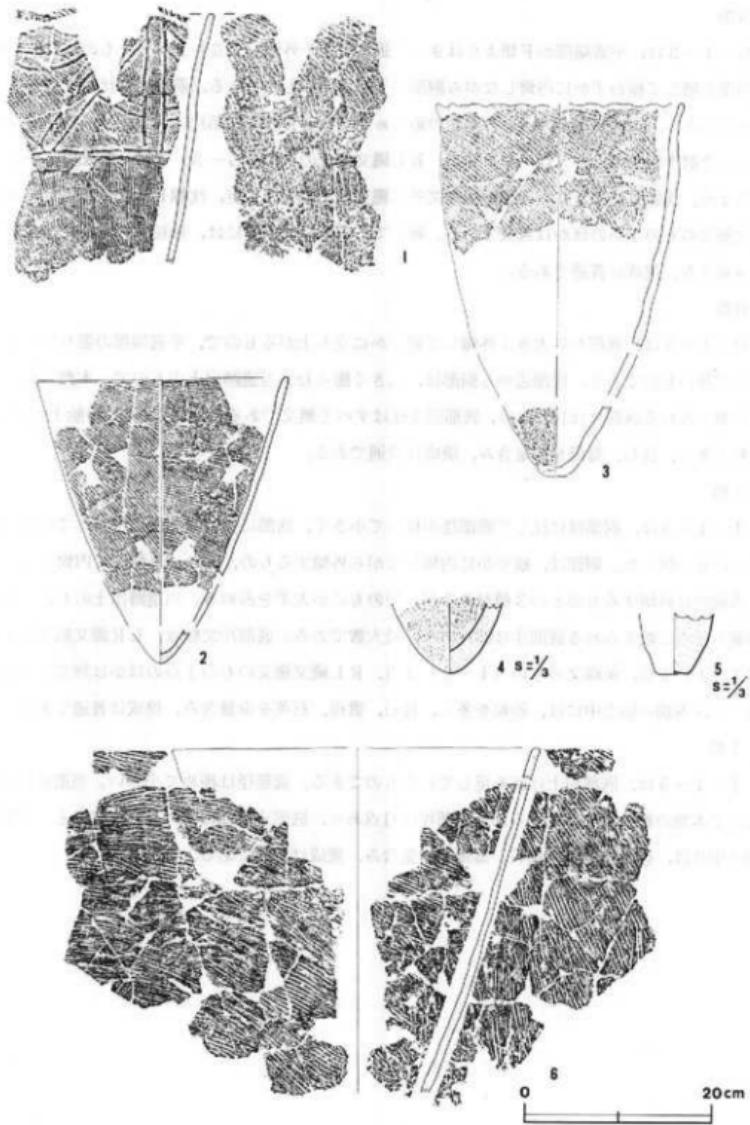
H-1～3は、底部から大きく外傾して緩やかに立ち上がるもので、平底端部の張り出しあはとんど無いものである。底部辺から胴部は、大きく膨らむ。当遺跡出土のもので、本類の範ちゅうに数えられる底部片は18点あり、底部辺文様はすべて無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、長石、雲母を少量含み、焼成は普通である。

#### I類

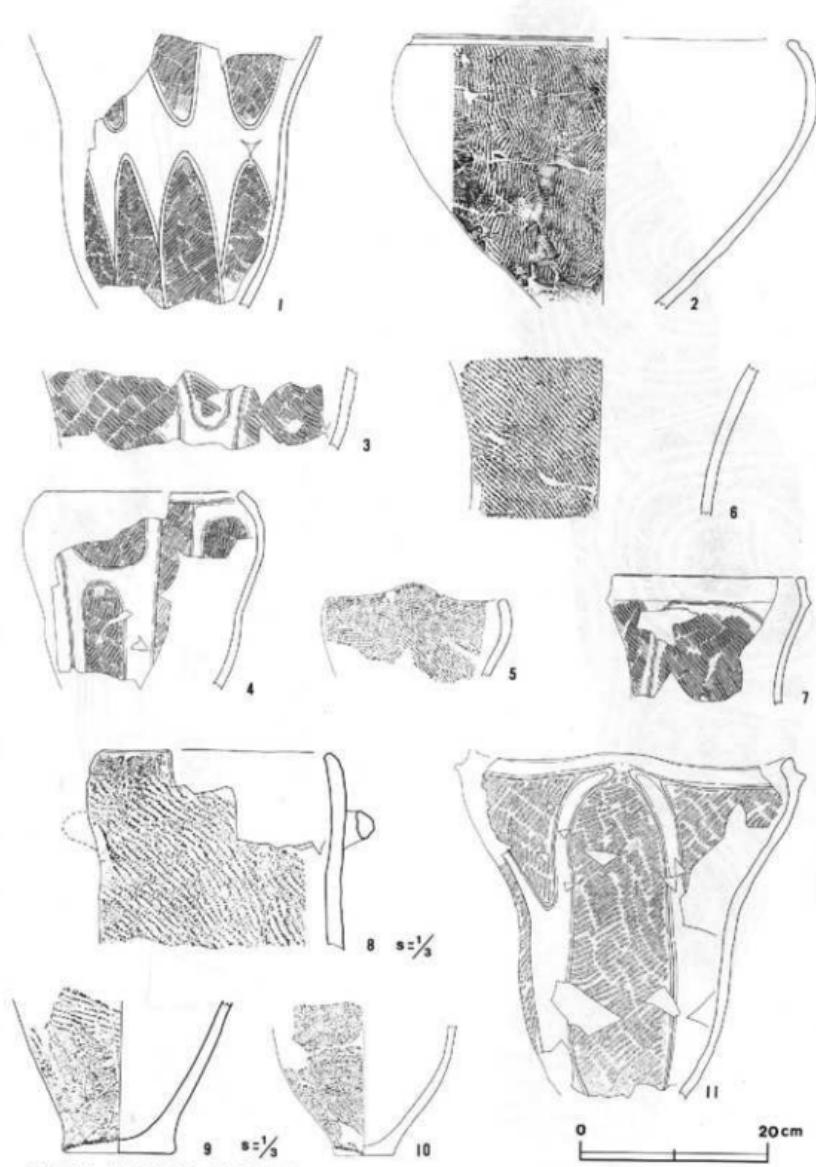
I-1～3は、胴部径に比して底部径が極めて小さく、底部に強い張り出しを有して胴部に至るものの一括した。胴部は、緩やかに内傾しながら外傾するもの、大きく外傾して内傾するものと直線的に外傾するものとの3種があるが、先のものが大半を占める。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに数えられる底部片は93片あり、最大数である。底部片文様は、LR繩文施文のもの（I-1）1点、条線文のもの（I-2）2点、RL繩文施文のもの1点のほかは無文である。総じて、本類の胎土中には、砂粒を多く、長石、雲母、石英を少量含み、焼成は普通である。

#### J類

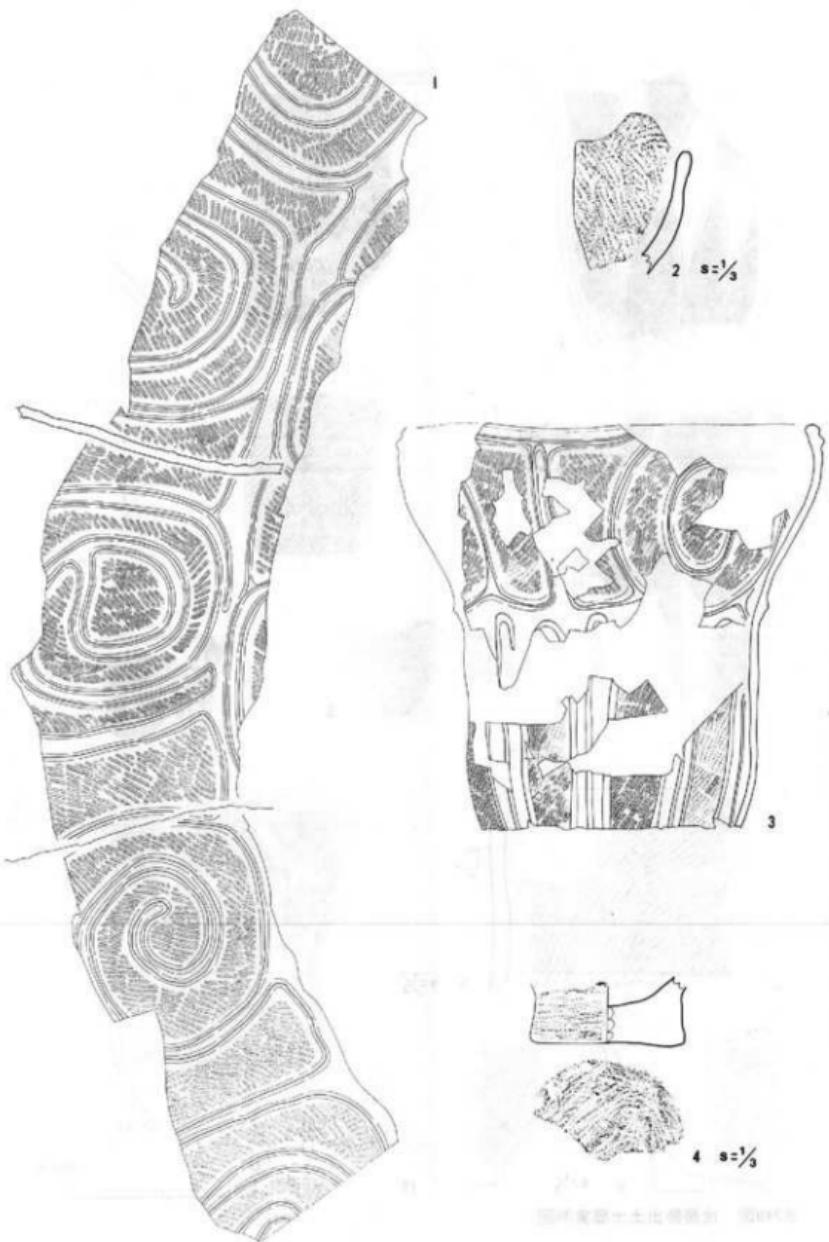
J-1～5は、底部が上げ底を呈しているものである。底部径は極めて小さい。当遺跡出土のもので本類の範ちゅうに数えられる底部片は11点あり、底部辺文様はすべて無文である。本類の胎土中には、砂粒を多く、長石、雲母を少量含み、焼成は普通である。



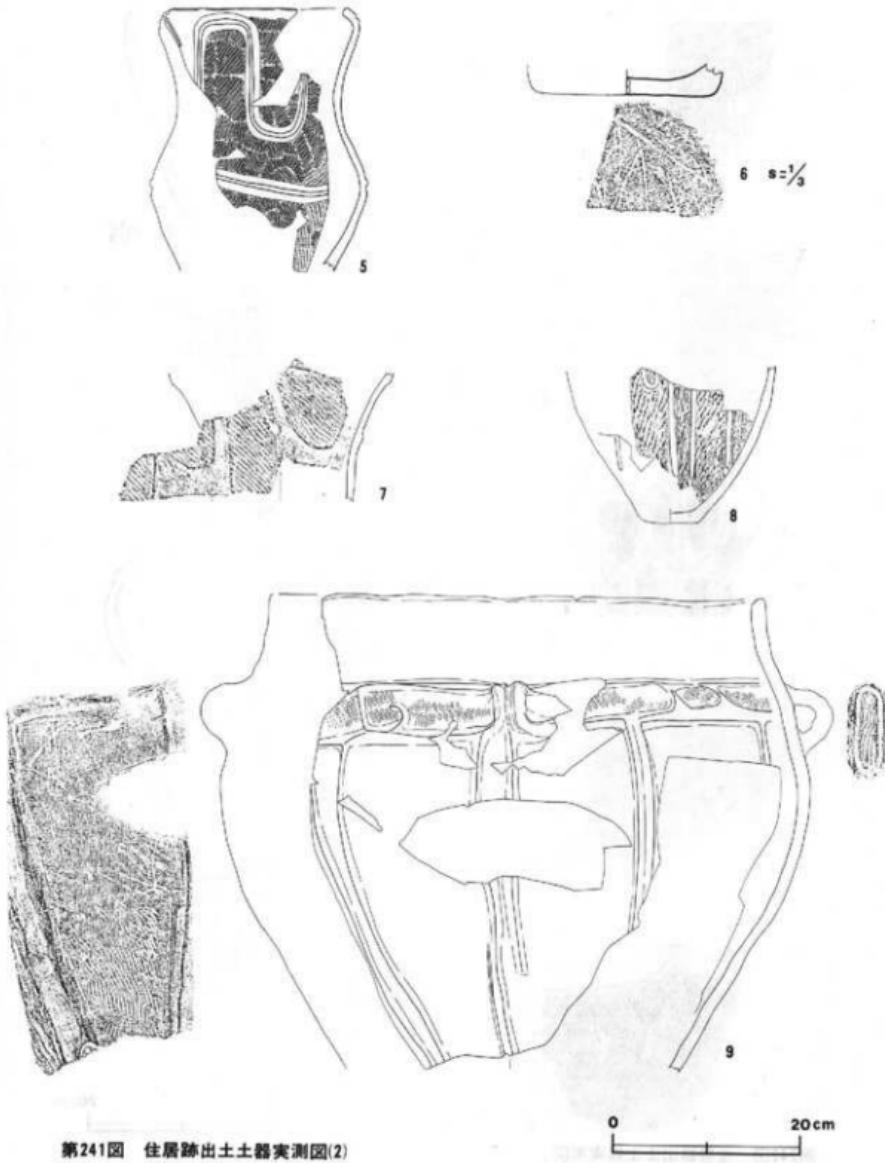
第239图 炉穴出土土器实测图



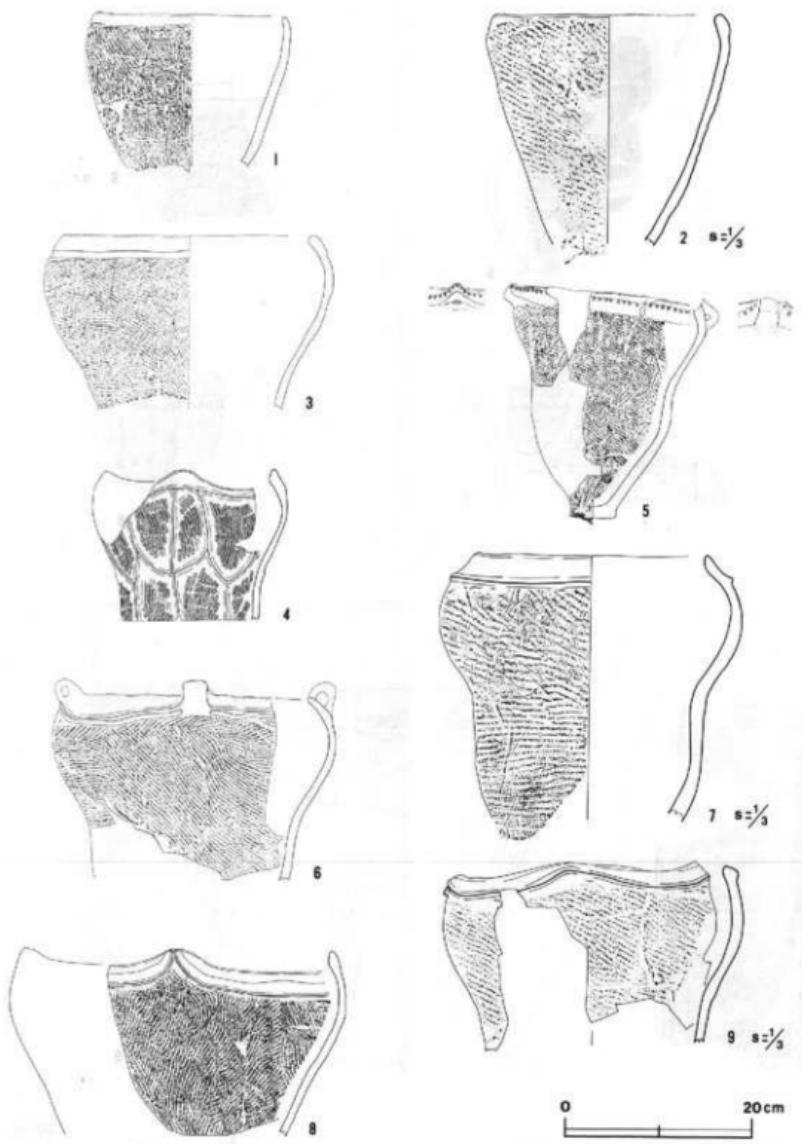
第240図 住居跡出土土器実測図



第241図 住居跡出土土器実測図(1)



第241図 住居跡出土土器実測図(2)



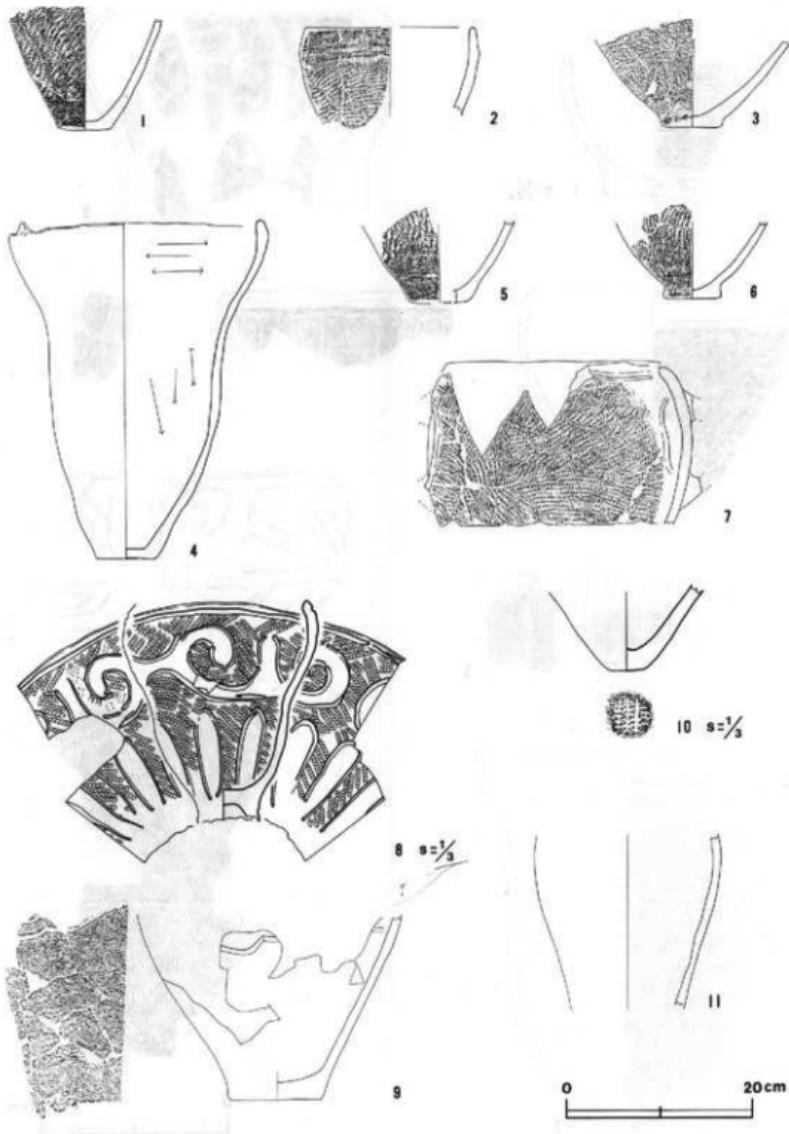
第242図 住居跡出土土器実測図

（図242）第242図 住居跡出土土器実測図



第243図 住居跡出土土器実測図

日本古墳時代の土器

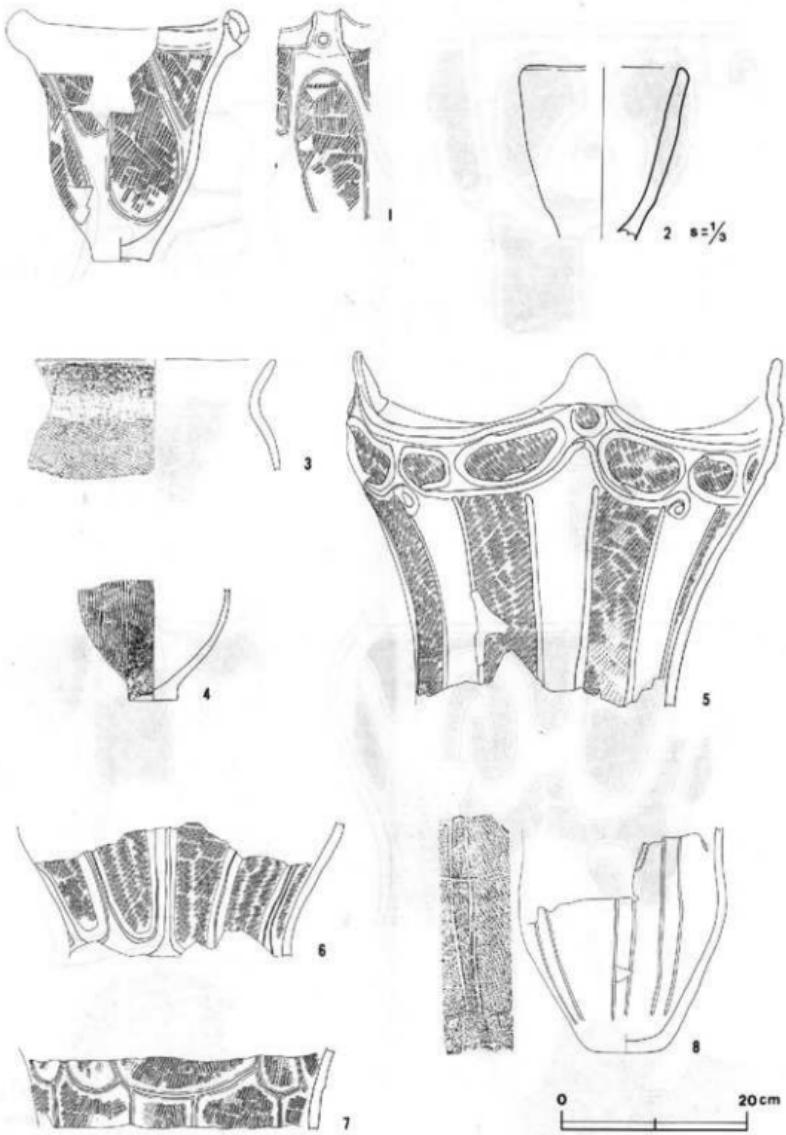


第244図 住居跡出土土器実測図

図244-1-11

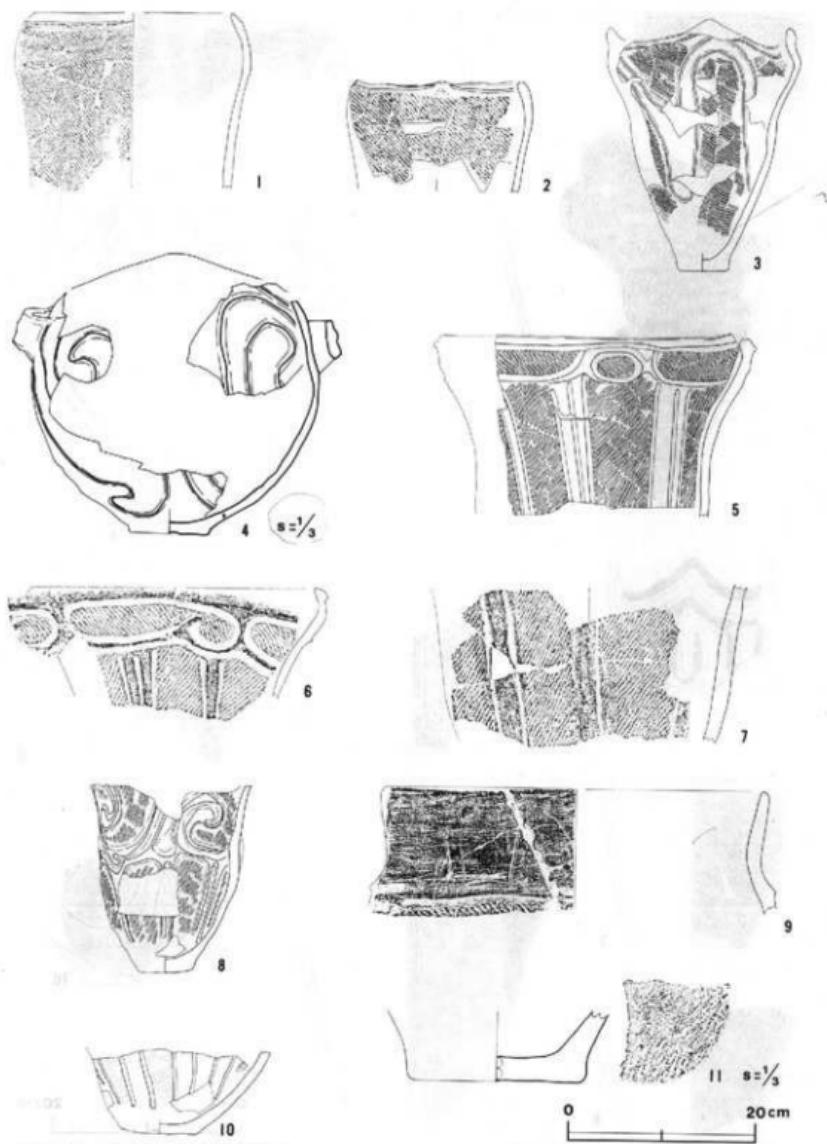


第245図 住居跡出土土器実測図



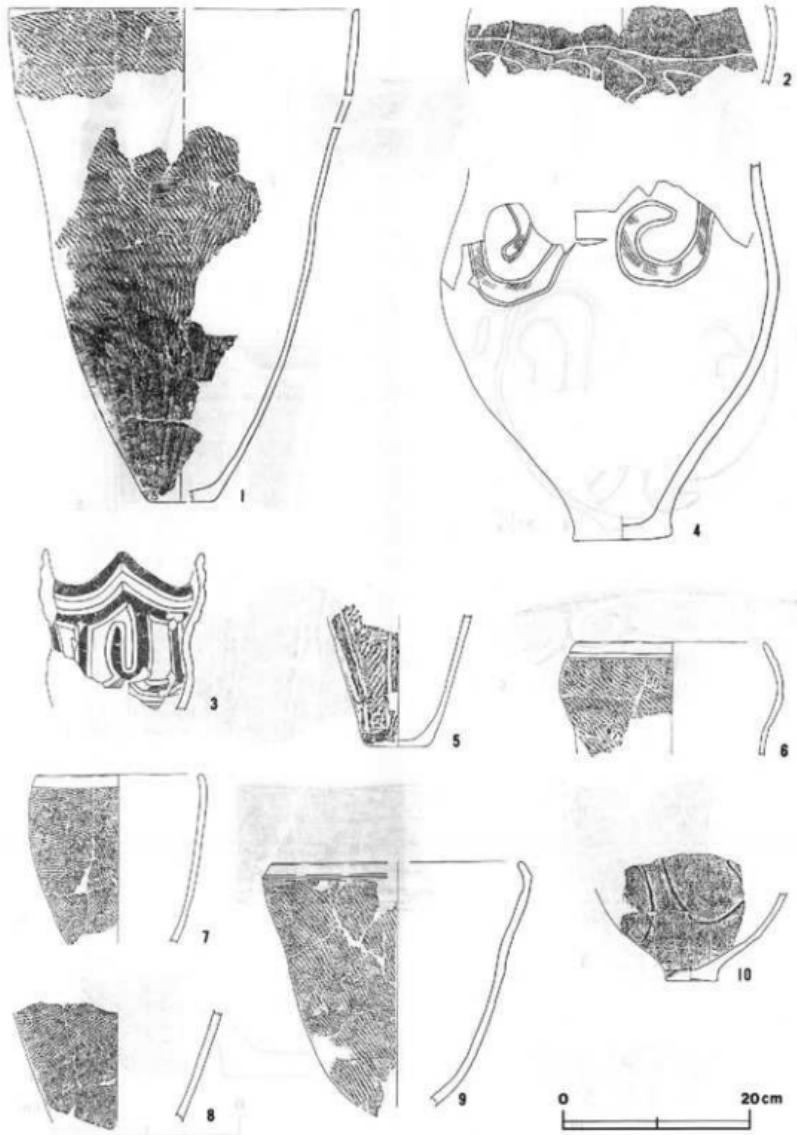
第246図 住居跡出土土器実測図

調査実測図 第246図



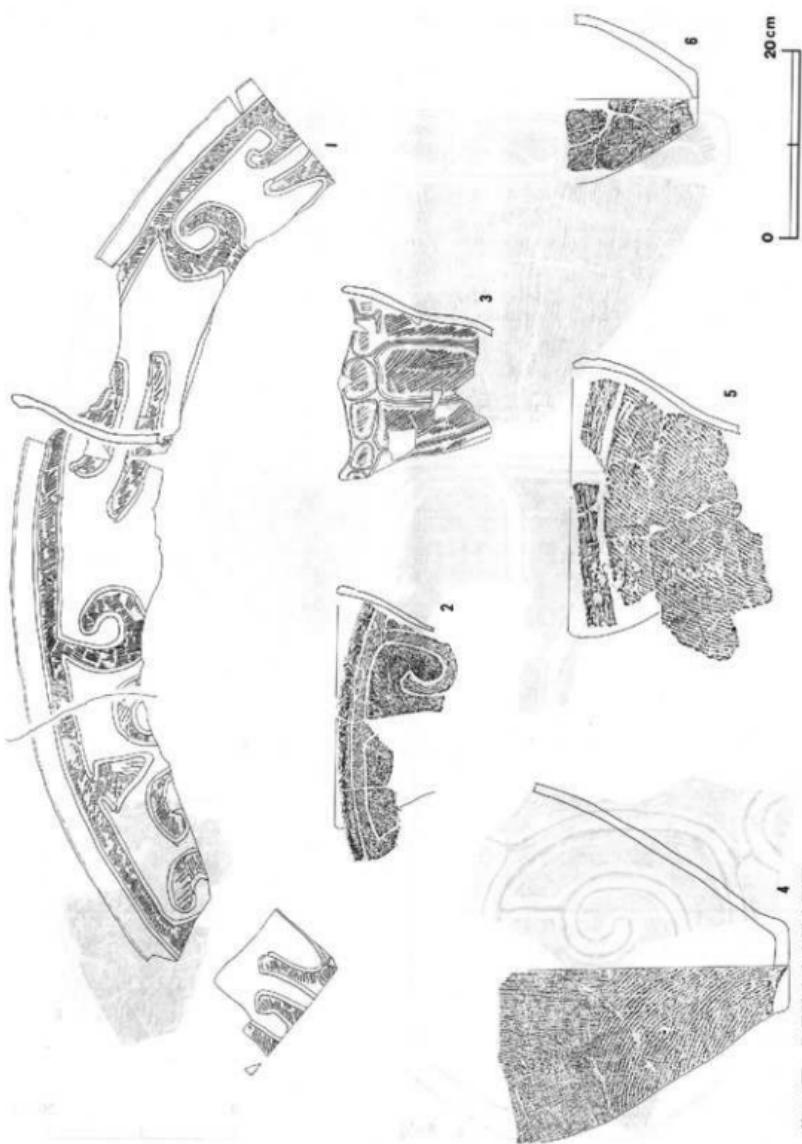
第247図 住居跡出土土器実測図

河内實測土器出土地図



第248図 住居跡出土土器実測図

同西竈跡出土土器実測図

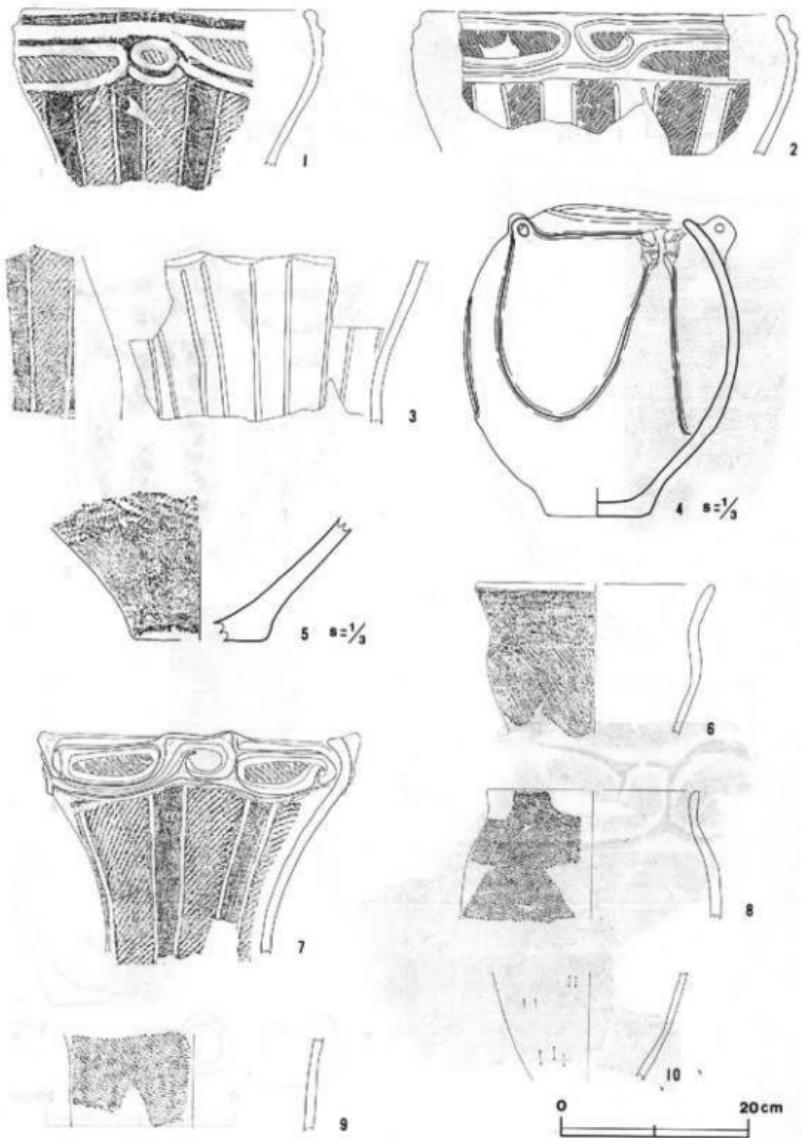


第249図 住居跡出土土器実測図

10号房跡出土陶土、螺旋紋 100件

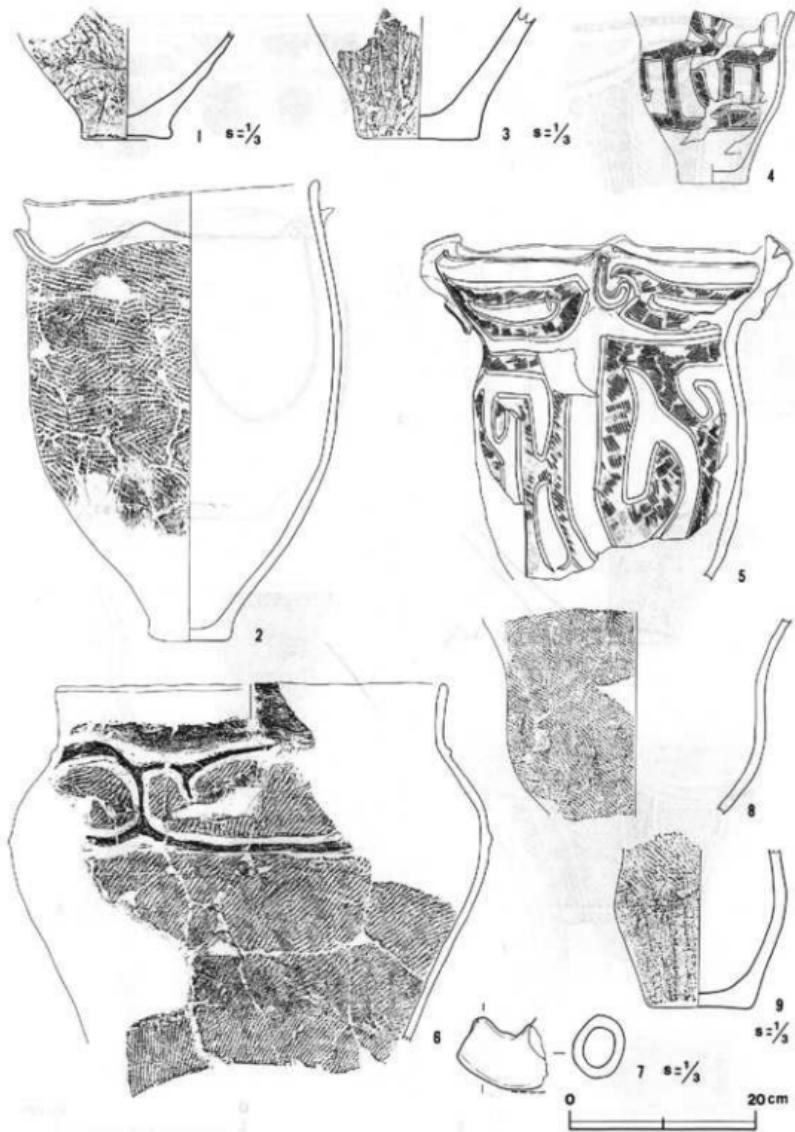


第250図 住居跡・土壤出土土器実測図



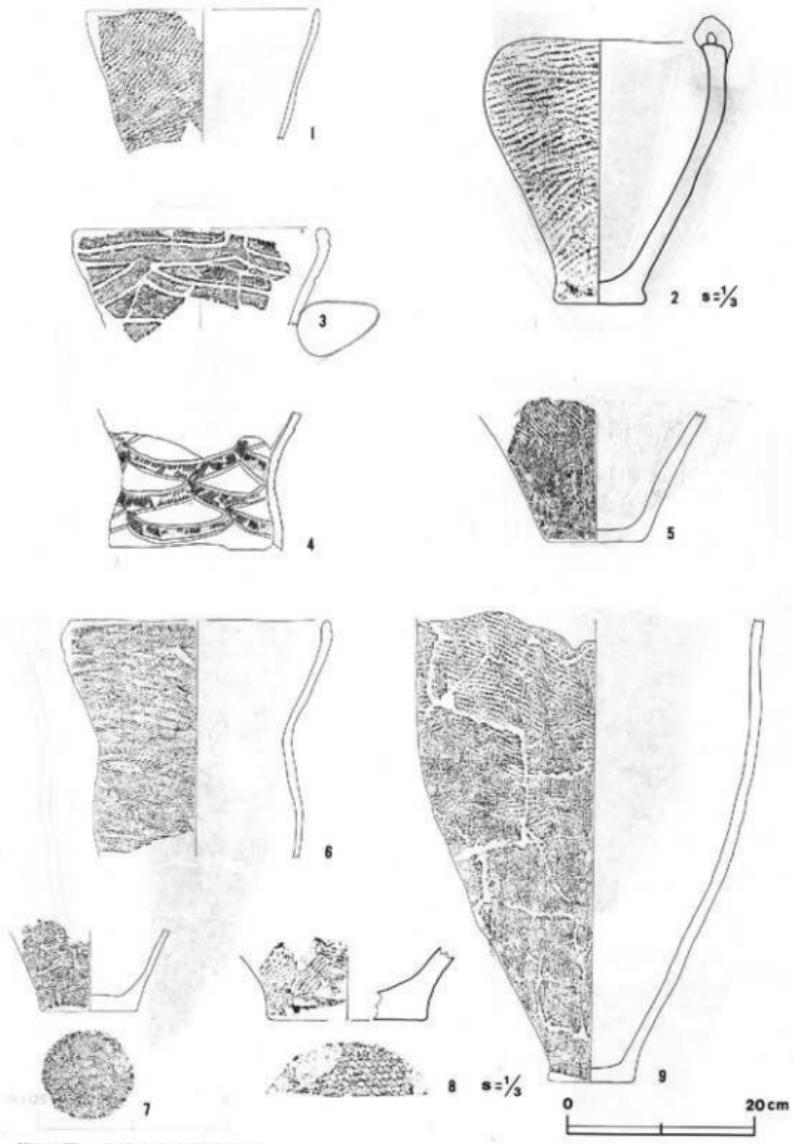
第251図 土壤出土土器実測図

國立考古學研究所出  
國立考古學研究所出



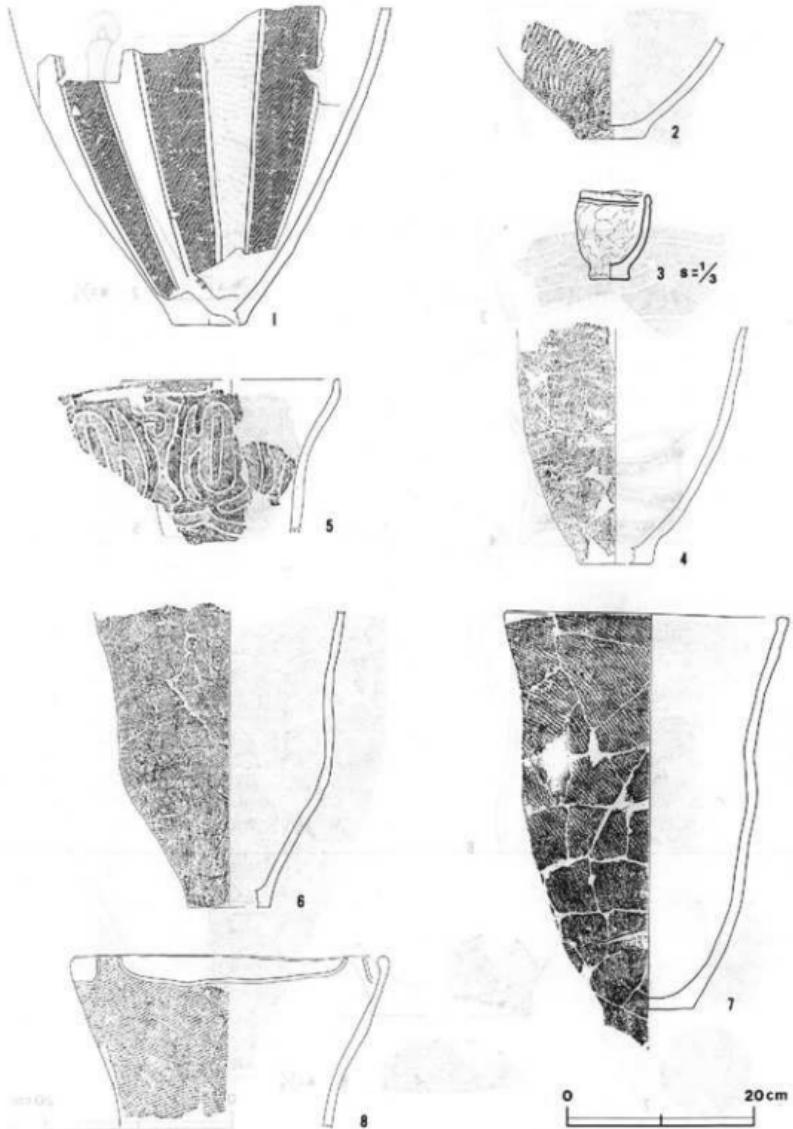
第252図 土壤出土土器実測図

泥炭地帯出土土器実測図



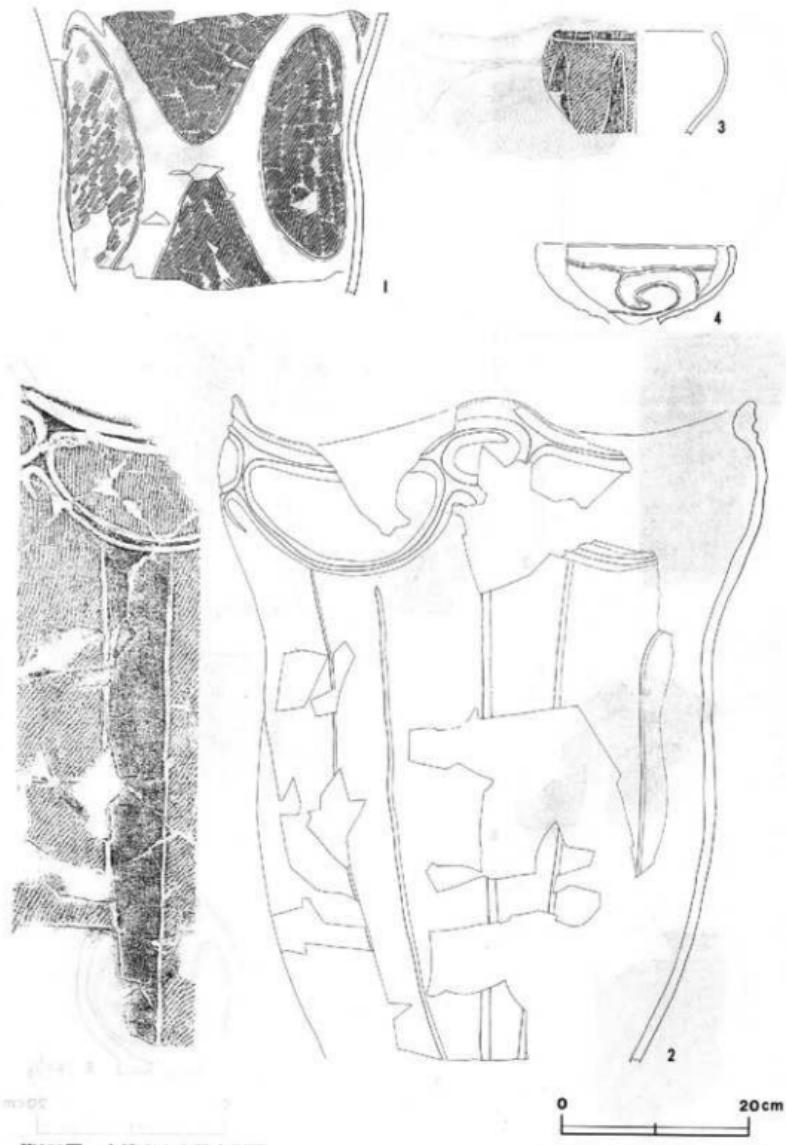
第253図 土壤出土土器実測図

鳥取県東部出土物 土器



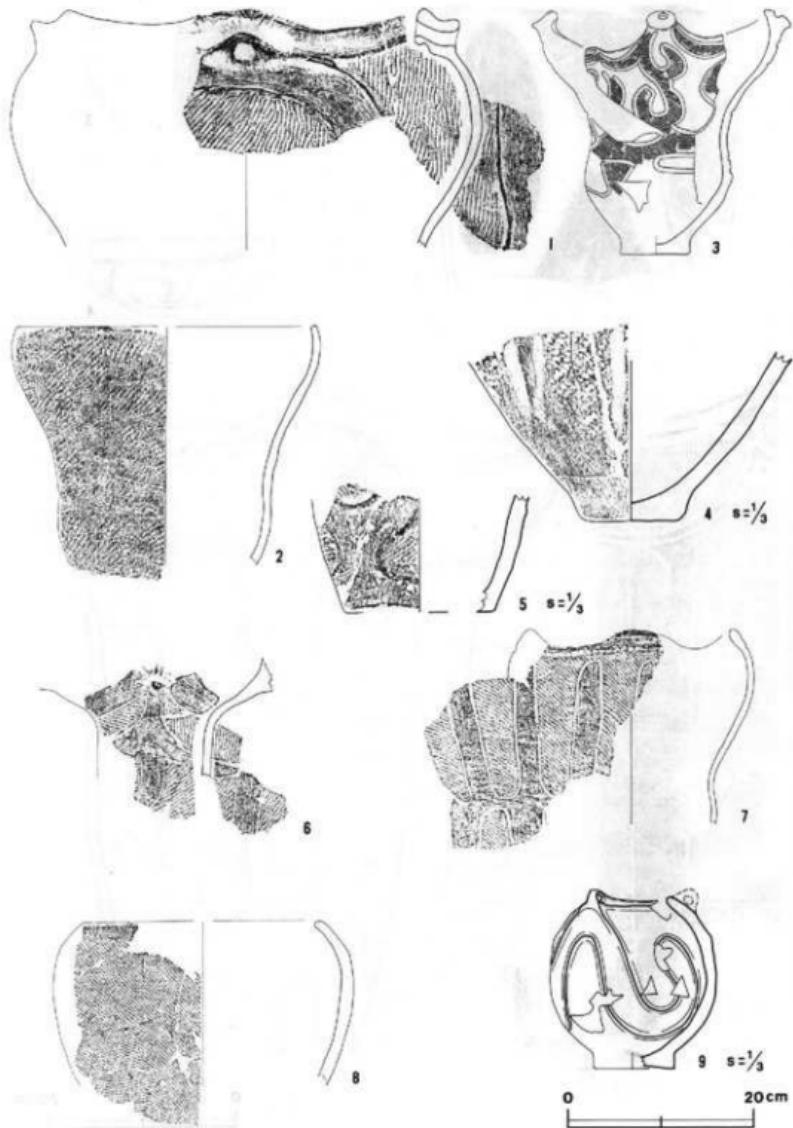
第254図 土壤出土土器実測図

昭和28年土器出土壤 圖165



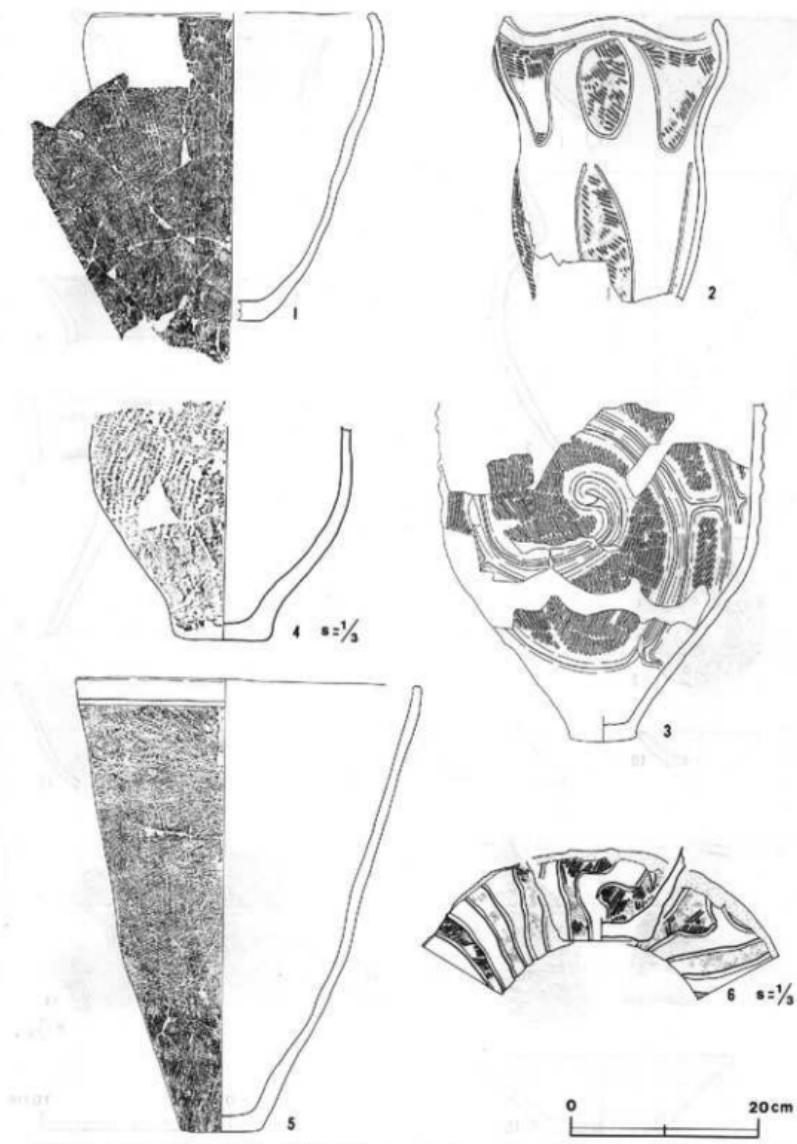
第255図 土壤出土土器実測図

西日本某土器出處 圖255

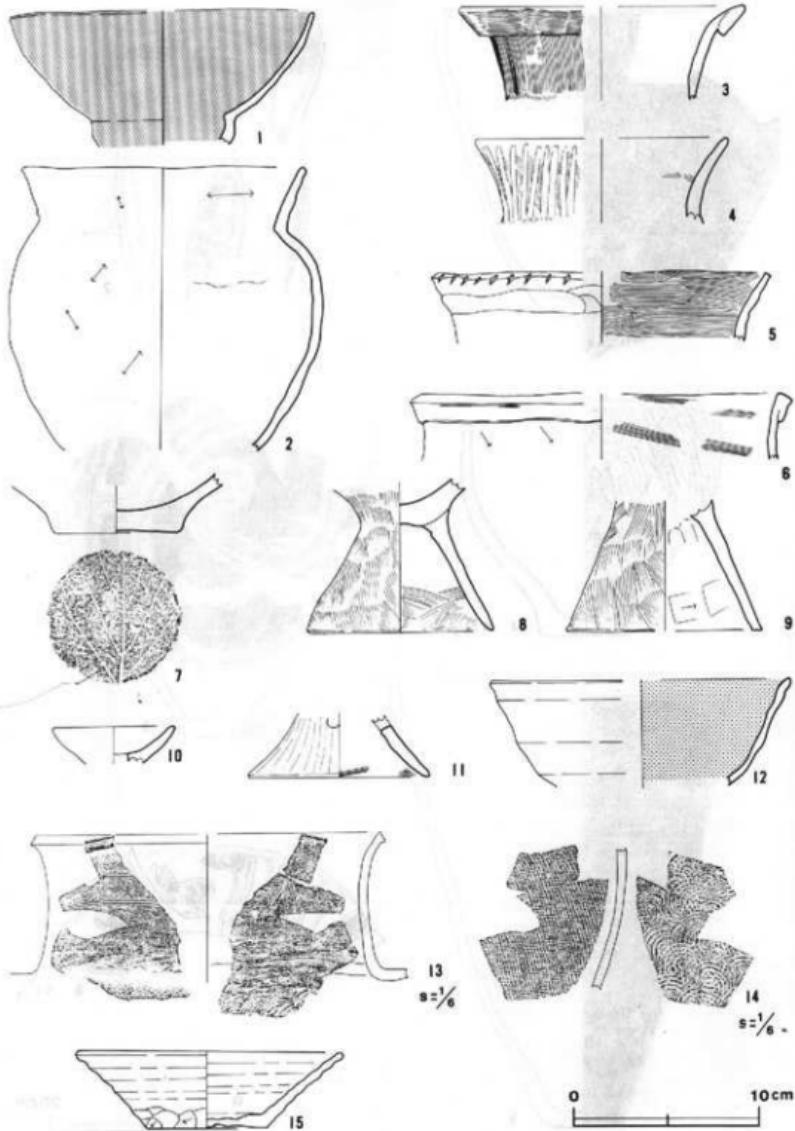


第256図 土壤出土土器実測図

現場実器土出點上 土器部

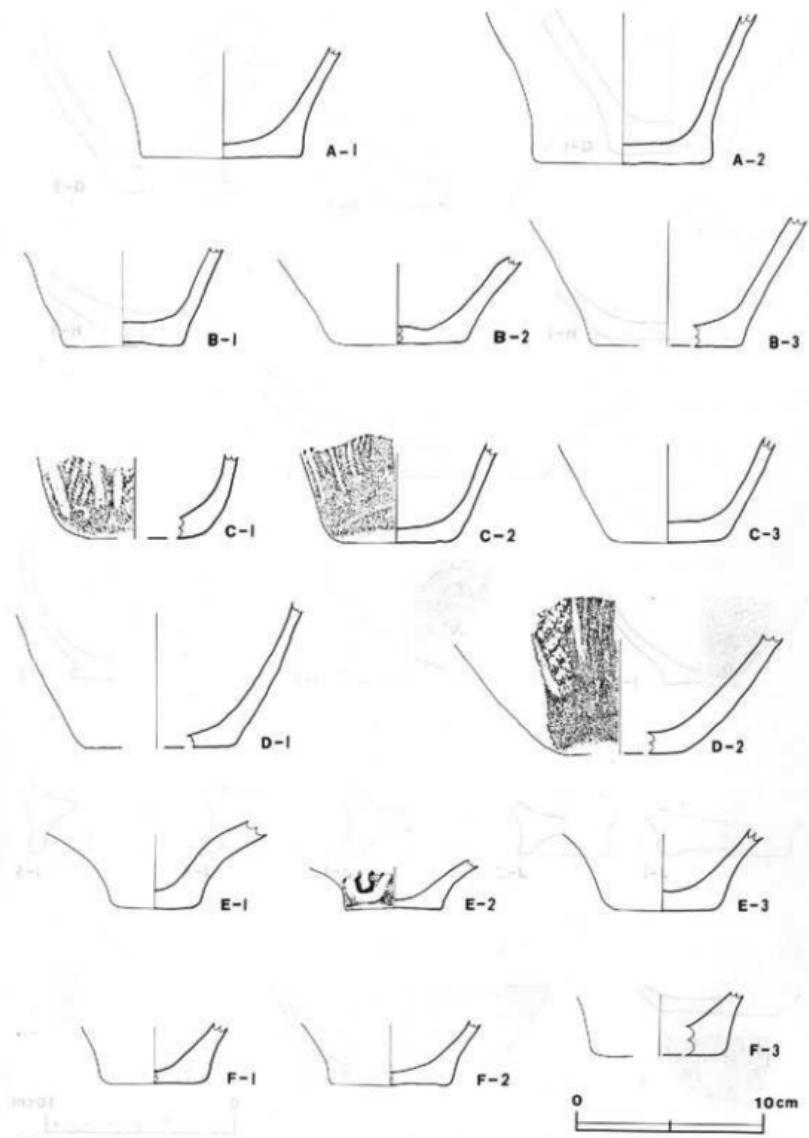


第257図 土壌・グリッド出土土器実測図



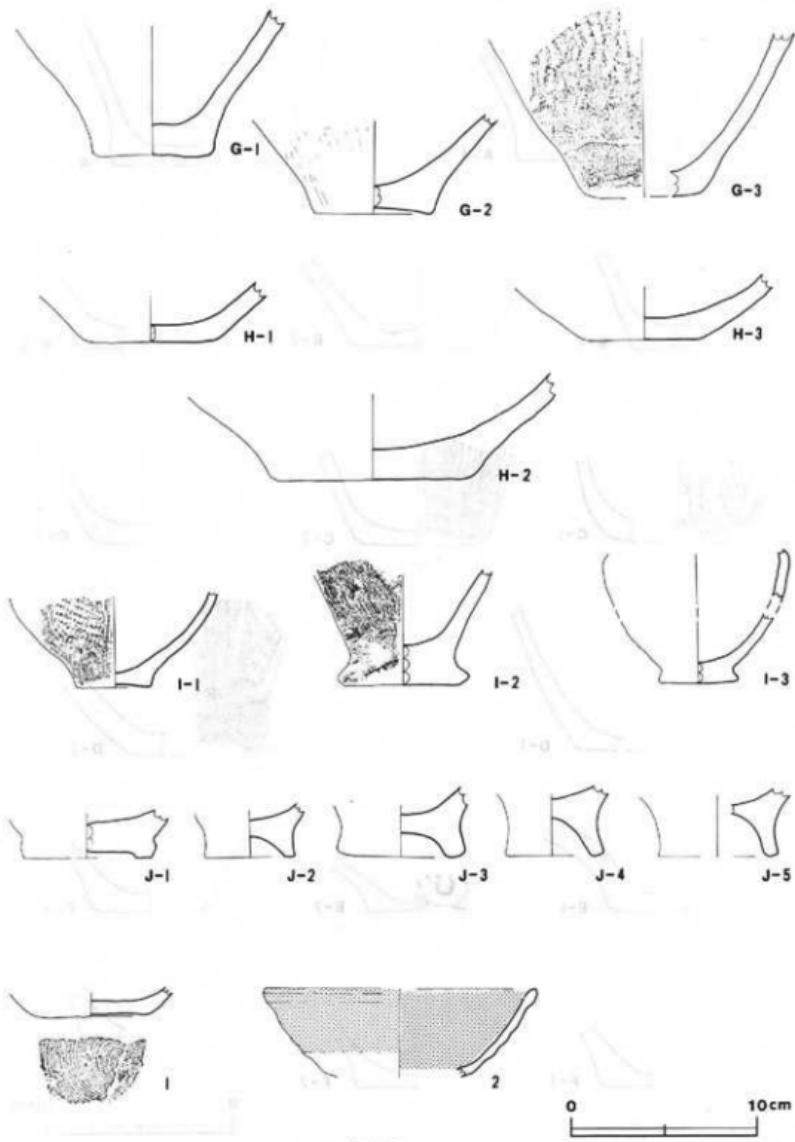
第258図 住居跡・溝・グリッド出土土器実測図

西田・大河内・伊藤・山本著  
昭和25年1月発行

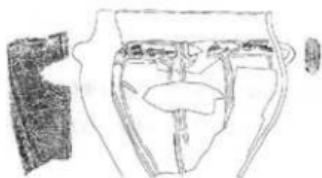


第259図 底部実測図

因托河底土石出露断面、因托河床底、因托河底



第260図 底部実測図・住居跡出土土器実測図



1—第241図9



6—第242図5



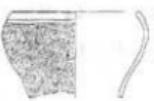
7—第242図6



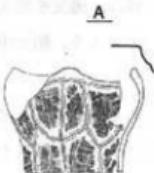
2—第242図1



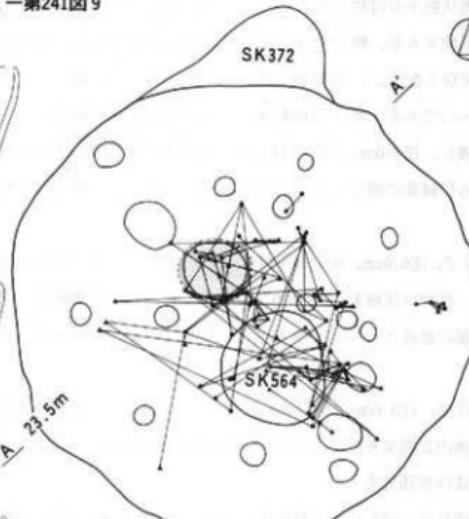
3—第242図2



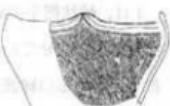
4—第242図3



5—第242図4



8—第242図7



9—第242図8



10—第242図9

S I 40

第261図 第40号住居跡出土土器状態図

#### (4) 把手 (第262~264図)

当遺跡で出土したものの内で、装飾性の強い把手を取り扱った。

1は、円筒状把手の破片で、径3.8cm、現存長5.4cm。全側面に縄文を施し、外面は横位3点・1単位の盲孔を3段穿っている。上面は皿状にくぼんでいる。口縁部に直立して付けられたものであろう。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

2は、円筒状把手に橋状把手が付加された破片で、径4.5cm、現存長5.4cm。上面は深い皿状のくぼみを有して円筒を形象するが、橋状把手との接合部から扁平となる。外面は縄文を地文に2本の沈線Bによる平行沈線を配し、口縁部側と沈線間に円列点文を施している。口縁波頂部の延長としてつけられたものである。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

3は、円筒状把手の破片、径4.0cm、現存長4.4cm。全側面が無文で、上面に沈線Bによる渦文を配している。外傾する口縁部に直立して付けられたものであろう。胎土に砂粒を含み、焼成は良である。

4は、輪状把手の破片で、径6.6cm、現存長5.0cm。上面は平坦で、孔を中心して沈線Bによる半月状文を対置させている。外面は沈線Bに円列点文を付加した区画内に細粒縄文を充填している。若干外傾する口縁波頂部の延長としてつけられたものである。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

5は、輪状把手の破片で、径5.6cm、現存長6.3cm。上面は平坦で、孔を内面と外面から穿っている。外面は沈線A区画内に縄文を施している。口縁波頂部の延長として付けられたものである。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

6は、円筒状把手の破片で、径5.0cm、現存長5.7cm、上面から深い盲孔を穿っている。外面は沈線A区画内に縄文を充填した変形渦文を配している。口縁部に直立して付けられたものであろう。胎土中に砂粒を含み、焼成は普通である。

7は、円筒状把手の破片で、径3.6cm、現存長4.0cm。上面から深い盲孔を穿っている。全側面が無文であるが、口縁部とを横位の微隆起線Aで区画している。口縁部辺の文様は、縄文を地文とした微隆起線Aの曲線で構成されている。口縁部に直立して付けられたものであろう。胎土中に砂粒、長石を含み、焼成は普通である。

8は、輪状把手の破片で、径3.7cm、現存長3.2cm。上面は指頭によるとと思われる渦文を配している。外面は縄文を地文とした沈線Bの曲線を配している。口縁波頂部の延長として付けられたものである。胎土中に砂粒を含み、焼成は普通である。

9は、円筒状把手に橋状把手が付加された破片で、径3.8cm、現存長6.3cm。上面はほとんど平坦である。橋状把手外面に縄文を施している。口縁部に直立して付けられたものであろう。胎土は砂粒を含み、焼成は普通である。

10は、筒状把手に橋状把手が付加された破片、径2.4cm、現存長3.0cm。上面が皿状にくぼみ、装着部から先端に向かって若干開きぎみ。口縁部装着部に小さな橋状把手を付けている。全面無文で、上面は皿状にくぼんでいる。口縁部を微隆起線Aで調整後、繩文を施している。平縁部に直立して付いている。

11は、輪状把手の破片で、径4.5cm、現存長2.2cm。中央部に盲孔を配し、上下に対置して刺突文、左右に対置して半月状文を配し、上下面に貫通する孔を穿っている。口縁部頂部の延長として付けられたものである。外面に繩文を粗略に施している。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

12は、「8」字状把手で、幅5.0cm、現存長10.4cm。波状口縁部外面に貼り付けている。口縁部は微隆起線A区画内に円列点文を配し、「8」字状の粘土紐に沈線Bによる「8」字をなぞっている。胎土は砂粒を含み、焼成は普通である。

13は、蛇形頭部把手の破片で、幅4.9cm、現存長8.6cm。帯状粘土紐で形象している。作山方法は「8」字状把手に酷似し、先端部をとがらせ頬を張らせた頭部と、頭部下とを「8」字状の交差部で区別している。頭頂部は「U」字状に調整している。口縁部に若干外傾して付けられていたものであろう。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

14は、「8」字状把手で、幅5.5cm、現存長10.0cm。作出方法、口縁部文様構成は12と同じ。胎土は砂粒を含み、焼成は普通である。

15は、「8」字状把手で、幅5.9cm、現存長8.1cm。帯状の粘土紐のみで作出了したものである。胎土は砂粒を含み、焼成は普通である。

16、17は、輪状把手に橋状把手が付加された破片である。16は幅4.8cm、現存長9.4cmで、波状口縁部外面に貼り付けたもので輪状部が盲孔。17は幅5.4cm、現存長8.9cmで、口縁部頂部に突出して付けたもので輪状部が有孔のもの。いずれも微隆起線Aに繩文を施したもの。胎土は共に砂粒、石英を含み、焼成は概して普通である。

18、19、20は、橋状把手の変形で、口縁部頂部と平縁に突出して付けられたものである。18を除いては橋状部外面と上面を穿孔し、更にその孔縁部をなぞって陸帶Bによる「S」字状文を配している。18は繩文を施したものの、20は微隆起線Aに繩文を施している。いずれも幅3.5cm、現存長5.9cmで、胎土に砂粒、長石を含み、焼成は概して普通である。

21は、橋状把手の変形したもので、「8」字状、あるいは輪状把手に付加されていたとみられる。幅2.0cm、現存長5.0cm。帯状の粘土紐を外面から緩やかに折り返し、ずらして内面に貼り付けている。外面には2列の円列点文を配している。口縁部頂部であろう。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

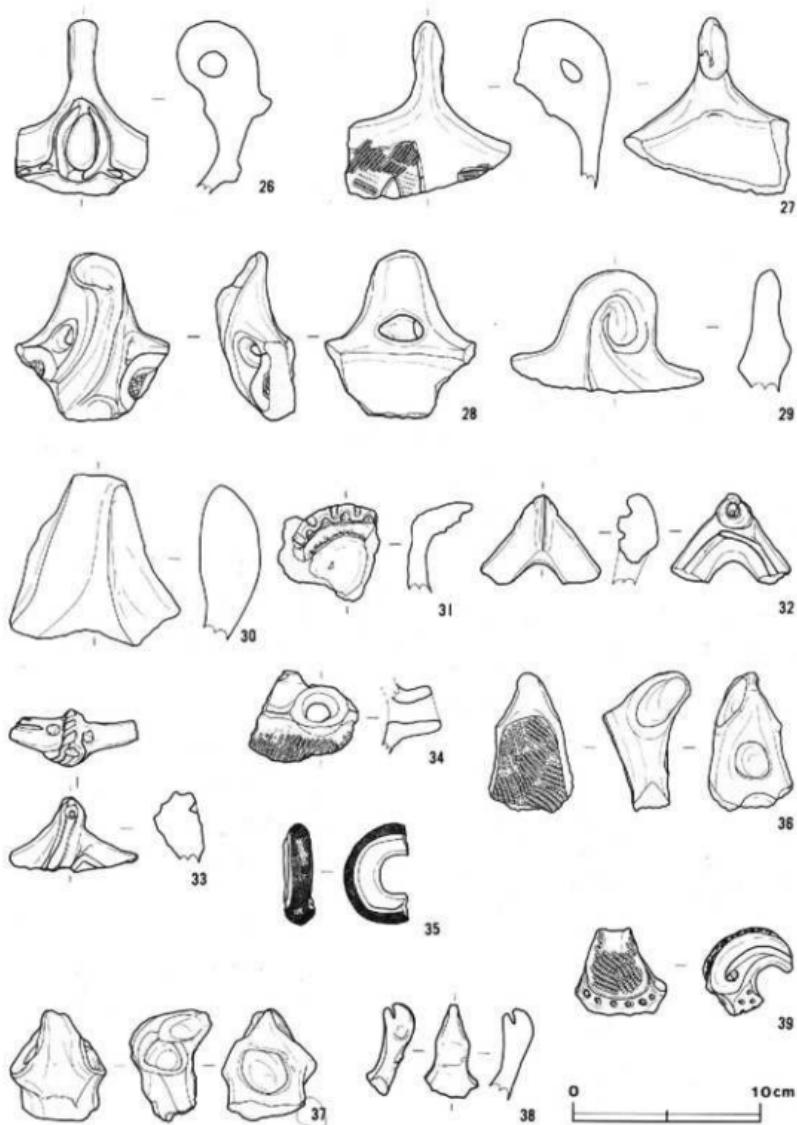
22は、橋状把手上部に帯状粘土紐による斜位の円筒状突起を有しているもので、幅3.8cm、現存



第262図 把手実測図



第263図 把手実測図



第264図 把手実測図

長8.8cm。橋状部外面に繩文を施している。口縁波頂部の延長として付けたものであろう。胎土は砂粒を含み、焼成は普通である。

23, 24, 25は、橋状把手で、平縁に若干突出して付けられたもの。23は、幅4.0cm、現存長5.1cmで、外面に円列点文を配している。24は、「U」字状断面を呈し、「Y」字状胴部文様の磨消部が號り上がった波頂部であろう。25は、横位に付けられたもの。23, 24, 25とも胎土は砂粒を含み、焼成は普通である。

26~33は、口縁部突起状の把手である。口縁部文様は、26が突起下に輪状の貼付文を有し、沈線B内に円列点文を配したもの。27は沈線Aによる曲線モチーフ内に繩文を充填したもの。28は繩文を地文にした沈線Bによる構造文と思われるものを配している。29は隆沈文Aによる渦文を突起部に配したもの。30は無文。31は輪状把手とみられるもので、交瓦円刺突による齶歯状文を配したもの。32は内面に沈線Bを配し、円文を貼り付けたもの。33は沈線Bを突起部稜線上になぞり、頂部に盲孔、口縁部に沿って孔を貫通させたもの。26, 27, 30は胎土に砂粒、石英粒を含み、28, 29は胎土に砂粒及び長石を含む。31~33は胎土に砂粒、長石、石英を含み、焼成は概して良好である。

34は、注口状の把手で、径3.2cm、現存長3.7cm。口縁部辺に横に突出して付けられ。口縁部文様は微隆起線Aと繩文で構成している。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

35は、環状の把手で、径5.3cm。外面に細粒繩文を施している。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

36は、蛇形頭部把手の破片で、幅3.5cm、現存長7.0cm。頸部内面に円形のくぼみを有し、頭部両側面にも梢円形のくぼみを施している。頭部のとがりと両側面のくぼみで、頸の張った蛇をデフォルメしている。背面に繩文を施している。口縁波頂部に付けたものとみられる。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

37は、蛇形頭部把手の破片で、幅5.2cm、現存長5.4cm。三角形で、頭部は厚く膨らみ、頸がとがる。盲孔が両側面にあり、盲孔を巻くように頭頂部から先端の口に至るまでを「U」字状にナデ調整している。口部は両側面からくぼませ、内面咽部に円形の盲孔をくぼませている。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

38は、蛇形頭部把手の破片で、幅1.9cm、現存長3.9cmの細身である。先端部両側面をくぼませ、頭部を張らせている。口部はヘラ状工具により8mmほど刻まれ開口する。頸部背面の一部が剥落している。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

39は、蛇形頭部把手の破片で、幅3.5cm、現存長3.8cm。三角形で、各端部はとがる。内面以外は皿状にくぼむ面で構成し、後頭部と頸部、頭部と両側面、頸部の背面と側面が鋭角に隆起している。頭部側面には刺突文による眼と、眼から口にかけての沈線を配し、ヘラ状工具による研磨

調整を施している。胎土に砂粒を含み、焼成は普通である。

37~39の蛇形頭部把手の破片は、口部を内面に向けて付けたものと思われる。

#### (5) 蓋形土器 (表8 第365図)

当遺跡から出土した蓋形土器は、下記の表のとおりである。

表8 蓋形土器解説表

番号	名 称	遺 構	長さ 幅 高さ	形 態 と 特 徴	出土位置
第365図 17	蓋形 土器	SI 159	6.45 6.3 1.1	円形 四端部を鋸なぐ中央部辺の把手が欠落したもの	X
18	蓋形 土器	SI 189	12.5 (5.1) 2.95	横円形 長径に尾根状の把手と端部に吊手用の孔	X

#### (6) 出土土器片 (表9 第265~347図)

当遺跡から出土した土器片は、次の表のとおりである。

表9 出土土器片拓影図解説表

図版番号	遺 構	文 種	作 出 方 法	出土 位置	時 期	備 考
第265図 1	FP 1		貝殻条痕文	X	野島	織錦混入
2	II		II	II	II	II
3	II		II	II	II	II
4	II		II	II	II	II
5	FP 7		II	II	II	II
6	II		II	II	II	II
7	II		II	II	II	II
8	II		II	II	II	II
9	FP 8		沈縫A 貝殻条痕文	II	II	II
10	II		II	II	II	II
11	II		II	II	II	II
12	II		II	II	II	II
13	FP 11		微隆起縫A	II	II	II
14	II		II	II	II	II
15	II		II	II	II	II
16	FP 17		貝殻条痕文	II	II	II
17	II		II	II	II	II
18	FP 22		II	II	II	II
19	II		II	II	II	II
20	II		II	II	II	II

回版番号	造 構	文 様	作 出 方 法	出土 位置	時 期	備 考
第265回21	FP 22		貝殻条痕文	X	野島	鐵錐混入
第266回 1	FP 23		"	H	H	H
2	FP 32		微隆起線A-沈線A	H	H	H
3	FP 33		貝殼条痕文-沈線B	H	H	H
4	"		貝殼条痕文	Y	H	H
5	"		"	X	H	H
6	FP 34		微隆起線A-沈線B	H	H	H
7	"		沈線A、B	H	H	H
8	"		"	H	H	H
9	FP 35a		貝殼条痕文-沈線B	H	H	H
第267回 1	FP 35b		微隆起線A-沈線A	H	H	H
2	"		" - "	H	H	H
3	FP 35c		微隆起線A-沈線B	H	H	H
4	FP 38		貝殼条痕文	H	H	H
5	"		"	H	H	H
6	"		"	H	H	H
7	"		"	H	H	H
8	FP 41		"	H	H	H
9	"		"	H	H	H
10	FP 51		"	H	H	H
11	"		"	H	H	H
12	"		"	H	H	H
第268回 1	FP 51		"	H	H	H
2	"		"	H	H	H
3	FP 56		"	H	H	H
4	"		"	H	H	H
5	FP 58		堆帶C、沈線C-沈線B-円形刺突文	H	H	H
6	"		"、" - " - "	H	H	H
第269回 1	SI 1		圓文-沈線C	H	E III	
2	"		圓文-沈線B	H	H	
3	"		" - "	H	H	
4	"		沈線B-圓文-円列点文	Y	H	
5	"		圓文	H		
6	"		"	X		
7	"	人形訛文	圓文-降沈文B-沈線C	H	E III	
8	"		圓文-微沈文B-沈線B	H	H	
9	"	逆「U」字狀文	圓文-沈線B-磨消	H	H	
10	"		圓文	Y		
11	SI 4		圓文-沈線C	X	E III	
12	"	横円文	圓文-沈線C	H	H	
13	"	変形横円文	沈線C	H	H	
14	"		円列点文	H	H	
15	"		条線文	H		

回版番号	通	攷	文	様	作	出	方	法	出土	位置	時期	備考
第269回16		SI	4		縦文	沈線C			X			
第270回1	2			大形溝文	縦文	一陰沈文C						
	3				縦文	一陰C一磨消					E III	
	4	SI	5	橢状把手	縦文	一微降起線A						
	5			円文	縦文	一微降起線B					E IV	
	6				縦文							
	7				"							
	8				条線文							
	9				沈線B一縦文							
	10				縦文一沈線B一磨消	微降起線A					E IV	
	11			逆「U」字状文	微降起線A一沈線A一縦文							
	12				微降起線A一縦文							
	13				隕帶A 縦文							
	14				縦文							
	15				微降起線A、縦文						E IV	
	16				微降起線A一縦文							
第271回1	SI	6		逆「U」字状文	縦文	微降起線A						
	2	SI	7		無文							
	3				条線文							
	4				"							
	5				縦文							
	6				"							
	7	SI	8		縦文一沈線C						E III	
	8				沈線B一縦文							
	9				条線文							
	10				縦文							
	11				縦文一沈線B							
	12				条線文						E IV	
	13				"							
	14	SI	9		沈線B一縦文						X	
	15				縦文一沈線C							
	16				微降起線A 縦文							
	17			「U」字状文	隕帶B一縦文							
	18			大形溝文	縦文·微降起線B						E III	
第272回1	2				縦文						E IV	
	3				微降起線B一縦文							橢状把手
	4	SI	11	変形縦字文	縦文·微降起線A						E III	
	5			円文	縦文·沈線A、B							
	6				縦文	縦文					E III	
	7				隕帶B一縦文						E IV	
	8				微降起線A-縦文							

國版番号	通 構	文 様	作 出 方 法	出 七 位置	時 期 斯	備 考
第272回 9	SI 11		微降起線A - 緯文 B B	X	EW	小突起
10	〃			〃	〃	椭状把手
11	〃		緯文 - 沈線B	〃		
12	〃		条縞文	〃		
13	〃		微隆起線A - 緯文	〃	EIV	
第273回 1	SI 12		封状緯文 〃	〃		
2	〃		〃	〃		
3	〃		条縞文	〃		
4	〃		〃	〃		
5	〃		緯文 - 沈線B	〃		
6	〃		緯文 - 陰帶B	〃	EIV	
7	SI 13	梅円文	緯文 - 沈線C	〃	EIII	
8	〃		陰帶A, 緯文 - 沈線C	〃	〃	
9	〃		微隆起線A - 緯文	〃	EIV	
10	〃		緯文	〃		
11	〃		〃	〃		
12	〃		聲沈文A - 緯文	〃	EIII	
13	〃		緯文	〃	EIV	
14	〃		〃	Y		
15	〃		微隆起線A - 緯文	〃	EIII	
16	〃	逆「U」字状文	緯文 - 沈線B - 暗消	X		
17	SI 15		緯文	〃		
18	〃		緯文 - 微降起線A - 暗消	〃		
19	〃		陰帶B - 緯文	〃		
20	SI 16		緯文	〃		
21	〃		微隆起線A - 緯文 - 沈線B - 暗消	〃	EIV	小突起
22	〃		無文	〃		
23	〃		羽状緯文	〃	EIII	
24	〃		緯文	〃		
25	SI 18		爪形連続刺突文	〃	EIII	
26	〃	大形滿文	緯文 - 陰帶A	〃	〃	
27	〃		円列点文	〃		
28	〃		緯文	〃		
29	〃		沈線C - 緯文	〃	EIII	
30	〃		条縞文	〃		
第274回 1			〃	〃		
2	〃		緯文	〃		
3	〃	人形滿文	緯文 - 陰帶B	〃	EIII	
4	〃		緯文 - 沈線B - 暗消	〃	〃	
5	〃		沈線B - 緯文	〃	〃	
6	〃	変形人形満文	緯文 - 微隆起線A	〃	〃	
7	〃	撇手文, 「U」字状文	緯文 - 暗消 - 沈線B	〃	〃	
8	〃	変形満文	緯文 - 沈線B - 暗消	〃	〃	

图版番号	通 横	文 様	作 出 方 法	出土 位置	時 期	備 考
第274図 9	SI 19		沈線C—羽状縦文 微隆起線A—縦文—沈線A 縦文	X	EIII	
10	〃			〃		
11	〃			〃		
12	SI 20		縦文—微隆起線A 縦文—降帯B—沈線B 縦文	〃	EIII	
13	〃			〃		
14	〃			〃		
15	〃		縦文—微隆起線A	〃		
16	〃	大形渋文	縦文—隆沈文A 縦文—微隆起線A	〃	EIII	
第275図 1	〃	〃	縦文—一条線文	〃		
2	〃			〃		
3	〃			〃		
4	〃		縦文	〃		
5	〃		〃	〃		
6	〃		縦文—沈線C	〃		
7	SI 21	横円文	縦文、沈線B	〃		
8	〃		縦文—沈線A、B	〃	EIV	
9	〃	大形渋文	縦文—微隆起線B	〃	EIII	
10	〃		縦文—微隆起線A	〃	EIV	
11	〃		微隆起線A—縦文	〃	〃	
12	〃		沈線A—縦文	〃		
13	〃	「U」字状文	縦文—沈線A—断消	〃		
14	〃	「U」字状、逆「U」字状文	沈線A—縦文	〃		
15	〃		微隆起線B—縦文	Y		
16	〃		縦文—沈線B—断消	X	EIII	
17	〃		沈線B—縦文	Y		
18	〃		〃 — 〃	〃		
19	SI 22	変形横円文	沈線C—縦文	X	EIII	
20	〃	「Y」字状文	微隆起線A—縦文	Y	EIV	横状把手
21	〃	変形横円文	沈線C—縦文	X	EIII	
第276図 1	〃		沈線B—縦文	〃	〃	
2	〃		〃 — 〃	〃	〃	
3	〃		縦文—微隆起線A—円列点文	〃	EIV	
4	〃	「Y」字状文	隆帯A—縦文	〃	〃	
5	〃	横手文、逆「U」字状文	沈線B—縦文	〃	EIII	
6	〃		〃 — 〃	Y	EIII	
7	SI 23	円文、横円文	縦文—沈線C	X	〃	
8	〃	円文	沈線B—縦文	〃	〃	
9	〃	横円文	縦文—沈線C—断消	〃	〃	
10	〃	円文、横円文	縦文—沈線B	〃	〃	
11	〃	変形横円文	〃 — 〃	〃	〃	
12	〃		縦文—沈線C—沈線A	〃	〃	
13	〃		縦文、沈線A—円列点文	〃		
14	〃	変形横円文	縦文—隆沈文C	〃	EIII	

回版番号	造 構	文 標	作 出 方 法	出上位課	時期	備 考
第276回 15	SI 23	人形渦文	繩文-沈線C 縹文, 沈線B	X	E III	
16	〃		縹文-沈線C	〃		
17	〃	大形渦文	縹文-沈線C	〃	E III	
18	〃		条線文	Y	〃	
第277回 1	SI 24		微隆起線A-繩文	〃	E IV	
2	〃		条線文	X		
3	〃		縹文-一条線文	〃	E III	
4	〃		縹文-沈線C	〃		
5	SI 25		微隆起線A-繩文	〃	E IV	
6	〃		〃 - 〃	〃	〃	
7	〃		〃 - 〃	〃	〃	
8	〃		〃 - 〃	〃	〃	
9	〃		〃 - 〃	〃	〃	
10	〃		縹文	〃		
11	SI 26		縹文-一刺突文-沈線A	〃		
12	〃	大形渦文	縹文-微隆起線B	〃	E III	
13	〃	〃	縹文B-縹文	〃	〃	
14	〃		条線文	〃	〃	
15	〃		微隆起線A	〃		
16	〃		縹文-隨沈文A	〃		
17	SI 27	精円文	縹文-沈線B	〃	E III	
18	〃	〃	羽状縹文-沈線B-磨消	〃	〃	
19	〃		縹文-縹沈文B	〃	〃	
20	〃	大形渦文	縹文-微隆起線B	〃		
21	SI 28	撇手文, 精円文	沈線B-縹文	〃	〃	
22	〃	〃 , 〃	縹文-沈線C	〃	〃	
23	〃	円, 精円文	縹文-縹沈文C-磨消	〃	〃	
24	〃	變形精円文	縹文-沈線C	〃	〃	
第278回 1	〃	大形尚文	縹文-沈線B	〃	〃	
2	〃		微隆起線A-縹文	〃		
3	〃		縹文-沈線C	〃	E III	
4	〃	撇手文, 遊「U」字状文	縹文-沈線B-磨消-縹沈文C	〃	〃	
5	〃	撇手文, 精円文	縹文-磨消, 沈線B	〃	〃	
6	〃	人形渦文	縹文-縹沈文B-磨消	〃	〃	
7	〃	〃	縹文-微隆起線A	〃		
8	〃		縹文-沈線B-磨消	〃	E III	
9	SI 29		縹文-沈線C	〃	〃	
10	〃		爪形遊続刺突文	〃		
11	〃		縹文-微隆起線A	〃	E IV	
12	〃	「H」字状文	微隆起線A-沈線A-縹文	〃	〃	精狀把手
13	〃	「H」字状文	微隆起線A-縹文	〃	〃	
第279回 1	SI 30		微隆起線A-縹文-円列点文	〃	〃	
2	〃		沈線C	Y		

閩版番号	遺構	文様	作 出 方 法	出土位置	時期	備 考
第279図 3	SI 30		縦文・沈線A	X		
4	〃		縦文・微隆起線B	〃	E III	
5	〃		縦文・沈線C	〃	〃	
6	〃	大形溝文	縦文・微隆起線A	〃	〃	
7	SI 31	〃	〃 - 〃	〃	E III	
8	〃		縦文・隆帶A	〃		横状把手
9	〃		無文	〃		
10	SI 33		羽状縦文	〃		
11	〃		縦文・磨消・沈線B	〃	E III	
12	SI 34		無文	〃		
13	〃		微隆起線A	〃	E III	
14	〃		縦文	〃		
15	SI 36	Y, 字状文	微隆起線A 縦文	〃	E IV	
16	〃		縦文・微隆起線A	〃	〃	
17	〃		〃 - 〃	〃		
18	SI 37	撇手文, 円文	沈線B - 縦文	〃	E III	
19	〃		〃 - 〃	〃	〃	
20	〃	逆「U」字状文	縦文・沈線B	〃	〃	
21	〃		条線文・沈線C	〃	〃	
22	〃		縦文・沈線B	〃	〃	
23	〃		隆帶A - 縦文 円列点文	〃		
24	〃		条線文	〃		
第280図 1	〃	撇手文	縦文・沈線A, 隆沈文C	〃	E III	
2	〃	撇手文, 弧状文	縦文・沈線B	〃	〃	
3	〃	椭円文	縦文・沈線B	〃	〃	
4	〃		縦文・沈線B	〃	〃	
5	〃	逆「U」字状文	縦文・沈線B - 磨消	〃	〃	
6	〃		縦文・沈線B	〃		
7	SI 38		隆沈文C - 一方連續斜突文	〃		
8	〃		縦文・沈線B	〃		
9	〃		微隆起線A - 縦文	〃		小突起
10	〃		縦文 - 隆沈文C	〃		
11	SI 40		縦文・隆沈文A - 微隆起線A - 縦文	〃	E IV	
12	〃	大形溝文	縦文 - 微隆起線A	〃	E III	
13	〃	〃	縦文・隆沈文A	〃	〃	
14	〃	〃	縦文 - 微隆起線B	〃	〃	
15	〃	〃	縦文 - 微隆起線A	〃		小突起
16	〃	〃	縦文 - 微隆起線B	〃	E III	
17	〃		隆帶A - 縦文	〃	〃	
18	〃		隆沈文C - 縦文	〃		
第281図 1	〃		縦文 - 沈線B	〃	E III	
2	〃		縦文・沈線B	〃	〃	
3	〃		縦文	〃		

器物番号	遺 様	文 样	作 出 方 法	出 土 位 置	時 期	備 考
第281回 4	SI 40	逆「U」字状文	繩文-沈線B-素消、凹列点文	X	E III	
5	〃	〃	繩文-沈線A、C-磨消	〃	〃	
6	〃	〃	繩文-沈線B、C-磨消	〃	〃	
7	〃	〃	繩文-沈線B-磨消	〃		
8	〃	〃	繩文-沈線C-沈線B	〃	E III	
9	〃	〃	繩文-沈線A-微隆起線A	〃		
10	〃	〃	繩文-微隆起線A-沈線B	〃	〃	輪狀把手
11	〃	「U」字状文	微隆起線A-繩文-沈線C-刺突文	〃	E III	
12	〃	Y 字状文	微隆起線A-沈線A-繩文	〃	E IV	橋狀把手
13	〃	〃	微隆起線A-繩文	〃	〃	小突起
14	〃	〃	繩文	〃	〃	
15	〃	〃	〃	〃		
16	〃	逆沈文A 繩文	〃	〃		小突起
第282回 1	〃	縦帶A-繩文、凹列点文	〃	E IV	橋狀把手	
2	〃	微隆起線A-繩文	〃	〃		
3	〃	繩文-微隆起線A	〃	〃		
4	〃	沈線A-繩文	〃	称 I		
5	〃	微隆起線A-繩文-沈線C	〃			
6	〃	微隆起線A-繩文	〃	E IV		
7	〃	逆「U」字状文	繩文 逆沈文B	〃	E III	
8	〃	変形大形渦文	〃 - 〃	〃	〃	
9	〃	〃	繩文-微階起線B	〃	〃	
10	〃	大形渦文	〃 - 〃	〃	〃	
11	〃	〃	繩文	〃	〃	
12	〃	〃	繩文-微隆起線A	〃		
13	〃	縦帶C-繩文	〃			
14	SI 41	繩文-縦帶C	〃			
15	〃	微隆起線A-繩文	〃			
16	〃	繩文-沈線A	〃			
17	〃	繩文	Y			
18	〃	繩文、沈線B-条線文	X			
19	〃	繩文	Y			
20	〃	繩文-沈線B	X			
21	SI 42	微隆起線A-繩文	Y	E IV		
22	〃	繩文	〃			
第283回 1	SI 43	繩文、沈線C	X	E III		
2	〃	繩文、微隆起線A	〃			小突起
3	〃	微隆起線A-繩文	〃			双孔把手
4	〃	条線文	〃			
5	〃	沈線B-繩文	〃	称 I		
6	〃	提文、沈線B	〃	〃		
7	〃	繩文-微隆起線A	〃	E IV		
8	〃	微隆起線A-繩文	〃	〃		

图版番号	通 檄	文 样	作 出 方 法	出 二 位 置	时 期	備 考
第283図 9	SI 44		条線文	X		
10	〃		条線文—沈線B	〃	E III	
11	〃		条線文—沈線B—円形刺突文	〃	〃	
12	〃		円形刺突文、半截竹管押引文	〃		
13	〃	円文、梢円文	陈带A、C—繩文—沈線B	〃	E III	
14	〃	梢円文	繩文—降帶C	〃	〃	
15	〃	〃	繩文—沈線B—磨消	〃	〃	
16	〃	〃	繩文—沈線B	〃	〃	
17	〃	燕手文、梢円文	繩文—沈線C、磨消	〃	〃	
18	〃	梢円文	繩文—沈線B—磨消	〃	〃	
19	〃	燕手文、変形梢円文	繩文—沈線B	〃	〃	
20	〃	〃	〃—〃	〃	〃	
21	〃	逆「U」字状文	〃—〃	〃	〃	
22	〃		条線文	〃		
第284図 1	2		繩文、沈線B	〃	E III	
3	〃		繩文—沈線B	〃	〃	
4	〃		〃—〃	〃	〃	
5	〃		繩文、沈線B	〃		
6	〃		沈線B—繩文	〃	〃	
7	〃		繩文	〃	〃	
8	SI 45	燕手文	沈線C	〃	〃	
9	〃		沈線C—繩文	〃	〃	
10	〃	「J」字状文	沈線B—繩文	〃		
11	〃		微隆起線A—繩文	〃	E IV	
12	〃		細粒繩文—沈線B	〃	〃	
13	〃		繩文	〃		
14	〃		〃	〃		
15	SI 47		微隆起線C—繩文	〃	E IV	
16	〃		隆帶A—繩文	〃	〃	
17	〃		隆帶A—沈線A—繩文	〃	〃	
18	〃		スリット—沈線A	〃	E III	
19	〃		繩文—微隆起線A	〃	E IV	
20	〃		微隆起線A—繩文	〃	〃	
21	SI 48		繩文—隆帶A	Y		
22	SI 50		繩文—沈線C	X	E III	
23	〃		円列点文	〃		
24	〃		繩文—沈線C	〃	E III	
25	〃		繩文—沈線B	〃	〃	
第285図 1	2		繩文—降帶A	〃		横状把手
3	〃		微隆起線A—繩文	〃	E IV	
4	〃		繩文	〃		
			条線文	〃		

出版番号	通 講	文 様	作 出 方 法	出上 位置	時 期	備 考
第285回 5	SI 51		微隆起線A-繩文	X	EIV	
6	〃		微隆起線A	〃	〃	偶狀把手
7	〃	H: 字状文	微隆起線C-繩文	Y	〃	
8	SI 52		微隆起線A-繩文	X	〃	
9	〃		繩文-隆線A	〃	〃	
10	〃		繩文-沈線C	〃	〃	
11	〃		繩文	Y		
12	〃		繩文-沈線B	X		
13	〃		繩文	Y		
14	〃	Y: 字状文	微隆起線C-繩文	X	EIV	
15	SI 53		微隆起線A-繩文	〃		
16	〃		繩文	〃		
17	〃		微隆起線A-繩文	〃	EIV	
18	SI 54	類乎文	繩文-微隆起線B-沈線C	〃	EIII	
19	〃		盲孔	〃		
20	〃	横凹文	繩文-沈線B-凹消-凹斜文	〃	EIII	
21	〃	〃	繩文-沈線C	〃	〃	
22	〃		条線文-微隆起線A	〃		
23	〃		微隆起線A-繩文	〃		
24	〃		繩文-沈線C	〃	EIII	
第286回 1	SI 55		繩文	〃		
2	〃		微隆起線A-繩文	〃		
3	〃		繩文	〃		
4	〃		繩文-沈線B	〃		
5	SI 56		羽状繩文、沈線C	〃	EIII	
6	〃		隆船A-繩文	〃	〃	
7	〃		繩文	〃		
8	〃		繩文-微隆起線A	〃	EIV	
9	〃		繩文	Y		
10	〃		沈線A-繩文	X		
11	〃		繩文-条線文	〃	EIII	
12	〃		微隆起線A-繩文	〃	EIV	
13	〃		繩文-沈線B	Y	EIII	
14	〃		繩文-微隆起線A	〃	EIV	
15	SI 57		条線文-沈線C	X		
16	〃		微隆起線A-凹列点文	〃	EIV	
17	〃	横凹文	繩文-沈線B	〃	EIII	
18	〃		〃 - 〃	〃		
19	〃		〃 - 〃	〃		
20	〃		条線文	〃		
21	〃		繩文	〃		
22	SI 58	滿文	繩文-隆沈文A	〃	EIII	
23	〃	〃	〃 - 〃	〃	〃	

國號番号	選	備	文 樣	作 出 方 法	出上 位置	時 期	備 考
第286選24	SI	58	變形橫円文、渢文	縕文—弧沈文B	X	E III	
第287選1	II		横円文、渢文	縕文 沈捺B	II	II	
2	II		變形橫円文	縕文—弧捺	II	II	
3	II		横円文	縕文—弧捺C	II	II	
4	II		變形橫円文	縕文—弧捺C—沈捺B	II	II	
5	II		横円文	縕文 縮捺A	II	II	
6	II			縕文—沈捺B 渙消	II	II	
7	II		跳手文、逆「U」字狀文	縕文—沈捺C—漿消	II	II	
8	II		變形渢文	沈捺C—縕文	II	II	
9	II		「U」字、逆「U」字狀文	縕文—沈捺B	II	II	
10	II		格円文、逆「U」字狀文	縕帶A—沈捺B	II	II	
11	II		跳手文	縕文—沈捺B—沈捺B	II	II	
12	II			縕文—沈捺B	II	II	
13	II			縕文—漿消—沈捺B	II	II	
14	II			縕文—沈捺C	II	II	
15	II			縕文—沈捺B	II	II	
第288選1	II			縕文、沈捺C	II	II	
2	II			沈捺C—縕文	II	E IV	
3	II			縕文、微隆起捺A	II	II	
4	SI	59		縕帶A—縕文	II	II	
5	II			微隆起捺A—縕文	II	II	
6	II			縕文—沈捺C	II	II	
7	II			微隆起捺A—縕文	II	II	
8	II			縕文 縮帶B	II		
9	II		「H」字狀文	縕文 微隆起捺A	Y	E IV	
10	II			微隆起捺A 縕文	X	II	
11	SI	60		縕文、沈捺B	II		
12	II		變形橫円文	沈捺B—縕文	II	II	I
13	II			縕文—縕帶A—鉤捺	II	E IV	
14	II		「J」字狀文	縕文 沈捺B	II	II	I
15	II			沈捺B—縕文	II	II	
16	II			縕文—沈捺B	II	II	
17	II			沈捺B—縕文	II	II	
18	II			縕文、沈捺B	II	II	
19	II		跳次文	縕文—沈捺B	II	II	
20	SI	62		微隆起捺A—縕文	II	II	
第289選1	II			縕文 沈捺B	II	E III	
2	II			微隆起捺A—縕文	II		
3	II			沈捺A	II		
4	II		渢文	縕文—縕次文A	II	E III	
5	II		跳手文、橫捺文	縕文 沈捺C	II	II	
6	II		大形渢文	縕文—微隆起捺C	II	II	
7	II		變形橫円文	縕文 沈捺B	II	II	

图版番号	遺 墓	文 種	作 出 方 法	出 + 位 次	時 期	備 考
第289號 8	SI 62		繩文-沈線B, 刻突文 無文	X		
9	"			o		
10	"		微隆起線A-繩文-沈線A	o	EIV	
11	"	葉子文, "U"字狀文	繩文-磨消-沈線B	o	EIII	
12	"	大形溝文	繩文-微隆起線B	o	o	
13	"	變形溝文	繩文-條線文-沈線C-磨消	o	o	
14	"		沈線C-繩文	o	o	
15	"		繩文, 沈線B	o	o	
16	"		磨消-繩文	o	o	
17	"		条線文	o		
18	"		微隆起線A-沈線A-繩文	o	EIV	
19	"		繩文	o		
20	SI 65		微隆起線A-沈線A-繩文	o	EIV	
21	"		繩文-沈線C	o		
22	"		" - "	o		
23	"		条線文	o		
第290號 1	"		繩文	o		
2	"		繩文, 沈線A	o	EIV	
3	"		沈線A-繩文	o	o	
4	"		網狀繩文	o		
5	SI 66	橫凹文	繩文-條沈文C	o	EIII	
6	"	"	" - "	Y	"	
7	"		沈線B-繩文	X	稱I	
8	"		繩文, 沈線B	o	o	
9	"	大形溝文	繩文-隱帶B	o	EIII	
10	"		繩文-沈線B	o	o	
11	"	大形溝文	" - "	o	稱I	
12	"	"	沈線B-繩文	o		
13	"		繩文-沈線B	o		
14	"		繩文, 沈線C-凹形刻突文	o		
15	"		沈線B-繩文	o		
16	SI 67	橫凹文	繩文-沈線B	o	EIII	
17	"		繩文-微隆起線A	o		
18	"		繩文	o		
19	"	遊 "U"字狀文	繩文-隱沈文B	o	EIII	
20	"		繩文-微隆起線B	o	o	
21	"		繩文	o		
22	"		繩文-沈線B	o		
23	"		繩文	o		
24	"	變形溝文	繩文-沈線A	o	稱I	
25	"	"	" - "	o	o	
26	SI 68	橫凹文	繩文-沈線C	o	EIII	
第291號 1	"	紗文	繩文, 緩沈文A	o	o	

測版番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第291回2	SI 68	円文	繩文、沈縗B	X	EIII	
3	〃	菱形格印文	繩文—隆帶B	〃	〃	
4	〃	〃	繩文、沈縗B	〃	〃	
5	〃	逆「U」字状文	〃、〃	〃	〃	
6	〃	圓手文、逆「U」字状文	繩文、沈縗B	〃	〃	
7	〃	圓手文	〃、〃	〃	〃	
8	〃	大形渦文	繩文—幾沈文B	〃	〃	
9	〃	〃	〃、〃	〃	〃	
10	〃	〃	繩文—微隆起線C	〃	〃	
11	〃	〃	繩文—隆沈文B、沈縗C	〃	〃	
12	〃	〃	繩文—隆帶C	〃	〃	
13	〃	〃	繩文—沈縗B	〃		
14	〃	〃	繩文—沈縗C	〃	EIII	
15	〃	〃	繩文	〃		
16	〃	逆「U」字状文	沈縗B—繩文	〃	EIII	
17	〃	〃	垂直線文	〃		
18	〃	「J」字状文	沈縗B—繩文	〃	称	
19	〃	〃	繩文、沈縗B	〃	EIII	
第292回1	SI 70	梅円文	繩文—沈縗B、磨削	〃	〃	
2	〃	〃	繩文—隆化文B	〃	〃	
3	〃	〃	繩文、沈縗B	〃		
4	〃	〃	細粒繩文、沈縗B	〃	称	
5	〃	〃	繩文、微隆起線A	〃	EIII	
6	〃	〃	垂直線文	〃		
7	〃	〃	〃	〃		
8	〃	〃	繩文	〃		
9	〃	〃	繩文—磨削—沈縗A	〃		
10	SI 72	〃	繩文、沈縗A	〃		
11	〃	〃	沈縗B	〃		
12	〃	〃	繩文	〃		
13	〃	〃	繩文—沈縗B	〃		
14	〃	〃	繩文	〃		
15	SI 73	〃	繩文—沈縗B	〃		
16	〃	〃	繩文	〃	EIII	
17	〃	〃	磨文—沈縗B	〃		
18	〃	〃	細粒繩文—陳舊C	〃		
19	〃	〃	細粒繩文、沈縗B	〃		
20	〃	〃	繩文—沈縗B	〃		
第293回1	〃	「U」字状文	沈縗A	〃		
2	〃	〃	繩文	〃		
3	〃	〃	〃	〃		
4	SI 74	〃	繩文—沈縗B	〃		
5	〃	〃	〃、〃	〃		

拓版番号	造 構	文 样	作 出 方 法	出 土 位 置	时 期	備 考
第293图 6	SI 74		绳文—沈線B	X		
7	〃		绳文	〃		
8	SI 75	円文	微隆起線A	〃	E IV	椭状把手
9	〃		微隆起線A—锯文—微隆起線B	〃	〃	
10	〃	“Y”字状文	锯文—微隆起線A	〃	〃	小突起
11	〃		锯文	〃		
12	〃		绳文—微隆起線A	〃	E IV	
13	〃		微隆起線A—锯文	〃	〃	
14	〃		〃 — 〃	〃	〃	
15	〃		微隆起線A—锯文—沈線B	〃	〃	
16	〃		微隆起線A—锯文	〃	〃	
17	〃		锯文—微隆起線A	〃	〃	
18	〃		锯文—沈線B	〃		
19	〃	逆“U”字状文	羽状锯文 疏消—沈線B	〃	E IV	
20	〃		微隆起線A—锯文	〃	〃	
21	〃		〃 — 〃	〃	〃	
22	〃	“U”字状文	微隆起線A—锯文—沈線A—疏消	〃	〃	
23	〃		微隆起線A—锯文	〃	〃	
第294图 1	SI 77		锯文—隆沈文B	〃	E III	
2	〃		颗粒锯文—沈線B	〃	称	
3	〃	逆“U”字状文	锯文—沈線B. C	〃	E III	
4	〃		锯文—沈線B	〃		
5	〃		锯文	〃		
6	SI 78		〃	〃		
7	〃		沈線A—锯文	〃	称	
8	〃		锯文	〃	E III	
9	〃	“Y”字状文	沈線A—锯文	〃	E IV	
10	〃		锯文，微隆起線C	〃		
11	SI 79		锯文—沈線A	〃	称	
12	〃		锯文—沈線B	〃	〃	
13	〃		〃 — 〃	〃		
14	〃		微隆起線A—锯文，凹列点文	〃	E IV	
15	〃	渦文	锯文—沈線B	〃		
16	〃	〃	〃 — 〃	〃		
17	〃		〃 — 〃	〃		
18	〃		沈線B	〃		
19	〃		条纹	〃		
20	〃		锯文	〃		
21	〃		〃	〃		
22	〃		椭拉锯文，沈線B	〃	称	
23	SI 80	艳円文	锯文—沈線B	〃		
24	〃	变形艳円文	锯文—沈線A, B, C	〃		
25	〃		锯文—沈線B	〃		

器皿番号	遺 墓	文 標	出 地	出 土 方 法	出 土 位 置	時 期	備 考
第294回26	SI 80			縹文	X		
27	〃			条線文	〃		
28	〃			縹文	〃		
29	〃			〃	〃		
30	SI 81			縹文—沈線A	〃	E III	
第295回1	〃	逆「U」字状文		縹文—沈線B、横凹刻突文	〃	〃	
2	〃			縹文—沈線A	〃	安 I	
3	〃			条線文	〃		
4	〃			〃	〃		
5	〃			縹文—条線文	〃		
6	〃			縹文—沈線B	〃		
7	SI 85	「U」字状文		〃—〃	〃		
8	〃			縹文—沈線B、凸孔	〃		
9	〃			縹文	〃		
10	〃			〃	〃		
11	SI 87			沈線B	〃	E III	
12	〃			微隆起線A—縹文	〃	E IV	
13	〃			縹文—沈線B	〃		
14	〃	逆「U」字状文		〃—〃	〃		
15	〃			縹文—沈線B	〃		
16	SI 89			縹文—沈線B	〃		
17	〃			沈線A—縹文	〃	E IV	
18	SI 90			無文	〃		
19	〃			微隆起線A—縹文	〃	E IV	
20	〃			縹文—微降起線A	〃	〃	
21	〃			縹文—沈線A	〃	〃	
22	〃			縹文—微降起線C	〃	〃	
23	〃			微隆起線A—縹文	〃		
24	SI 91			縹文—沈線B	〃	称 I	
25	〃			〃—〃	〃	〃	
26	〃			縹文	〃		
27	〃			〃	〃		
28	〃			縹文—沈線B、内列点文	〃	称 I	
29	〃			縹文—沈線B—内列点文	〃	〃	
30	〃	变形渦文		縹文—君消—沈線A	〃	E IV	
31	〃			縹文—沈線B	〃		
32	〃			〃—〃	Y		
第296回1	SI 92	涡文		縹文—沈線B	X		
2	〃			〃—〃	〃		
3	〃			沈線B—縹文	〃		
4	〃			縹文	〃		
5	SI 93			降帶A—縹文	〃		
6	〃			微隆起線A	Y	E IV	

回版番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第296回 7	SI 93		繩文—微隆起線B	X		
8	〃		繩文	〃		
9	SI 94		条線文	〃		
10	〃	「U」字状文	微隆起線A 沈線A—繩文	〃	EIV	
11	〃		微隆起線A—繩文	〃	〃	
12	〃	「U」字状文	微隆起線A 沈線A—繩文	〃	〃	
13	〃		繩文	〃		
14	〃		繩文—沈線B	〃		
15	〃	变形渦文	繩文—沈線B	〃		
16	〃		微隆起線A 繩文	〃		
17	SI 95		隆起押正文—繩文	〃	加III	
18	〃	逆「U」字状文	隆起押正文—沈線A—繩文	〃	EIV	
19	〃		微隆起線A—繩文	〃	〃	
20	〃	变形渦文	繩文，沈線B	〃		
21	〃		〃	〃		
22	〃		〃	〃		
23	〃		条線文	〃		
第297回 1	〃		隆起A—繩文	〃		
2	SI 97	円文，横円文	繩文 沈線C	〃	E III	
3	〃	「U」字状文	沈線B—繩文	〃	〃	
4	〃		沈線A—繩文	〃	或II	
5	〃		条線文	〃		
6	〃		微隆起線A	〃	E IV	
7	〃		繩文—沈線A, B	〃		
8	〃		繩文—微隆起線C	Y	E IV	
9	〃		繩文—沈線B	X		
10	〃	「J」字状文	〃	〃		
11	〃		条線文	〃		
12	SI 98		繩文—沈線A, B	〃		
13	〃		繩文，隆起A, 沈線A	〃		
14	〃	瓶手文，逆「U」字状文	繩文，沈線B	〃	E III	
15	〃		条線文	〃		
16	SI 99	「U」字状文	微隆起線A—繩文—磨痕—沈線B	〃	E III	
第298回 1	〃		微隆起線A	〃		
2	〃		繩文—沈線B	〃		
3	〃	繩文	〃			
4	〃		沈線B	〃		
5	〃	渦文	微隆起線A—繩文	〃	E IV	
6	〃	「日」字状文	微隆起線A—沈線A—繩文—磨痕	〃	〃	
7	〃	「Y」字状文	隆起A—繩文	〃	〃	
8	〃		微隆起線A—繩文	〃	〃	
9	〃		〃	〃		
10	〃		〃	〃	〃	横状把手

闕版番号	遺 墓	文 標	作 出 方 法	出 土 位 置	時 期	備 考
第298號11	SI 99	「H」字狀文	微隆起線A—繩文	X	EIV	小突起
第299號 1	SI 101		沈線C—繩文	H	EIII	
2	H		微隆起線A—條線文	H		
3	H		微隆起線A—繩文	H		
4	H		條線文	H		
5	SI 102		繩文，沈線B	H		
6	H		繩文—沈線B	H		
7	H		H—H	H		斜
8	H		繩文—沈線B—磨消	H	H	
9	H	「J」字狀文	繩文—沈線B	H	H	
10	H		條線文	H		
11	H	變形渦文	繩文—沈線B	H		斜
12	H	H	H—H	H	H	
13	H		H—H	H		
14	SI 103		繩文，沈線B	H		
15	H		細粒繩文，沈線B	H		
16	H	變形渦文	繩文—沈線B	H	EIV	
17	H	渦文	H—H	H	H	
18	H	變形渦文	H—H	H	H	
19	H	H	H—H	H	H	
20	SI 104		繩文	H	H	
21	H		無文	H		
22	H		繩文	H		
23	H		繩文，沈線B	H		
第300號 1	SI 105		繩文	H		
2	H		繩文，沈線B	H		
3	H		H—H	H		
4	H		H—H	H		
5	H		繩文—沈線B	H		
6	SI 106		繩文	H		
7	SI 108		微隆起線A—繩文	H		
8	H		繩文	H		
9	H		繩文—沈線B	H		
10	H		繩文	H		
11	SI 109		微隆起線A—繩文	H	EIV	
12	H		繩文	H		
13	H	「S」字狀貼付文	陰帶B	H		
14	SI 110		微隆起線A 繩文—沈線B	Y	EIV	
15	H		無文	X		
16	H		H	H		
17	H		條線文	H		
18	H		繩文	H		
19	H		H	H		

回版番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第300回20	SI 110		織文・沈線B、円列点文	X		
21	#	変形渦文	微隆起線A	#	EIV	
第301回 1	SI 111		織文、沈線B	#		
2	#		# - #	#		
3	#		織文・沈線B	#		
4	#		微隆起線A・条線文	#		
5	#	渦文	織文・沈線B	#		
6	SI 112		織文、沈線C	#		
7	#		降帯A・円列点文	#		
8	#		縦帯A・条線文	#	EIV	
9	#		織文	#		
10	#		条線文	#		
11	#		織文・沈線B	#		
12	#		# - #	Y		
13	#		織文、沈線B	#		
14	SI 113		織文・沈線B	X		
15	#		# - #	#		
16	#		# - #	#		
17	#		微隆起線A・沈線A・細粒織文	#		
18	#	変形渦文	条線文	#		
19	#		微隆起線A・織文・沈線B、円列点文	#	EIV	
20	#		織文・沈線B	#		
21	SI 114		微隆起線A・織文、円列点文	#	EIV	
22	#	逆「U」字状文	微隆起線A・織文	#	#	
23	#		# - #	#	#	
24	#	「Y」字状文	# - #	#	#	
25	#	「U」字状文	織文・沈線B	#	EIII	
26	#		織文、沈線B	#	称	
27	#	変形渦文	織文・沈線B	Y		
28	SI 115		# - #	X		
29	#		織文	#		
30	#		#	#		
31	#		微隆起線B・沈線B・織文	#	安I	
32	#	「Y」字状文	沈線B・織文	#	EIV	
33	#		条線文	#		
第302回 1	#	人形渦文	織文・沈線B	#		
2	SI 117		# - #	#		
3	#		織文	#		
4	#	大形渦文	織文・沈線B	#		
5	SI 118		織文・沈線B	#		
6	#		縦帯A・条線文	#	EIV	舌状突起
7	#		織文	#	EIV	
8	#		微隆起線A・円列点文	#	EIV	

器物番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第302回9	SI 118	大形幾文	織文-沈縫B	X		
10	SI 119		沈縫B	Y		
11	#	大形幾文	織文-沈縫B	X		
12	#		織文	#		
13	#		#	#		
14	#		織文-沈縫B	#		
15	SI 120		沈縫B-爪形刺突文	#	E III	
16	#		織文-沈縫A	#	#	
17	#	横円文	織文-沈縫B	#	#	
18	#		微隆起線A-円列点文	#	E IV	
19	#		微隆起線A-円列点文	#	#	
20	#		微隆起線A-織文	#	#	
21	#	変形横円文	織文-沈縫B	#	E III	
22	SI 121		織文	#		
23	#		織文-沈縫C	#	E III	
24	#		織文	#		
25	#		織文-一次縫C	#		
26	#		織文-微隆起線A	#		
第303回1	#		織文-沈縫C	#		
2	#		縦帶A-織文	#		
3	#		織文-微隆起線A	#	E IV	
4	#		織文-縦帶A	#	E IV	片穴突起
5	#		織文-微隆起線A	#	#	
6	#	「Y」字状文	微隆起線A-織文	#	#	
7	#	逆「U」字状文	織文-微隆起線B	#	E III	
8	#	大形圓文	織文-微隆起線B	#	#	
9	#		織文-沈縫B-壇酒	#	#	
10	#		微隆起線A-織文	#	E IV	
11	SI 122	横円文	織文-沈縫C	#	E III	
12	#	#	織文-沈縫B, C	#	#	
13	#		羽状絶文	#	#	
14	#		織文-縦帶B	#	#	
15	#		条縫文	#		
16	#		織文	Y		
第304回1	SI 123	変形済文	織文-沈縫C	X	E III	
2	#		織文-陳帯A-押印文	#	加印	
3	#		織文-沈縫C	#	E III	
4	#		織文	#		
5	#		#	#		
6	SI 124		条縫文-沈縫C	#		
7	#		微隆起線A-織文	#		
8	#		織文	#		
9	#		織文-沈縫B-円形刺突文	#		

國版番号	道 横	文 種	作 出 方 法	出土 位 置	時 期	備 考
第304回10	SI 124	變形溝文	繩文・沈縗B 〃 - 〃	X		
11	〃	〃	繩文・沈縗C	〃		
12	〃		〃 - 〃	〃	EIV	
13	〃		微隆起線A, 繩文	〃	〃	
14	〃		微隆起線A 沈縗・繩文	〃	〃	
15	SI 125		繩文	〃	〃	
16	〃		結節繩文	〃		
17	〃		繩文・沈縗B	〃		
18	〃		沈縗B 繩文	〃		
19	〃	「I」字狀文, 變形溝文	沈縗B 繩文	〃		
20	〃		繩文・沈縗B	〃		
21	〃		沈縗B - 繩文	〃		
22	〃		繩文	〃		
23	SI 126		微隆起線A 繩文	〃	EIV	
24	〃		〃 - 〃	〃	〃	小突起
25	〃	「Y」字狀文	〃 - 〃	〃	〃	
26	〃		〃 - 〃	〃	〃	
第305回1	〃		〃 - 〃	〃	〃	
2	〃	「H」字狀文	〃 - 〃	〃	〃	
3	SI 127		微隆起線A - 四列點文	〃	〃	
4	〃	「8」字狀點文	隆帶B	〃	〃	
5	〃		微隆起線A - 四列點文	〃	〃	
6	〃	「U」字狀, 逆「U」字狀文	繩文, 沈縗A	〃	〃	
7	〃		繩文・沈縗B 霧消	〃		
8	〃		繩文一條線文	〃		
9	SI 128		繩文・沈縗B - 霧消	〃	EIII	
10	〃	數手文, 增凹文	繩文・沈縗C	〃	〃	
11	〃	凹文, 增凹文	繩文一隆帶C	〃	〃	
12	〃		繩文・沈縗C	〃	〃	
13	〃	數手文	繩文 沈縗B	〃	〃	
14	〃	〃	〃 - 〃	〃	〃	
15	〃	〃	繩文, 沈縗C, 四列點文	〃	〃	
16	〃		隆帶A - 繩文	〃	〃	
17	〃	波狀文	繩文一次線C, 竹管刺突文	〃	EIII	
18	〃		条線文	〃		
19	〃		繩文一隆帶C	〃	EIII	
20	〃	逆「U」字狀文	繩文 隆沈文B	〃	〃	
第306回1	〃	〃	繩文・沈縗B	〃	〃	
2	〃		〃 - 〃	〃		
3	〃		条線文	〃		
4	〃		繩文 沈縗B	〃	EIII	
5	〃		繩文	〃	EIII	
6	SI 129		〃	〃	EIII	

固版番号	述 構	文 樣	作 出 方 法	出 土 位 置	時 期	備 考
第306図 7	SI 129	「U」字状文	縦文—沈線B	X		
8	〃	大形溝文	縦文—垂帶A	〃	E III	
9	〃	横円文	縦文—垂帶C	〃	〃	
10	〃		条線文	〃		
11	〃		縦文—沈線C	〃		
12	SI 130	溝文	縦文—階級C	〃	E III	
13	〃		縦文—沈線C	〃	〃	
14	〃	溝文	縦文—微隆起線A	〃	〃	
15	〃	〃	縦文—階帶C	〃	〃	
16	SI 131		縦文—階帶A	〃	〃	
17	〃		無文	〃		
18	〃		微隆起線A—縦文	〃	E IV	
19	〃		〃 — 〃	〃	〃	
20	〃		縦文—階帶A	〃	〃	
21	〃		縦文—一次縦B	〃	E III	
22	〃		微隆起線B—椎文	〃		
23	〃	「U」字状文	縦文—階帶B	〃		
第307図 1	SI 132		縦文—沈線B	〃		
2	〃		縦文	〃		
3	〃		微隆起線A—縦文	〃	E IV	
4	〃		〃 — 〃	〃	〃	
5	〃		縦文—沈線B	〃	E III	
6	〃		縦文—沈線B	〃	〃	
7	〃		縦文—一次縦B	〃	〃	
8	SI 133		微隆起線A—沈線A—縦文	〃	E IV	
9	〃		微隆起線A—縦文—円列点文	〃	〃	
10	〃		微隆起線A—縦文	〃	〃	小突起
11	〃	「Y」字状文	〃 — 〃	〃	〃	
12	〃	〃	〃 — 〃	〃	〃	舌状突起
13	〃	透「U」字状文	縦文，微隆起線A	〃	〃	
14	〃	「Y」字状文	微隆起線A—縦文	〃	〃	
15	〃		〃 — 〃	〃	〃	
16	〃		〃 — 〃	〃	〃	棒状把手
17	〃		〃 — 〃	〃	〃	棒状把手
第308図 1	〃	変形大形溝文	〃 — 〃	〃	〃	
2	SI 134		縦文	〃		
3	〃		微隆起線A—側文—円列点文	〃	E IV	
4	〃		微隆起線A—縦文	〃	〃	
5	〃		縦文—沈線B	〃		
6	〃		条線文	〃		
7	〃		微隆起線A—縦文	〃	E IV	
8	〃		〃 — 〃	〃	〃	
9	SI 135		〃 — 〃	〃	〃	

圖版番號	遺 槽	文 樣	作 出 方 法	出士 位 置	時 期	備 考
第308回10	SI 135		微沈文A-繩文 微隆起線A-繩文 微隆起線A-羽狀線文 条線文 繩文	X		
11	〃		微隆起線A-繩文	〃	EIV	
12	〃		微隆起線A-羽狀線文	〃	〃	
13	〃		条線文	〃		
14	〃		繩文	〃		
15	SI 136		微隆起線A-繩文。円列点文	〃	EIV	
16	〃		繩文	〃		
17	〃	「Y」字狀文	微隆起線A-沈線B-繩文	〃	EIV	
18	〃		微隆起線A-繩文	〃	〃	
第309回1	〃		繩文， 隆帶A	〃		
2	〃		微隆起線B-一条線文	〃		
3	SI 137		繩文-沈線A	〃		
4	〃		微隆起線A-繩文	〃		
5	〃		微隆起線A-繩文-沈線A-點消	〃		
6	〃		繩文-沈線C	〃		
7	〃		微隆起線A-繩文	〃		
8	〃		〃 - 〃	〃		
9	〃	「Y」字狀文	繩文， 微隆起線A	〃		
10	〃		微隆起線A-繩文	〃		
11	〃	「Y」字狀文	〃 - 〃	〃		
12	SI 138	椭圓文	沈線B-繩文	〃		
13	〃	繩文	沈線B， 繩文	〃		
14	〃		繩文， 沈線A	〃		
15	SI 139		沈線B-繩文	〃	E III	
16	〃		条線文-微隆起線A	〃		
17	〃		条線文	〃		
18	〃		微隆起線A-繩文-円列点文	〃	E III	
19	〃		繩文， 沈線B	〃		
20	〃		繩文	〃		
21	〃	「Y」字狀文	微隆起線A-繩文	〃		
22	SI 140	円文， 楕圓文	繩文， 隆帶A	〃	E III	
23	〃		繩文	〃		
24	SI 141	庚子文， 变形椭圓文	繩文-沈線C	〃	E III	
第310回1	〃	变形椭圓文， 繩文	〃 - 〃	〃	〃	
2	〃	庚子文， 楕圓文	繩文-沈線B	〃	〃	
3	〃	繩文	繩文-隆帶A, C	〃	〃	
4	〃		条線文	Y		
5	〃	变形椭圓文， 大形滿文	繩文-隆帶B-沈線B	X	E III	
6	〃	变形椭圓文	繩文-隆帶C	〃	〃	
7	〃	逆「U」字狀文	繩文-隆帶C-沈線B	〃	〃	
8	〃	变形椭圓文	繩文-隆帶A-一条線文	〃	〃	
9	〃	滿文	繩文-隆帶A-沈線B	〃	〃	
10	〃		繩文-沈線C	〃	〃	

圖版番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第310回 11	SI 141	横円文	織文 備帶C		X	EIII
12	"		織文, 備帶A	"		
13	"		織文	"		
14	SI 144		織文-沈綫C	"		
15	"		細粒織文, 沈綫B	"		
16	"		沈綫A-織文	"		
17	"	溝文	織文-備帶A	"	EIII	
第311回 1	SI 145	H字状文	織文-微隆起線A, B	"		
2	"		織文	"		
3	"		微隆起線A-織文	"		
4	SI 146		織文-平行点文	"		
5	"		織文	"	EIV	
6	"		微隆起線A-織文	"	"	
7	SI 147		織文-沈綫A-平行点文	"		
8	"		織文, 沈綫B	"		
9	"		織文-備帶A	"	EIV	
10	"		条線文	"		
11	"		"	"		
12	"		織文	"		
13	"		微隆起線A-織文	"	EIV	
14	"	溝文	織文	"		
15	SI 149		微隆起線A-織文	"		
16	"		沈綫B-織文	"		
17	"		沈綫B-細粒織文	Y		
18	"		織文-沈綫B	X		
19	SI 150		備帶A-織文	"		
20	"		微隆起線A-織文	"		
21	"		織文	"		
22	"		条線文	"		
23	"		"	"		
第312回 1	SI 151	H字状文	織文	"		
2	"		織文, 沈綫A	"		仰I
3	"	"	織文-沈綫B	"	"	
4	"	斜状文	織文, 沈綫B	"	"	
5	"	J字状文	織文-沈綫B	"	"	
6	SI 152	" - "	" - "	"		
7	"		条線文	"		
8	"		沈綫A 織文	"		
9	SI 153		織文, 沈綫B	"		
10	"		織文	"		
11	"		沈綫A-織文	"	EIII	
12	"		備帶A-条線文	"		
13	SI 154		微隆起線A-織文	"	EIV	

銘版番号	道 標	文 样	作 出 方 法	出 土 位 置	时 期	備 考
第312回14	SI 154	「U」字狀文	微隆起線A-鈎文		X EIV	
15	〃	〃	〃 - 〃	〃	〃	
16	〃		〃 - 〃	〃	〃	
第313回1	〃	「Y」字狀文	〃 - 〃	〃	〃	
2	〃		〃 - 〃	〃	〃	
3	SI 155		鈎文	〃	〃	
4	〃		柔線文	〃	〃	
5	〃		〃	〃	Y	
6	SI 156		鈎文-沈線C	X		
7	〃	變形橫凹文	沈線A-鈎文	〃	〃	私
8	〃		鈎文, 沈線B	〃		
9	〃		柔線文	Y		
10	〃		〃	〃		
11	〃		鈎文	〃		
12	SI 157		鈎文-陰帶B	X		
13	〃		鈎文-沈捺A	〃		
14	〃		細點鈎文	〃		
15	〃		鈎文-微算起線A	〃		
第314回1	SI 158		鈎文	〃		
2	〃	溝文	鈎文-沈線B	〃		
3	〃		〃 - 〃	〃		
4	〃		鈎文	〃		
5	〃		〃	〃		
6	SI 159		鈎文-沈線C	〃		
7	〃		鈎文	〃		
8	〃		柔線文	〃		
9	SI 160	培田文	鈎文-陰滑A	〃	E III	
10	〃	〃	鈎文-沈線B, C	〃	〃	
11	〃		鈎文-沈線B	〃		
12	〃	大形溝文	鈎文-沈線B-磨消	〃	E III	
13	〃	〃	鈎文-陰滑B	〃	〃	
14	SI 161	「Y」字狀文	微隆起線A-沈線A-鈎文-凸列点文	〃	E IV	小突起
15	〃		微隆起線A-沈線A-鈎文	〃	〃	
16	〃		鈎文, 微隆起線A, 沈線B	〃	〃	
17	〃		鈎文	Y		
18	〃		微隆起線A- 鈎文	〃	E IV	
19	〃		鈎文, 柔線文	X		
20	〃		沈線A-鈎文	Y	E IV	
21	SI 162		沈線B-鈎文	X		
22	〃	溝凹文	鈎文-沈線C	〃	E III	
23	〃	變形橫凹文	鈎文-沈線C	〃		
24	〃		〃 - 〃	〃		
25	〃		沈線B-鈎文	〃		

因版番号	遺 墓	文 標	作 出 方 法	出 土 位 置	時 期	備 考
第315図 1	SI 162	大形渦文	繩文・沈縁B	X	E III	
2	SI 163	変形渦円文	沈縁A	II		
3	〃	近「U」字状文	沈縁B	II		
4	〃		繩文・沈縲B	II	E III	
5	〃	大形渦文	繩文・陳沈文A	II	II	
6	SI 164		繩文・陳縲B	II	II	
7	〃		柔縲文	II		
8	〃		沈縲C・繩文	II		
9	〃	大形渦文	繩文・陳沈文C	II		
10	〃		繩文・微陣起縲A	II	E III	
11	〃		繩文・陣帶A	II	II	
12	〃		繩文・沈縲C	II	II	
13	〃	近「U」字状文	繩文・沈縲B	II	II	
14	〃		繩文・磨消・沈縲B	II		
15	SI 165		微隆起縲A・繩文	II		
16	〃		〃 - II	II		
17	〃		繩文・陳縲A	II		
18	〃		微隆起縲A	II		
19	〃	H. 字状文	微隆起縲A・繩文	II		
20	〃		〃 - II	II		
21	SI 166		繩文	II		
22	〃		繩文・座帶A	II		
23	〃		微隆起縲A・繩文	II		
24	〃		沈縲A・繩文	II		
25	〃		微隆起縲A・繩文	II		
26	SI 167		繩文・沈縲C	II		
27	〃	渦円文	繩文・陳沈文C	II		
28	〃	〃	〃 - II	II		
29	〃		繩文・微隆起縲C	II		
第316図 1	〃		繩文	II		
2	〃	大形渦文	繩文・座帶A	II	E III	
3	〃		沈縲B・繩文	II		
4	SI 168		繩文・陳沈文C	II	E III	
5	〃		繩文・沈縲C	II	II	
6	〃		繩文・沈縲A	II	II	
7	〃		繩文	II		
8	〃		繩文・座帶A, C	II		
9	SI 170		微隆起縲A・繩文	II	E IV	
10	〃		〃 - II	II	II	
11	〃		柔縲文	II		
12	〃		繩文・沈縲C	II	E III	
13	〃		沈縲C・繩文	II	II	
14	SI 171		座帶A, 沈縲B	II	安IIIa	藤森突起

國際番号	遺 墓	文 樣	作 出 方 法	古玉 包裏	時 期	備 考
第316図 15	SI 171		沈線B一細縦繩文	X		
16	〃	溝文	沈線B一溝文	〃		
17	〃		〃 — 〃	〃	EIV	
18	SI 172		圓文、沈線C	〃		
19	〃		圓文、沈線B	〃	EIV	
20	〃		無文	〃		
21	〃	逆「U」字狀文	圓文—沈線B	〃	EIII	
22	〃		圓文—沈線C	〃	〃	
23	SI 173		沈線B一条縫文	〃		
24	〃		米線文	〃		
25	〃		圓文	〃		
26	〃		〃	〃		
27	〃	逆「U」字狀文	圓文—隆帶C—沈線B	〃	EIII	
28	〃		條縫文	〃		
第317図 1	SI 174		圓文—沈線B	〃	EIII	
2	〃		微隆起線A	〃		
3	〃		圓文、沈線B	〃		
4	〃		圓文—沈線B	〃		
5	〃		微隆起線A	〃	EIV	
6	SI 175	大形溝文	圓文—隆帶A	〃	〃	
7	〃		微隆起線A—圓文	〃	〃	
8	〃		〃 — 〃	〃	〃	
9	〃		〃 — 〃	〃	〃	
10	〃		〃 — 〃	〃	〃	
11	〃		圓文—沈線C	〃		
12	〃		微隆起線A—圓文	〃	EIV	
13	SI 176	円文	沈線B—圓文	〃	EIII	
14	〃		圓文—隆帶A	〃		
15	〃		隆帶C—圓文—沈線C	〃	EIII	
16	〃		圓文—沈線B	〃	〃	
17	SI 177		微隆起線A—圓文—円列点文	〃	EIV	
18	〃		微隆起線A—圓文	〃	〃	
19	〃	「Y」字狀文	〃 — 〃	〃	〃	
20	〃		圓文	〃		
21	〃		條縫文	〃		
22	〃		〃	〃		
23	SI 178		圓文 沈線C	〃		
24	〃		圓文	〃		
25	〃		圓文—沈線C	〃	EIII	
第318図 1	〃		沈線A—圓文	〃		
2	〃		米線文	〃		
3	SI 179	「U」字狀文	圓文 沈線B	〃	EIII	
4	〃		條縫文	〃		

國版番號	造 構	文 種	作 出 方 法	出 土 位 置	時 期	備 考
第318圖 5	SI 179		繩文-沈線B	X		
6	〃	「U」字狀文	繩文，沈線B	〃	E III	
7	SI 180		繩文-沈線C	〃		
8	〃	大形溝文	隆帶B-繩文-階梯起線A	〃	E III	
9	〃	鴟狀文	沈線B-繩文	〃	〃	
10	〃		隆帶B-繩文-汎形網突文	〃	〃	
11	〃		柔線文	〃		
12	〃		繩文-微隆起線A	〃		
13	〃	「Y」字狀文	隆帶B-微隆起線A-繩文	〃	E IV	舌狀突起
14	〃		微隆起線A-沈線A-繩文	〃	〃	
15	SI 181		繩文	〃		
16	〃		〃	〃		
17	〃	大形溝文	隆帶C-繩文-沈線B	〃	E III	
18	〃		繩文	〃		
第319圖 1	〃	逆「U」字狀文	繩文-沈線B	〃		
2	SI 182		細粒繩文，沈線A	〃		
3	〃		繩文	〃		
4	〃		繩文-微隆起線A	〃		
5	〃		微隆起線A-繩文	〃	E IV	
6	〃		隆帶A-繩文，沈線B	〃		
7	〃		柔線文	〃		
8	〃		〃	〃		
9	〃		繩文-微隆起線C	〃	E IV	
10	SI 183	溝文	沈線B-繩文	〃	〃	穿孔
11	〃		繩文-隆帶A	〃	〃	
12	〃		繩文-沈線C	〃	〃	
13	〃		繩文-隆帶A	〃	〃	
14	〃	「Y」字狀文	微隆起線A-繩文	〃	〃	
15	SI 184		繩文	〃		
16	〃		微隆起線A-円死点文	〃		
17	〃		微隆起線A-繩文	〃	E IV	
18	〃		微隆起線A	〃		
19	〃		微隆起線A-繩文	〃	E IV	
第320圖 1	SI 185	「Y」字狀文	〃 〃	〃 〃	〃	舌狀突起
2	SI 186		沈線B-繩文	〃		
3	〃		繩文-沈線C	〃	E IV	
4	SI 187		繩文	〃		
5	〃	「H」字狀文	沈線A-繩文	〃	E IV	
6	〃		繩文，沈線B	Y		
7	SI 188		繩文-沈線C	X		
8	〃		沈線C-繩文-沈線B	〃	E IV	
9	〃	大形溝文	沈線B-繩文	〃	〃	
10	〃	〃	〃 〃	Y	〃	

國版番号	造 品	文 样	作 出 方 法	出 上 位質	時 期	備 考
第320回11	SI 188	大形渦文	比縫B 繩文	Y	EIV	
12	SI 189	「H」字状文	繩文-微隆起線A	X	II	舌狀突起
13	"		繩文-沈縫C	"		
14	"	大形渦文	繩文-膨沈文B	"	EIV	
第321回1	SI 191		繩文	"		
2	"		微隆B -刃列点文	"	EIV	
3	"	「Y」字状文	微隆起線A 繩文	"	"	
4	SI 192		繩文-比縫C	"		
5	"		繩文-隆縫C	"		
6	"		繩文-沈縫B	"		
7	"		条縫文	"		
8	"		微隆起線A -繩文	"	EIV	
9	SI 193	逆「U」字状文	尚滿反綱A-沈縫B 繩文	"	"	
10	"		微隆起線A -繩文	"	"	
11	"	「Y」字状文	繩文-微隆起線	"	"	
12	"	大形渦文	微隆起線A	"	"	
13	"		微隆起線A -塊文	"	"	
14	SI 194		無文	"		
15	"	「Y」字状文	微隆起線A -繩文	"	EIV	
16	"		" - "	"	"	
17	"		繩文	"		
18	SI 195	大形渦文	繩文-微隆起線A	"	EIV	
19	"		繩文-沈縫B	"		
20	SI 196		繩文-沈縫C	"		
21	"		繩文	Y		
22	"		"	X		
第322回1	"		"	Y		
2	SI 197		"	X		
3	SI 198		"	"	EIV	
4	"		条縫文	"		
5	"		繩文	"		
6	"		微隆起線A -塊文	"	EIV	
7	"		" - "	"	"	
8	"		" - "	"	"	
9	SI 199	「Y」字状文	" - "	"	"	
2	"		繩粒繩文	"		
3	"		繩文	"		
4	"		繩文	"		
5	SI 202		繩文-微隆起線A	"		
6	"		繩文-沈縫A	"	I	
7	"		微隆起線A -繩文	"	EIV	
8	"		繩文-微隆起線A	"	"	
9	SI 206		微隆起線A -繩文, 円乳波文	"	"	
10	"		繩文-沈縫B	"	"	

回版番号	遺 横	文 横	作 法	出土位置	時期	備 考
第323回 11	SI 206		籀文、沈線B 〃、〃	X		
12	〃			〃	EIV	
13	〃	説文	籀文、沈線B—鬯酒	〃		
14	〃	透「U」字状文	沈線B—鬯文	〃		
15	SI 207		籀文C 瓜文	〃	EIV	小突起
16	〃		墮落起綫A—籀文	〃		
17	〃		籀文—微籀起綫C	〃		
18	SI 209		羽状綫文	〃		
19	〃	人形渦文	籀文—微墮起綫A	〃	EIII	
第324回 1	〃	〃	籀文—鬯沈文B	〃	〃	
2	SI 210		籀文—墮沈文C	〃	〃	
3	〃		籀文—鬯沈文A	〃	〃	
4	〃		籀文、沈線B	〃		
5	〃		微墮起綫A—籀文	〃		
6	〃		籀文、沈線C	〃		
7	〃		微墮起綫C—籀文	〃		
8	SI 211	横円文	籀文—墮沈文C	〃	EIII	
9	〃		籀文—沈線B、円列点文	〃		
10	〃		籀文、沈線C	〃	EIII	
11	SI 212	大形渦文	籀文—鬯沈文B	〃	〃	
12	〃	〃	籀文—鬯帶B	〃	〃	
13	〃	〃	〃—〃	〃	〃	
14	〃		条線文	〃		
第325回 1	〃		籀文、沈線C	〃	EIII	
2	SI 213		微墮起綫A—籀文	〃	EIV	
3	〃		〃—〃	〃	〃	
4	〃	「Y」字状文	籀文—微墮起綫A	〃	〃	
5	〃	〃	微墮起綫B—籀文	〃	〃	
6	〃		微墮起綫A—籀文	〃	〃	小突起
7	〃		〃—〃	〃	〃	
8	〃		鬯消—籀文	〃		
9	SI 214		微墮起綫A—籀文	〃	EIV	
10	〃		微墮起綫B—籀文	〃	〃	
11	〃	「Y」字状文	〃—〃	〃	〃	
12	〃		微墮起綫A—籀文	〃		
13	〃		微墮起綫B—籀文	〃	EIV	
14	SI 216		沈線C—籀文	〃	EIII	
15	〃		〃—〃	〃		
16	〃		籀文—条線文、沈線C	〃	EIII	
第326回 1	〃	横円文	籀文—沈線C	〃	〃	
2	〃		籀文—沈線B	〃	〃	
3	〃	横円文	籀文—鬯沈文A	〃	〃	
4	〃		条線文—沈線C	〃	〃	

國版番号	通 標	文 種	作 出 方 法	出上位鏡	時 期	備 考
第326回 5	SI 216	楷円文	籀文-沈綱C	X	E III	
6	〃	〃	籀文-陳帶A	〃	〃	
7	〃		籀文-沈綱B	〃	〃	
8	〃		〃 - 〃	〃	〃	
9	〃	「U」字狀文	〃 - 〃	〃	〃	
10	〃	逆「U」字狀文	籀文-沈綱B, C	〃	〃	
11	〃	渢文	籀文-陳沈文B	〃	〃	
12	〃	〃	籀文-陳帶B	〃	〃	
13	〃	逆「U」字狀文	籀文-陳沈文C	〃	〃	
14	SI 219	楷円文	籀文-沈綱B	〃		
15	〃		籀文-陳帶A	〃		
16	〃	渢文	陳帶C	〃	E III	
17	〃	楷円文	沈綱C-籀文	〃	〃	
18	〃		籀文, 沈綱C	〃	〃	
19	〃	渢文	籀文, 陳沈文C	〃	〃	
20	〃	〃	籀文	〃		
21	〃		籀文-陳帶A	〃	E III	
第327回 1	SI 220		陳帶A	〃		
2	〃		籀文, 陳帶A	〃	E IV	
3	〃	「Y」字狀文	微降起線A-籀文	〃	〃	
4	SI 223		籀文-沈綱B	〃		
5	〃	变形楷円文	籀文-陳帶A-沈綱C	〃	E III	
6	〃		籀文-陳帶A	〃		
7	〃		籀文-沈綱B	〃	E III	
8	〃		〃 - 〃	〃		
9	〃	人形渢文	籀文-微降起線A	〃		
第328回 1	SK 1	「U」字狀文	籀文-沈綱B-靡消	〃	E III	
2	SK 6	逆「U」字狀文	籀文-沈綱B	〃	〃	
3	〃	〃	〃 - 〃	〃	〃	
4	SK 10	渢文, 楷円文	籀文-陳帶A	〃	〃	
5	〃	楷円文	籀文-沈綱C	〃	〃	
6	〃		籀文-陳沈文C	〃	〃	
7	〃	渢文	籀文-陳沈文A	〃	〃	
8	〃	〃	籀文-陳沈文B	〃	〃	
9	〃	蔽手文	籀文-沈綱B	〃	〃	
10	〃		籀文-陳帶B	〃		
第329回 1	〃	渢文	籀文-陳帶A	〃	E III	
2	SK 14		籀文, 沈綱B	〃		
3	SK 15		沈綱A-籀文-曰列点义	〃	E III	
4	SK 18		陳帶A-籀文	〃	〃	
5	〃	楷円文	籀文-陳帶C	〃	〃	
6	〃		籀文	〃		
7	SK 19		沈綱C	〃	E III	

回版番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第329回 8	SK 19	円文	織文・藤沈文C 縦文・沈縫C	X	E III	
9	〃		縦文・藤帶C	〃	〃	
10	〃	横円文	縦文・藤帶C	〃	〃	
11	〃	〃	縦文・沈縫B	〃	〃	
12	〃		縦文	〃	〃	
13	〃	逆「U」字状文	縦文・沈縫B	〃	E III	
14	〃	晴円文、「U」字状文	〃 - 〃	〃	〃	
15	〃	変形渕文	縦文 藤沈文A	〃	〃	
16	〃	「U」字状文	縦文・沈縫B	〃	〃	
17	〃		条縫文 縦文	〃	〃	
第330回 1	〃	逆「U」字状文	縦文・沈縫B	〃	E III	
2	SK 20		縦文 沈縫C	〃	〃	
3	〃		沈縫C	〃		
4	〃		縦文、沈縫A	〃		
5	〃		縦文	〃		
6	SK 22		縦文 沈縫C	〃		
7	〃		〃 - 〃	〃		
8	〃		〃 - 〃	〃		
9	〃		縦文、刺突文	〃		
10	〃		縦文、沈縫B	〃		
11	〃		条縫文	〃		
12	SK 23		縦文 - 押引文	〃		
13	〃		縦文 - 沈縫A	〃		
14	〃		縦文 - 沈縫B	〃		
15	SK 25		微隙起線A	〃		
16	〃		縦文	〃		
17	〃	逆「U」字状文	縦文 - 藤沈文C	〃		
18	SK 26		縦文 - 沈縫C	〃		
19	〃		縦文、沈縫B	〃		
20	〃		藤帶A	〃		
21	〃		縦文	〃		
22	〃	逆「U」字状文	縦文 - 沈縫B	〃	E III	
23	SK 39		縦文 - 藤沈文A	〃	〃	
24	〃	逆「U」字状文	縦文 - 微隙起線B	〃	〃	
第331回 1	〃		縦文 - 藤帶B	〃	〃	
2	〃		沈縫C - 縦文	〃		
3	〃	渕文	縦文 - 藤帶C	〃		
4	〃	〃	微隙起線A	〃	E IV	赤彩処理
5	SK 40		縦文	〃		
6	〃	逆「U」字状文	縦文 - 一列点文 - 沈縫B	〃	E III	
7	〃		縦文 - 忧愁B, 梅円刺突文	〃		
8	〃	変形渕文	縦文 - 微隙起線C	〃		
9	SK 41		縦文 - 沈縫C	〃	E III	

國號番號	遺 槟	文 樣	作 出 方 法	出土 位 置	時 期	備 考
第331回10	SK 41	漢文	繩文—隆沈文A		X	E III
11	〃		条線文		〃	
12	SK 65		繩文		〃	
13	SK 66		型陶起線A—沈線A 繩文		〃	E IV
14	〃		微隆起線A		〃	E III
15	〃		繩文—沈線A		〃	
16	〃		繩文，沈線A		〃	
17	〃		繩文—沈線B		〃	
18	SK 69		〃—〃		〃	
第332回 1	〃		繩文—沈線C		〃	E III
2	〃		繩文—隆沈文C		〃	
3	〃		繩文—沈線C		〃	
4	〃		繩文，沈線A		〃	
5	〃		繩文—沈線C		〃	
6	〃		繩文—圓形B		〃	
7	〃	漢文	繩文—隆沈文B		〃	E III
8	〃		繩文 隆帶C		〃	〃
9	〃		繩文—沈線C		〃	〃
10	〃		〃—〃		〃	〃
11	SK 84		羽狀繩文		〃	
12	〃		無文		〃	
13	SK 85		隆帶A—繩文		〃	
14	〃		〃—〃		〃	
15	〃		〃—〃		〃	
16	〃		繩文，微隆起線C		〃	
第333回 1	SK 95	變形漢文	繩文—隆帶C		〃	E III
2	〃		繩文—微隆起線C		〃	
3	〃		繩文—隆帶A，C		〃	
4	〃	尚文	繩文—微隆起線A		〃	
5	〃		繩文—隆帶A		〃	
6	〃	漢文	繩文—微隆起線A		〃	E III
7	〃		〃—〃		〃	
8	〃		繩文—沈線B		〃	E III
9	SK 100		繩文		〃	
10	〃		隆帶A—繩文		〃	
11	〃		繩文—隆帶A		〃	
12	〃		沈線C—微隆起線A—繩文		〃	
13	〃		沈線C		〃	
14	〃		繩文—隆沈文A		〃	E III
15	〃		繩文—微隆起線A		〃	
16	SK 129		羽狀繩文		〃	
17	〃		繩文		〃	
18	SK 132		羽狀繩文		〃	

器皿番号	遺構	文様	作出手法	出土位置	時期	備考
第334回 1	SK 132		微隆起線A-繩文	X		
2	〃		繩文	〃		
3	SK 134		無文	〃		
4	〃		繩文	〃		
5	SK 165		繩文-微隆起線A	〃		
6	〃		微隆起線A-繩文	〃		
7	SK 170	「U」字状文	繩文-沈線C 沈消	〃 E III		
8	〃	〃	〃 - 〃 - 〃	〃	〃	
9	〃	〃	〃 - 〃 - 〃	〃	〃	
10	SK 178	橫內文	繩文-縫帶A	〃	〃	
11	〃		条線文	〃		
12	〃		繩文-沈線C	〃		
13	〃	涡文	繩文-微隆起線C	〃 E III		
14	〃		繩文-縫帶C	〃	〃	
15	SK 186		繩文-微隆起線A	〃		
16	〃		沈線C	〃		
17	〃		繩文-縫帶C	〃		
18	〃		繩文-沈線A	〃		
第335回 1	SK 190	梅凹，葉手文	繩文-沈線B	〃 E III		
2	〃		繩文-沈線C	〃		
3	〃		条線文	〃		
4	SK 200		繩文	〃		
5	〃		〃	〃		
6	〃		微隆起線A-繩文	〃		
7	SK 203		縫帶B、微隆起線A-繩文	〃 E IV		
8	〃	「U」字状，逆「U」字状文	繩文-沈線B	Y		
9	〃		〃 - 〃	X		
10	〃		繩文-微隆起線C	〃		
11	〃		条線文	〃		
12	SK 205		無文	〃		
13	〃		繩文，微隆起線A	〃		
14	SK 213		微隆起線A-繩文	〃		
15	〃		繩文	〃		
16	SK 214		微隆起線A-繩文	〃 E IV		
17	〃		繩文-微隆起線A	〃		
18	〃		微隆起線A-繩文	〃		
19	SK 215	变形渦文	繩文-沈線B	〃 E III		
20	〃	「U」字状文	〃 - 〃	〃	〃	
21	SK 217		沈線A-繩文-半截竹管割突文	〃		
22	〃		發隆起線A 繩文	〃		
第336回 1	〃		繩文-沈線B, C	〃		
2	〃		繩文	〃		
3	〃	涡文	繩文-微隆起線B	〃 E III		

闕版番号	造構	文種	作出手法	出土位置	時期	備考
第336回 4	SK 217		羅文—沈線B—磨消	X	E III	
5	SK 228	「Y」字狀文	微斜起線A—羅文	η	E IV	
6	η		羅文—微斜起線A	η	η	
7	η		η — η	η	η	
8	SK 237		η — η	η		
9	η		羅文	η		
10	SK 250	円文	羅文—沈線C	η	E III	
11	η	變形橫円文	羅文—沈線C—磨消	η	η	
12	η	逆「U」字狀文	沈線B—羅文—沈線B—磨消	η	η	
13	η		羅文—沈線B—磨消	η	η	
14	η		η — η — η	η	η	
第337回 1	SK 259		無文	η		
2	η		羅文—沈線B	η		
3	SK 268		η — η	η	E III	
4	η		隆沈文A	η	η	
5	η		羅文—微隆起線B	η		
6	η		沈線B—羅文	η		
7	SK 269		羅文	η		
8	η		無文	η		
9	SK 275		羅文—沈線C	η		
10	η		羅文	η		
11	η		羽狀羅文	η		
12	η		羅文—微隆起線B	η		
13	η		羅文	η		
14	SK 278		羅文—沈線B—磨消	η	E III	
15	η		羅文—沈線B	η		
16	η		羅文—磨消—沈線C	η		
17	SK 279		無文	η		
18	η		羅文	η		
19	SK 280	橫円文	羅文—隆蒂C	η	E III	
20	SK 286		條線文	η		
21	η		橫隆起線A—一条線文	η		
22	η		純文—微隆起線A	η		
23	η	逆「U」字狀文	沈線C—沈線B—羅文—円形点文	η		
第338回 1	SK 287	変形溝文	隆蒂B—羅文	η	E IV	
2	η		羅文—沈線C	η		
3	η		羅文—押引文	η		
4	SK 290		羅文—沈線C	η		
5	η		羅文—沈線A	η		
6	SK 291		無文	η		
7	η		η	η		
8	η	圓文	羅文—隆沈文B	η		
9	η		羅文—沈線C	η		

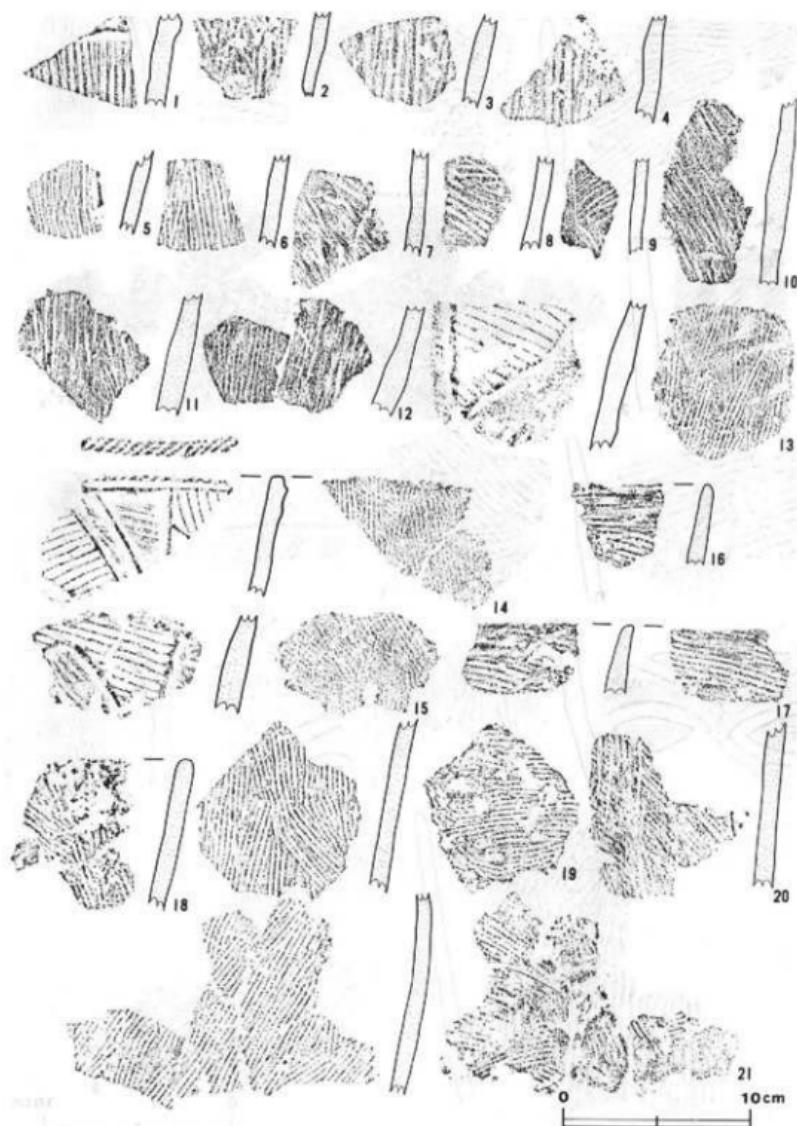
器物名	造 構	文 樣	作 出 方 法	高 上 位 調	時 期	備 考
第338回10	SK 294		繩文	X		
11	"		圓文—陰陽C	"		
12	"		条線X	"		
13	SK 298		微隆起線A—圓文	"	E IV	
14	"		" — "	"		
15	SK 310	「Y」字狀文	" — "	"		
16	SK 316		繩文	"		
17	"		"	"		
18	SK 318	「Y」字狀文	微隆起線A—圓文	"		
19	SK 329		繩文	"		
20	"		繩文—微隆起線C	"		
21	SK 331		隆脊B—繩文	"		
22	"		圓文—階梯A	"		
23	"		微隆起線A	"		
24	SK 333	圓文	圓文—沈線 C	"		
25	SK 346		階梯A—圓文—沈線 C	"		
26	"		繩文	"		
27	"		条線文	"		
28	SK 370	「Y」字狀文	微隆起線A	"	E IV	
29	"		微隆起線A—圓文	"		
30	SK 373		圓文—沈線 C	"		
31	"	橫圓文	隆脊C 圓文—沈線 C	"	E III	
第339回1	"		微隆起線A—圓點文	"		
2	SK 374		微隆起線A—圓文	"		
3	"		沈線 B—圓文	"		
4	SK 377		微隆起線A—圓文，圓點文	"	E IV	
5	SK 378		繩文	"		
6	"		微隆起線A—圓文	"		
7	"		無文	"		
8	SK 380	「Y」字狀文	微隆起線 A 繩文	"	E IV	
9	SK 409		" — "	"		
10	"		繩文—沈線 B	"		
11	SK 415		繩文 沈線 C	"		
12	"		圓文—階梯A	"		
13	"		繩文—沈線 C	"		
14	SK 423	橫圓文	繩文—沈線 B—階梯	"	E III	
第340回1	SK 433		繩文—沈線 B—圓點文	"		
2	"		" — " — "	"		
3	SK 435		階梯 A	"		舌狀突起
4	"		繩文—沈線 B	"		
5	SK 436		沈線 A—繩文	"		
6	"		階梯 A—微隆起線 A	"		
7	"		繩文	"		

回叢番号	通 備	文 樣	作 出 方 法	出上位質	時 期	備 考
第340回 8	SK 474		繩文-沈線B	X		
9	SK 478		繩文	〃		
10	SK 481		微隆起線A-繩文 沈線B	〃	EIV	換狀把手
11	〃		微隆起線A-繩文	〃		
12	SK 482	捺凹文	繩文-沈線B	〃	EIII	
13	〃		撻帶C-繩文-沈線B	〃	〃	
14	〃		繩文-沈線B、盲孔	〃	〃	
15	〃		条紋文	〃		
16	SK 486		沈線B	〃		
17	SK 493		絳文 降沈文B	〃		
18	〃		繩文-櫛消-沈線A	〃		
19	SK 495		微隆起線A-繩文	〃	EIV	
20	〃		〃 - 〃	〃		
第341回 1	SK 498		繩文	〃		
2	〃		条紋文	〃		
3	SK 501		微隆起線A	〃	EIV	
4	〃		微隆起線A- 繩文	〃	〃	
5	SK 504	溝文	繩文-沈線B	〃		
6	〃		〃	〃		
7	〃		〃 - 〃	〃		
8	SK 510		繩文 降沈文C	〃		
9	〃		繩文-沈線B	〃		
10	SK 511		降沈文A	〃		
11	〃	溝文	繩文 降捺A	〃	EIII	
12	〃	〃	〃 - 〃	〃	〃	
13	SK 563	〃	繩文-沈線A	〃		
14	SK 578	捺凹文	繩文-沈線C	〃	EIII	
15	〃		繩文-降沈文C	〃	〃	
16	〃		繩文-沈線C	〃	〃	
17	SK 583		沈線B、溝文	〃		
18	〃		繩文-沈線B- 四列点文	〃		
19	SK 603	紙手文	繩文 降沈文C	〃	EIII	
20	〃		繩文-沈線C	〃		
21	SK 627		微卷A、微隆起線A-繩文	〃	EIV	
22	〃		繩文-微隆起線A	〃	〃	
23	〃		繩文-沈線C	〃		
第342回 1	SK 676		繩文-降捺A	〃		
2	SK 685		繩文-隆捺C	〃		
3	〃	「Y」字状文	微隆起線A-繩文	〃	EIV	
4	SK 689		繩文-降沈文A	〃		
5	〃		繩文-沈線C	〃		
6	〃		繩文-微隆起線A	〃		
7	〃		降捺A-微隆起線A	〃		赤彩處理

同版番号	遺構	文様	作成方法	出土位置	時期	備考
第342[4] 8	SK 711		条線文	X		
9	"		绳文	X		
10	SK 763		沈線B、延粒绳文	X		
11	"		绳文—沈線A	X		
12	SK 787	涡文	绳文—沈線C	X	E III	
13	SK 810		" — "	X	E III	
14	"	涡文	绳文—降沈文A	X	E III	
15	SK 851		绳文—沈線C	X		
16	"		" — "	X		
17	"		" — "	X		
18	"		绳文—珠带A	X		珠状把手
19	SK 862	变形涡文	绳文 微隆起線B	X	E III	
20	"	"	" — "	X		
21	SK 904		绳文—沈線B	X		
22	"		羽状绳文	X		
23	SK 910		绳文	X		
24	"		"	X		
第343[4] 1	"	円文	绳文—沈線B、C	X	E III	
2	"	"	" — "	X		
3	SK 915	「Y」字状文	微隆起線A 横文—沈線A—素面	X	E IV	
4	SK 917		绳文	X		
5	"		微隆起線A 横文	X	E IV	
6	SK 958	「U」字状文	" — "	X		
7	SK 964		" — "	X	E IV	
8	SK 976		绳文—微隆起線A	X		
9	"		绳文—降沈文C	X		
10	SK 981		绳文 沈線C	X		
11	"		" — "	X		
12	"		绳文—沈線B	X		
13	"		绳文—沈線C	X		
14	"		微隆起線B 横文	X		
第344[4] 1	SK 985	「Y」字状文	微隆起線A—绳文	X	E IV	
2	SK 986		绳文—沈線B	X		
3	"		绳文	X		
4	SK 989		绳文—沈線B	X		
5	"		" — "	X		
6	SK 997		微隆起線A—绳文	X		
7	"		" — "	X		
8	SK 1007		绳文—降帶B	X	E III	
9	"	横円文	绳文—沈線C	X		
10	SK 1018	「Y」字状文	沈線A—绳文	X	E IV	
11	SK 1023		绳文—沈線C	X		
12	"	篆手文	绳文—沈線B	X		

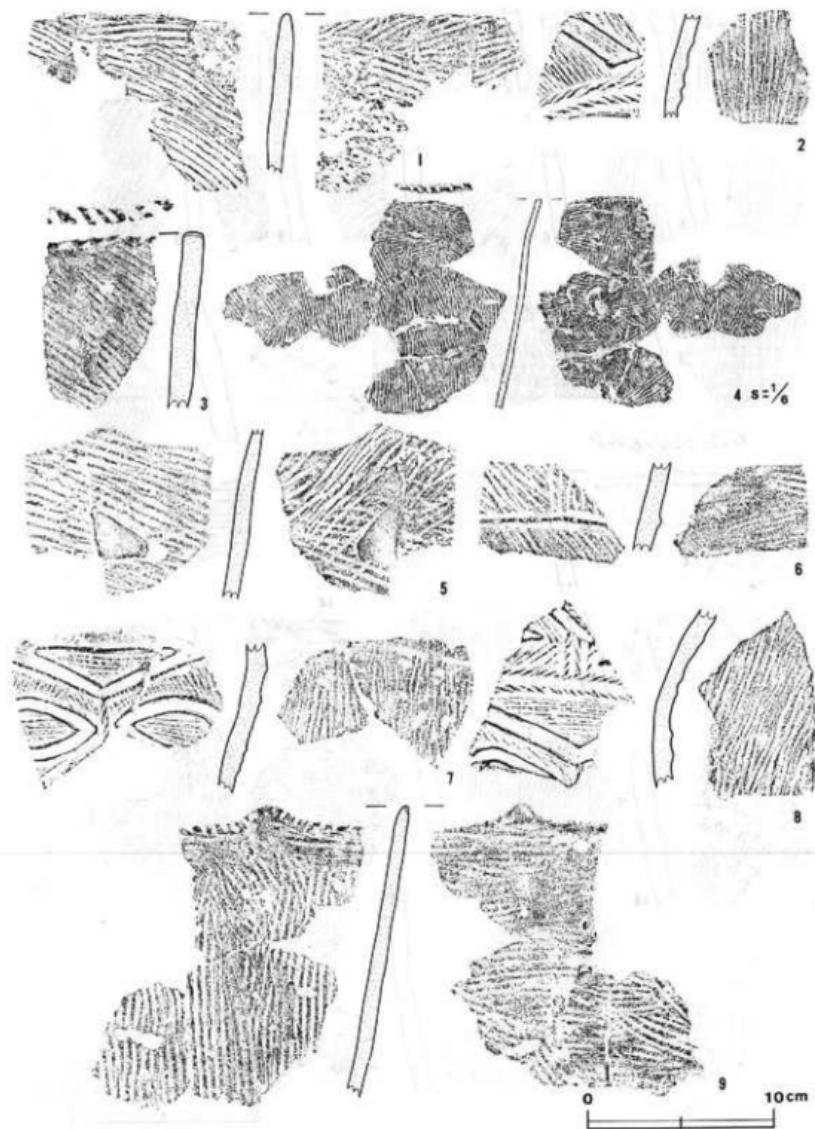
國故番號	造構	文様	作成方法	出土位置	時期	備考
第345回 1	SK 1034	変形渦文	繩文 陰沈文A	X		
	#		陰帶C、斑文	#		
	SK 1038		繩文、沈線B	#		
	#		#、#	#		
	#	変形渦文	微隆起線A—繩文	#		
	SK 1041		沈線C、条線文	#		
	#		繩文	#		
	#		条線文	#		
	#	変形渦文	繩文—微隆起線B	#	E III	
	#		繩文—微隆起線A	#	#	
	#		陰帶A—兩邊丸線A—繩文	#	#	
	#		繩文—沈線B	#	#	
	#		繩文、沈線A	#		
第346回 1	SK 1043	変形渦文	繩文—陰帶A	#		
	#		繩文—陰帶C	#		
	SK 1045		繩文—沈線C	#		
	#		#—#	#		
	#		繩文—陰帶C 沈線B	#		
	#		繩文—沈線C	#		
	#		繩文	#		
	#	渦文	繩文—微隆起線A	#	E III	
	#		繩文—沈線B	#	#	
	#	渦文	繩文、沈線C	#		
	SK 1054		繩文、沈線B	#		
	#		繩文—微隆起線A	#		
	#		繩文—沈線B	#		
	#		繩文—沈線B	#		
	SK 1065		繩文	#		
	#		微隆起線A—細粒繩文	#		
	#		沈線B—繩文	#		
	#		繩文、沈線B	#		
	#		沈線B—繩文	#		
	#		微隆起線A—繩文	#		
第347回 1	SK 1123		無文	#		
	#		繩文 沈線B	#		
	#	尚文	繩文—微隆起線A	#		
	#		条線文	#		
	SK 1128		#	#		
	SK 1141		繩文	#		
	SK 1172	円文、撇手文	繩文—沈線B	#		
	#	格円文	繩文—陰沈文C	#	E III	
	#		条線文	#		
	#	変形渦文	繩文—沈線B	#	E III	
	SK 1230	格円文	繩文 沈線C	# X	#	

器物番号	遺 墓	文 样	作 出 方 法	出土 位 漆	時 期	備 考
第347412	SK 1230	変形凸円文	繩文一縦帯C	炉X	E田	
13	"	横円文	縄文一縦帯C	X	"	
14	SK 1245	「丁」字状文、変形凸文	沈線B 細粒繩文	"		



第265圖 爐穴出土土器片拓影圖

圖釋洪武朝土器出處 同265圖

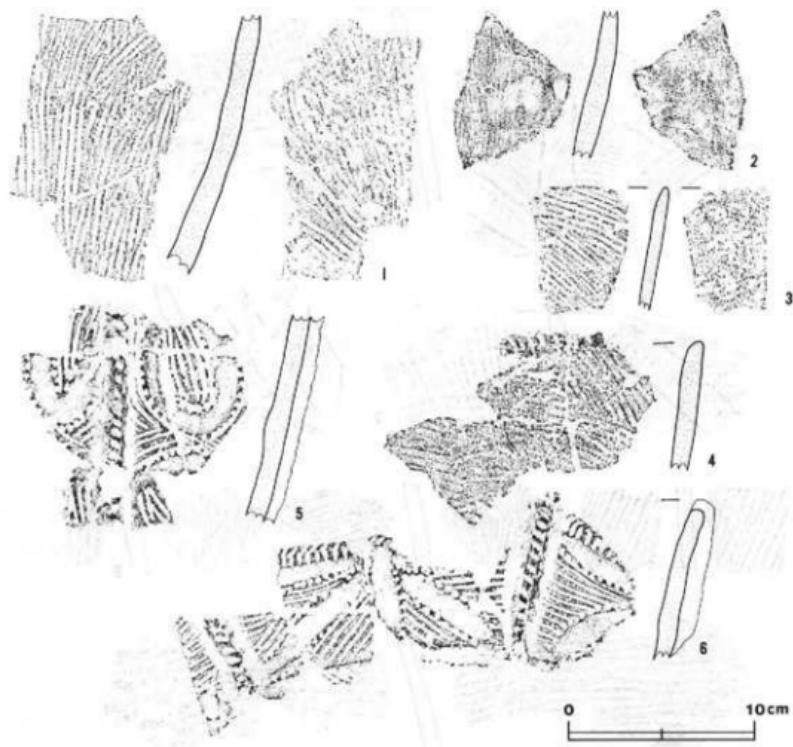


第266图 炉穴出土土器片拓影图

南洋群岛出土器物 第三部分

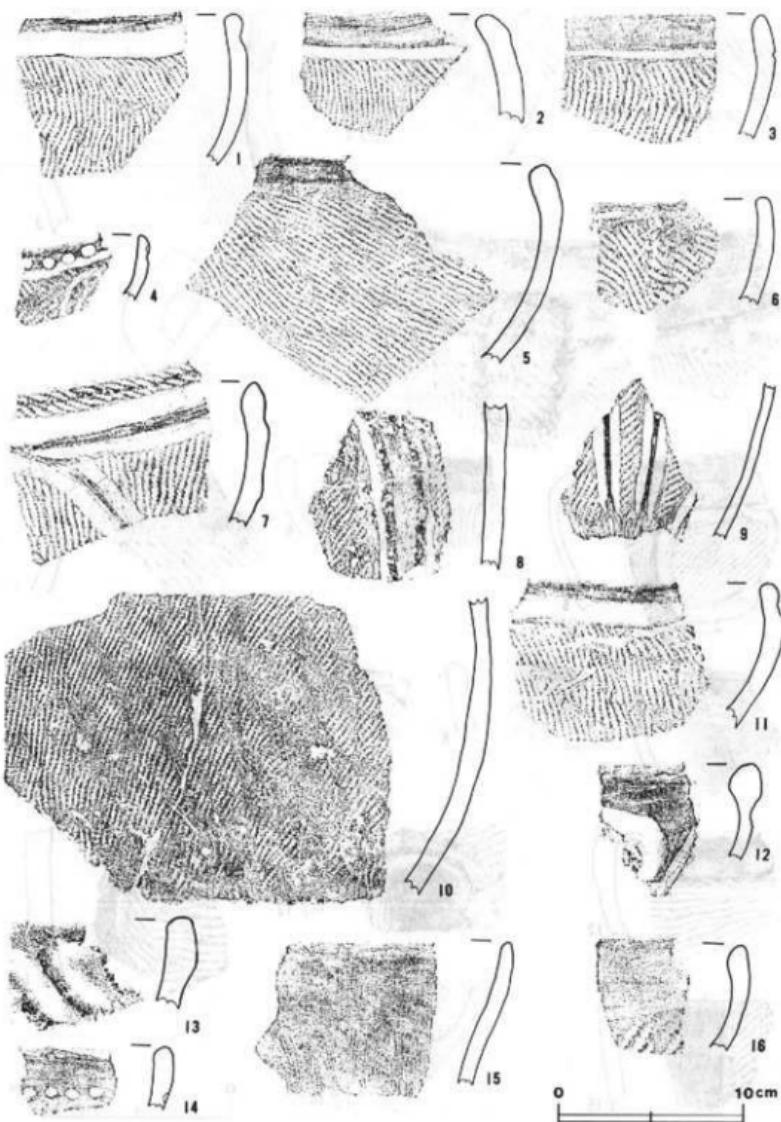


第267図 炉穴出土土器片拓影図



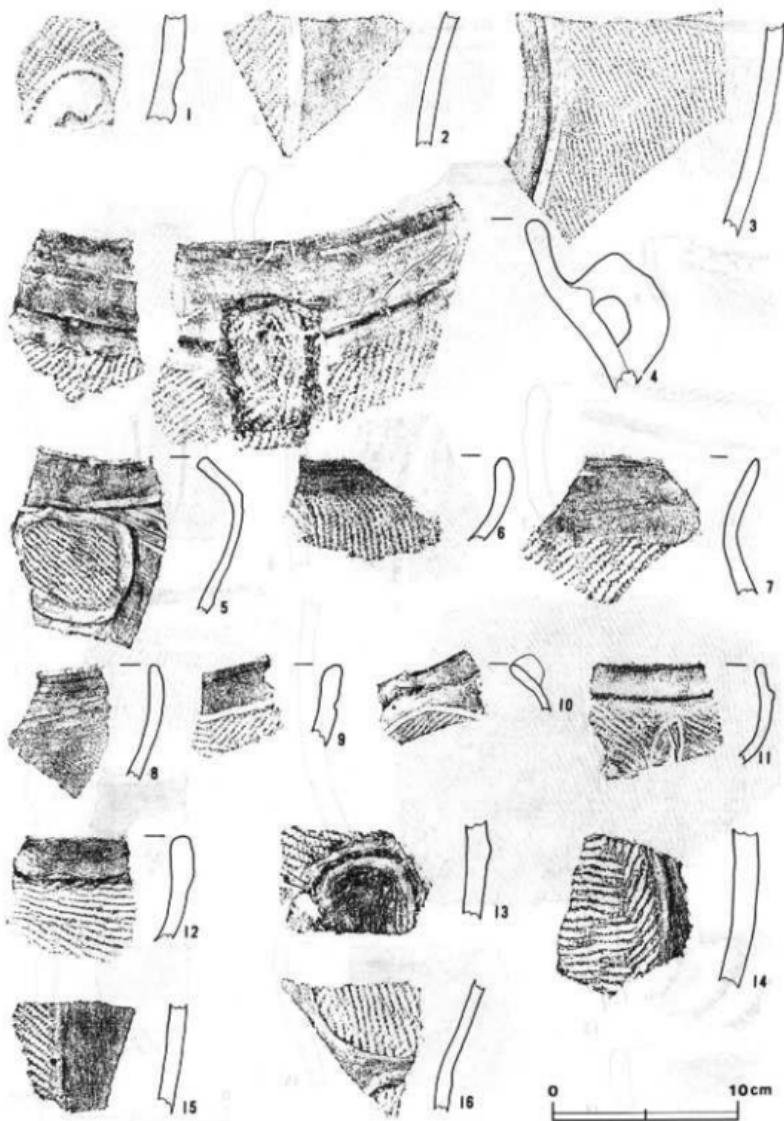
第288図 炉穴出土土器片拓影図

國立民族学博物館出典



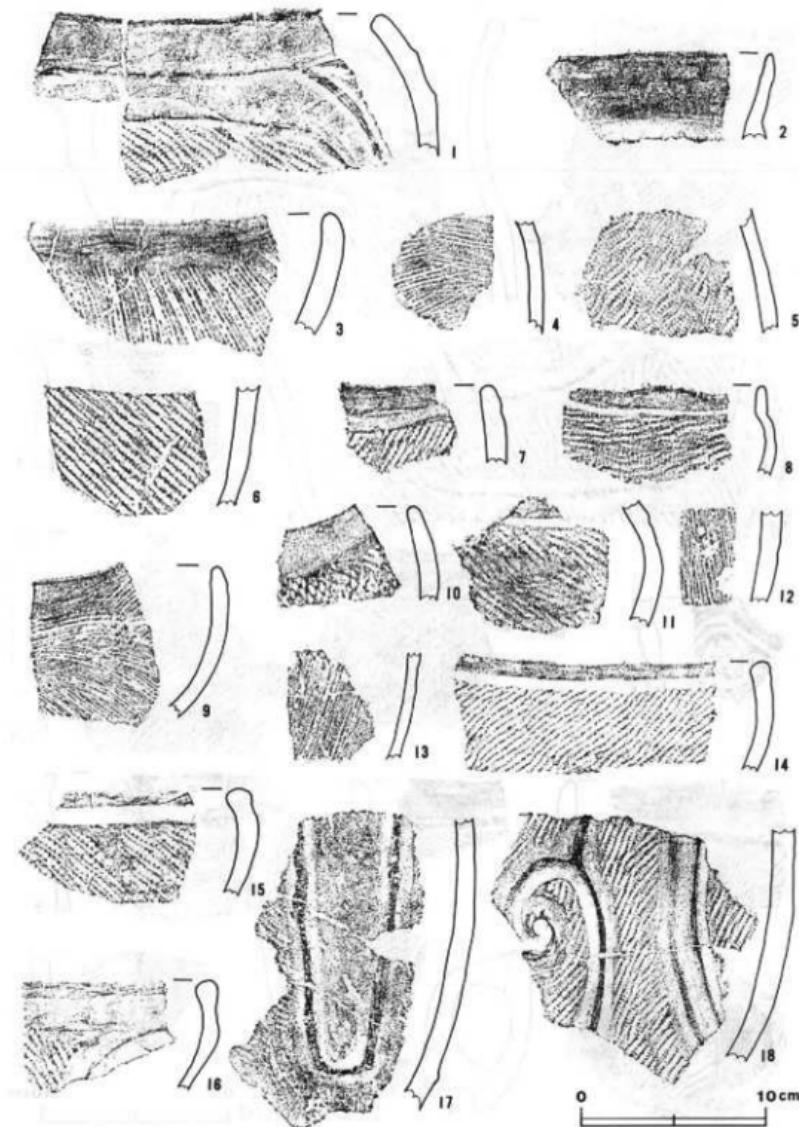
第269図 住居跡出土土器片拓影図

記載場所: 遺跡出土箇所分 50015号



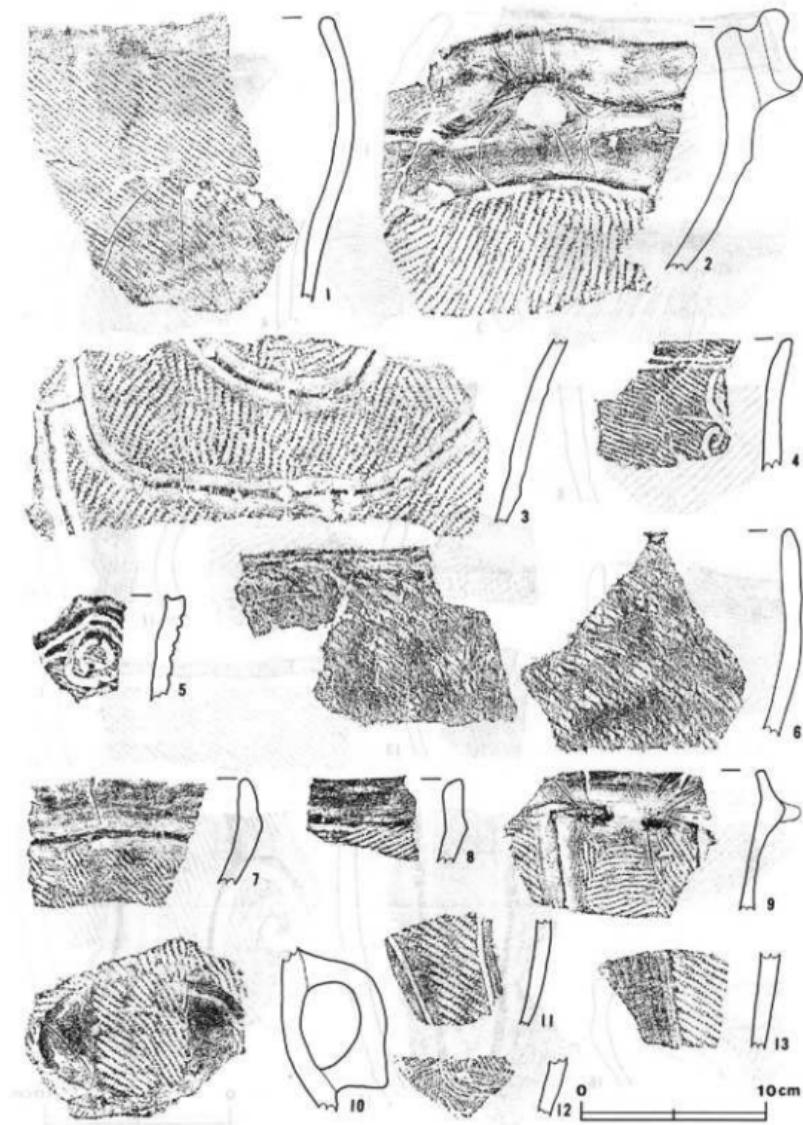
第270図 住居跡出土土器片拓影図

昭和廿二年秋土出層墓跡 四四五号墓



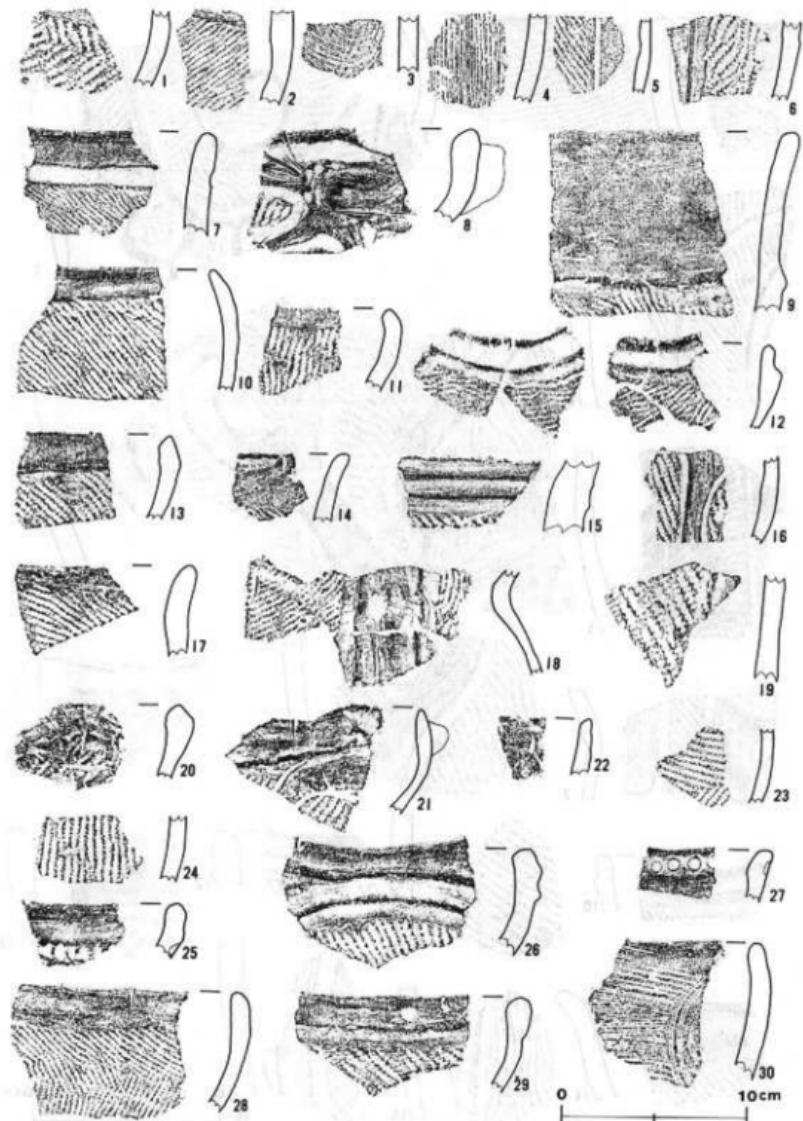
第271図 住居跡出土土器片拓影図

昭和25年秋土器類報告 第271図



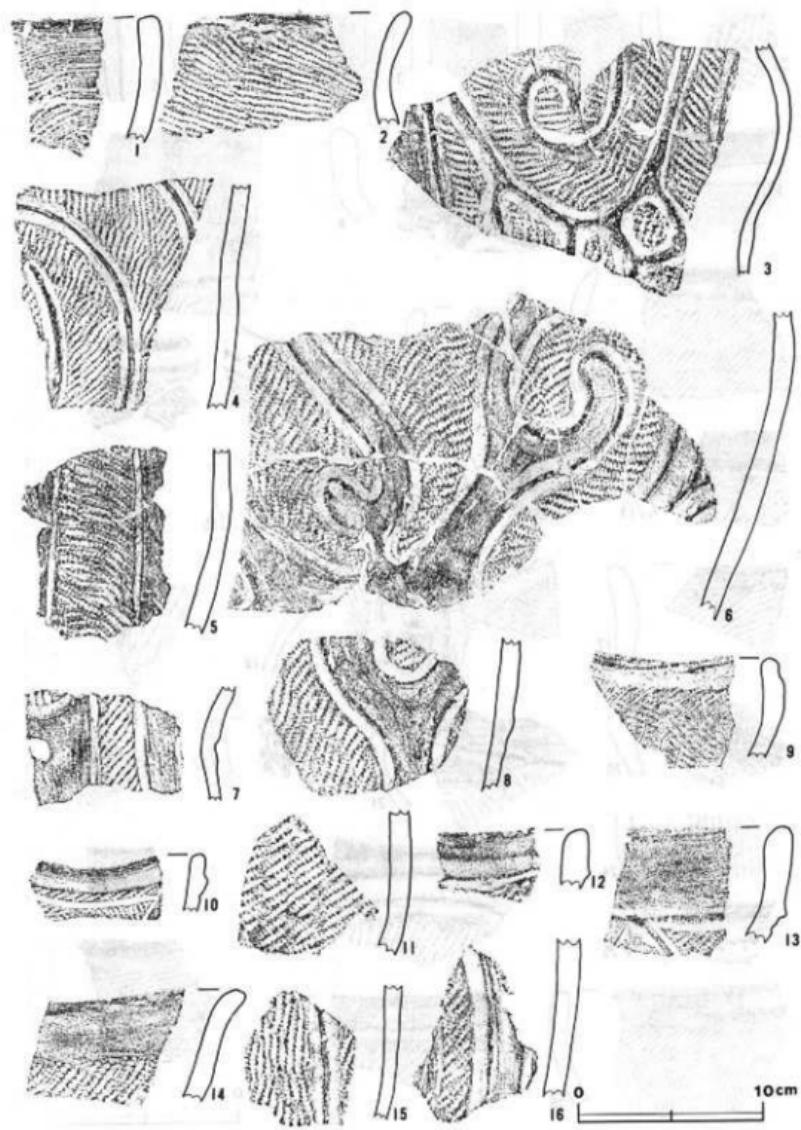
第272図 住居跡出土土器片拓影図

三種游長舞土出解見跡 四:1付属



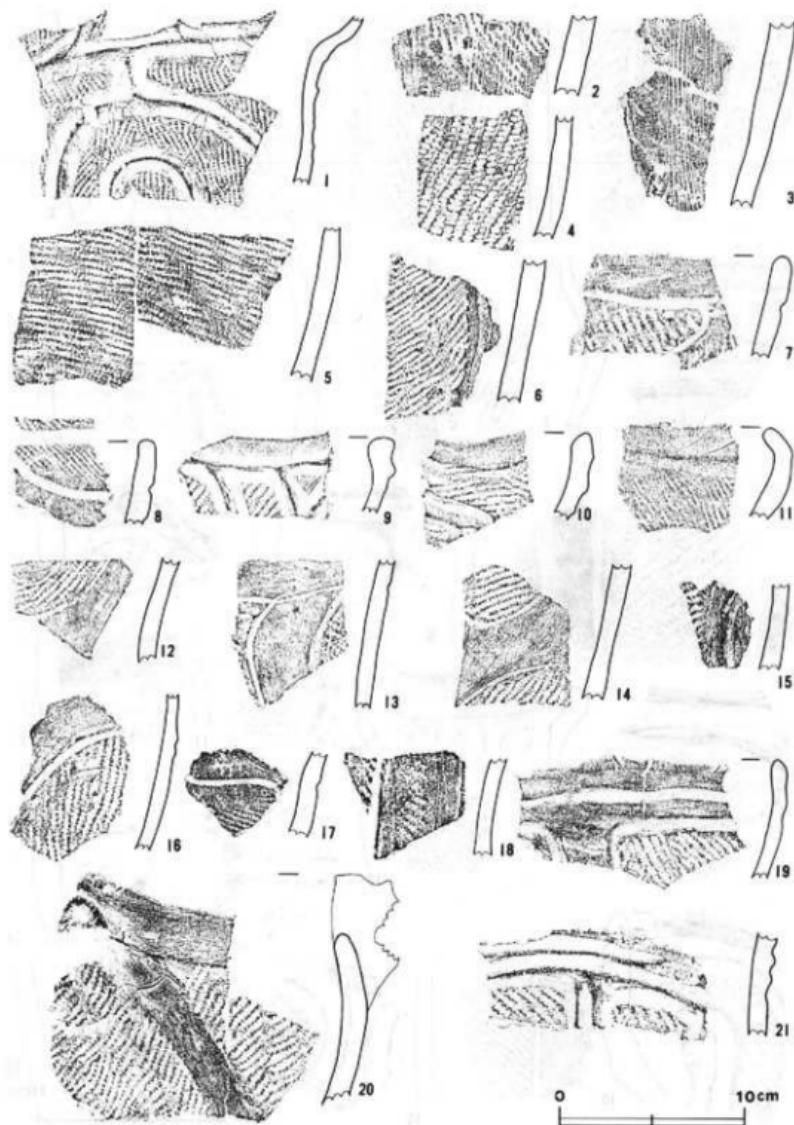
第273図 住居跡出土土器片拓影図

回復地出雲土上出雲屋敷 回復地



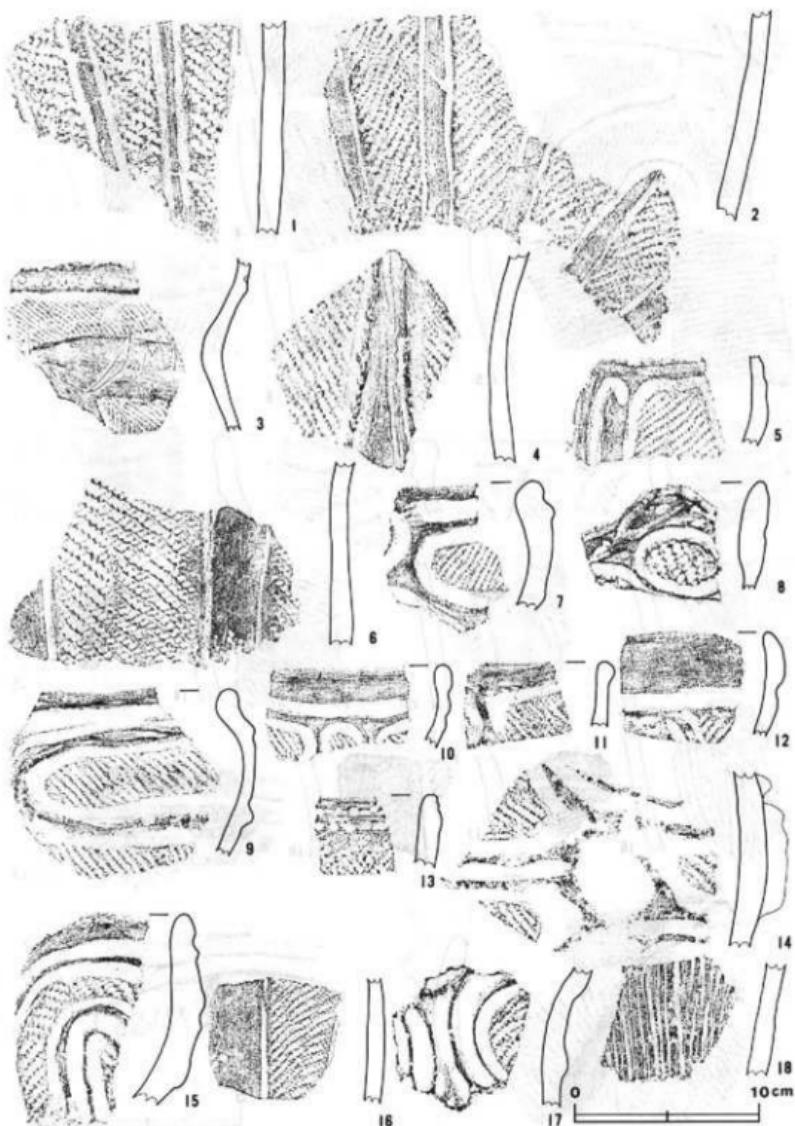
第274図 住居跡出土土器片拓影図

（四葉卦井頭土器出解説） 第274図



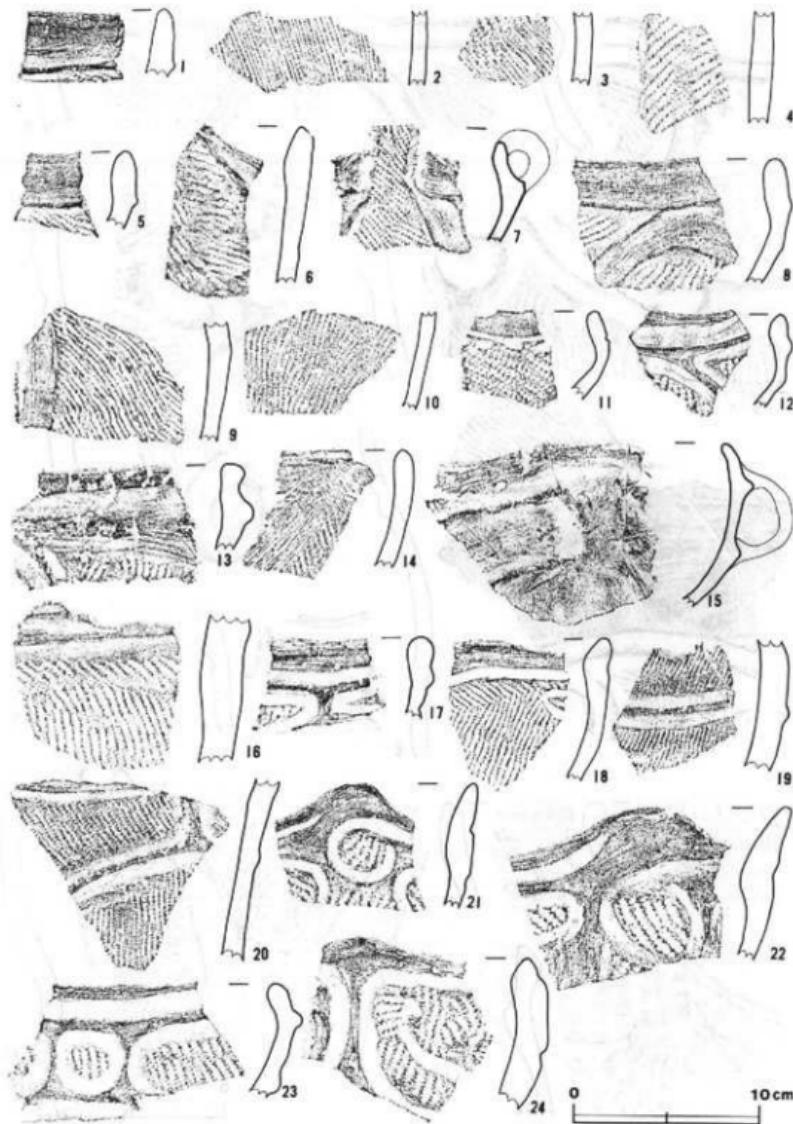
第275図 住居跡出土土器片拓影図

安藤町井戸跡出土陶器片 図275



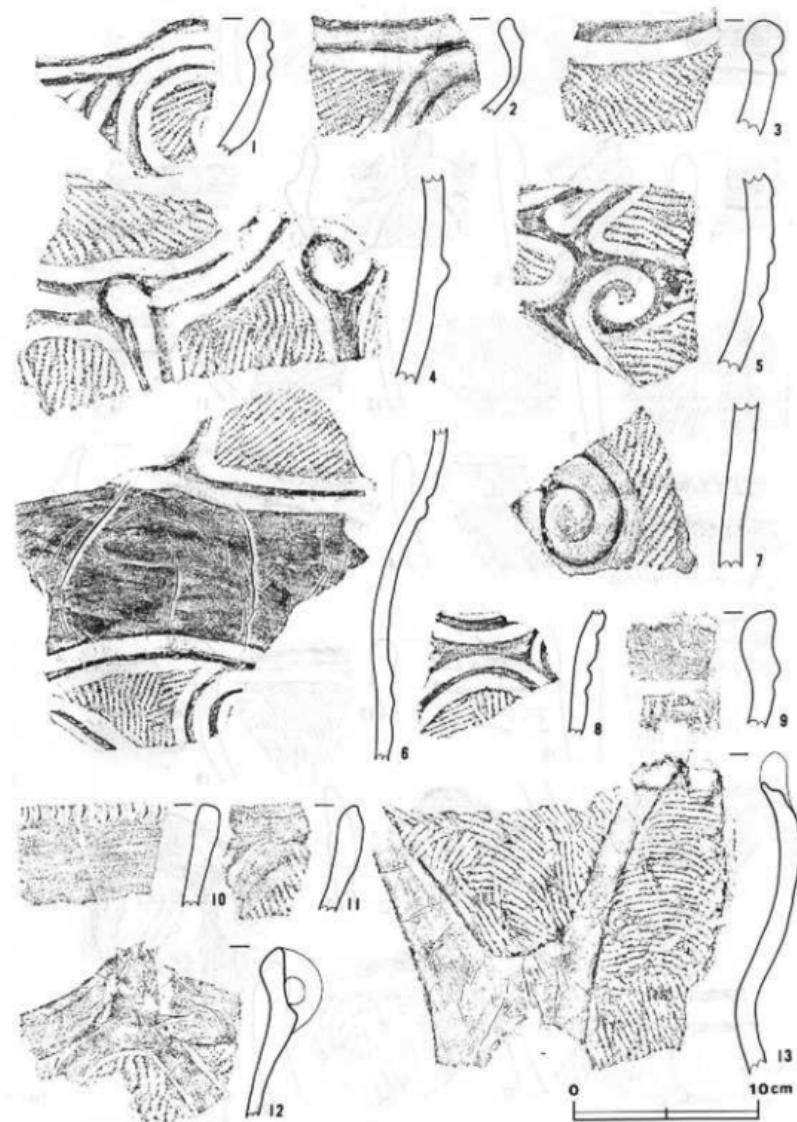
第276図 住居跡出土土器片拓影図

鹿島2号墓出土土器片拓影図



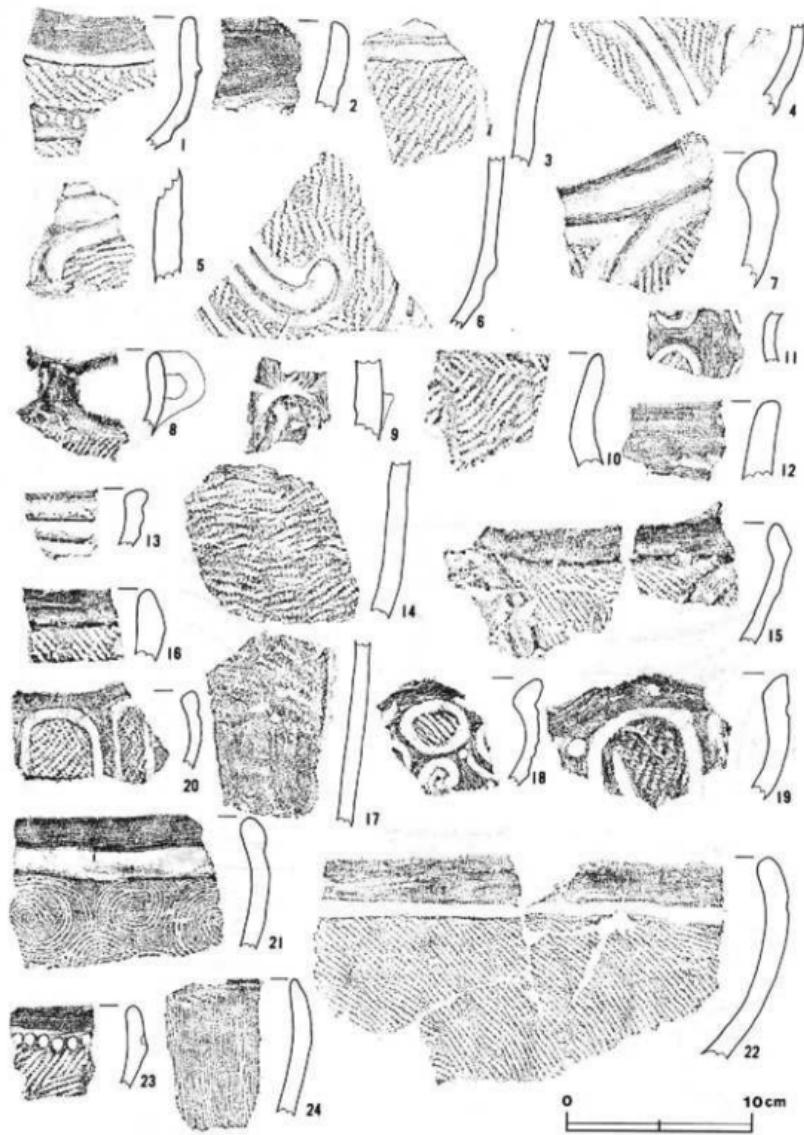
第277図 住居跡出土土器片拓影図

近畿地方出土土器片拓影図

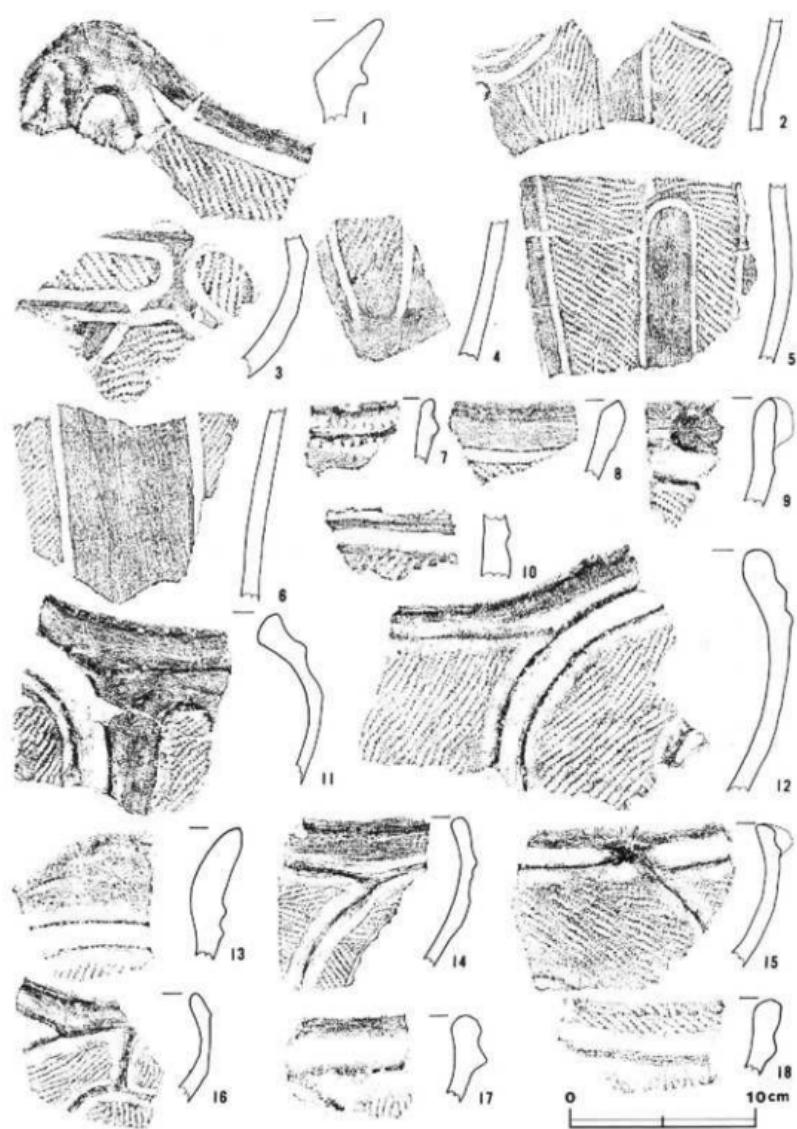


第278圖 住居跡出土土器片拓影圖

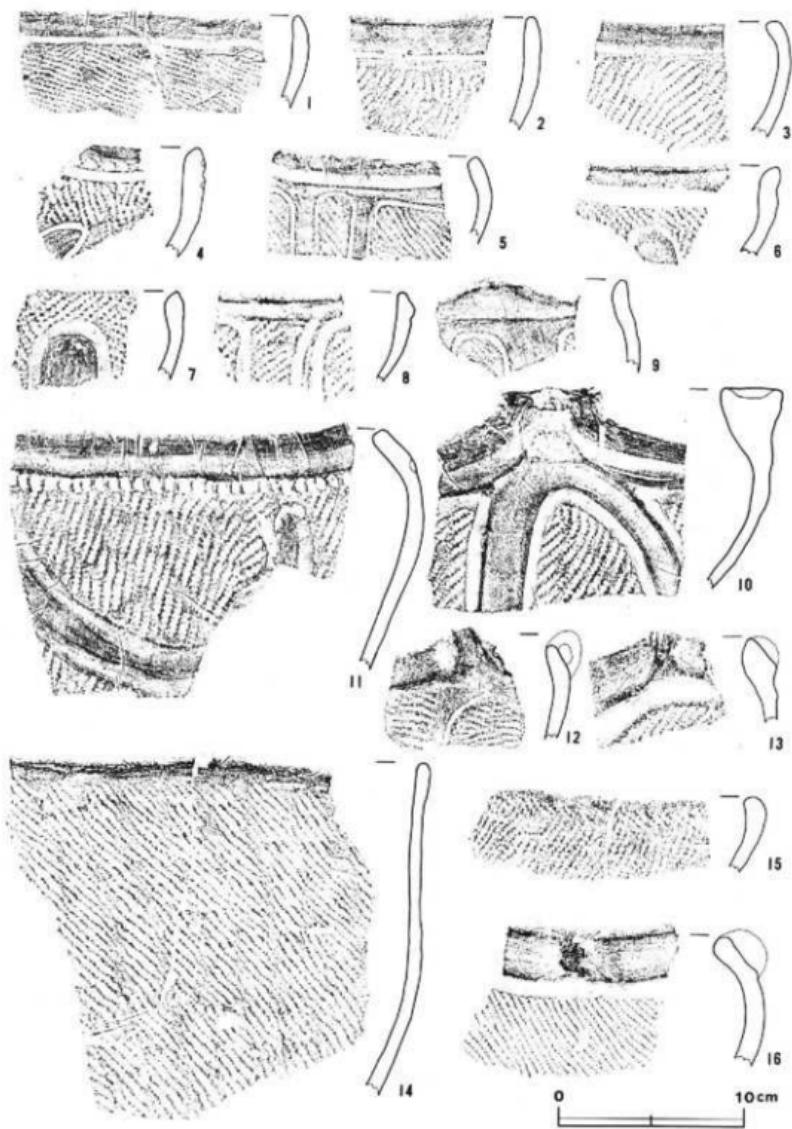
圖版四外觀上未出於器皿 二〇一五



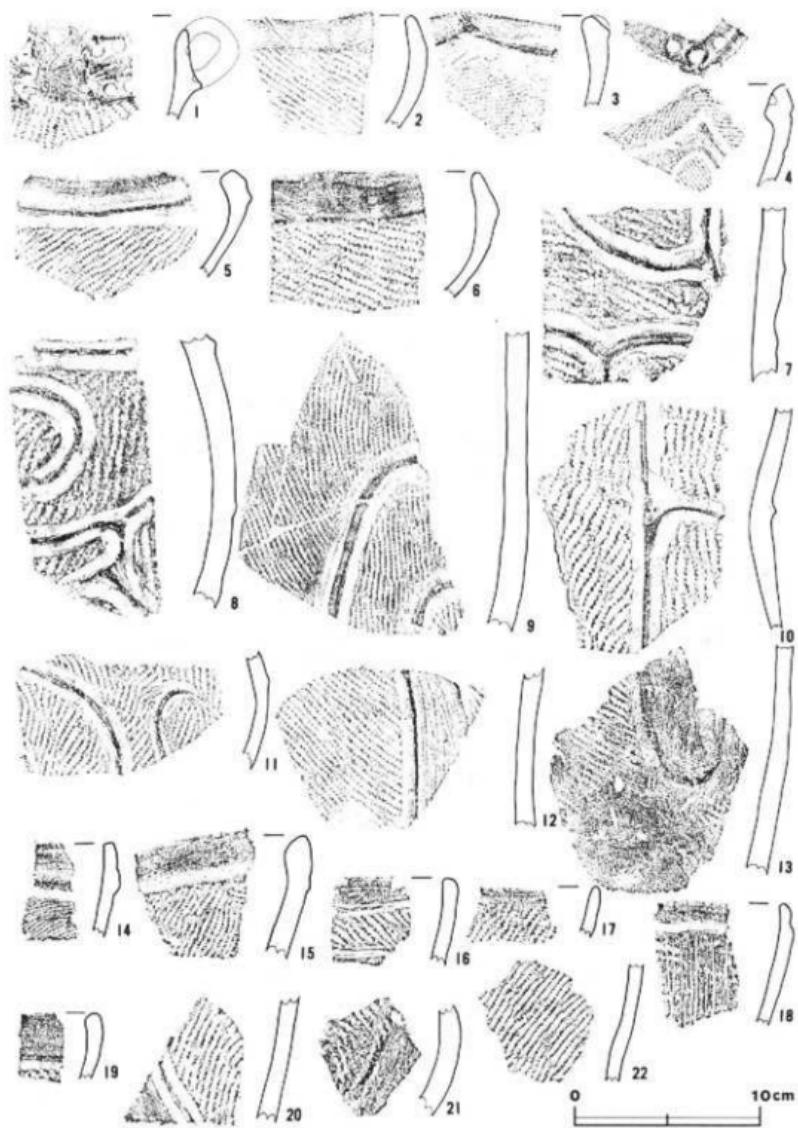
第279圖 住居跡出土土器片拓影圖



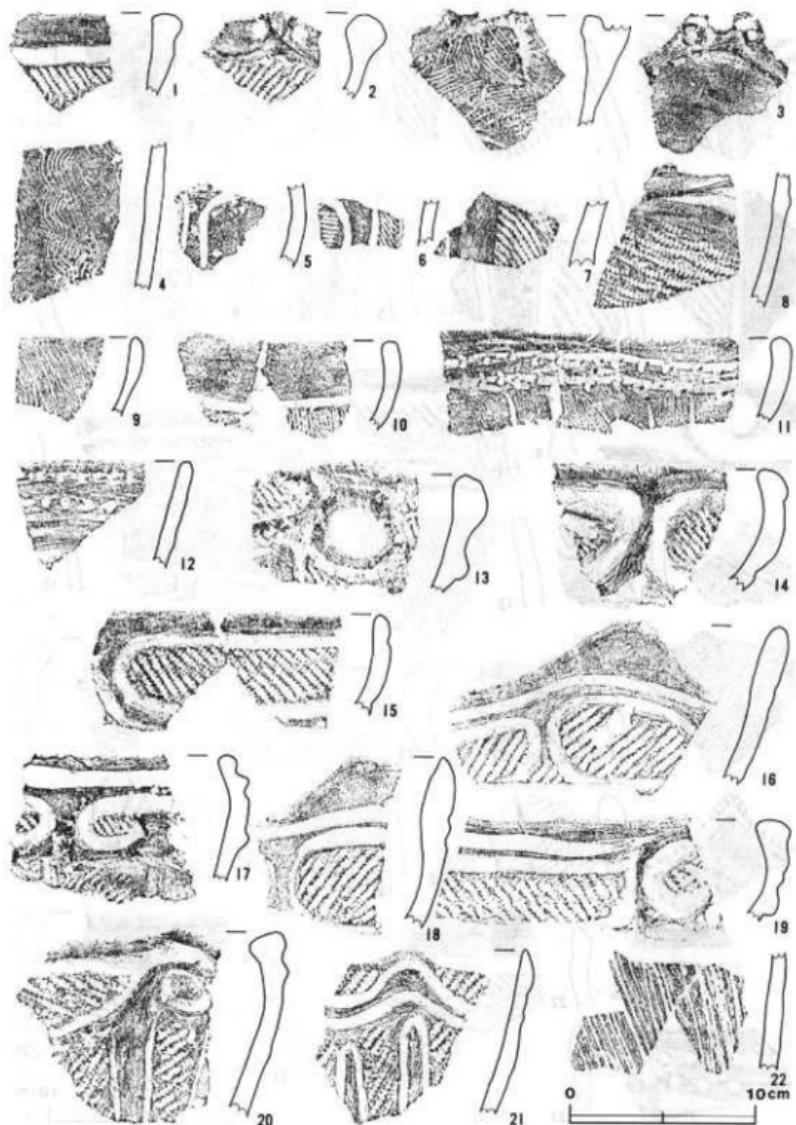
第280図 住居跡出土土器片拓影図



第281図 住居跡出土土器片拓影図



第282図 住居跡出土土器片拓影図



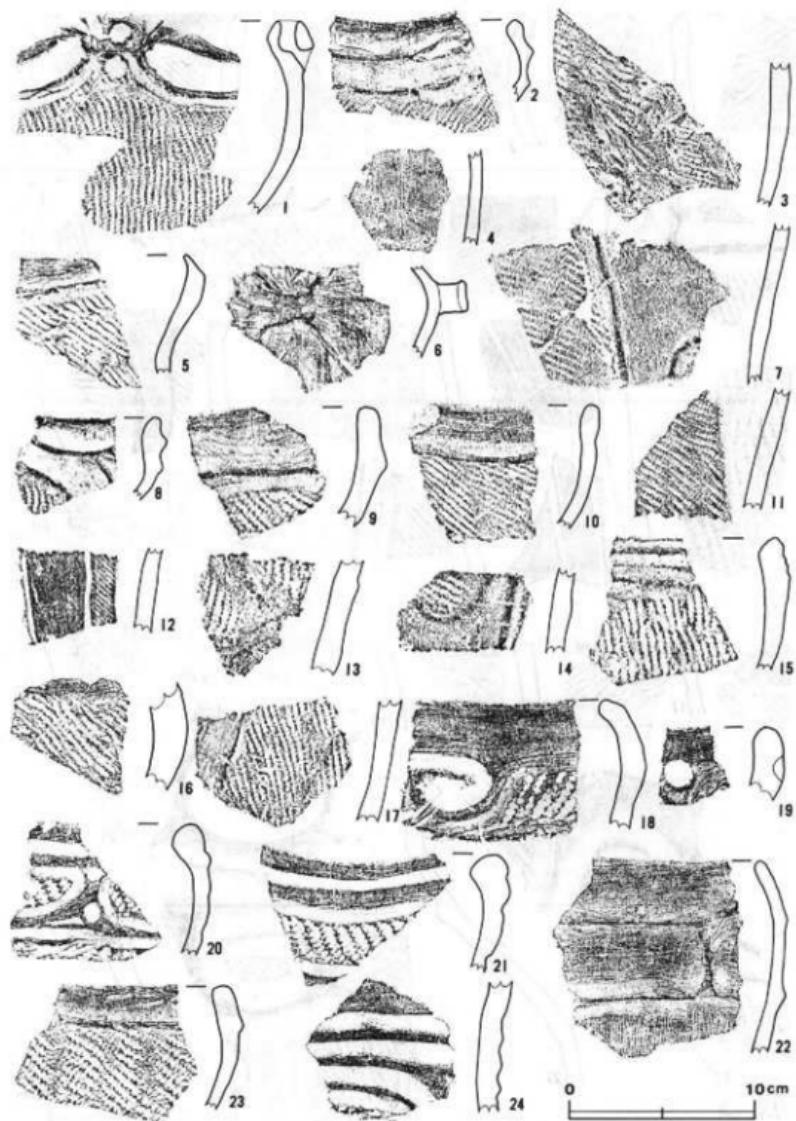
第283図 住居跡出土土器片拓影図

（福井県大野郡大野町）



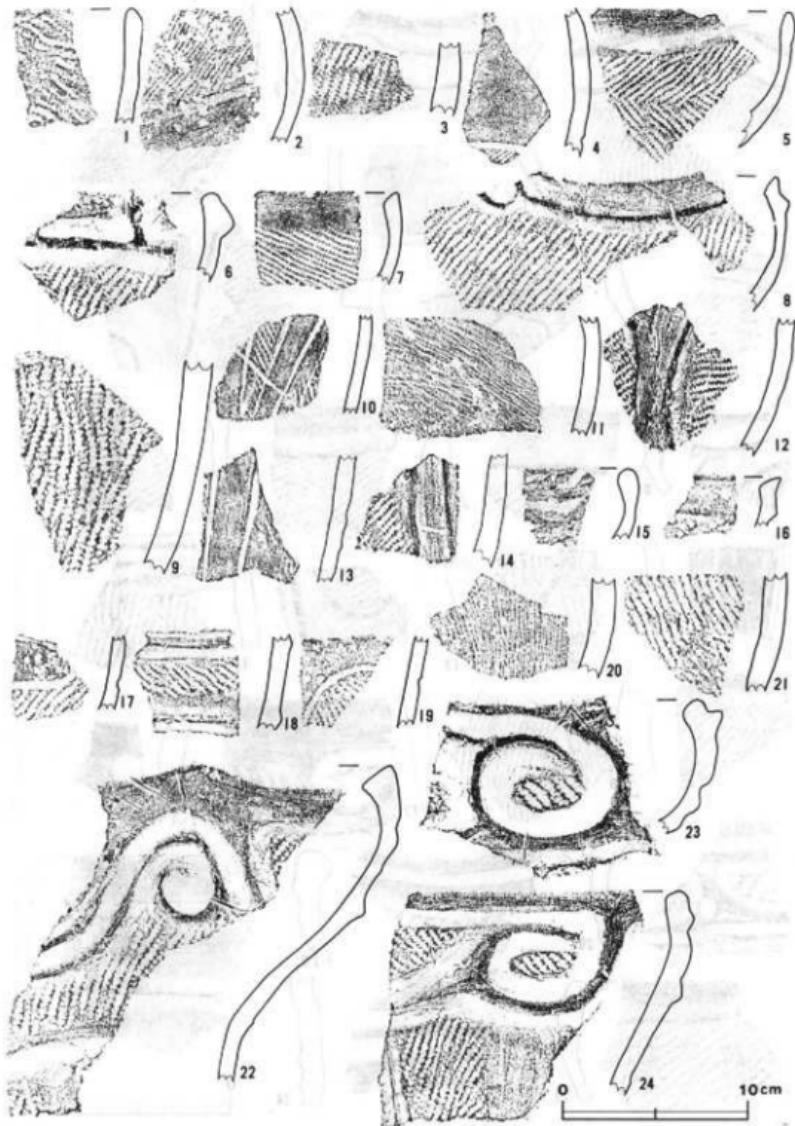
第284図 住居跡出土土器片拓影図

四連取手蓋土器片等の陶器片



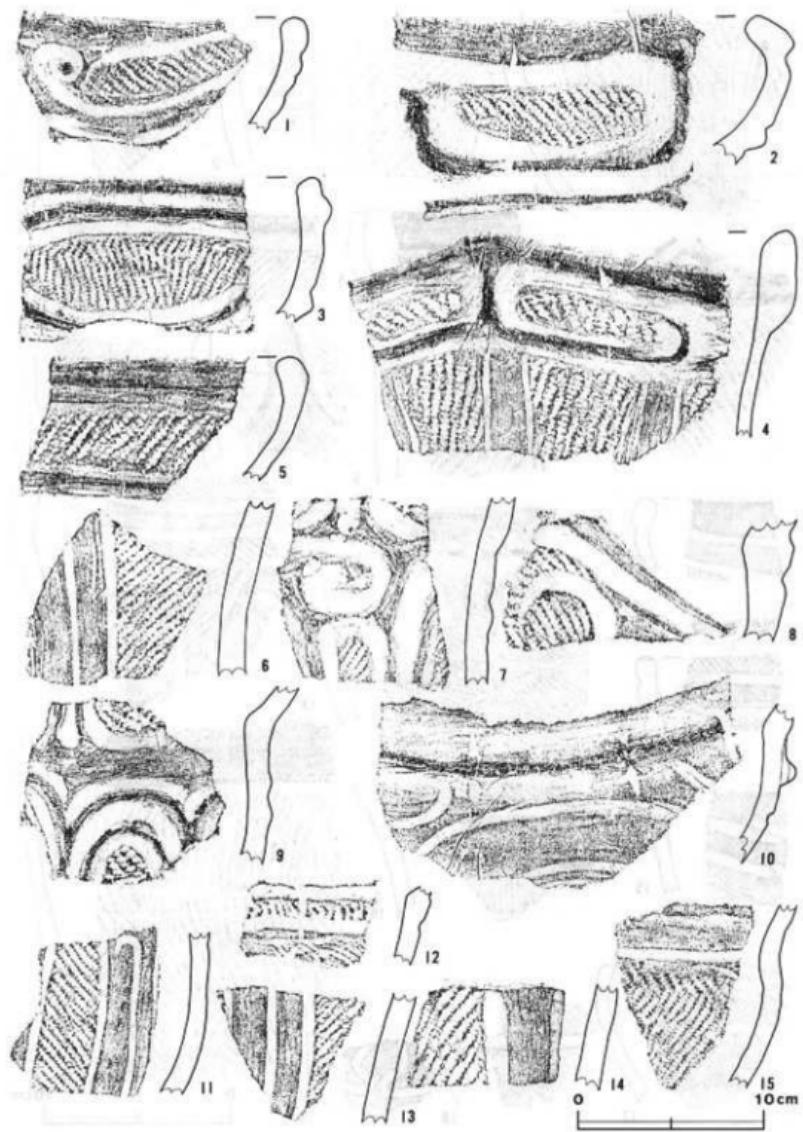
第285図 住居跡出土土器片拓影図

高津郡共賀大字古西野村  
昭和25年



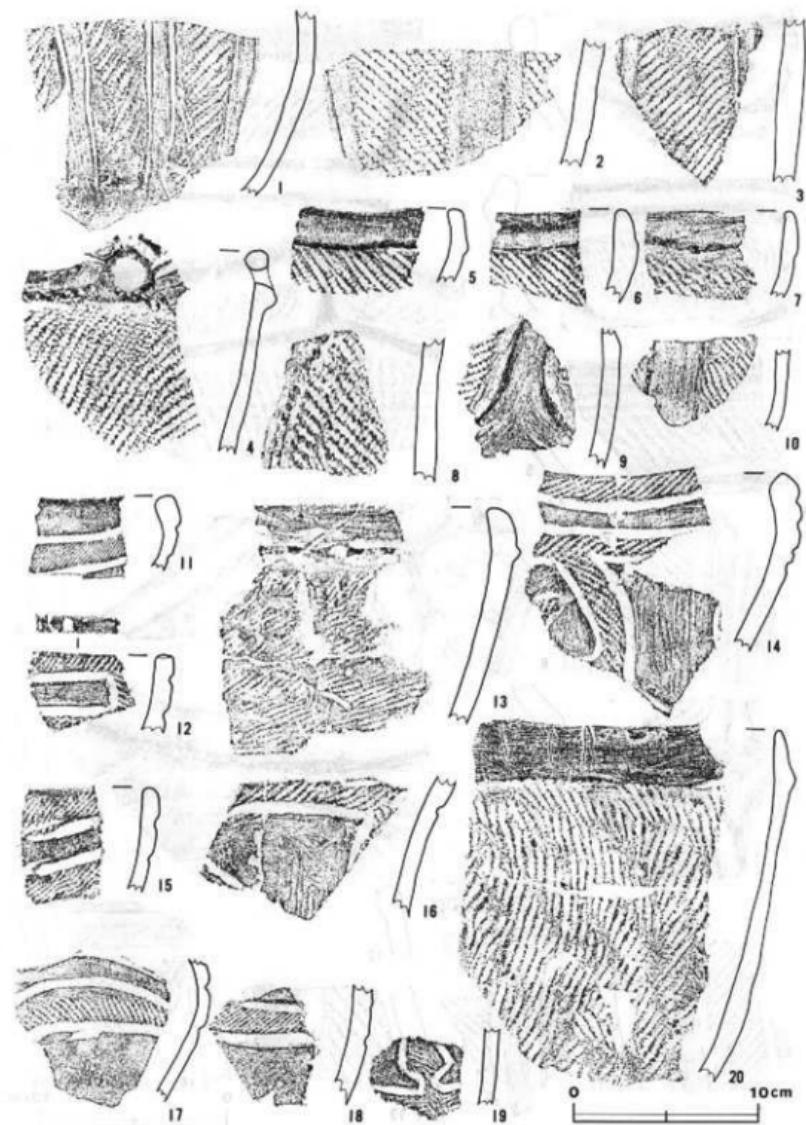
第286図 住居跡出土土器片拓影図

岩槻明治土器土出城裏付 国立科学



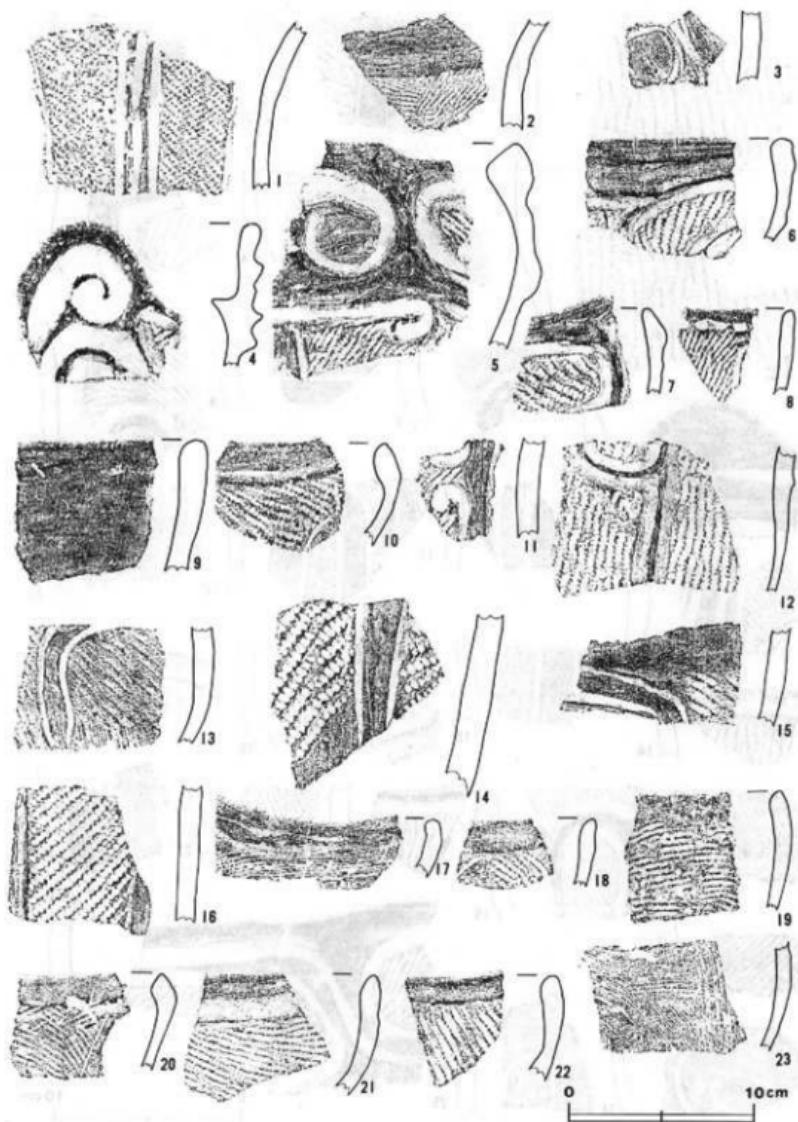
第287図 住居跡出土土器片拓影図

四連湖貝塚出土陶器片 四連湖



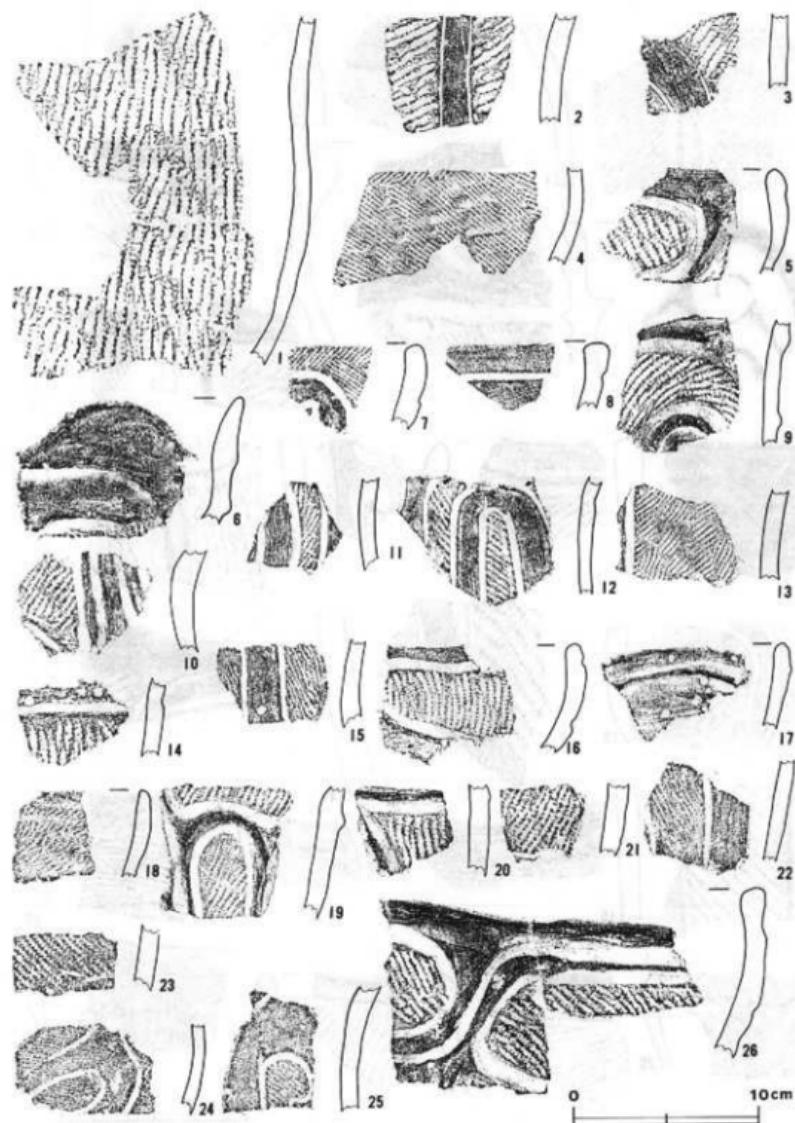
第288図 住居跡出土土器片拓影図

図版288図は、図版287図の拡大図である。



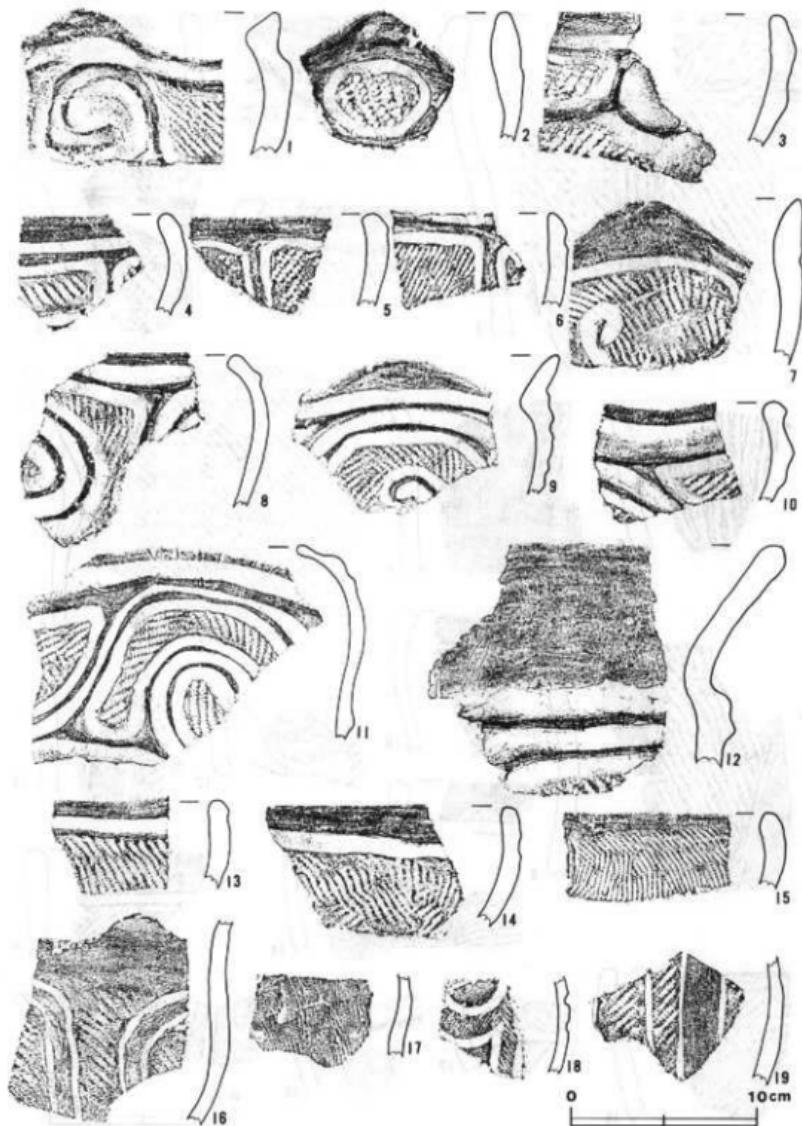
第289図 住居跡出土土器片拓影図

昭和25年秋北山遺跡調査 (2025年)



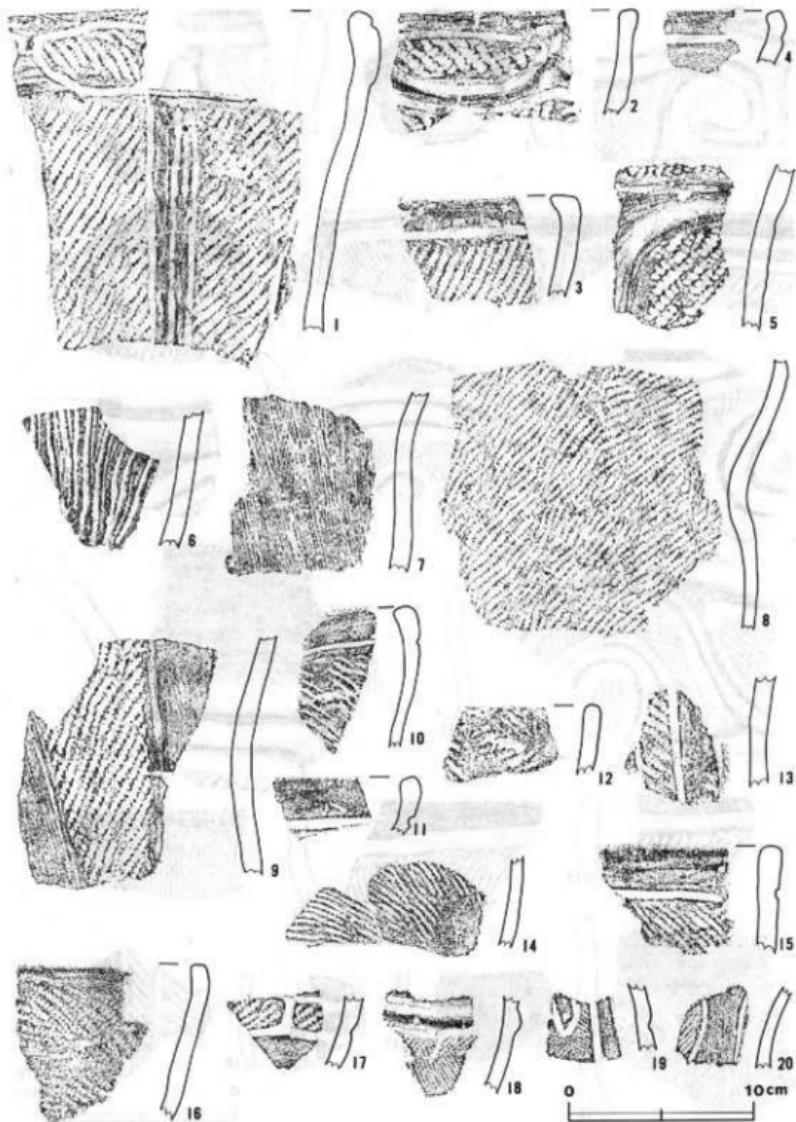
第290図 住居跡出土土器片拓影図

四撫里井器土出土器片拓影圖



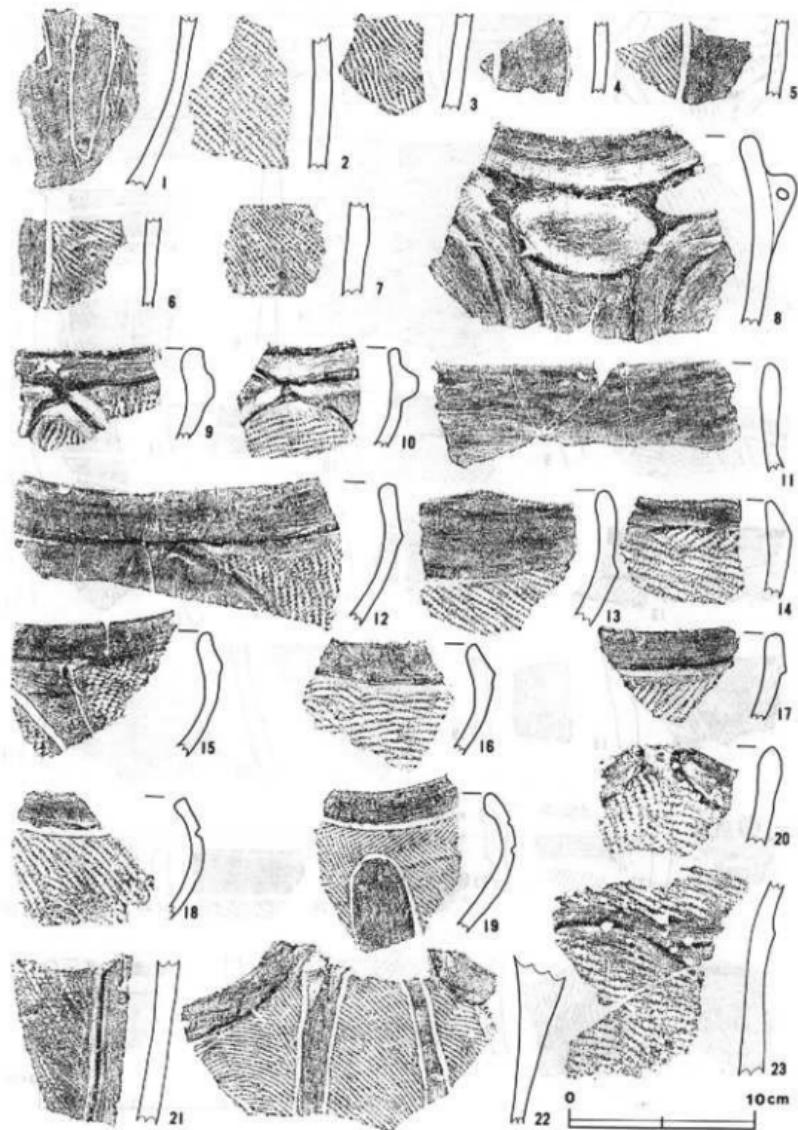
第291図 住居跡出土土器片拓影図

四國島名勝土器類圖 第225圖



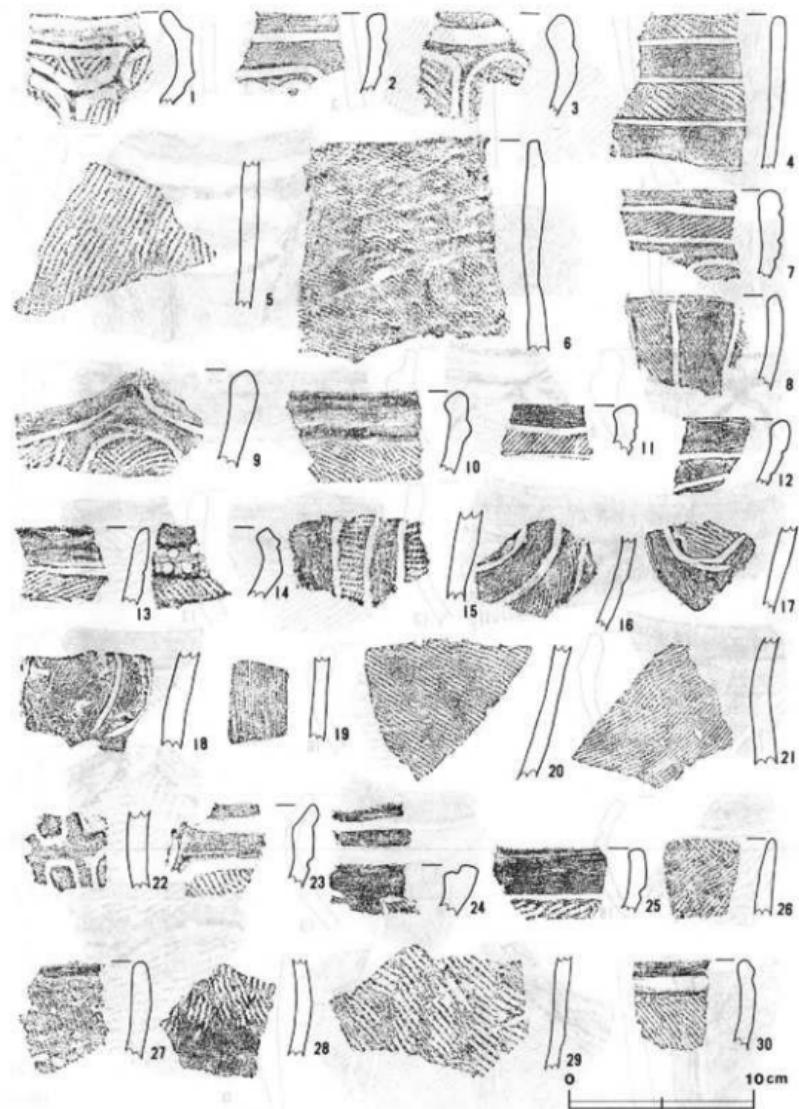
第292図 住居跡出土土器片拓影図

大連新石器時代遺跡 圖版集



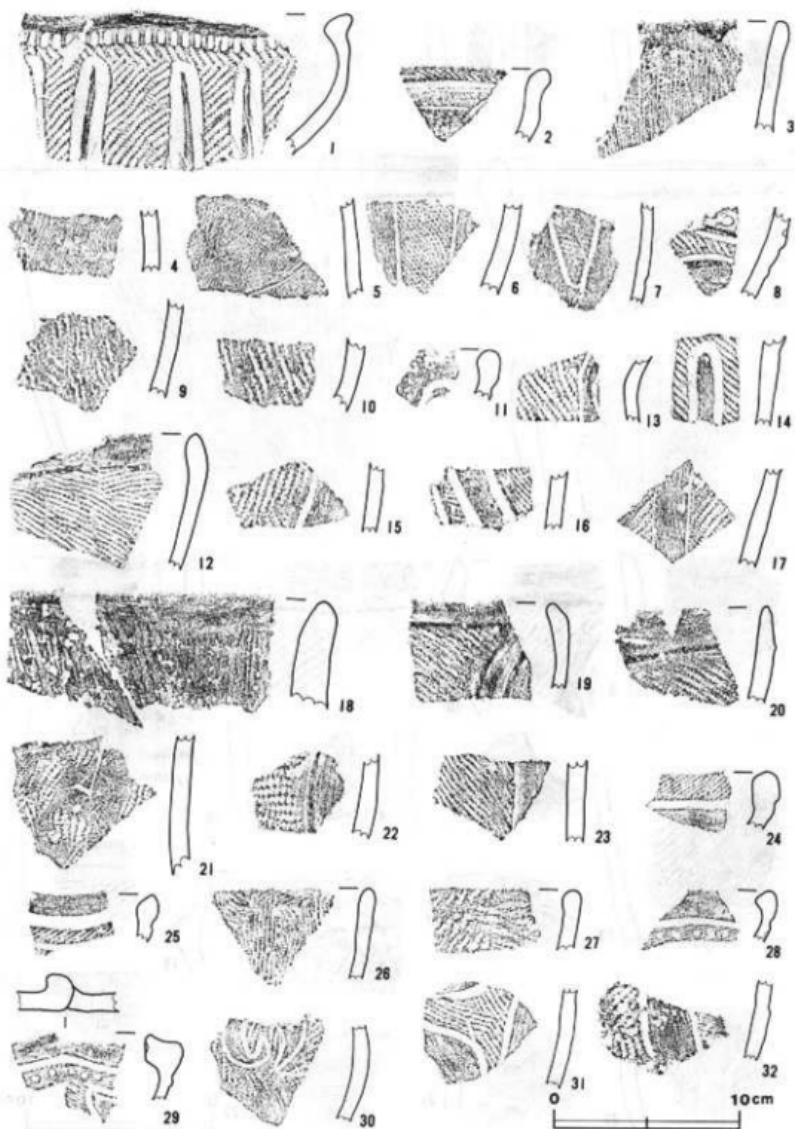
第293図 住居跡出土土器片拓影図

昭和25年秋土山遺跡第3回調査



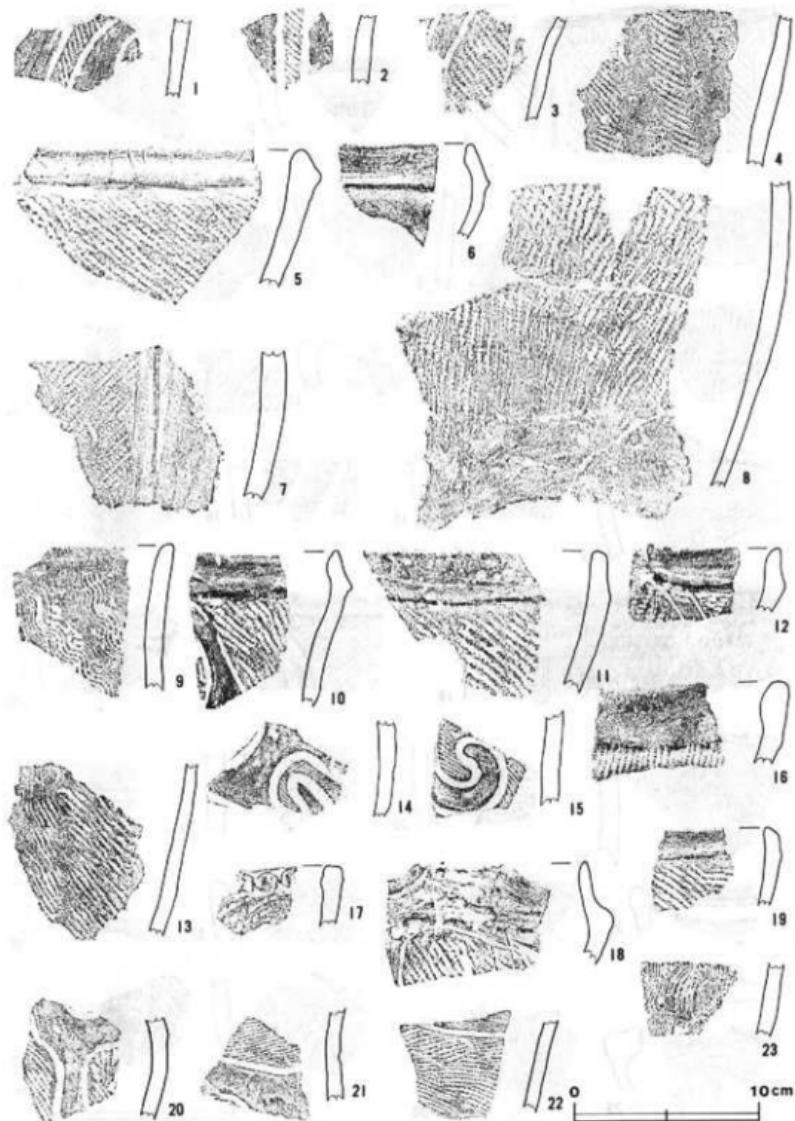
第294図 住居跡出土土器片拓影図

関連資料参考出典原教 図281



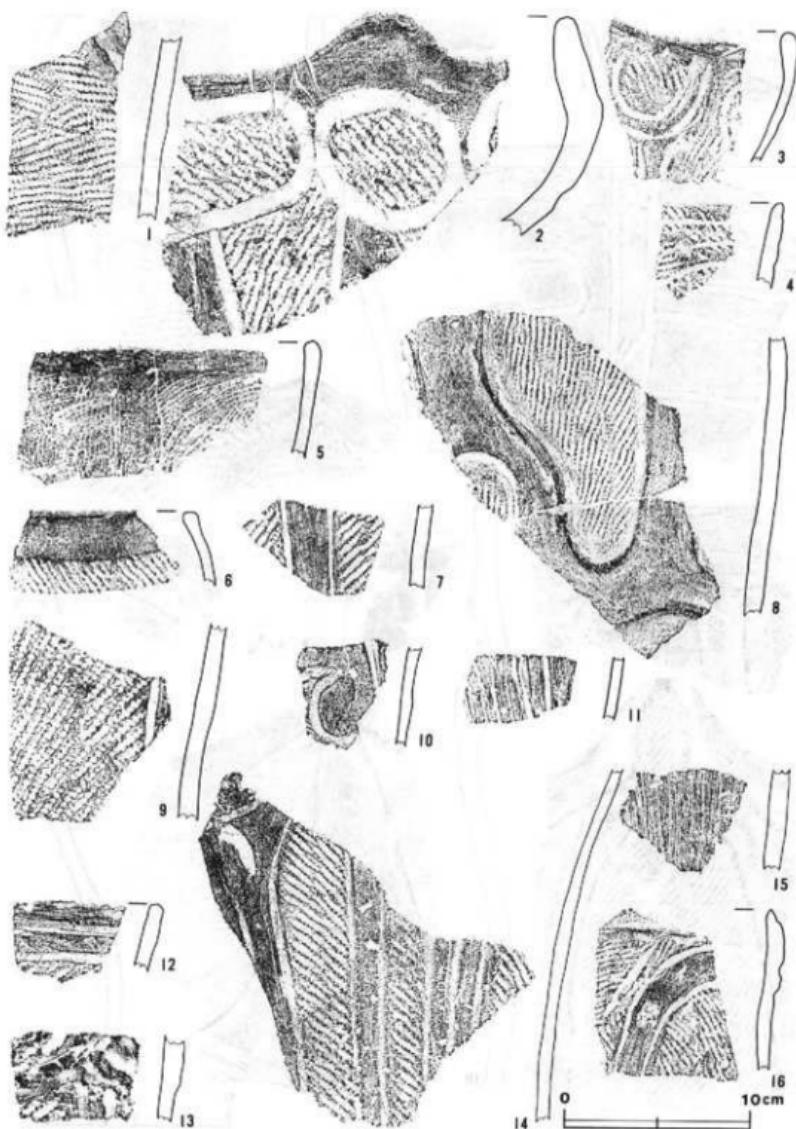
第295図 住居跡出土土器片拓影図

（西漢武帝時）



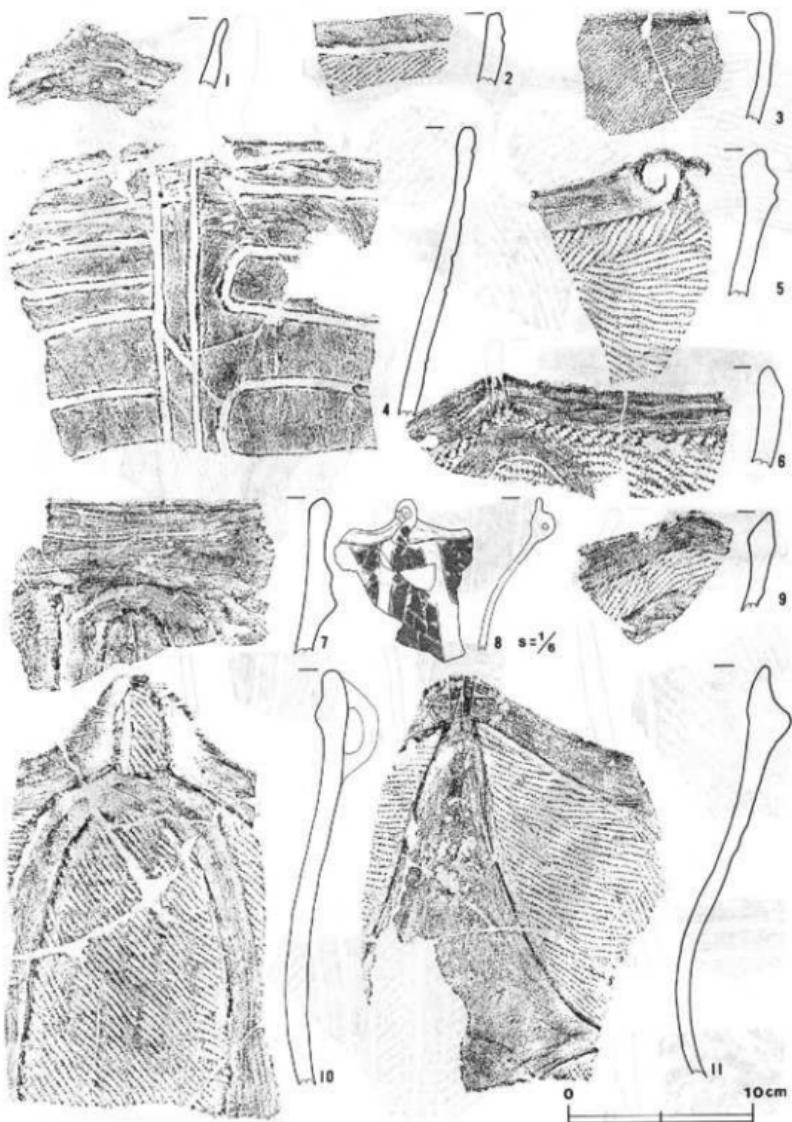
第296図 住居跡出土土器片拓影図

西漢水系土器類研究 図296



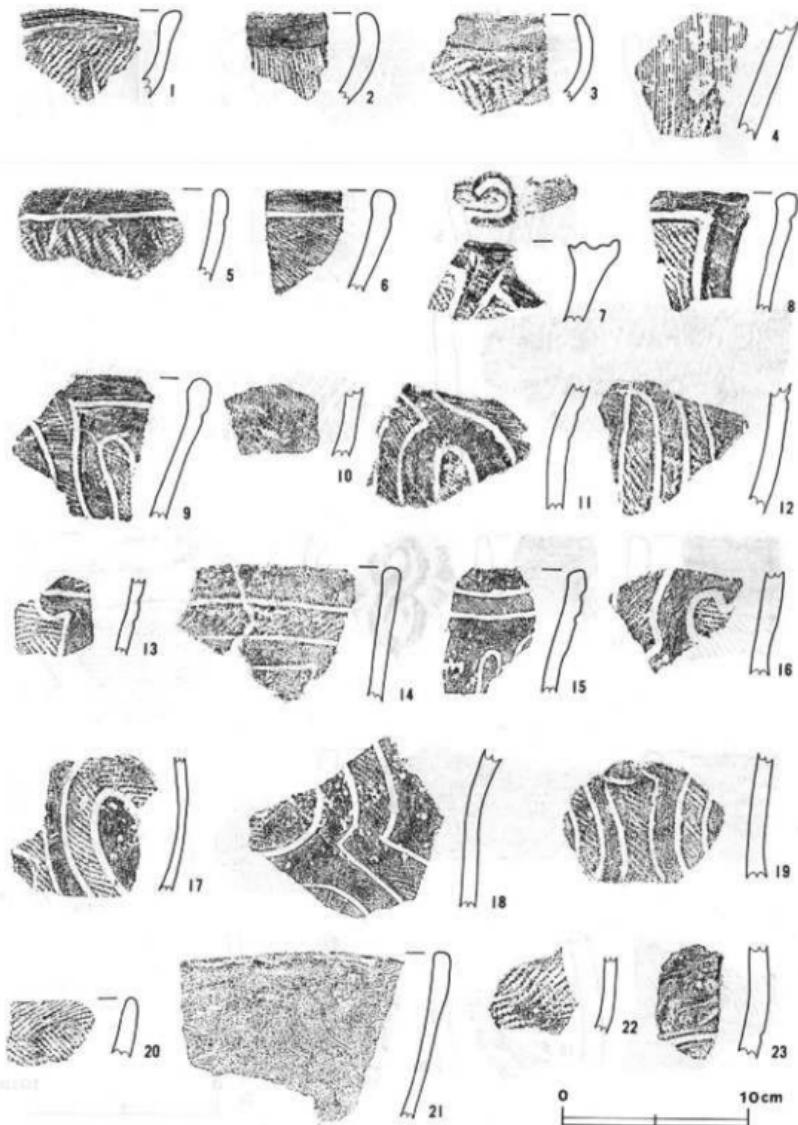
第297図 住居跡出土土器片拓影図

関東地方出土土器片拓影図



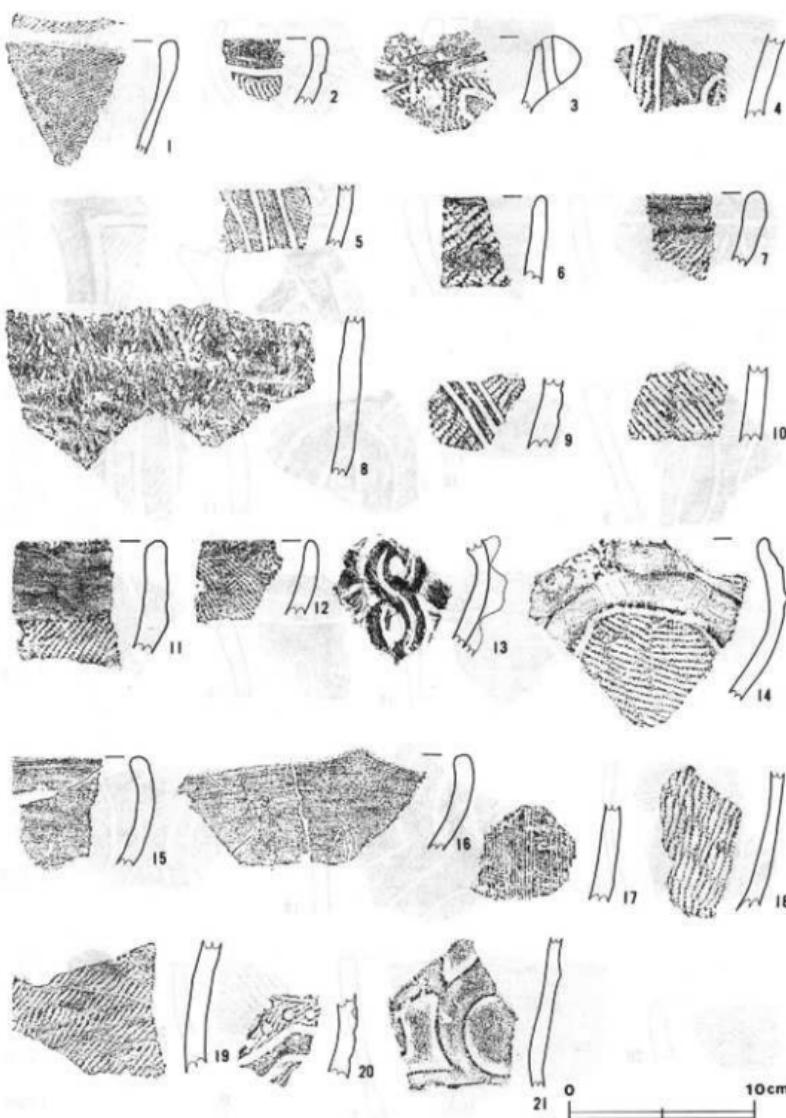
第298圖 住居跡出土土器片拓影圖

國立新竹考古研究所 沈其祥攝



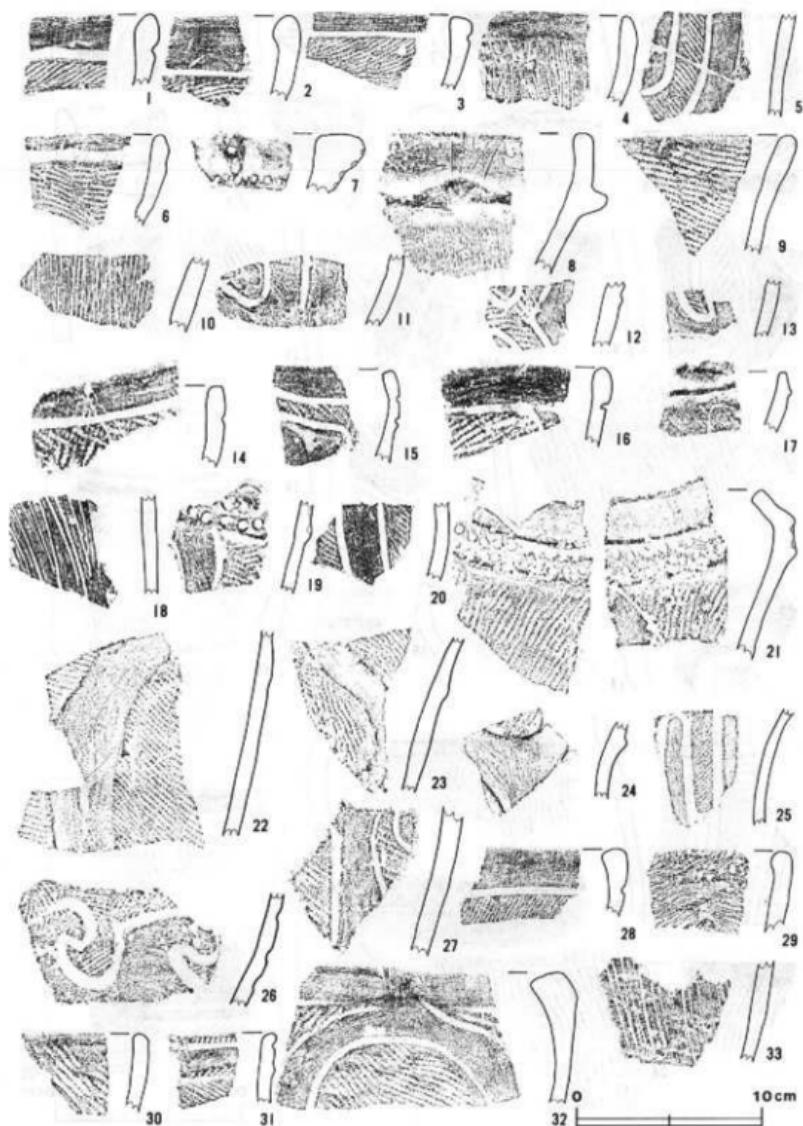
第299図 住居跡出土土器片拓影図

西漢南越王墓出土器物圖錄



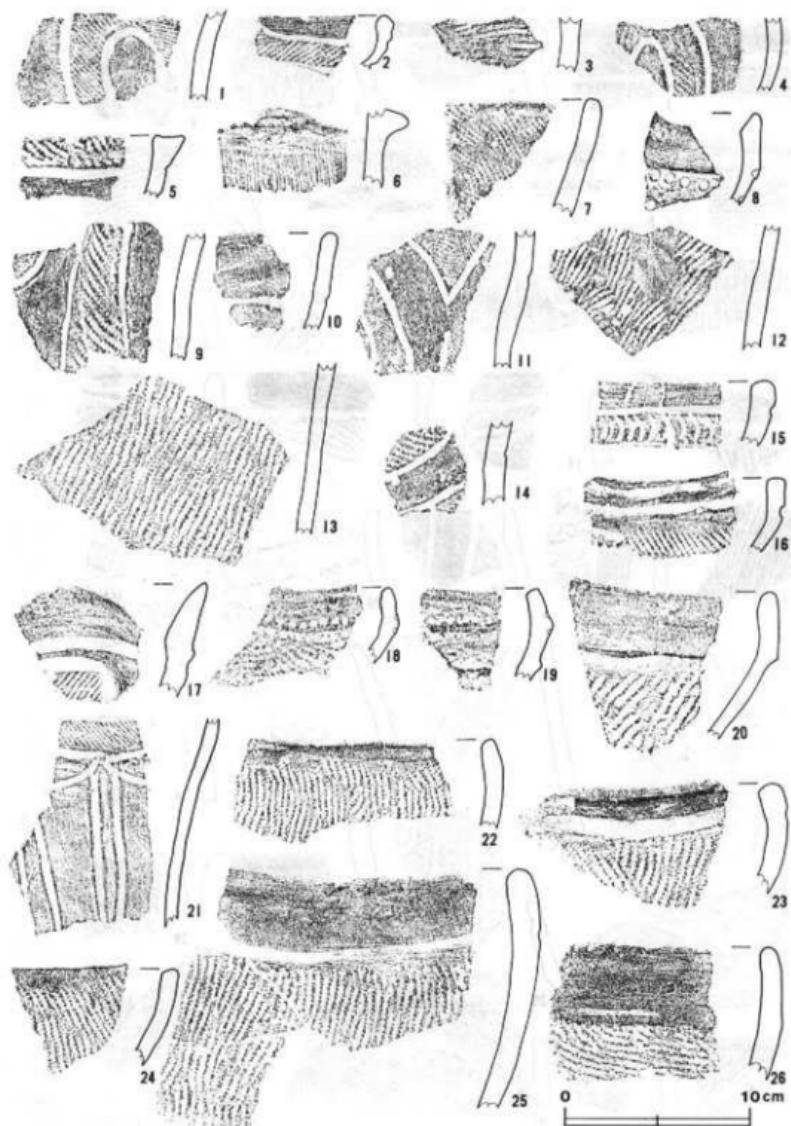
第300図 住居跡出土土器片拓影図

（佐賀県西松浦郡上野町）



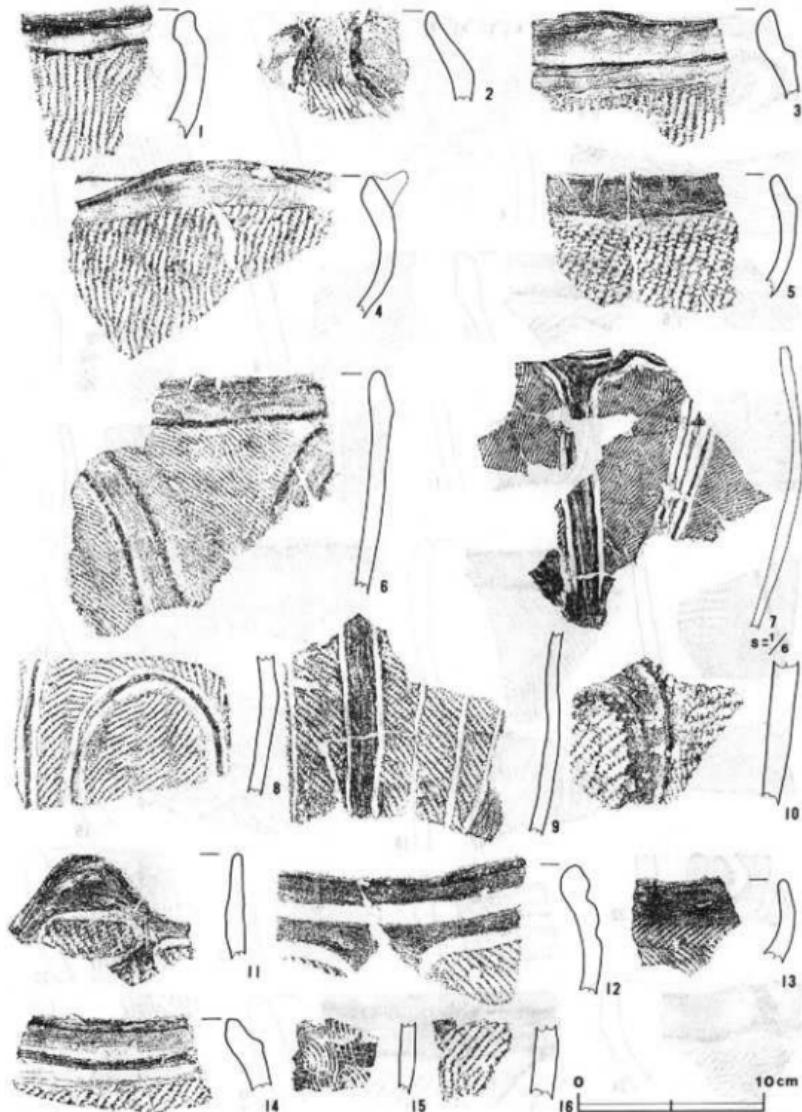
第301図 住居跡出土土器片拓影図

西漢時代の土器片拓影図



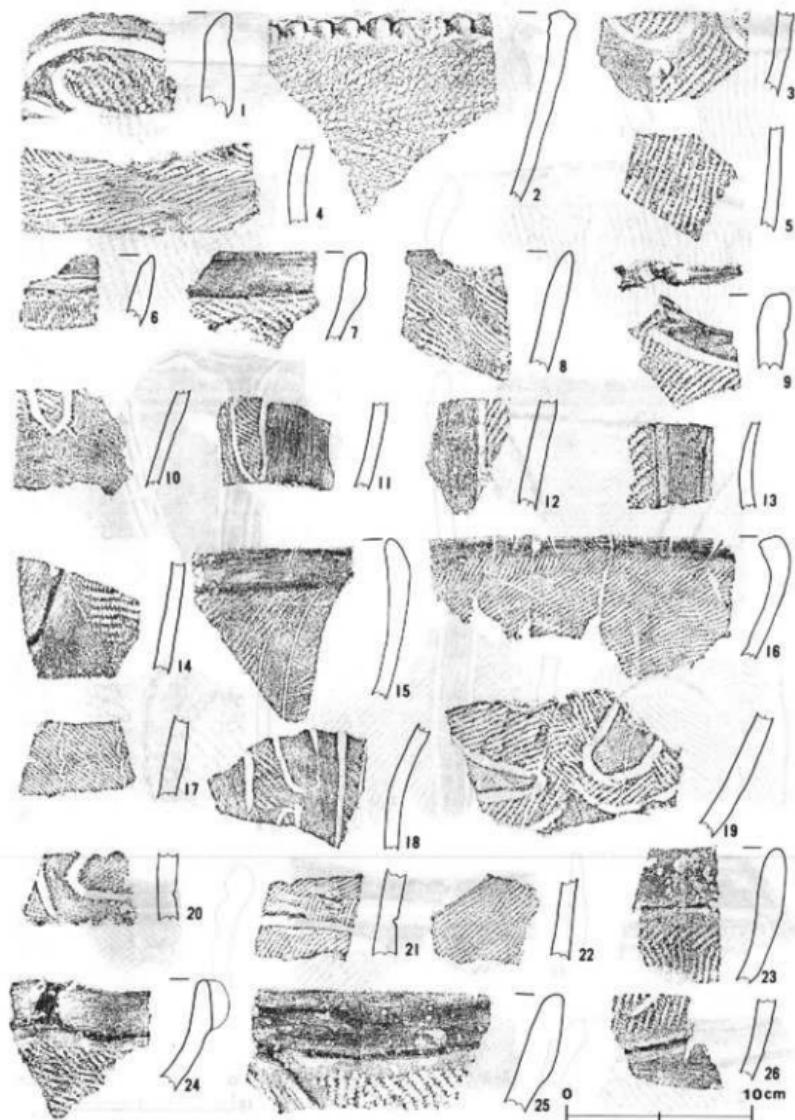
第302図 住居跡出土土器片拓影図

（複数枚の図版を示す）



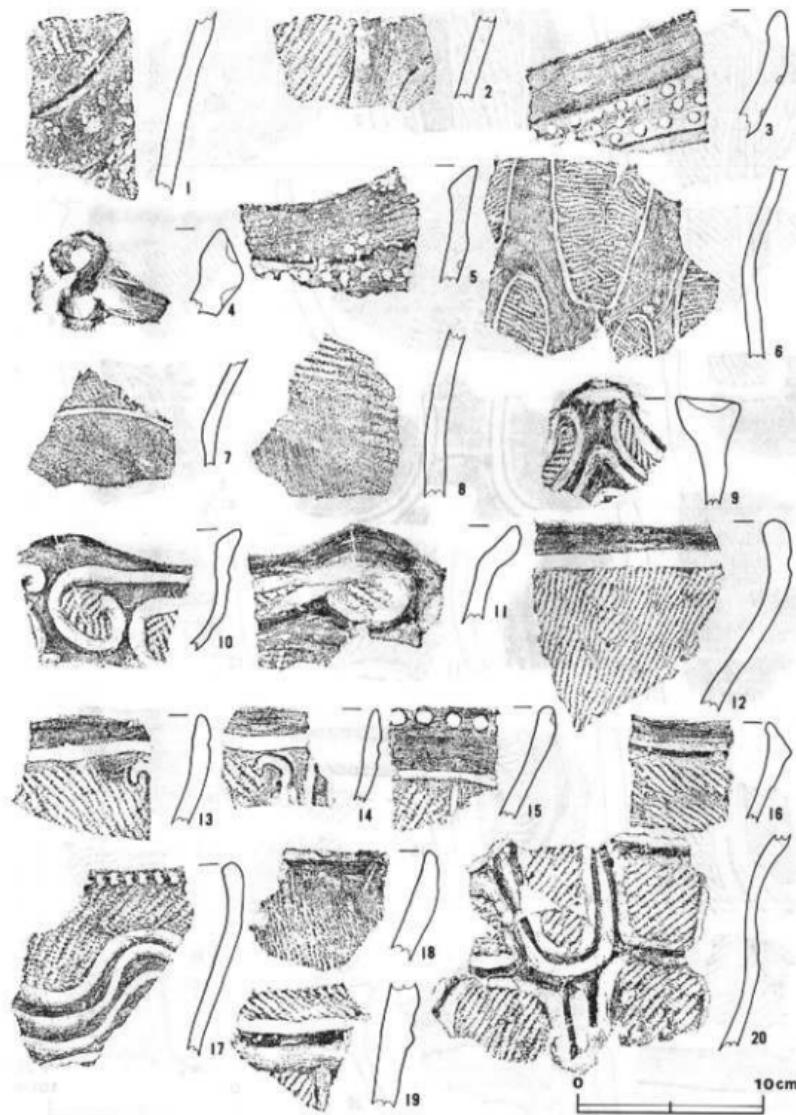
第303図 住居跡出土土器片拓影図

回復段階土器片出発地図301番



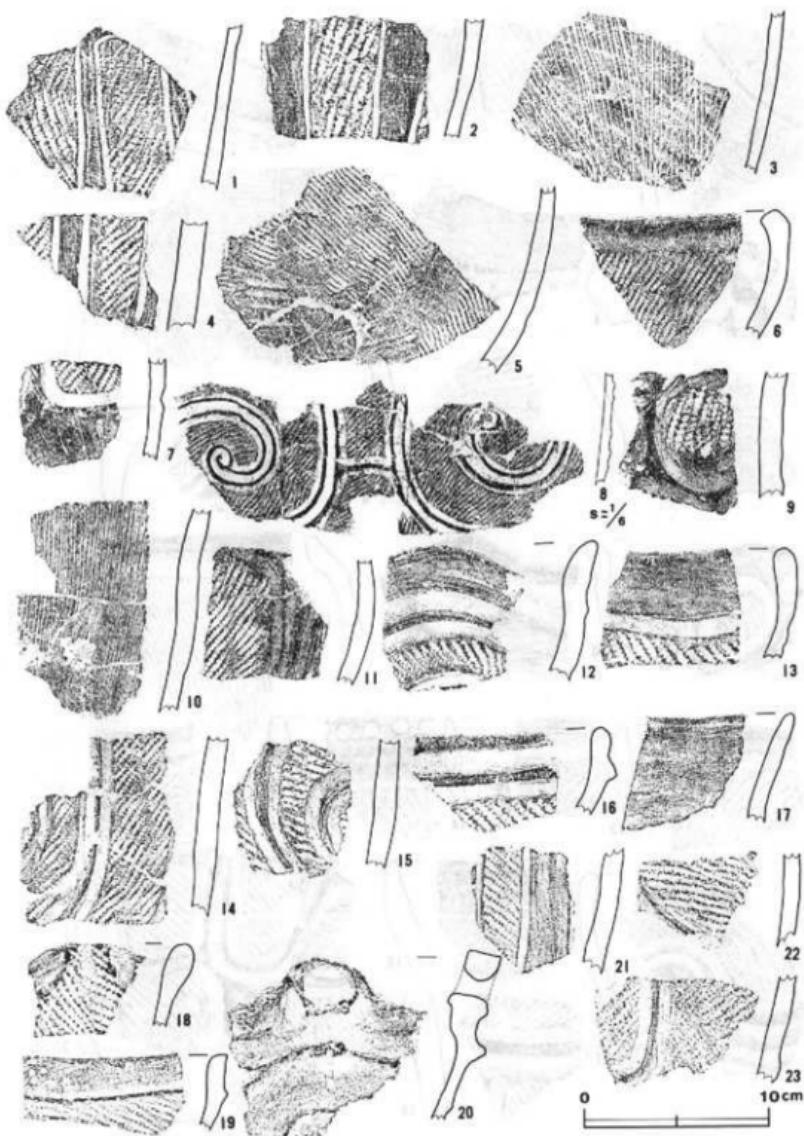
第304図 住居跡出土土器片拓影図

（20号房北側土器出発地図）



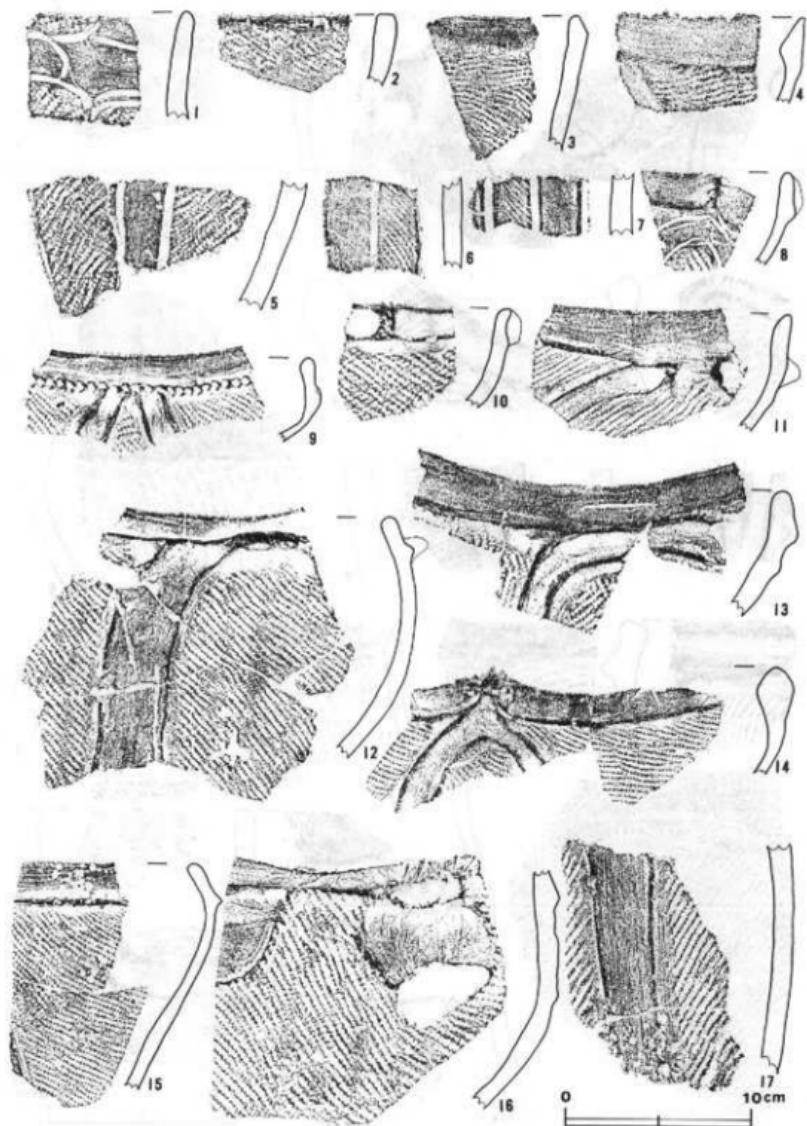
第305図 住居跡出土土器片拓影図

図版説明: 土器片の拓影図。各番号は図版左側に示す。



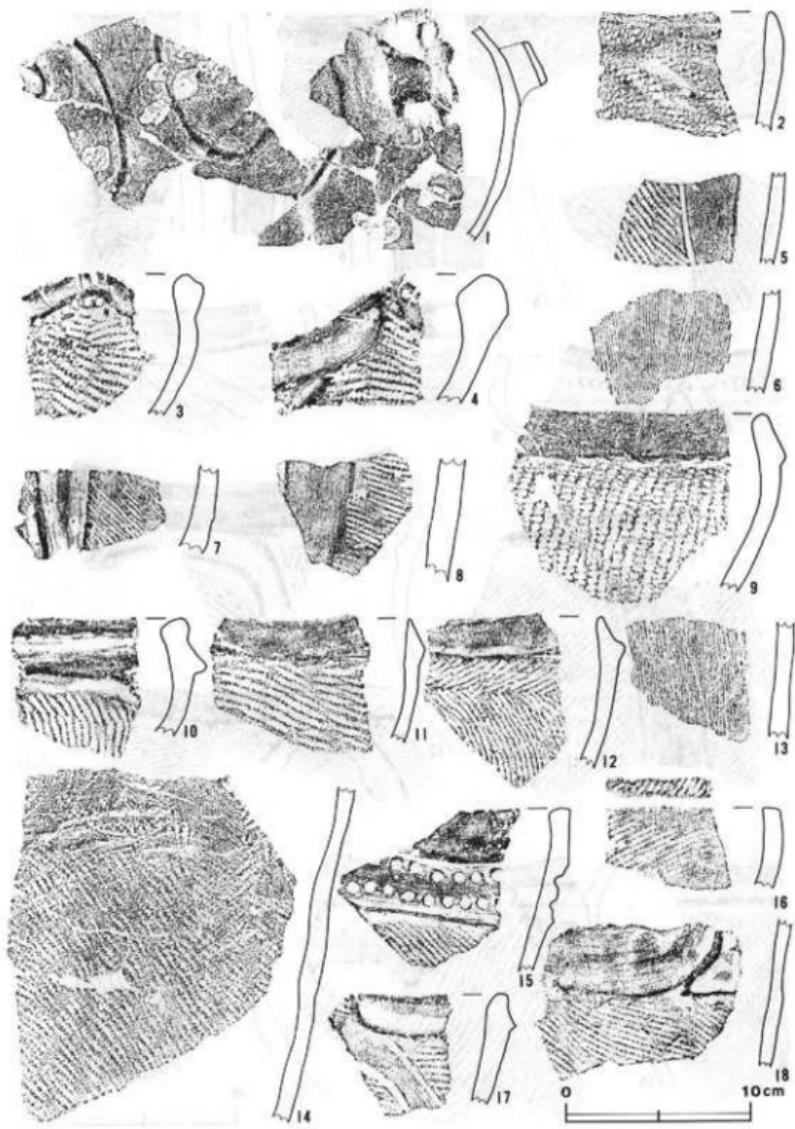
第306図 住居跡出土土器片拓影図

田浦浜貝塚出土器物群



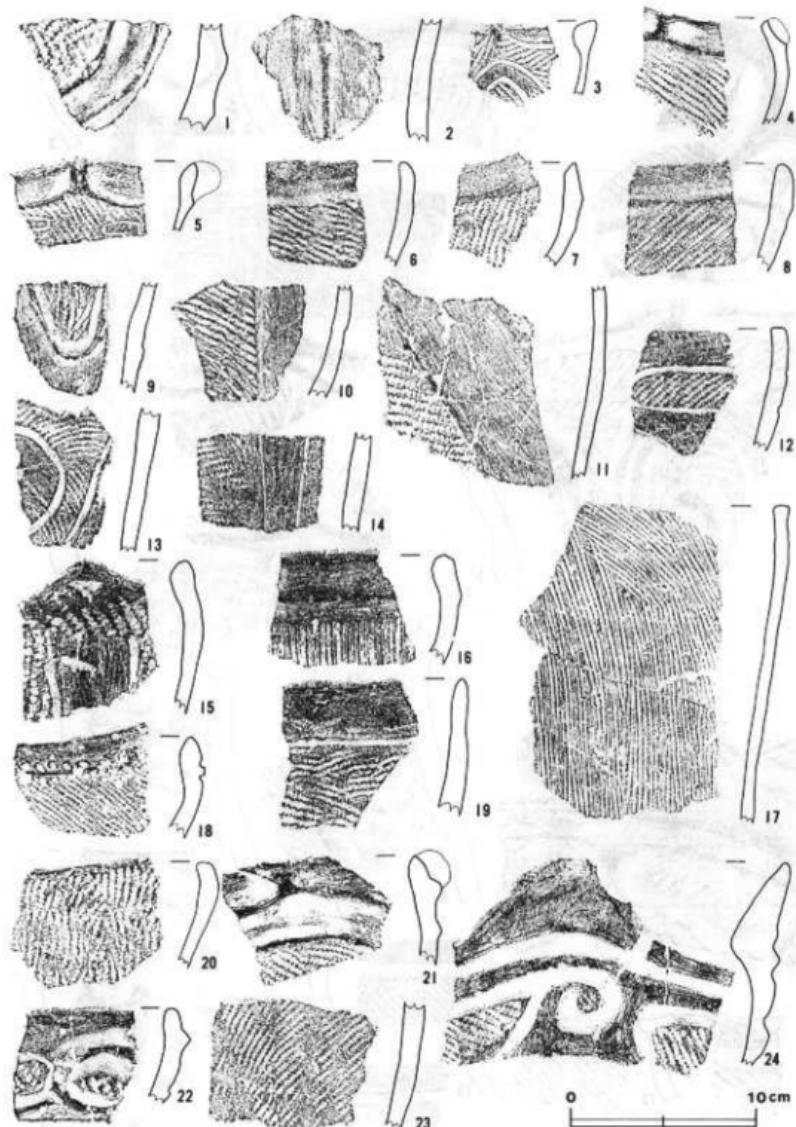
第307図 住居跡出土土器片拓影図

日本古事記出土物集 四川篇



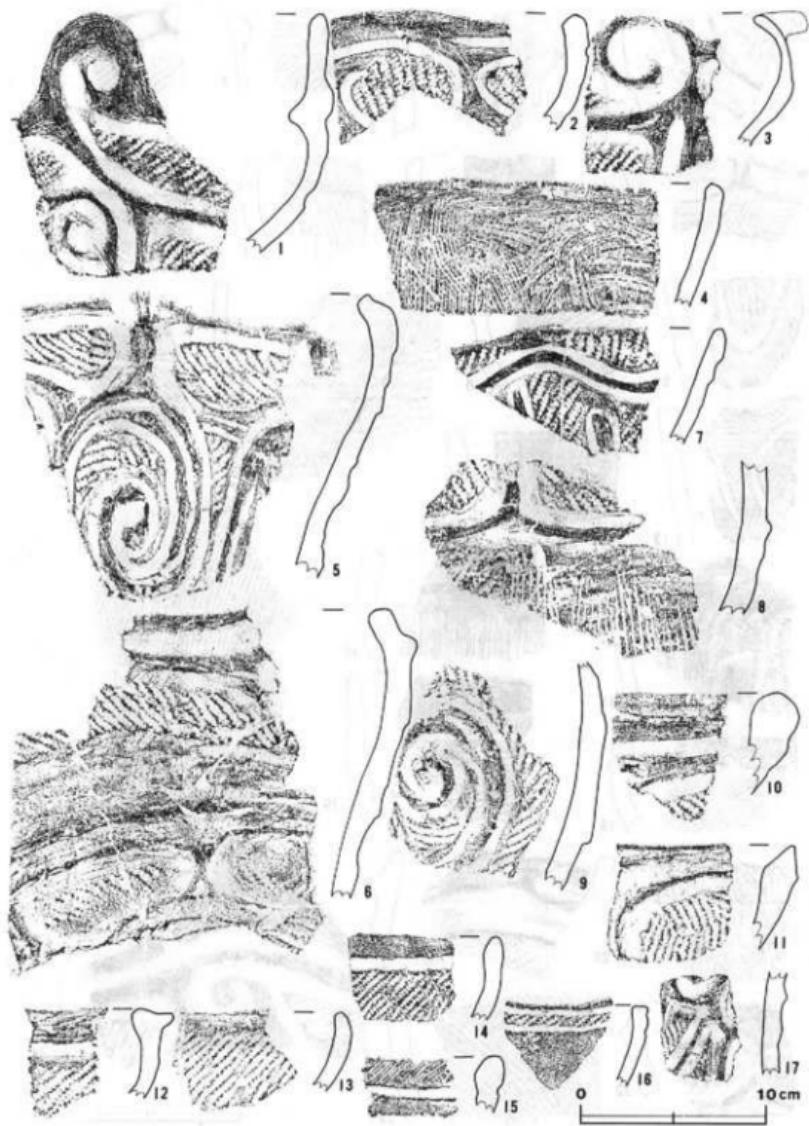
第308図 住居跡出土土器片拓影図

333号長持土器出発地図



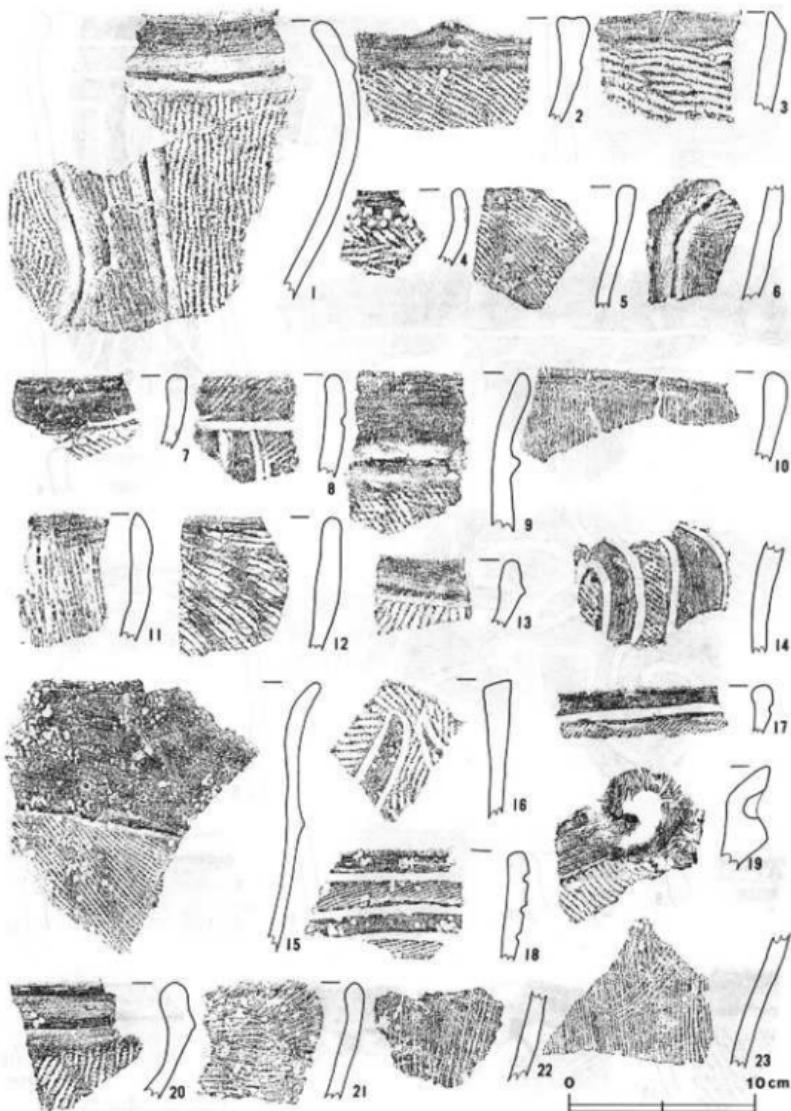
第309図 住居跡出土土器片拓影図

三浦郡芦野町出土遺物



第310図 住居跡出土土器片拓影図

三種家古跡出土土器片拓影図



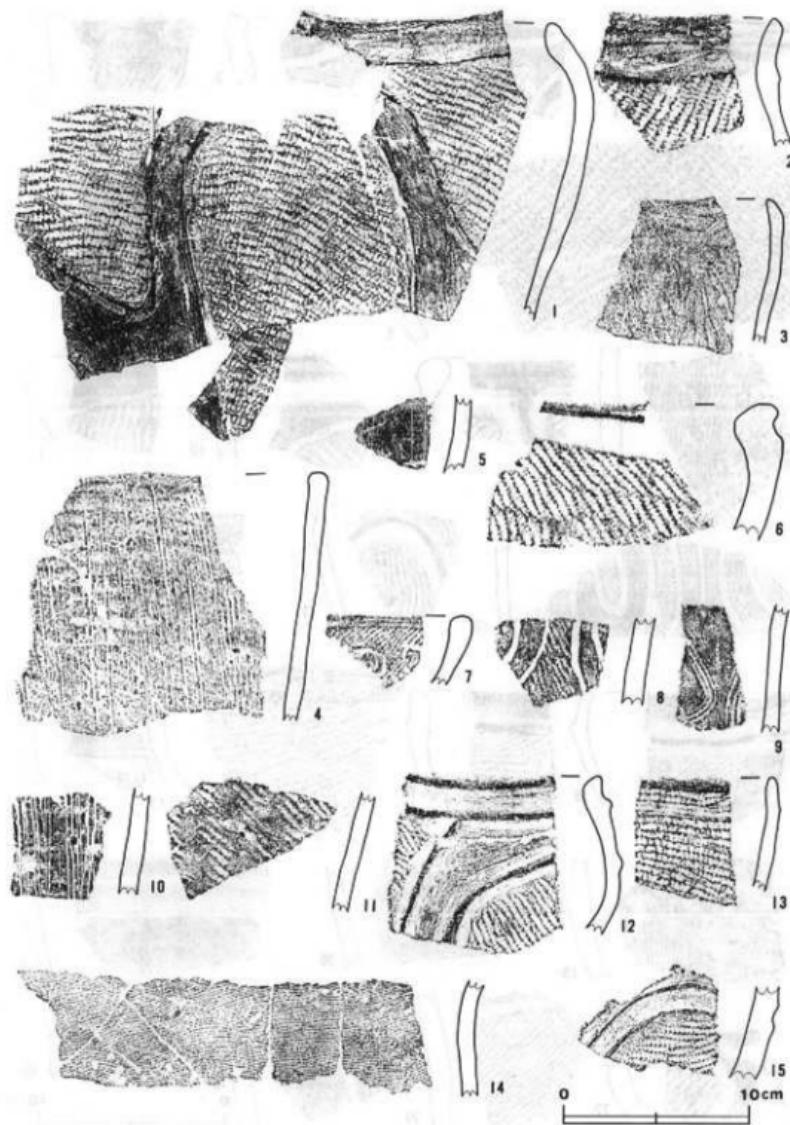
第311図 住居跡出土土器片拓影図

西漢那ノ羅王出城發跡 四川省

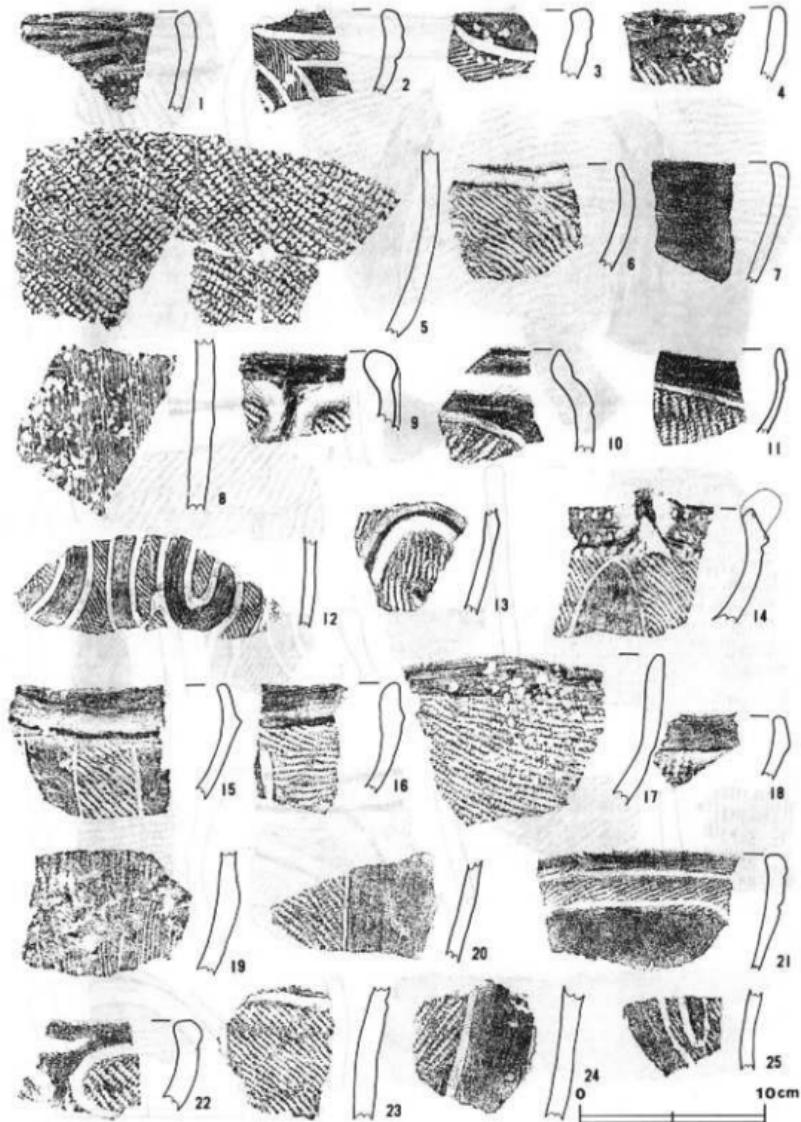


第312図 住居跡出土土器片拓影図

西周時代の土器片拓影図

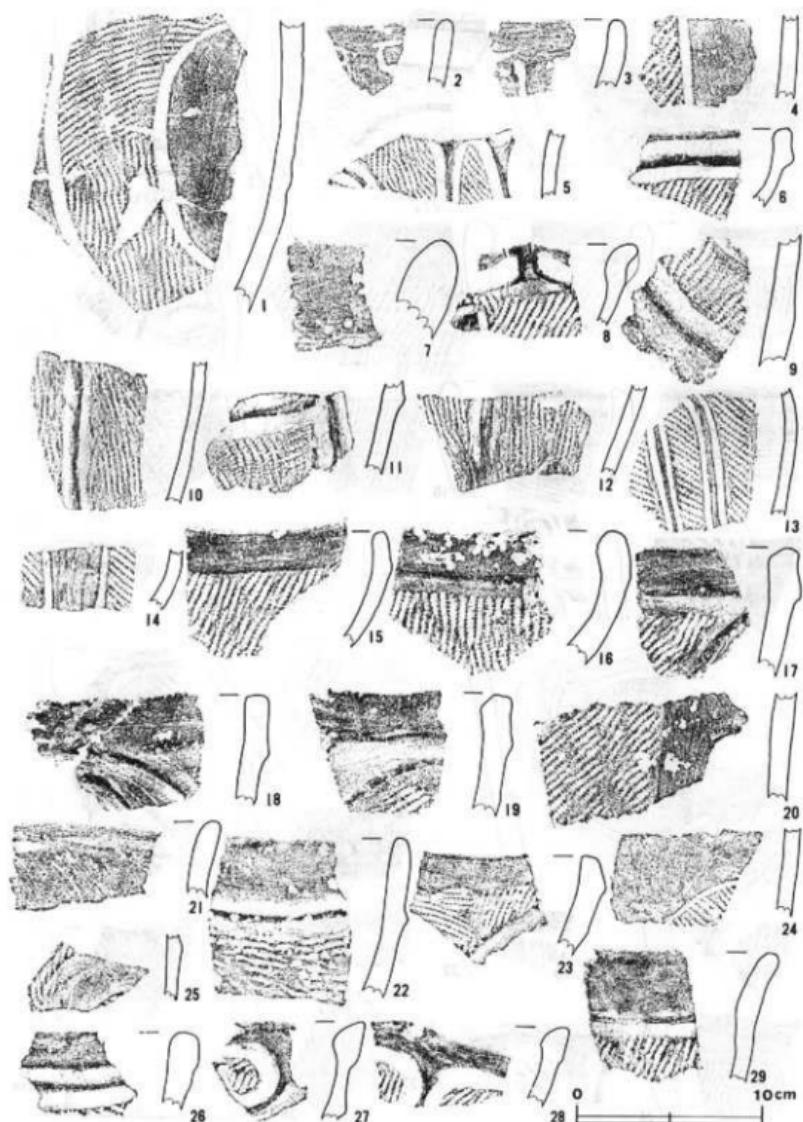


第313図 住居跡出土土器片拓影図



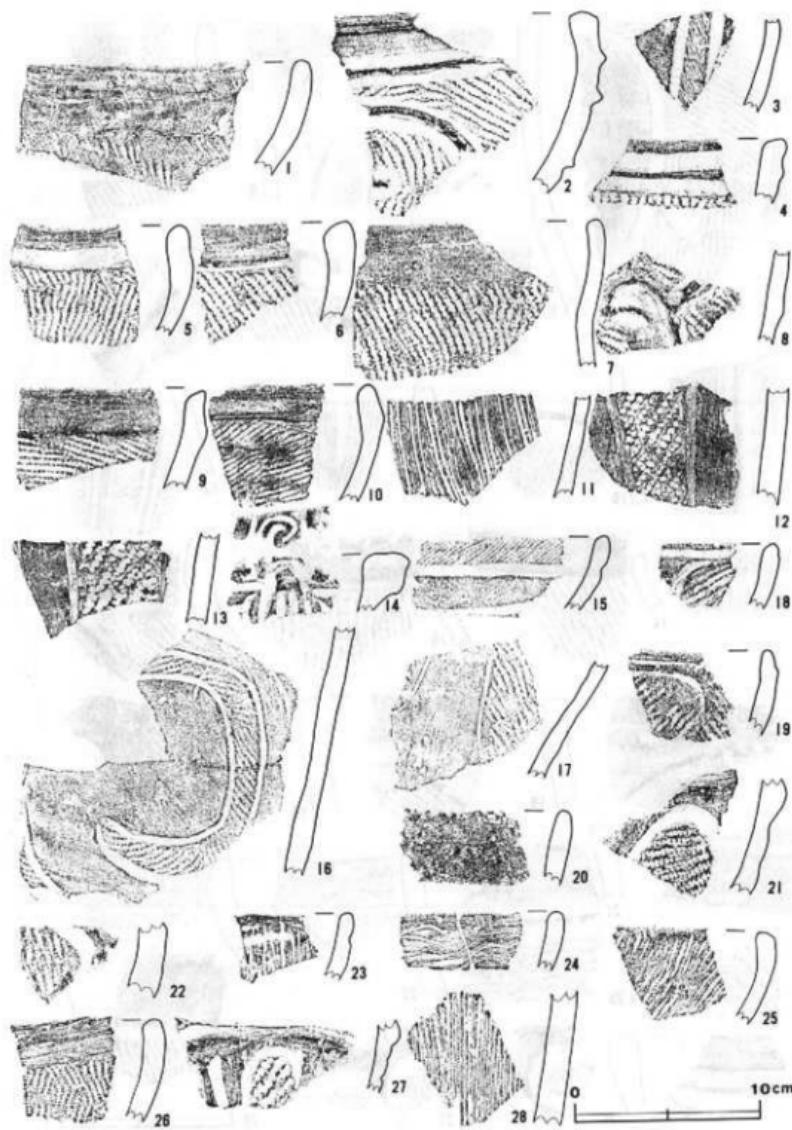
第314図 住居跡出土土器片拓影図

昭和三四年出土標題物 第314号



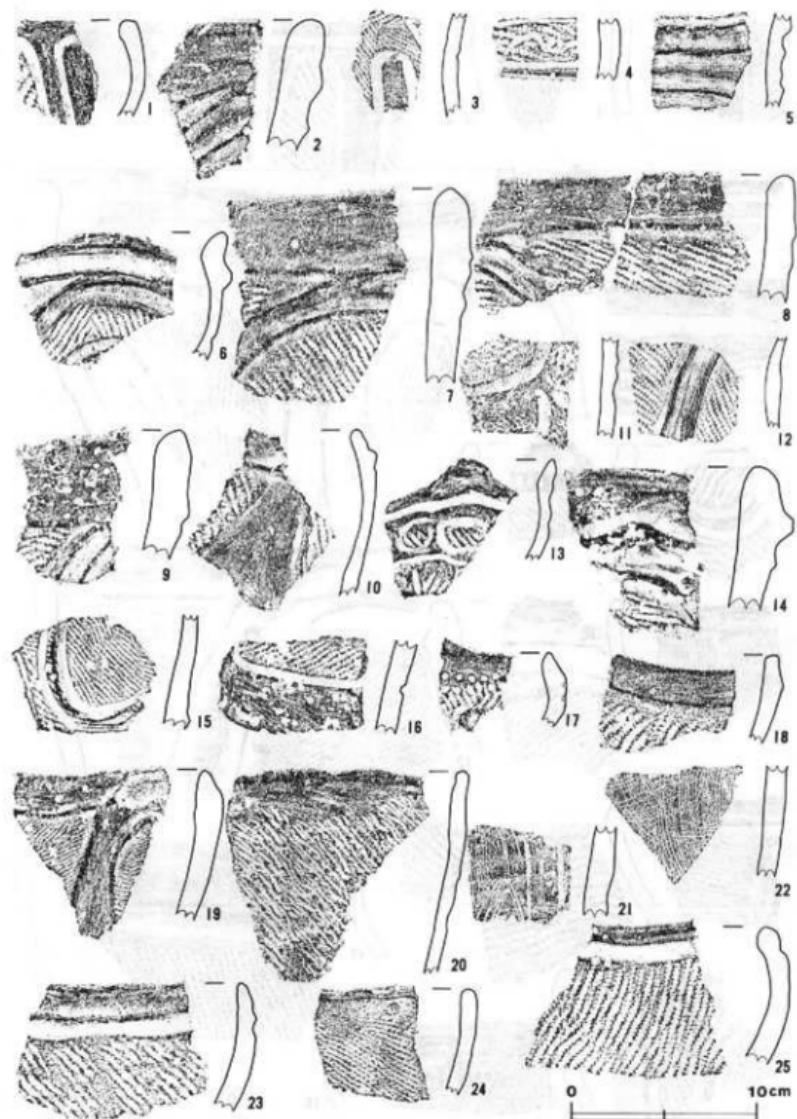
第315図 住居跡出土土器片拓影図

（河内内西上出町附近）



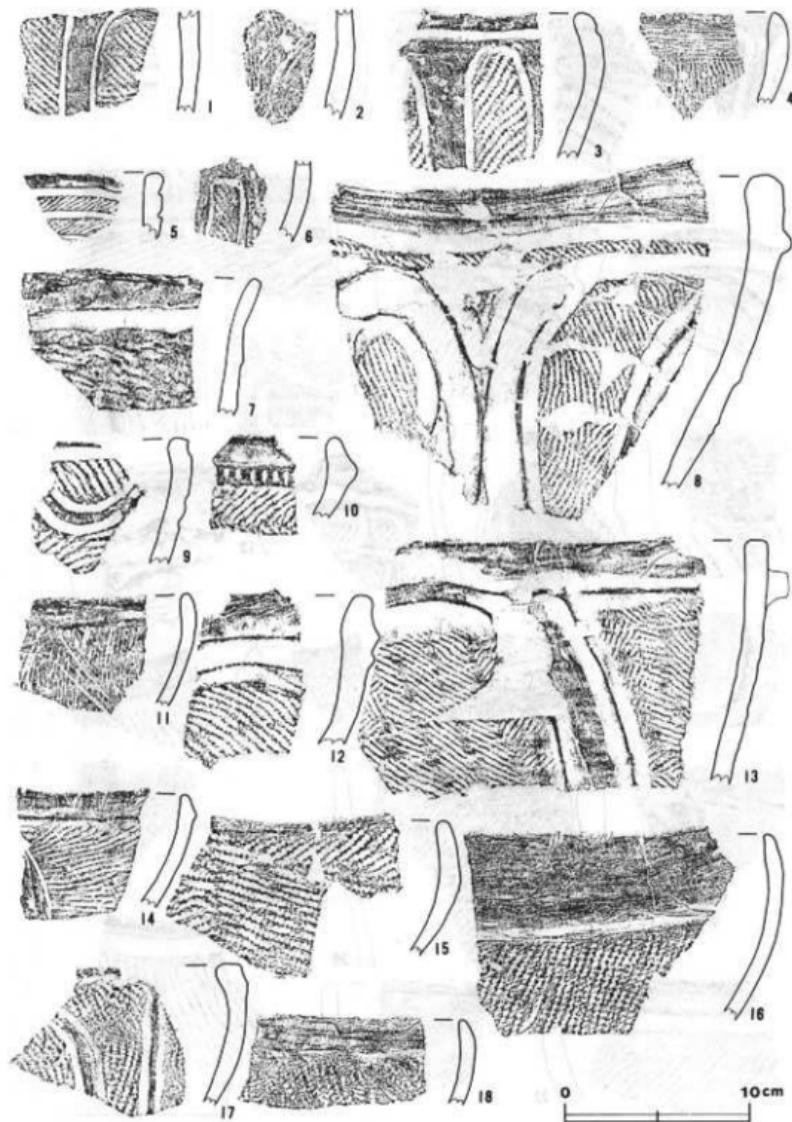
第316図 住居跡出土土器片拓影図

国際考古学大典出展品 第2回展



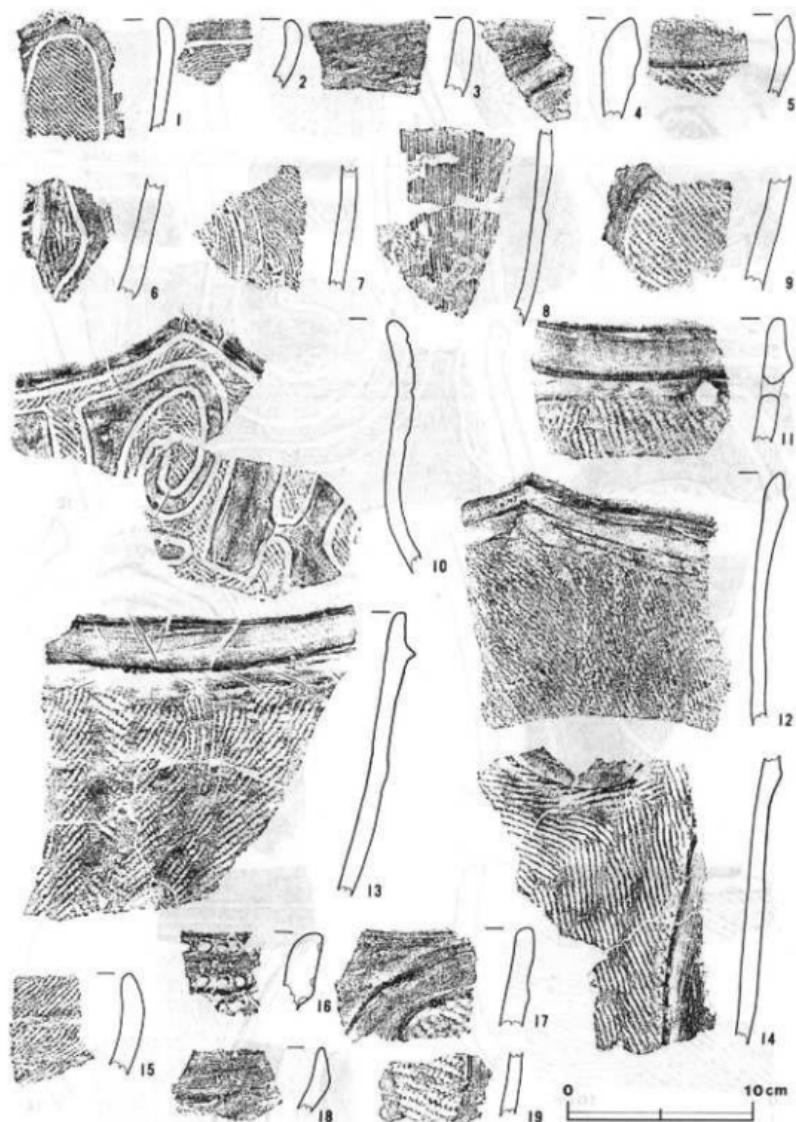
第317図 住居跡出土土器片拓影図

三ツ塚子貝塚出土物集 第11集



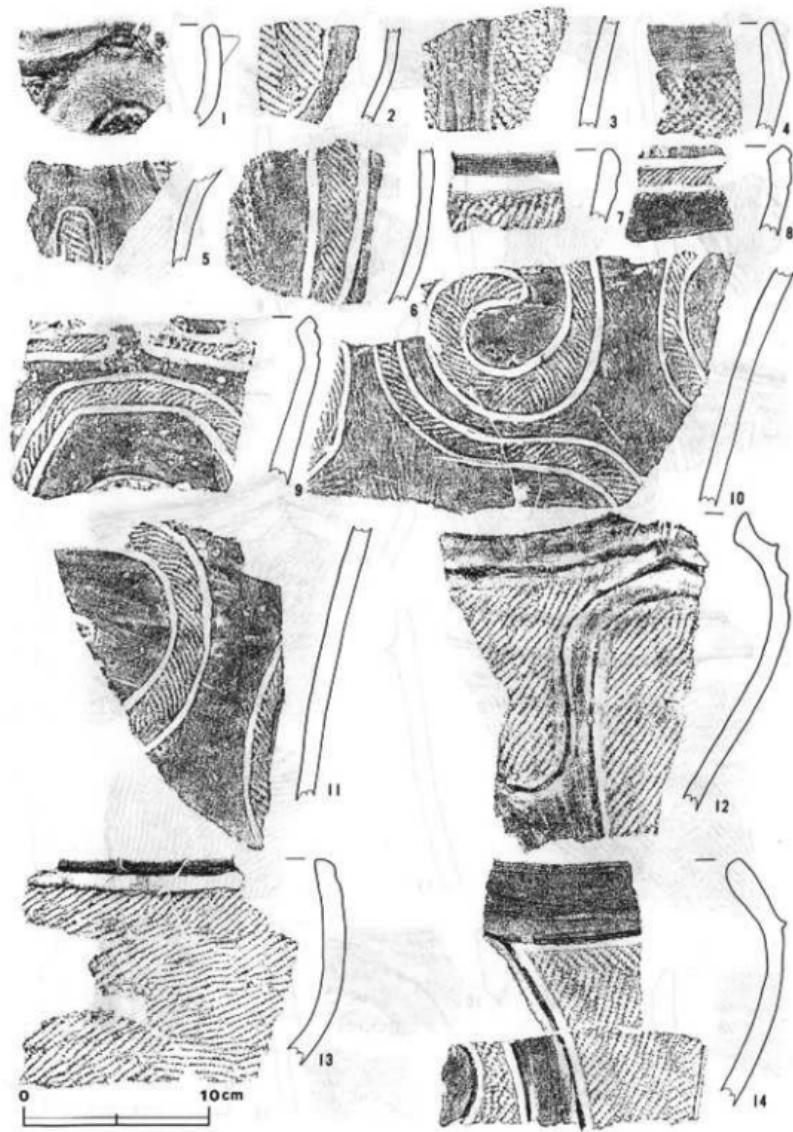
第318図 住居跡出土土器片拓影図

昭和25年秋土出地圖版 第318圖



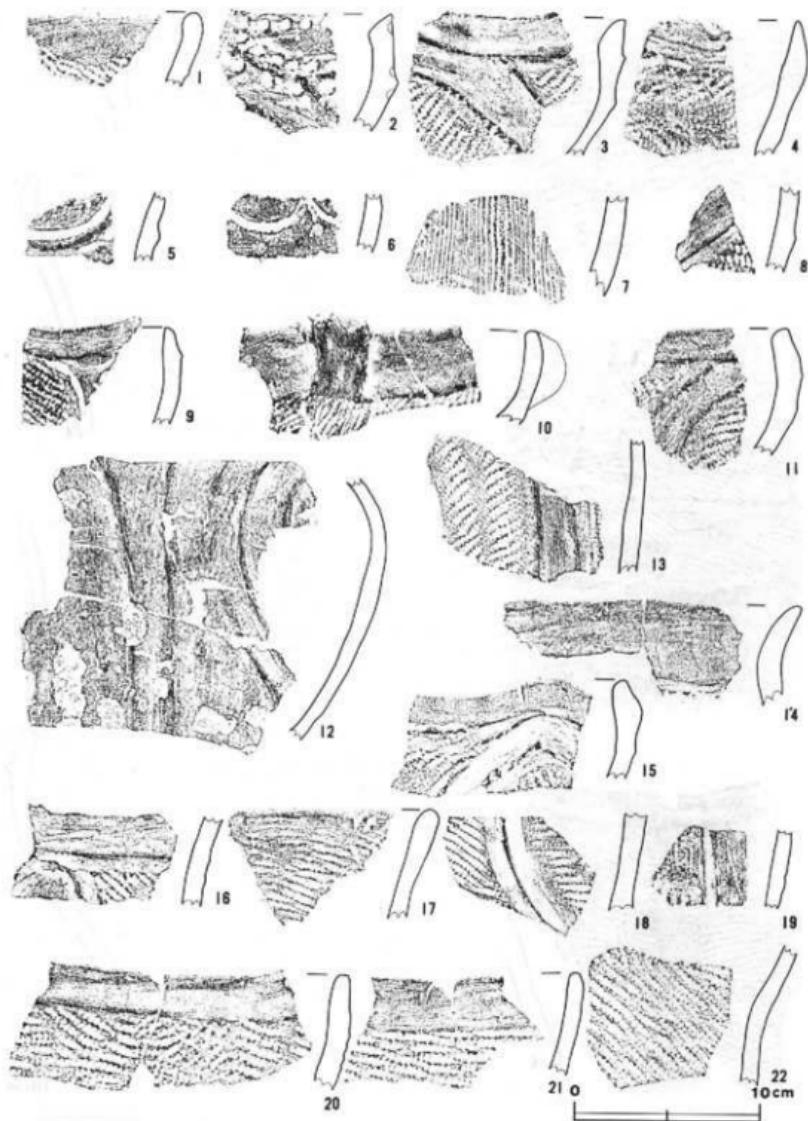
第319図 住居跡出土土器片拓影図

（昭和25年十二月撮影）



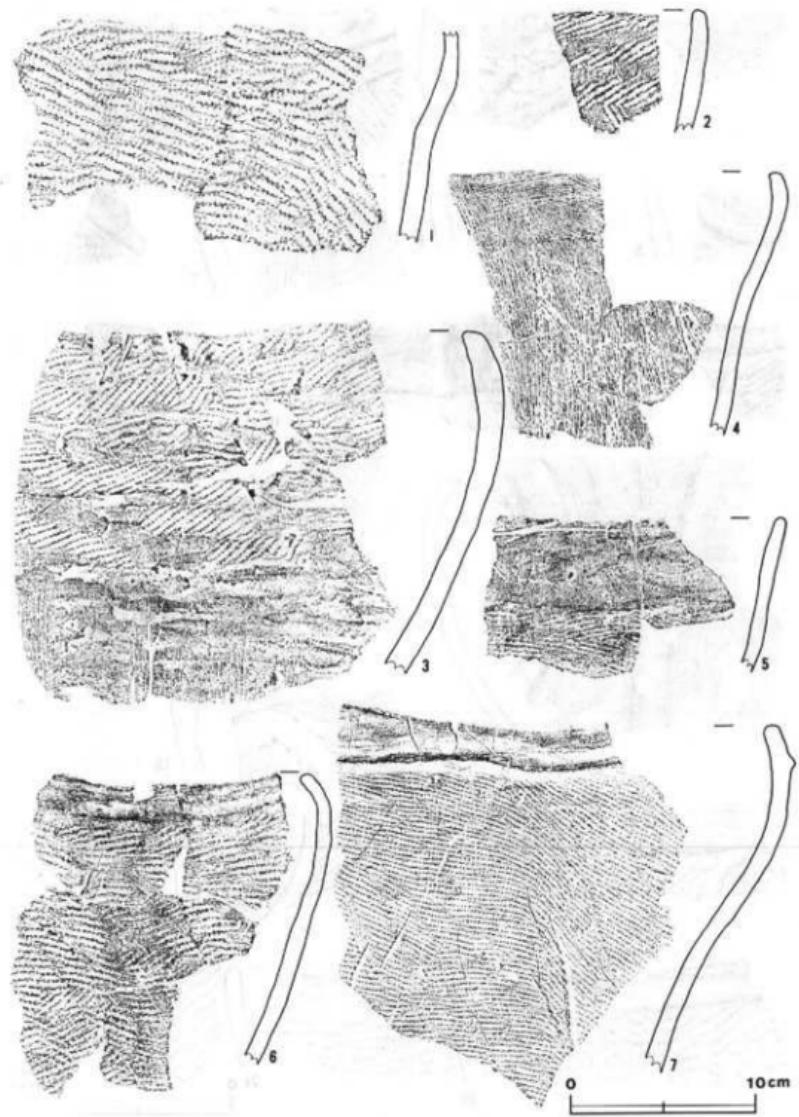
第320図 住居跡出土土器片拓影図

（註）出土地點：土器片拓影図



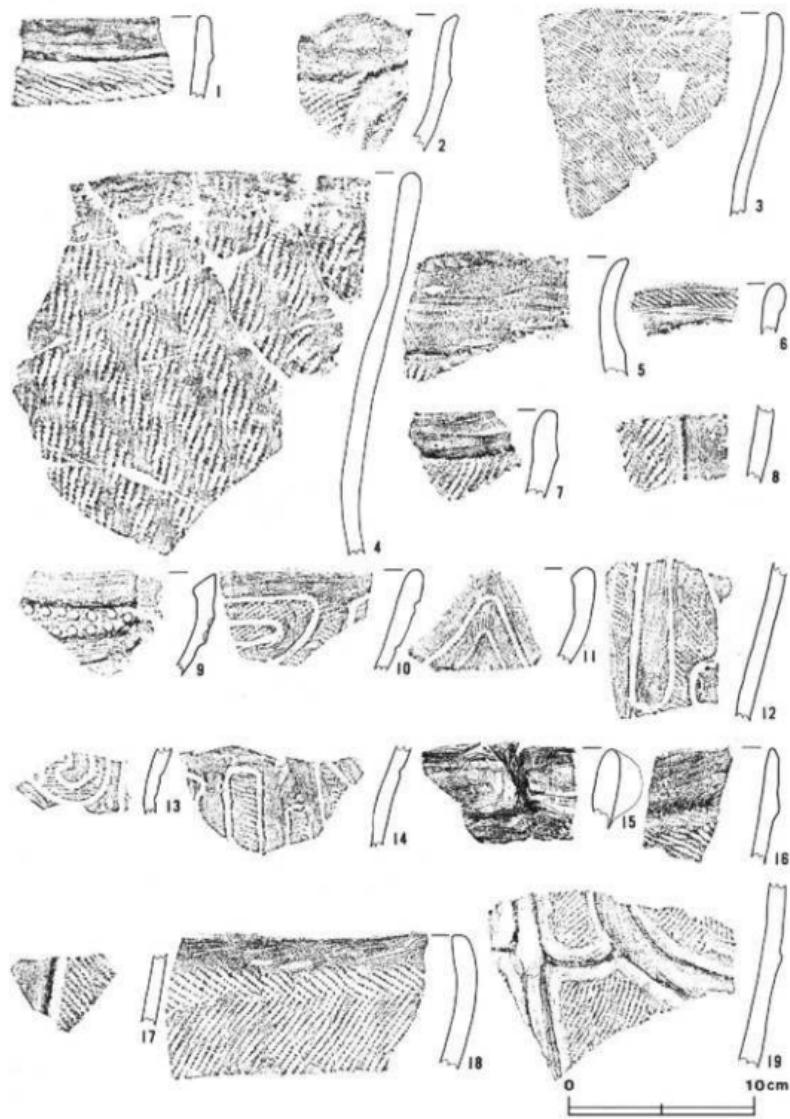
第321圖 住居跡出土土器片拓影圖

（山東省文物工作隊提供）



第322図 住居跡出土土器片拓影図

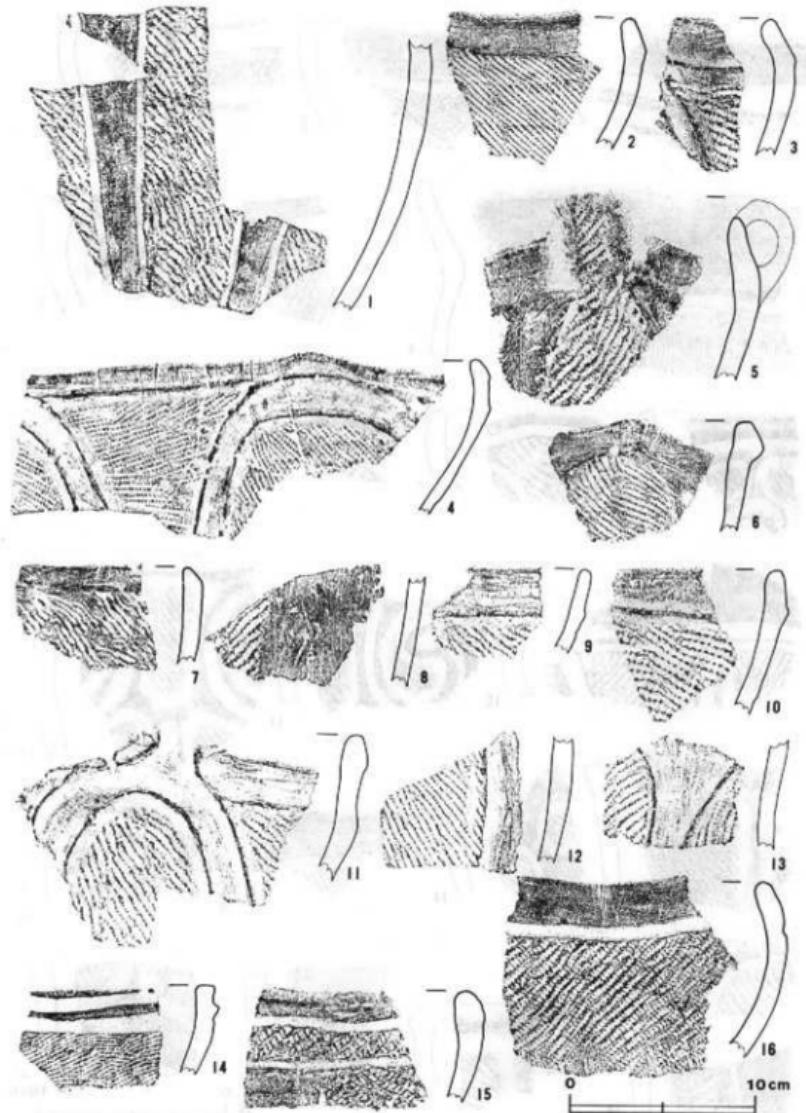
（出土地點：二大出土場）



第323図 住居跡出土土器片拓影図

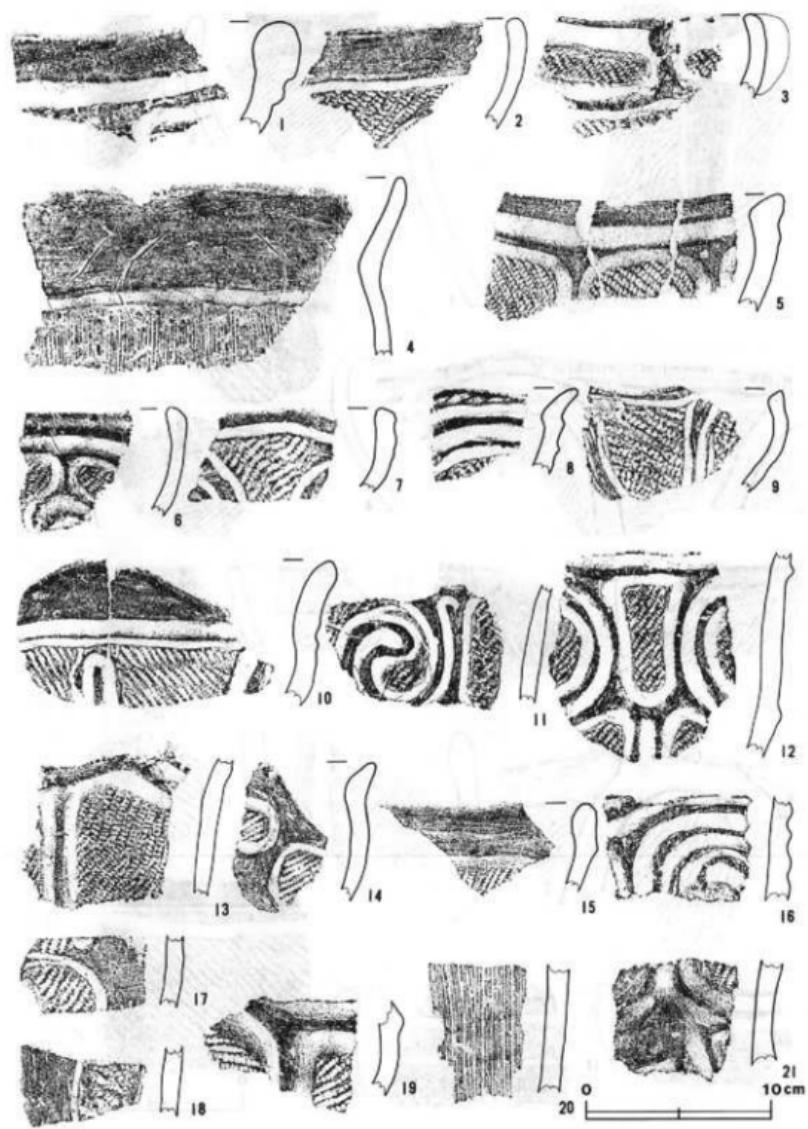


第324図 住居跡出土土器片拓影図



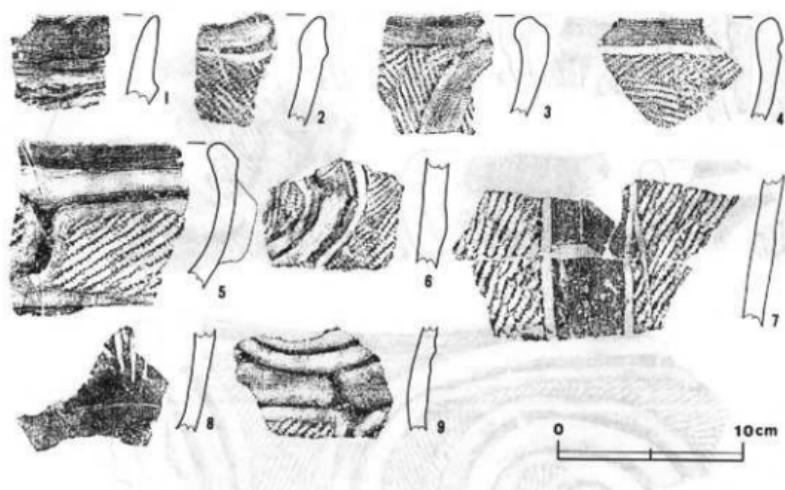
第325図 住居跡出土土器片拓影図

福島県長野市出土新石器時代



第326図 住居跡出土土器片拓影図

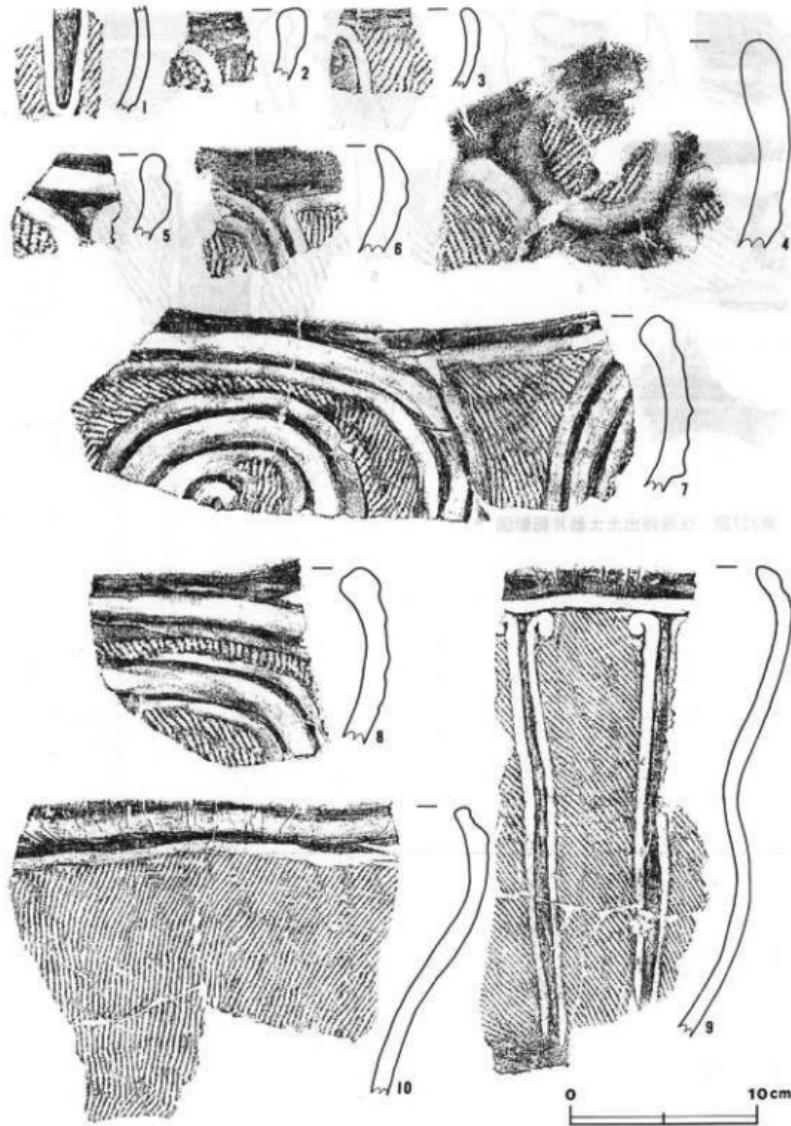
西漢中期西漢中期 西漢中期



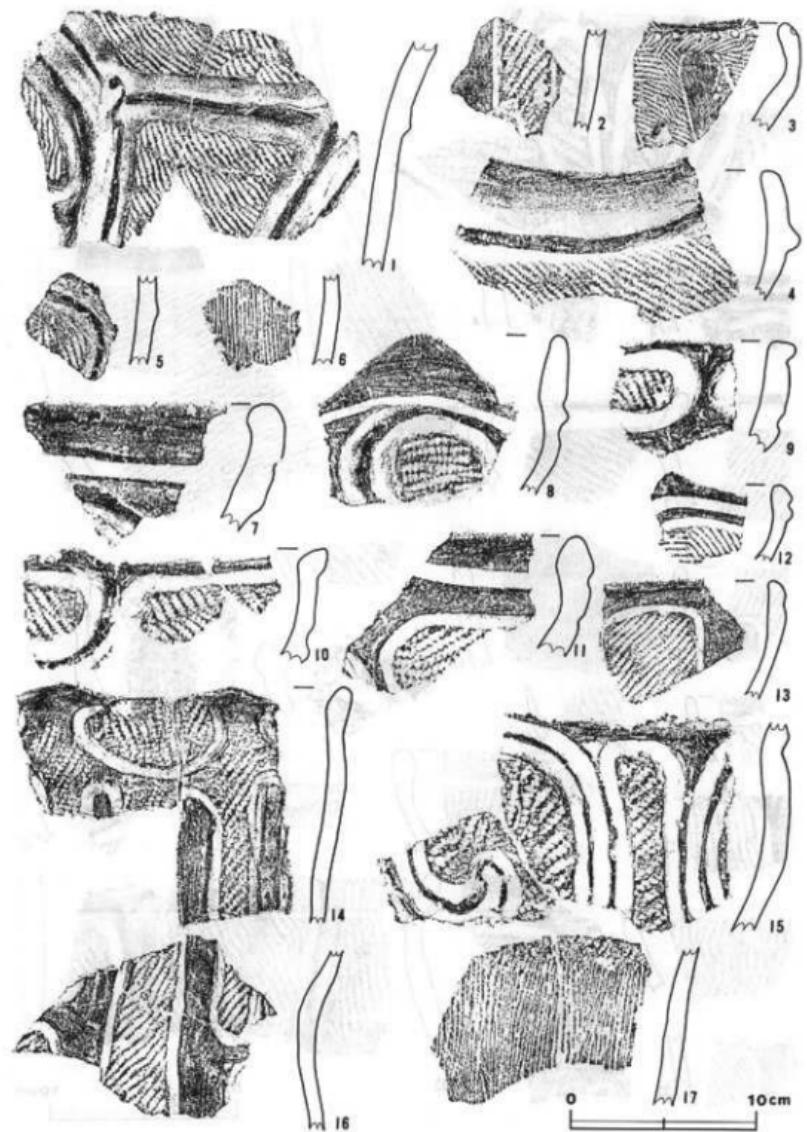
第327図 住居跡出土土器片拓影図



周口店人跡出土土器片 拓影図

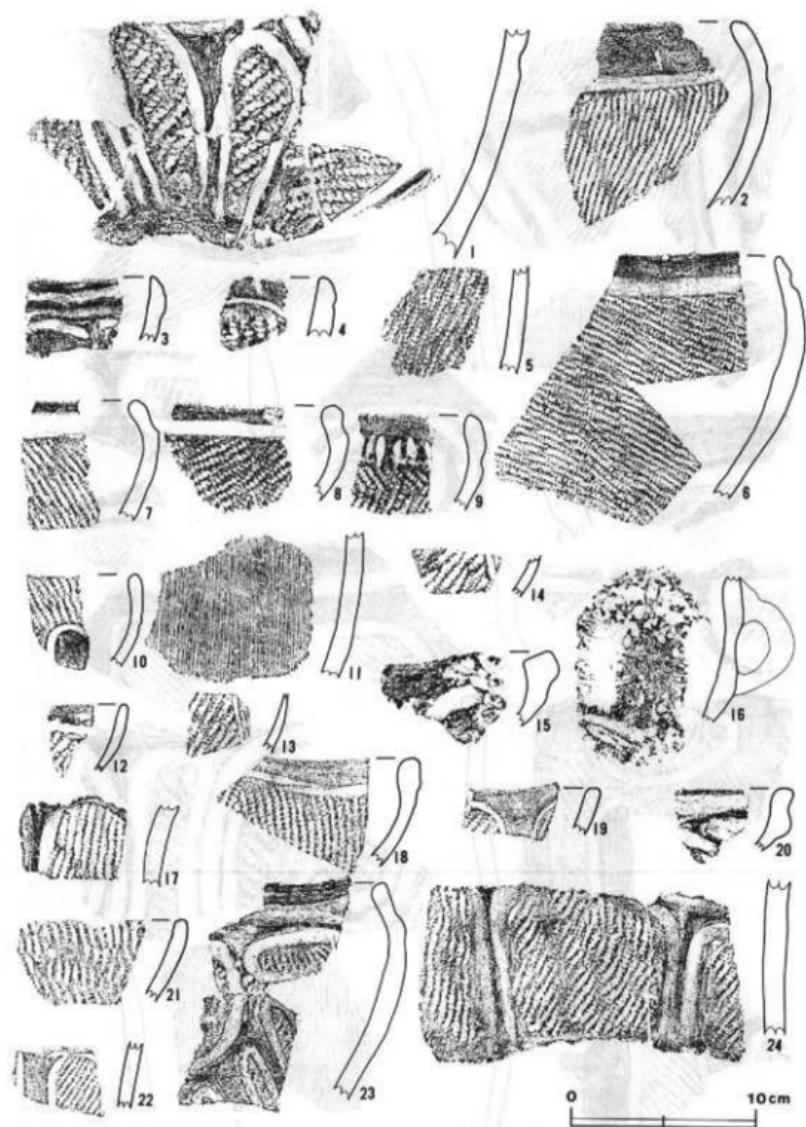


第328図 土壤出土土器片拓影図



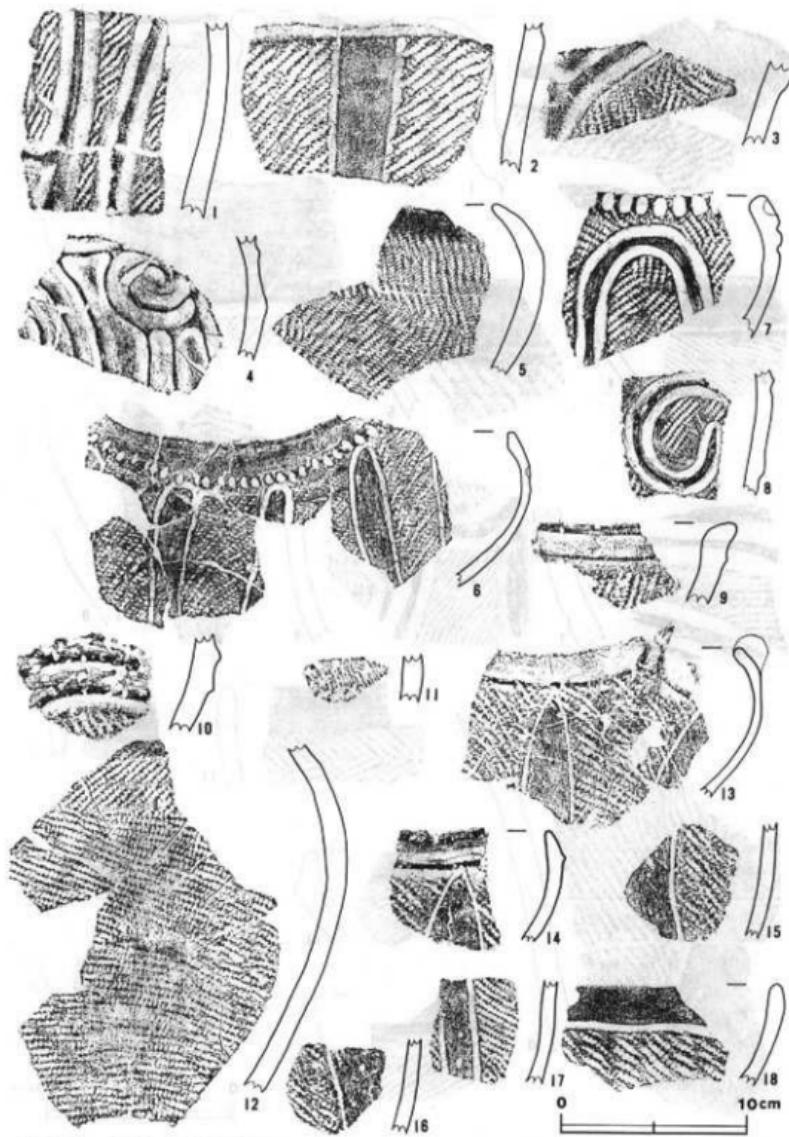
第329図 土壤出土土器片拓影図

土壤出土土器片拓影図



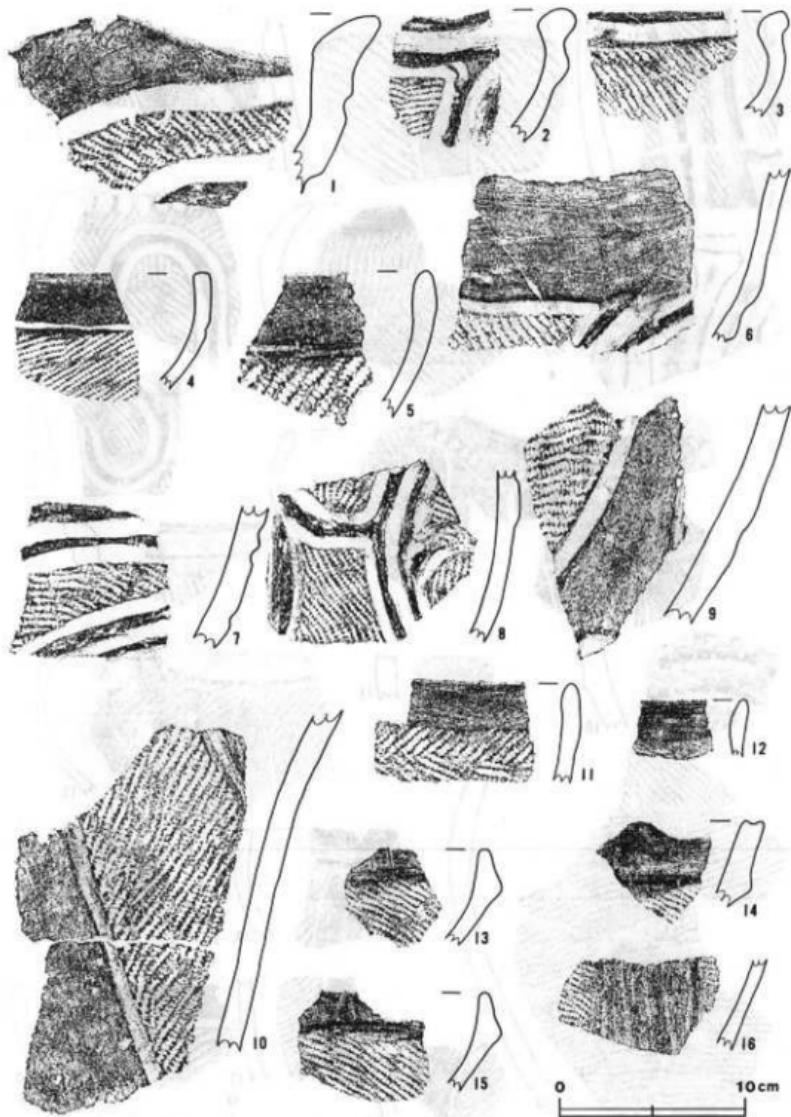
第330図 土壤出土土器片拓影図

加瀬井遺跡出土土器片拓影図



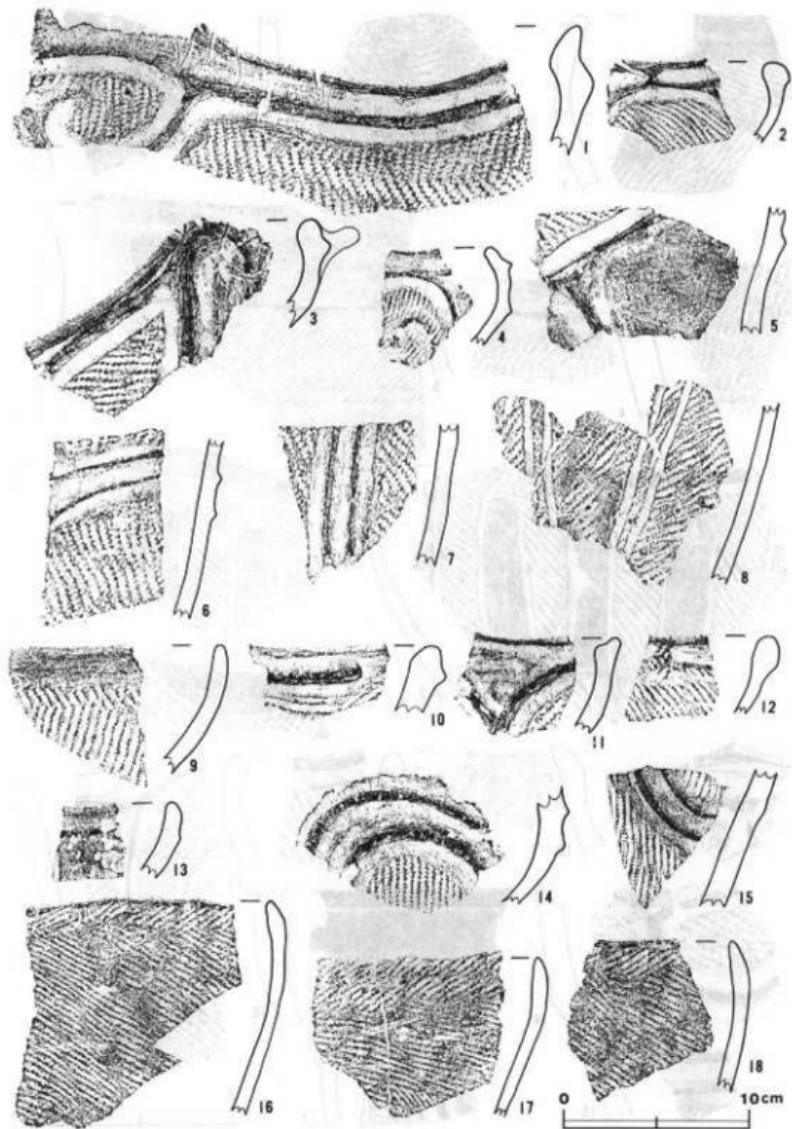
第331図 土壤出土土器片拓影図

回復改訂土壤出土器片



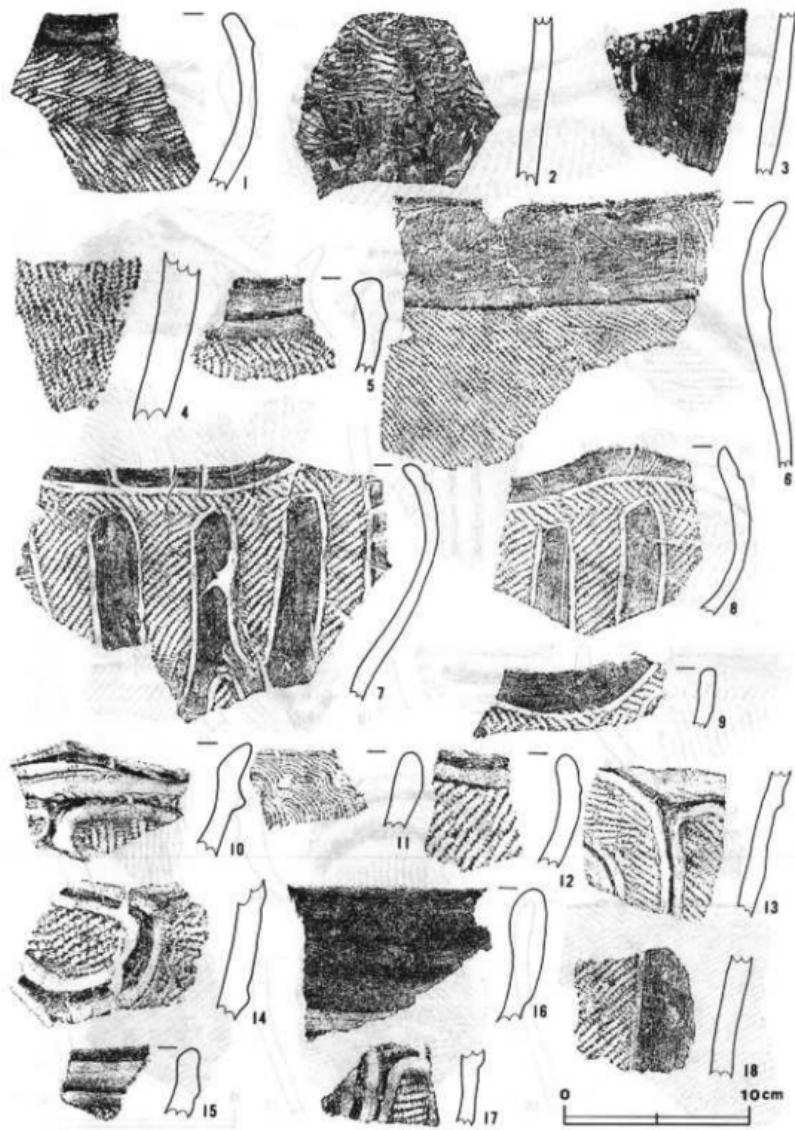
第332図 土壤出土土器片拓影図

昭和35年秋土器出土  
111号



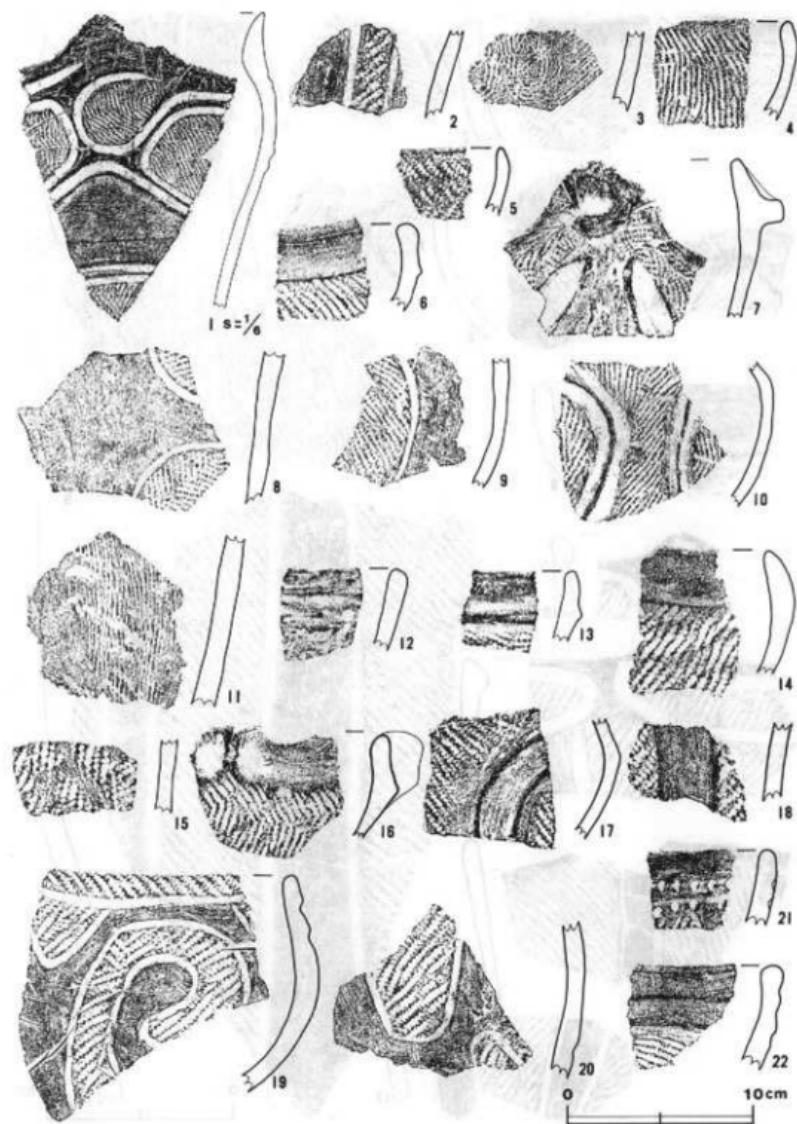
第333図 土壤出土土器片拓影図

土壤出土土器片拓影図



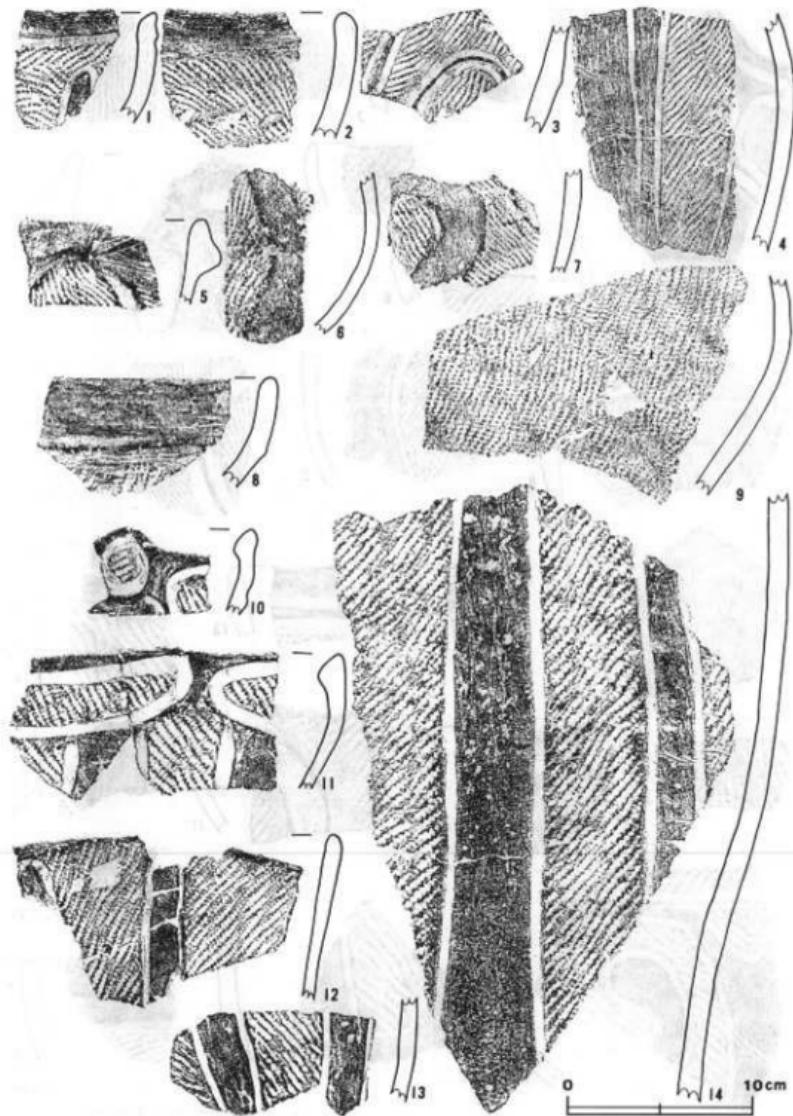
第334圖 土壤出土土器片拓影圖

土壤出土土器片拓影圖



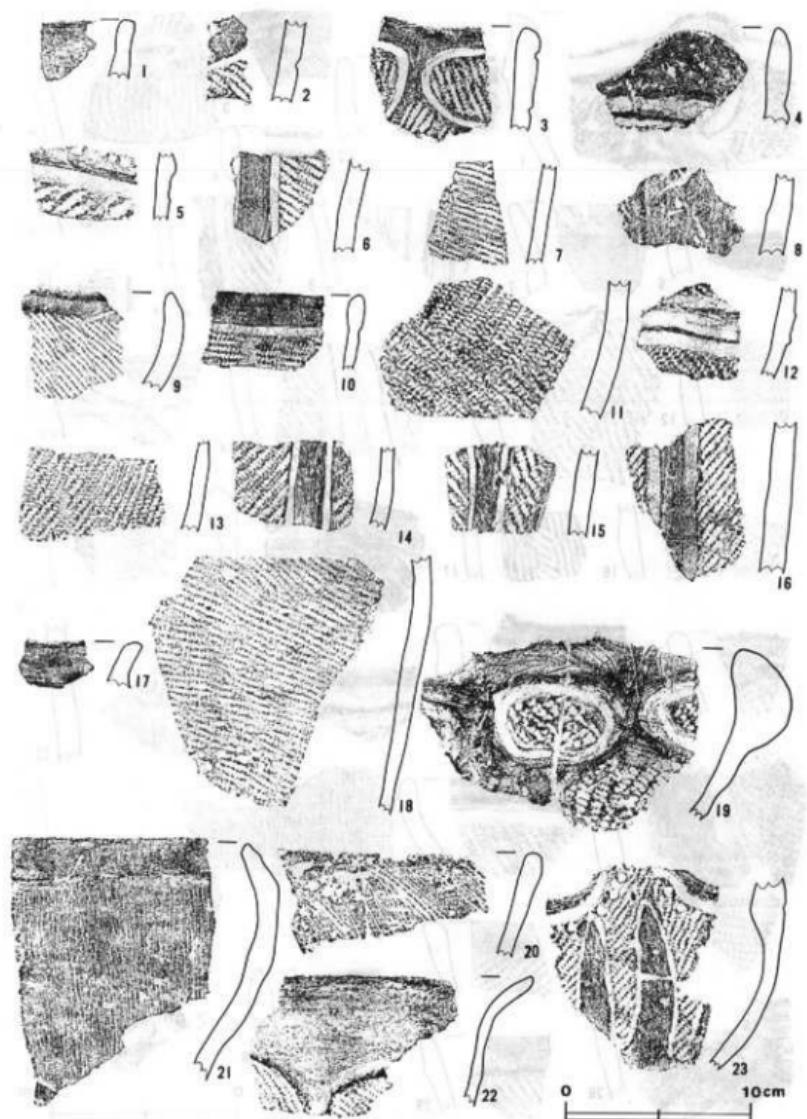
第335図 土壤出土土器片拓影図

昭和癸酉年出土新土 1000個



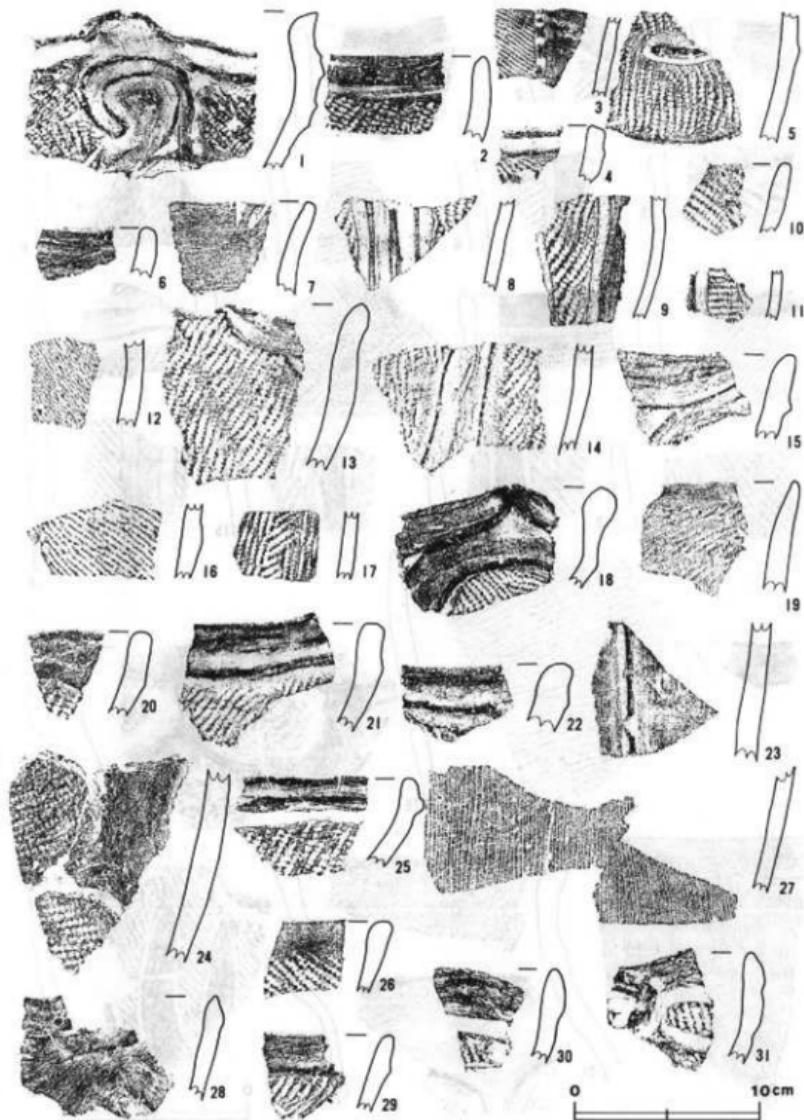
第336図 土壤出土土器片拓影図

國博藏大西土器断面圖333圖



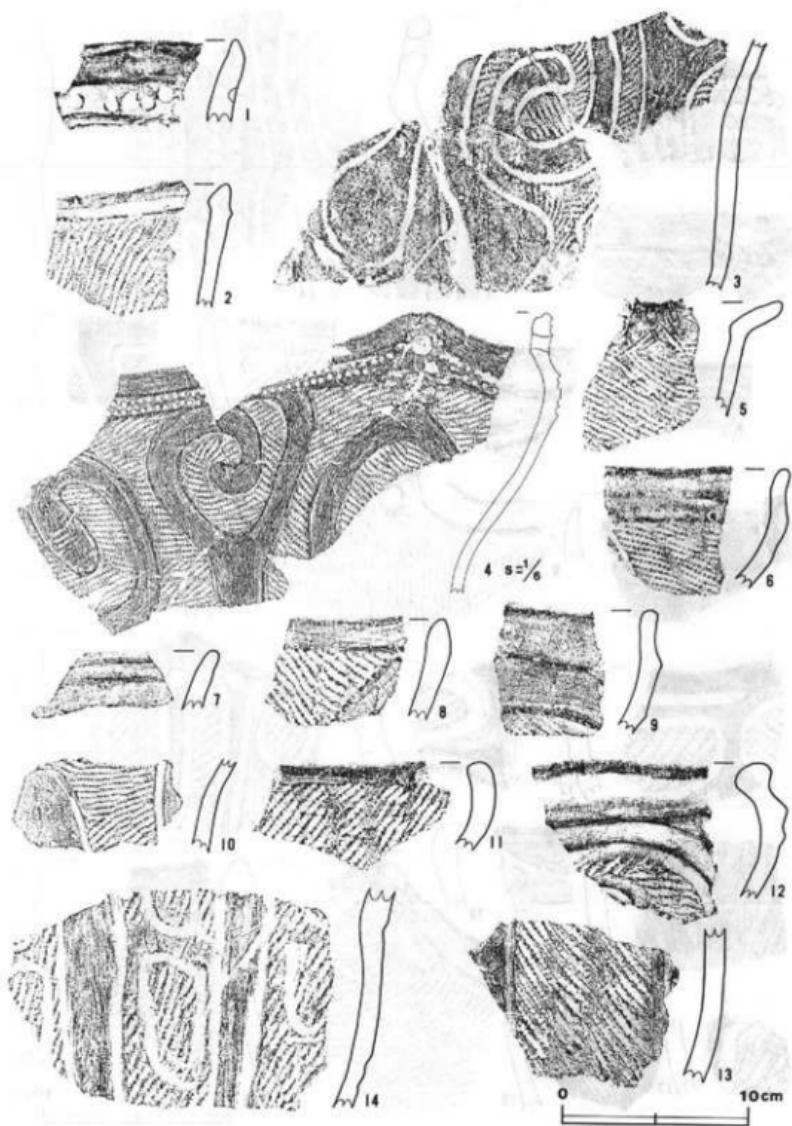
第337図 土壤出土土器片拓影図

圓墳第3号土器片拓影圖



第338図 土壤出土土器片拓影図

西漢武帝時土壤出土断面圖



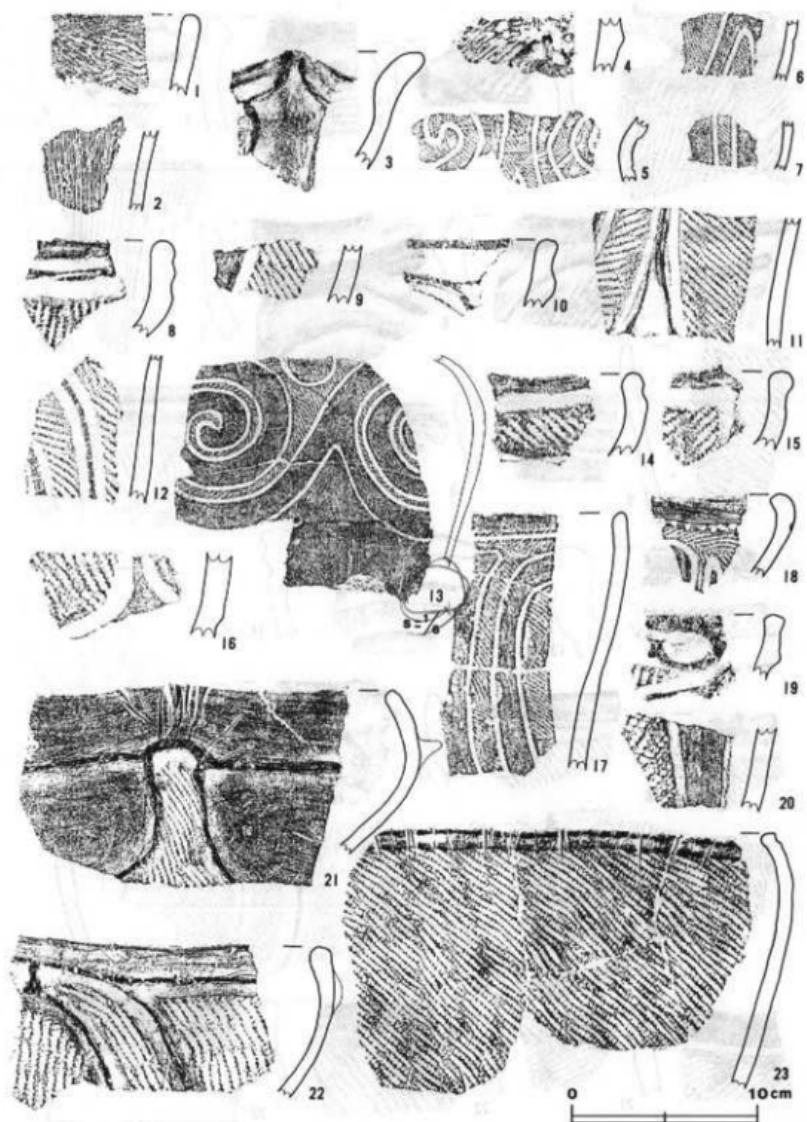
第339図 土壤出土土器片拓影図

西漢四頭器土器出層上 面印模圖



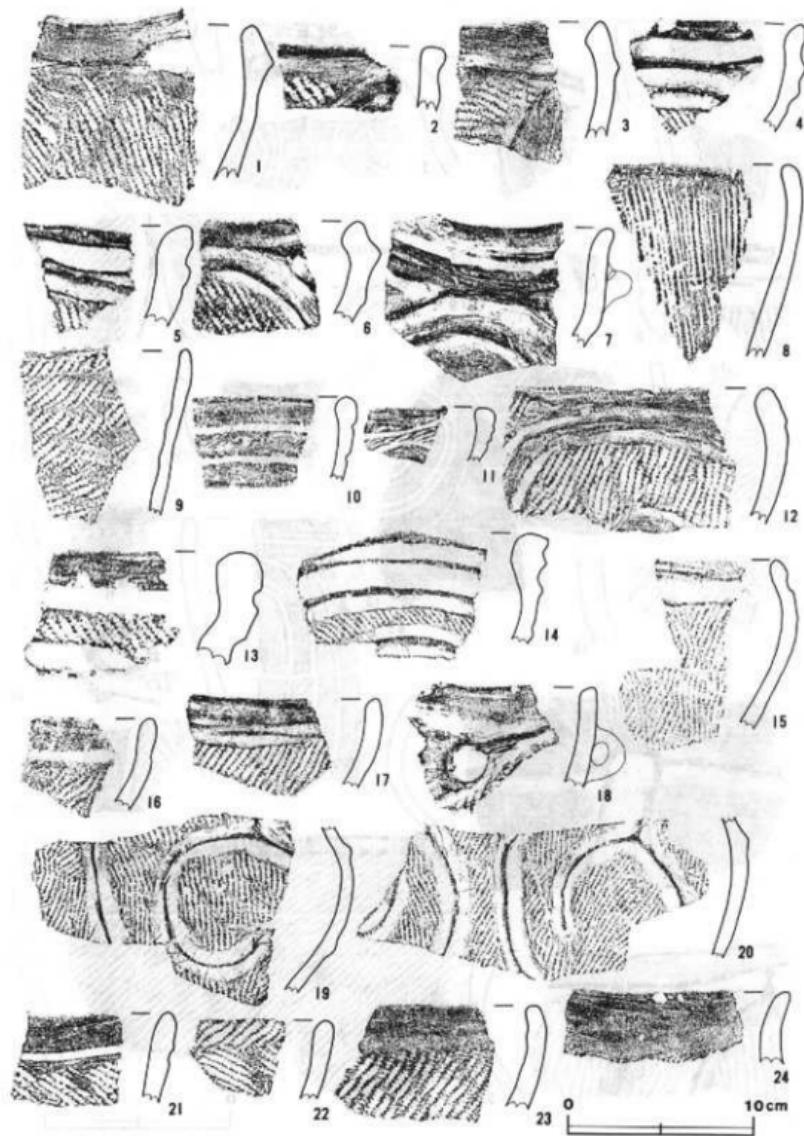
第340図 土壤出土土器片拓影図

雨陽湖下層土之出土物 圖版17



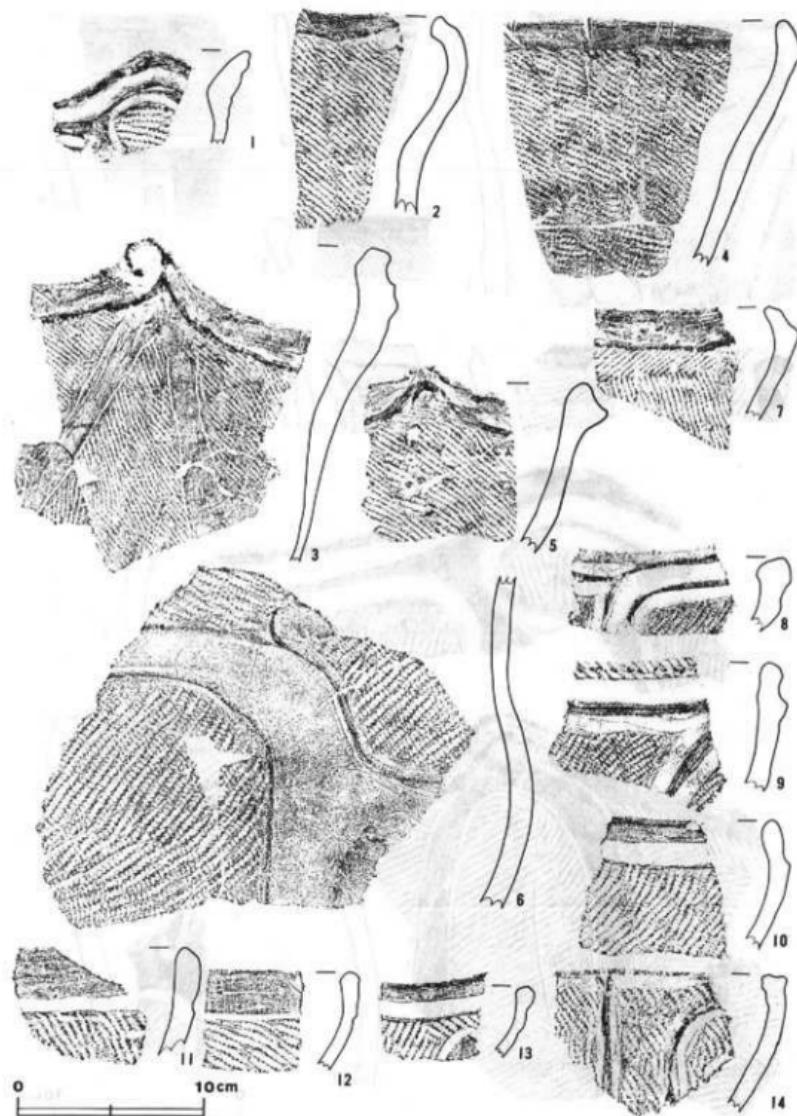
第341図 土壤出土土器片拓影図

三重県伊賀市上山町上  
田村出土



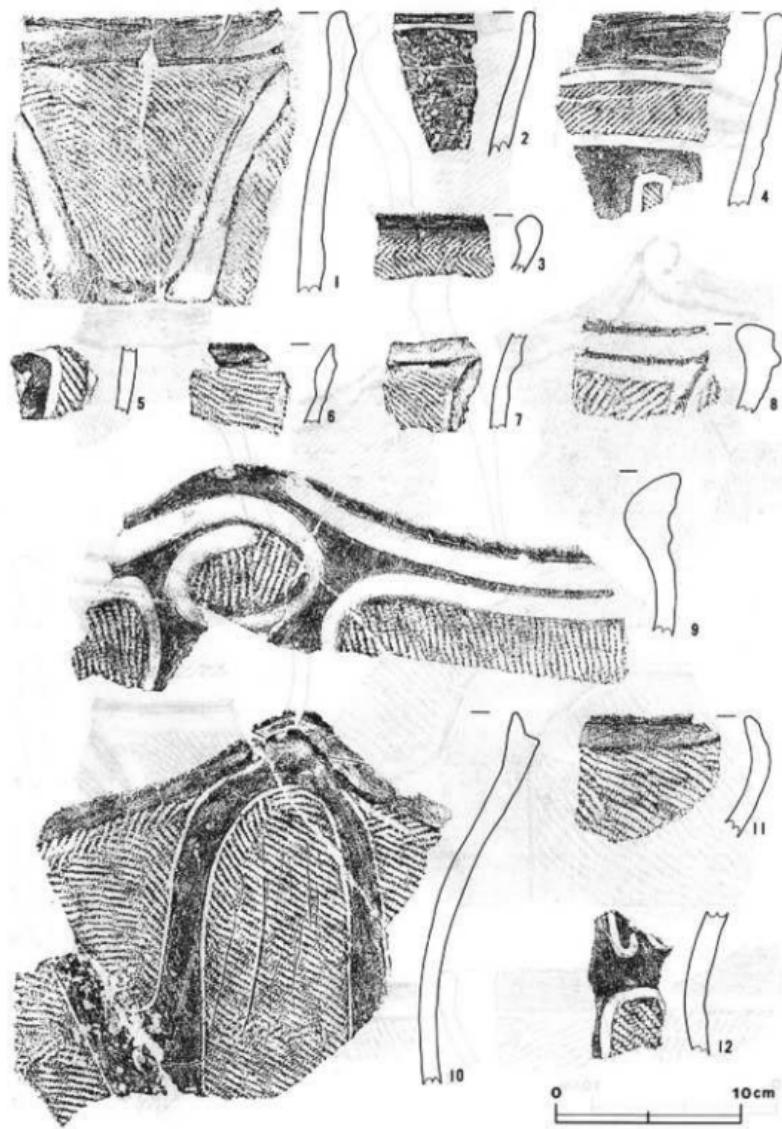
第342図 土壤出土土器片拓影図

近畿新石器時代土壤出土土器片拓影図



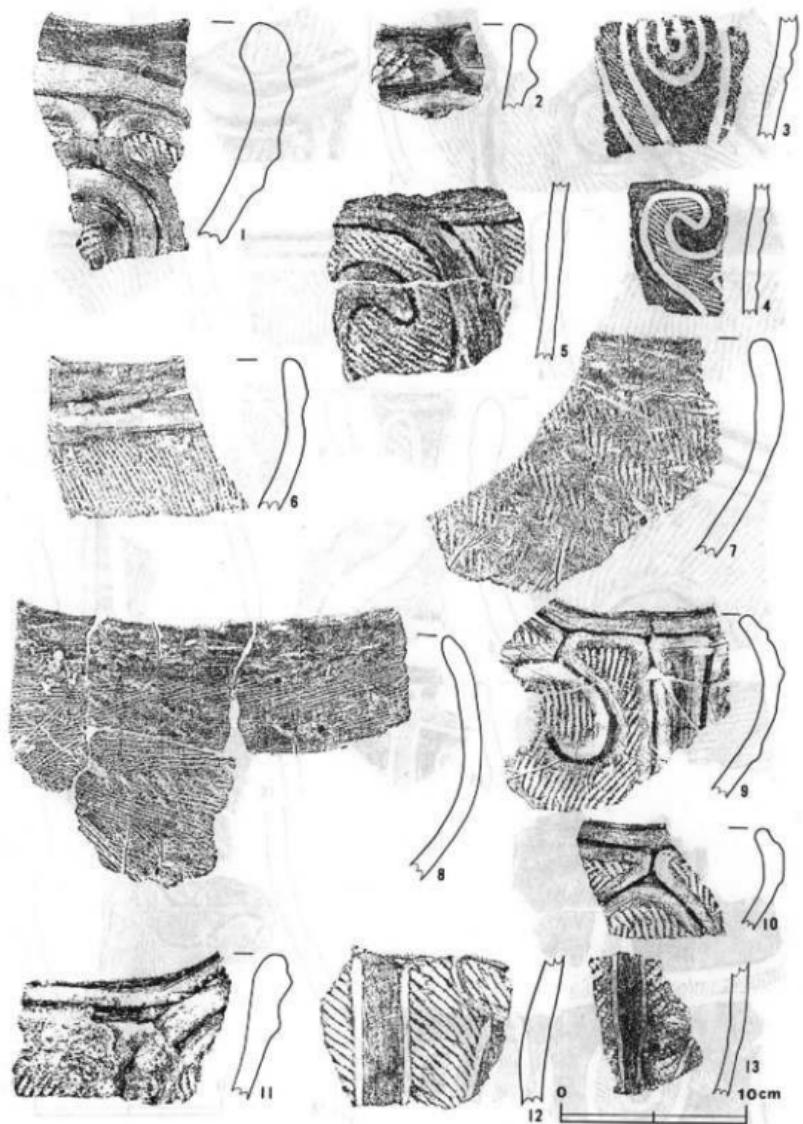
第343図 土壤出土土器片拓影図

西周时期陶器出土于土壤



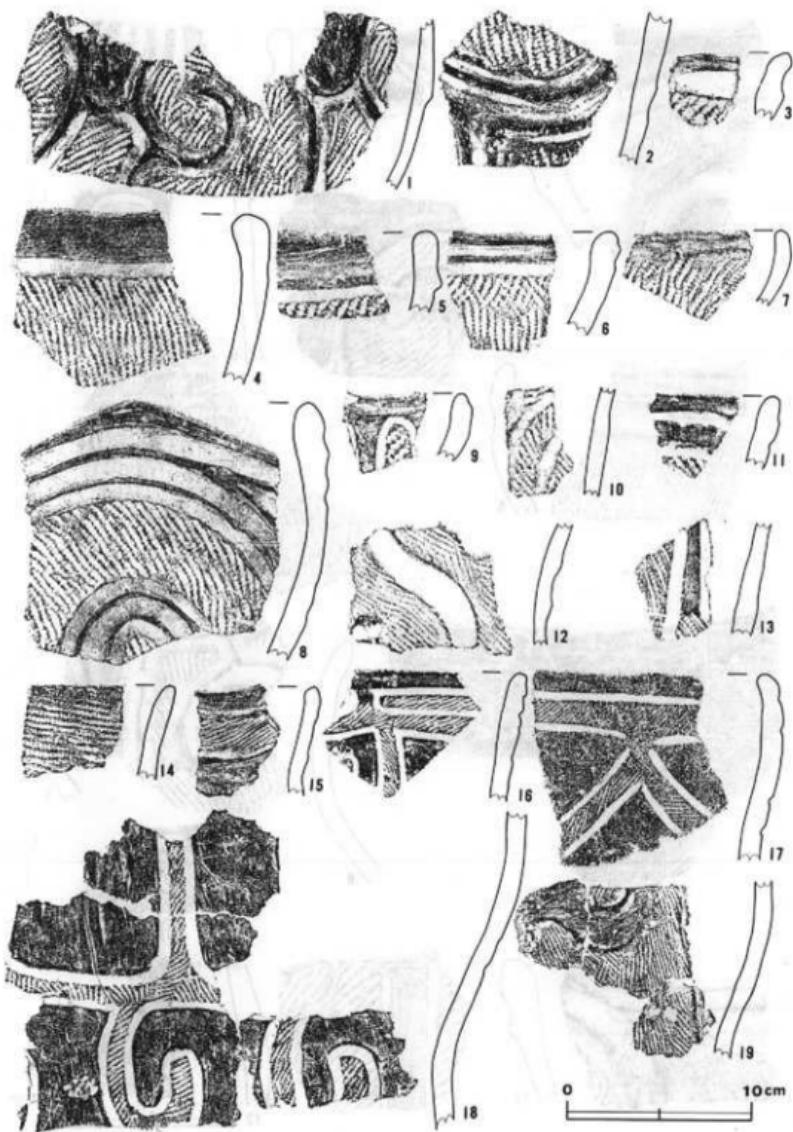
第344図 土壤出土土器片拓影図

圖版四共該土器出處上 圖版四



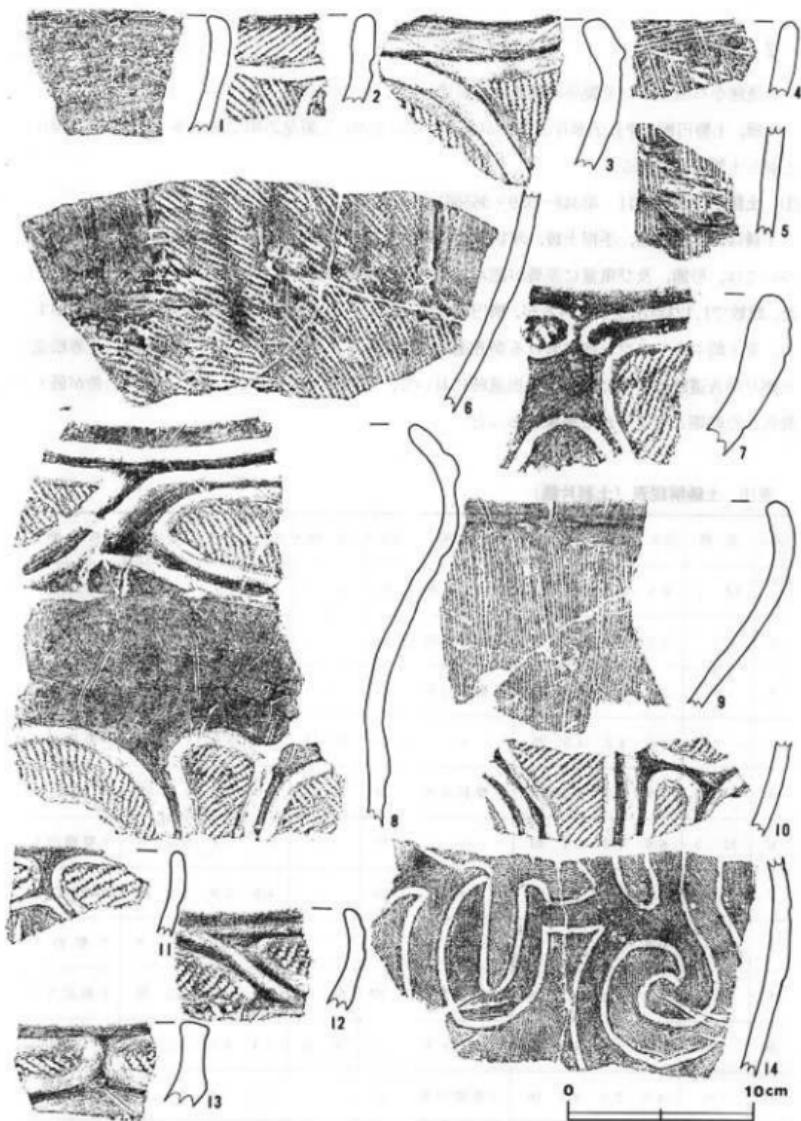
第345圖 土壤出土土器片拓影圖

圖/漢代共羅土器出土  
西漢时期



第346図 土壤出土土器片拓影図

國立歴史博物館 土器部



第347図 土壤出土土器片拓影図

## 2 土製品

当遺跡から出土した土製品の概要は、前述したとおりである。

土錘、土製円板、穿孔土器片と耳栓が出土しているが、土製品の中で最も多く出土したものは、土錘と土製円板である。

### (1) 土錘 (表10・11 第348~359・365図)

土錘は、土器片錘、手握土錘、球状土錘、管状土錘の4種が出土しているが、特に土器片錘については、形態、及び重量に差異が認められ、出土遺構の違いによっても若干偏向性を有していた。総数で1,121点出土しているが、楕円形状の一部のものは精巧に研磨調整してあるものがあった。竜ヶ崎ニュータウン内における調査遺跡の中でも、その数は最も多く、時期的に、赤松遺跡と廻り地A遺跡の中間に位置する当遺跡において、土錘を魚網錘とした場合、漁撈活動が最も活発化した時期と考えられる事象であった。

表10 土錘解説表 (土器片錘)

図番号	造	模	長さ	幅	ノッチ高	重さ	形	図番号	造	模	長さ	幅	ノッチ高	重さ	形
348図 1	SI	1	8.5	8.0	6.6	79	不整台形	12	SI	9	6.3	4.9	5.4	45	精緻な楕円形
2	#		4.3	3.3	4.1	10	不整円形	13	#		5.6	5.3	5.1	40	不整正方形
3	#		3.5	3.2	3.0	15	不整正方形	14	#		6.8	5.3	5.6	50	#
4	#		4.5	4.2	4.0	25	#	15	SI	11	8.2	5.5	7.2	60	不整長方形
5	SI	4	7.9	5.3	7.1	60	不整長方形	16	SI	18	6.6	6.3	5.5	57	不整台形
6	SI	5	6.6	4.3	6.1	45	#	17	#		6.7	5.3	6.3	50	不整楕円形
7	#		5.3	4.2	4.9	28	#	18	#		4.6	2.9	4.3	15	精緻な楕円形
8	SI	9	6.9	5.9	5.1	39	不整台形	19	#		2.3	3.7	1.6	9	不整台形
9	#		6.2	6.0	5.1	46	不整正方形	20	SI	19	7.2	7.0	6.5	76	不整正方形
10	#		4.6	4.6	4.0	25	不整台形	21	SI	20	5.7	4.7	5.2	45	#
11	#		4.3	2.5	4.1	16	不整楕円形	22	#		4.6	3.6	4.0	24	不整楕円形

図番号	遺構	長さ	幅	ノッチ開	取	形態	図番号	遺構	長さ	幅	ノッチ開	重さ	形態
33486 23	SI 21	3.8	3.3	3.4	15	不整正方形	33490 1	SI 34	6.0	3.8	5.3	28	不整長方形
24	SI 22	5.7	3.4	5.1	33	不整長方形	2	SI 37	9.8	7.2	9.0	100	"
25	"	5.1	3.9	4.4	26	"	3	SI 40	5.6	4.2	5.0	30	"
26	"	5.7	3.8	5.1	26	精緻な楕円形	4	"	4.5	3.4	3.9	20	不整楕円形
27	"	4.2	3.8	4.0	25	不整正方形	5	"	7.2	5.5	6.3	60	不整長方形
28	"	3.6	2.9	3.2	19	"	6	"	8.3	5.8	6.6	40	"
29	"	4.9	3.9	4.3	26	"	7	"	5.5	4.8	4.8	30	不整正方形
30	"	3.9	3.3	3.8	19	不整円形	8	"	6.1	4.8	5.4	30	不整長方形
31	SI 23	4.7	3.8	4.4	25	不整長方形	9	"	5.1	5.0	4.4	31	不整円形
32	SI 25	5.0	4.4	4.0	40	不整正方形	10	"	4.8	4.0	4.0	20	不整正方形
33	SI 26	4.7	3.2	4.5	19	不整楕円形	11	"	4.8	4.8	3.8	35	"
34	"	6.4	4.8	5.5	56	不整長方形	12	"	4.3	3.8	3.8	20	不整円形
35	"	7.6	3.6	6.6	50	"	13	"	3.8	3.7	3.5	10	"
36	SI 27	4.7	3.4	4.3	20	"	14	"	4.5	3.0	3.6	15	不整長方形
37	"	4.4	3.9	3.3	23	不整正方形	15	"	4.5	3.5	3.7	20	不整円形
38	SI 28	3.2	3.2	2.8	10	"	16	"	4.6	4.5	3.8	15	不整正方形
39	"	4.1	3.5	3.7	20	不整円形	17	"	5.4	4.7	4.8	40	不整台形
40	"	4.1	3.7	3.7	15	不整台形	18	"	6.0	4.4	5.3	45	不整長方形
41	"	5.0	3.2	4.6	21	不整長方形	19	"	4.2	3.4	3.7	15	不整合形
42	"	4.1	3.7	3.5	26	不整正方形	20	"	7.5	5.3	6.2	60	不整反方形
43	"	5.4	4.6	4.8	35	"	21	"	4.5	4.4	3.4	30	不真正方形